山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

図面番号	図面名称	縮尺	備考
建築（総合）設計図			
A-01	図面目録１	No Scale	
A-02	建築工事特記仕様書１	No Scale	
A-03	建築工事特記仕様書２	No Scale	
A-04	建築工事特記仕様書３	No Scale	
A-05	建築工事特記仕様書４	No Scale	
A-06	建築工事特記仕様書５	No Scale	
A-07	建築工事特記仕様書６	No Scale	
A-08	付近見取図	No Scale	
A-09	敷地求積図	1/500	
A-10	建物求積図	1/100	
A-11	仕上表	No Scale	
A-12	配置図	1/300	
A-13	平面図	1/100	
A-14	立面図-１	1/100	
A-15	立面図-２	1/100	
A-16	直売所平面詳細図	1/60	
A-17	カフェ平面詳細図	1/60	
A-18	矩計図-１	1/50	
A-19	矩計図-２	1/50	
A-20	矩計図-３	1/50	
A-20-1	矩計図-４	1/50	
A-21	展開図-１	1/50	
A-22	展開図-２	1/50	
A-23	展開図-３	1/50	
A-24	展開図-４	1/50	
A-25	展開図-５	1/50	
A-26	展開図-６	1/50	
A-27	建具キープラン	1/100	
A-28	鋼製建具表-１	1/50	
A-29	鋼製建具表-２	1/50	
A-30	木製建具表	1/50	
A-31	家具図-１	1/30	
A-32	家具図-２	1/30	
A-33	家具図-３	1/30	
A-34	家具図-４	1/30	
A-35	家具図-５	1/30	

図面番号	図面名称	縮尺	備考
構造図			
A-36	家具図-６	1/30	
A-37	什器家具図	1/20	
A-38	レンジフード図	1/20	
A-39	天井伏図	1/100	
A-40	屋根伏図	1/100	
D-01	軒先（水下側）詳細図	1/2	
D-02	軒先（水上側）詳細図	1/2	
D-03	窓枠詳細図（下部のみ）	1/2	
D-04	窓枠詳細図（四方枠）	1/2	
D-05	多目的トイレ　ドア枠詳細図	1/2	
D-06	男性・女性トイレ　ドア枠詳細図	1/2	
D-07	会議室　窓枠詳細図	1/2	
D-08	直売所　FIX窓枠詳細図	1/2	
D-09	カフェ　FIX窓枠詳細図	1/2	
D-10	カフェ　自動ドア　縦断面詳細図	1/2	
D-11	カフェ　自動ドア　横断面詳細図	1/2	
D-12	ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾙｰﾑ　引き違い窓枠詳細図	1/2	
D-13	窓枠詳細図（三方枠）	1/2	
D-14	片開き戸　枠詳細図	1/2	
D-15	片引き戸　枠詳細図	1/2	
D-16	片引込み戸　枠詳細図	1/2	
D-17	引き違い戸　枠詳細図	1/2	
D-18	2枚片引き戸　枠詳細図	1/2	
D-19	カフェ厨房　開口部分詳細図	1/2	
S-01	構造特記仕様書	No Scale	
S-02	木造基礎用RC造配筋基準図	No Scale	
S-03	木造仕様書（1）	No Scale	
S-04	木造仕様書（2）	No Scale	
S-05	基礎伏図	1/100	
S-06	１階伏図	1/100	
S-07	屋根伏図	1/100	
S-08	RC断面リスト	1/30	
S-09	石蔵改修構造図	1/60	

図面番号	図面名称	縮尺	備考
外構図			
G-01	外構図	1/300	
G-02	造成図	1/300	
G-03	横断面図-1	1/200	
G-04	横断面図-2	1/200	
G-05	外構詳細図-1	1/20 1/30	
G-06	外構詳細図-2		
G-07	池廻り平面図　断面図　詳細図-１		
G-08	池廻り平面図　断面図　詳細図-２		
G-09	石積み塀図　施設看板文字サイン		
G-10	広場排水溝　敷地案内サイン		
G-11	外部ベンチ図		
G-12	噴水図　噴水貯水タンク図		
G-13	引込開閉器盤基礎　井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ制御盤基礎	1/30	
G-14	樹種（計画外敷地を含む）	1/300	
I-01	石蔵求積図	1/50	
I-02	二ノ倉　石蔵解体図面-１	1/50	
I-03	二ノ倉　石蔵解体図面-２	1/50	
I-04	二ノ倉　石蔵解体図面-３	1/50	
I-05	石蔵写真-１	No Scale	
I-06	石蔵写真-２（二ノ倉）	No Scale	
I-07	石蔵写真-３	No Scale	
I-08	二ノ倉　石蔵改修図面-１	1/50	
I-09	二ノ倉　石蔵改修図面-２	1/50	

図面番号	図面名称	縮尺	備考
機械設備図			
M-01	機械設備工事特記仕様書（その１）	No Scale	
M-02	機械設備工事特記仕様書（その２）	No Scale	
M-03	配置図	1/400	
M-04	衛生器具・枡リスト	No Scale	
M-05	給排水設備平面図	1/100	
M-06	給排水設備平面詳細図（直売所）	1/50	
M-07	給排水設備平面詳細図（カフェ）	1/50	
M-08	さく井工事詳細図	No Scale	
M-09	厨房機器リスト	No Scale	
M-10	厨房器具配置図	1/60	
M-11	冷暖房機器リスト	No Scale	
M-12	冷暖房設備平面詳細図（直売所）	1/100	
M-13	冷暖房設備平面詳細図（カフェ）	1/100	
M-14	換気機器明細表	No Scale	
M-15	換気設備平面図（直売所）	1/100	
M-16	換気設備平面図（カフェ）	1/100	

図面番号	図面名称	縮尺	備考
電気設備図			
E-01	電気設備工事特記仕様書（その１）	No Scale	
E-02	電気設備工事特記仕様書（その２）	No Scale	
E-03	配置図	1/300	
E-04	電灯動力幹線系統図	No Scale	
E-05	引込開閉器盤結線図	No Scale	
E-06	電灯動力分電盤結線図（1）	No Scale	
E-07	電灯動力分電盤結線図（2）	No Scale	
E-08	空調設備・動力電源　平面図	1/100	
E-09	照明設備姿図（1）	No Scale	
E-10	照明設備姿図（2）	No Scale	
E-11	照明設備姿図（3）	No Scale	
E-12	電灯設備　平面図	1/100	
E-13	電灯設備　外構平面図	1/300	
E-14	電灯設備　石蔵スペース　平面図	1/100	
E-15	非常灯・誘導灯設備　平面図	1/100	
E-16	コンセント設備　平面図	1/100	
E-17	コンセント設備　外構平面図	1/300	
E-18	弱電設備姿図・系統図	No Scale	
E-19	弱電設備　平面図	1/100	
E-20	自動火災報知設備　系統図	No Scale	
E-21	自動火災報知設備　平面図	1/100	
E-22	ITV設備　系統図	No Scale	
E-23	ITV設備　平面図	1/100	

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業 | title 図面目録 | scale | check 2025.11.18 | no A-01

熊本県建築工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事名称　令和6年度(繰越)山江村石蔵活用拠点施設設計業務委託

2 工事場所　球磨郡 山江村大字山田字五反田地内　　地 内

3 建物概要

	建 物 名 称	構 造	階 数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第1区分	備 考
1	栗の駅	木造	1	396.41	16項イ	
2						
3						
4						

※ 建築基準法に基づき定められた風速（V0）　（　34　m/sec　）
※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重　（　700 N/㎡　）

※ 地表面粗度区分　・Ⅰ　○Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ

4 工事項目　（電気設備工事）　○印を付したもの

工事項目＼建物名		1	2	3	4			屋 外
1	電灯・コンセント設備	○						
2	幹線・動力設備	○						
3	電熱設備							
4	雷保護設備							
5	受変電設備							
6	電力貯蔵設備							
7	発電設備							
8	構内情報通信網設備	○						
9	電話・構内交換設備	○						
10	情報表示設備							
11	映像・音響設備							
12	拡声設備							
13	誘導支援設備							
14	呼出設備							
15	テレビ共同受信設備	○						
16	テレビ電波障害防除設備							
17	監視カメラ設備	○						
18	入退室管理設備							
19	自動火災報知設備							
20	自動閉鎖・非常警報設備							
21	中央監視制御設備							
22	防犯設備							
23	電気時計設備							
24	外灯設備	○						
25	構内配電線路	○						
26	構内弱電線路	○						
27	撤去工事							

5 工事項目　（機械設備工事）　○印を付したもの

工事項目＼建物種別及び屋外		1	2	3	4			屋 外
1	空気調和設備	○						
2	換気設備	○						
3	排湿設備							
4	自動制御設備							
5	衛生器具設備	○						
6	給水設備	○						
7	排水設備	○						
8	給湯設備	○						
9	消火設備							
10	厨房設備	○						
11	ガス設備	○						
12	浄化槽設備							
13	昇降機設備							
14	撤去工事							

6 設備概要　（機械設備工事）
（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない　○印を付けたものが該当項目となる）

空気調和方式	・ダクト方式　（ ・ 中央　○ 各階ユニット ）・FCU方式 ・FCU＋ダクト併用方式　・パッケージ方式
主要熱源機器	・空気熱源ヒートポンプユニット　・吸収冷温水機　・吸収冷温水機ユニット ・パッケージ型空気調和機　・マルチパッケージ型空気調和機　・ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機
換気設備	機械換気　（ ○ 有　・ 無 ）
排煙設備	機械排煙　（ ・ 有　・ 無 ）
自動制御設備	・電気式　・電子式　・デジタル式
給水設備	○ 水道直結方式　・高置ポンプ方式　（ ○ 上水 ○ 井水 ・ 中水 ） ・ポンプ直送方式　（ ・ 上水 ・ 井水 ・ 中水 ）　・増圧ポンプ方式
排水設備	建物内の汚水と雑排水　（ ○ 分流　・ 合流 ） ポンプ排水　（ ・ 有　（ ・ 湧水 ・ 雨水 ・ 雑排水 ・ 汚水 ）・無 ） 汚水放流先　（ ○ 公共下水道　・し尿浄化槽 ） 雑排水放流先（ ○ 公共下水道　・し尿浄化槽 ）
消火設備	・屋内消火栓　（ ・ 1号 ・2号 ）・屋外消火栓 ・連結送水　・連結散水　・泡消火　・スプリンクラー　・ハロゲン化物消火 ・二酸化炭素消火　・新ガス系消火　・フード等用簡易自動消火
ガス設備	・都市ガス　（ 供給業者名　　種別　　発熱量　　MJ/㎥ ） ○ 液化石油ガス

※注意事項
① 工事用資・機材、建設副産物等の過積載をしないこと。
② 過積載を行なっている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
③ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することの無いようにすること。
④ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。
⑤ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ関団体への加入者の使用の促進に努めること。
⑥ 下請け契約の相手方又は資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
⑦ ①から⑥の事項につき、下請け契約における受注者を指導すること。

Ⅱ 特記事項

1 本工事の契約は、図面及び仕様書に基づくものとし、添付の工事内訳書は参考とする。
2 図面及び仕様書に記載されている製造所及び商品名は、製品の程度を示すもので参考とする。
3 契約締結後着工届を速やかに提出すること。現場代理人及び主任（監理）技術者通知書には、受注者に所属し、かつ、必要資格を有することが確認できる書類を添付すること。
4 建設業退職金共済制度の「掛金収納書」及び建設労災補償共済制度の「加入証明書（写し）もしくは労働災害使用者賠償責任保険等加入を証する書類を契約後1月以内に提出すること。なお、建設業退職金共済制度の「掛金収納書」提出の必要がない場合は、建設業退職金共済証紙交付簿退届を提出すること。
5 特記仕様書に記載されている監督員の承諾、監督員との協議等の要領については、工事監理要領に定めるところによる。
6 使用材料及び下請業者については、県産資材、県内企業及び請負企業の使用に努めること。県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得ること。なお、県産資材、県内企業及び請負企業とは、以下に該当するものをいう。
（1）県産資材とは、県内で産出、生産又は製造されたものをいう。
（2）県内企業とは、県内に主たる営業所を置く建設事業者をいう。
（3）請負企業とは、県内に請負された企業をいう。
7 本工事は電子納品対象工事とする。
8 暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
なお、遵守していないことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処する。
① 不当介入を受けた場合は、最終としてこれを拒否し、不当介入があった時点で速やかに警察署等へ通報し、捜査上必要な協力を行うこと。
② 警察に通報等を行った内容について警察により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

Ⅲ 工事仕様

1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」
「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」、及び「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」による。
なお、公共住宅建設にあっては、国土交通省住宅局住宅総合整備課監修「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年版）」を併せて適用する。
2 項目は、番号の前に ○印 の付いたものを適用する。
3 特記事項は、○印 の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。
5 各章の特記事項冒頭にある（　）書きは新築工事標準仕様書の章・節・項番号である。
6 使用する材料、工法については県監督員と協議のうえ、変更することができる。

章		項 目	特 記 事 項
1 各室共通事項	○	1 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 ○ 構内舗装・排水設計基準　（平成31年版）　同上 ○ 擁壁設計標準図　（平成12年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 公共建築工事標準仕様書（建築・電気・機械設備工事編）　（令和4年版）　同上 ○ 公共建築木造工事標準仕様書　（令和4年版）　同上 ○ 公共建築設備工事標準図（電気・機械設備工事編）　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 ○ 建築物解体工事共通仕様書　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 鉄筋コンクリート工事標準図　（平成17年版）　熊本県建築士事務所協会発行 ・ 鉄骨工事標準図　（平成17年版）　熊本県建築士事務所協会発行 ○ 公共住宅改修工事共通仕様書（初版）　（初版）　公共住宅事業者等連絡協議会編集
	○	2 電子納品に関する事項	（電子納品に関する基準） 電子納品に関する基準は、「熊本県電子納品運用ガイドライン※1」（以下、熊本県ガイドライン）による。 （電子納品） 電子納品とは、各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、熊本県ガイドラインに示すファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途、監督員と協議するものとする。 （電子データの受渡） 本工事では、設計図CADデータを貸与する。(CADデータの著作者は設計者) なお、貸与されたCADデータを当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。 （電子納品に要する経費） 電子化に要する費用は共通仮設費に含まれている。 ※1：熊本県ホームページの土木部一土木技術管理課のデータを参照（ダウンロード可） 熊本県HP　https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_1840.html
		3 工事実績情報の登録（工事カルテ）	※ 要（提出先：(一財)日本建設情報総合センター　工事実績情報サービス(CORINS)）　・ 不要　(1. 1. 4)
	○	4 品質計画	※ 品質計画については、監督員の承諾を受けること。　(1. 2. 2)
		5 電気保安技術者	・ 選用する　・ 選用しない　(1. 3. 3)
	○	6 施工条件	※ 現場説明書による　・ 図示による　(1. 3. 5)
	○	7 発生材の処理等	引抜しを要するもの　（　）　(1. 3. 11) 引抜し場所　※ 構内　・（　） 特別管理産業廃棄物　・ 種類（　） 廃棄物の搬出方法等　分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行ったうえで、下記の場所に搬出することとし、「建設副産物の再生利用指針」の建設発生材処理フローにより適切に処理すること。 ①受入場所　※ 処分場（　）　・ 自社処分 原則として再資源化施設とする ②搬重者等　必要な場合は、法律に違反しないように適切に処理すること。 現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの（　） 建設廃棄物処理実施計画書、建設廃棄物処理実績集計表及びマニュフェスト伝票の写しを提出すること。 建設副産物情報交換システムに登録し証明書を提出する。 登録に関する問い合わせ先：　((一財)日本建設情報総合センター 内 建設副産物情報センター　TEL:(03)3505-0410　FAX:(03)3505-0620) 工事着工時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を提出し、工事完了時に再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。 自社処分　自社処分の場合で、処分が困難となった時は、監督員と協議すること。 ・ 建設リサイクル法　　着工時に、再資源化等報告書を監督員に提出すること。 産業廃棄物税　本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税（熊本県産業廃棄物処理税）が賦税されるので適正に処理すること。 ・ 本工事では、産業廃棄物の最終処分におけるに熊本県産業廃棄物税相当額を見込んでいる。
			型枠の端材、塩料の空缶等については「廃棄物の処理及び清掃に関する法令」に基づき、元請業者の責任において適正に処理すること。 水銀含有物（蛍光管等）については電気設備工事特記仕様書（その2）「発生材の処理等」に基づき適正に処理すること。 フロンガス含有物（空調機器等）については機械設備工事特記仕様書（その2）「発生材の処理等」に基づき適正に処理すること。 石綿含有廃棄物については厚労省「石綿含有廃棄物等処理マニュアル」に基づき適切に処理すること。
	○	8 再生資材活用	受注者は、熊本県グリーン購入推進方針に適合するリサイクル建設資材の活用に努めるものとする。 受注者は、ﾘｻｲｸﾙ建設資材を使用する場合、工事材料確認検査票い提出時に品質・性能に関する書類に加え、以下の書類を提出すること。 ・熊本県グリーン購入推進方針判断基準等適合報告書 ・有害物質の溶出・含有等に関する証明書 ・再生材料供給証明書 【例外1】 次の資材については、上記書類の提出を求めない。 ・コンクリート塊又はアスファルト・コンクリート塊のみを再生材料として使用した「再生加熱アスファルト混合物」及び「再生骨材」 ・高炉セメント ・エコマーク認定製品 【例外2】 該当する項目に係る有害物質の溶出及び含有、アスベスト（石綿）の含有、水素イオンの溶出、硫化水素等の発生に関する検査を不要としている資材については、「有害物質の溶出・含有等に関する証明書」の提出は求めない。
	○	9 再生資材の利用	再生資材の利用又は現場内で流用をする場合は、土木部で定めた「建設副産物の再生利用指針」による。 対象資材 ： コンクリート塊、 アスファルトコンクリート塊、 建設発生木材
	○	10 建設発生土の利用	建設発生土が発生し、又は建設発生土を利用する場合は、土木部で定めた「建設発生土の利用と処理指針」による。
		11 建設汚泥処理土の利用	建設汚泥を再生した建設汚泥処理土の利用は、土木部で定めた「建設汚泥の処理と建設汚泥処理土の利用指針」による。

章		項 目	特 記 事 項
1 各室共通事項	○	12 技能士	適用工事種別（　　）内は、適用作業　(1. 5. 2) ○ 鉄筋工事　1級鉄筋施工技能士 ○ コンクリート工事　・1級土木技能士 ・1級型枠施工技能士 ・1級コンクリート圧送施工技能士 ・ 鉄骨工事（1級とび技能士）　・ブロック及びALCパネル工事（・1級ブロック建築技能士） ・ ブロック及びALCパネル工事　1級ブロック建築技能士 ○ 防水工事　1級防水施工技能士（ 塗膜防水 作業） ○ 石工事　1級石材施工技能士 ○ タイル工事　1級タイル張り技能士 ○ 木工事　1級建築大工技能士 ○ 屋根及びとい工事　1級建築板金技能士（内外装板金作業） ○ 金属工事　・1級内装仕上げ施工技能士（鋼製下地工事作業） ・建築板金（内外装板金作業） ○ 左官工事　1級左官技能士 ○ 建具工事　・1級サッシ施工技能士 ・1級ガラス施工技能士 ○ 塗装工事　1級塗装技能士（　作業） ○ 内装工事　1級内装仕上げ施工技能士（　作業） ○ 内装工事　1級表装技能士（　作業） ○ 植栽工事　1級造園技能士 ○ 設備工事　・1級配管技能士 ・1級冷凍空気調和機器施工技能士 ・1級熱絶縁施工技能士 ・1級建築板金技能士（ダクト板金作業） 技能士は、資格を証明する資料と監督員に提出すること。
	○	13 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	○	14 建設工事使用機械等	○ 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 ○ 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。 ○ 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。
	○	15 設計GL	○ 図示による。　・ 現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による。
	○	16 既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚発又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。
	○	17 他工事との取合い	施工範囲　別表－1 による。 施工図　設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。
	○	18 建築材料 設備機器等	ホルムアルデヒド放散量 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。 ※ F☆☆☆☆　・（　）
	○	19 化学物質の濃度測定	○ 行う。　・ 行わない。　(1. 5. 9) 厚生労働省が定める化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象室名　：（　） 測定法　・ アクティブ型　○ パッシブ型　・ その他
	○	20 工事写真等	撮影箇所及び撮影方法は、「熊本県建築工事写真撮影要領」による。 着工前、工事中、竣工時及び完成写真用写真の撮影は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下記業者の撮影とする。 ○ 監督員の承諾を受けた写真専門業者　※ 監督員の承諾を受けた撮影者
	○	21 完成図	貸与した原図（電子データを含む）に変更内容を加筆訂正し、下記のものを添えて監督員に提出すること。　(1. 7. 1 1. 7. 2) また、施設引渡し品がある場合、その受領書（写）を監督員に提出すること。 工事完成図　（2つ折製本（A4）1部、2つ折製本（原図）1部、A4版折込製本（原図）1部） 製品承認表、保証書、発注段則書等 電子データについては、熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品を行うこと。
	○	22 施工図	熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品するものとする。 当該建築物の取得する施工図等の著作権に係わる使用権は、当該建築物に限り発注者に移譲する。
	○	23 保全に関する資料	※ 提出する。　・ 提出しない。　(1. 7. 1 1. 7. 3) 提出部数　※ 2部　・（　）部
	○	24 保険等	熊本県公共工事請負契約約款第50条第1項により、次の保険等（その他これに準ずるものを含む）に付さなければならない。 (1)　保険の種別　○ 火災保険又は建設工事保険 ○ 組立保険　（請負業者損害賠償責任担保特約付き） (2)　保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）（損害賠償等特約を含む） (3)　保険の加入期間　※ 工事着手後（原則とする）遅やかに加入し、工期末より30日間以上 ・ その他（　） (4)　保険金額　※ 原則として請負金額に相当する金額 ・ その他（　）
	○	25 安全施工実施対策	※ 建築工事安全施工技術指針にしたがい、工事の安全維保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監督員へ提出すること。
	○	26 官公庁への諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特記ある事項は別途とする。　(1. 1. 3)
		27 石綿（アスベスト）	工事開始前に労働基準監督署と自治体（自治体への報告は大気汚染防止法に基づくもの）に対して、本工事に関係する石綿の有無について事前調査結果の報告を行うこと。 事前調査結果の報告については、石綿事前調査結果報告システム（https://www.lahiwsta-houkoku.mhlw.go.jp）を用いても良い。 また、石綿の有無の事前調査の対象箇所については、県監督員と協議のうえ決定すること。
2 仮設工事		1 既存部分の発生	発生方法　※ ビニールシート等による。　・（　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※ 行わない。　・ 行う（ 図示による） 既存家具等の養生　・ ビニールシート等による。　・（　）
	○	2 監督員事務所	・ 設ける　※ 設けない　(2. 3. 1) 面積規模　（　）㎡程度　　備品については、監督員の指示による。
	○	3 工事用水	構内既存の施設　※ 利用できる(※有償 ・無償)　・ 利用できない
	○	4 工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる(※有償 ・無償)　※ 利用できない
	○	5 外部足場	※仲組本足場　・ その他（　）
	○	6 手すり先行足場	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「踏み幸すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。
3 土工事	○	1 掘戻し及び盛土	種別　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　(3. 2. 3)（表3. 2. 1）
	○	2 建設発生土の処理	※ 構外指示の場所　(3. 2. 5) 受け入れ場所　（　） 受け入れ場所での処置　（ ・ 散きならし　※ たい積 ） 搬出距離　（　） km 上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する ・ 構内指示の場所（ ・ 散きならし　・ たい積 ）

R5. 3. 17改定

熊本県建築工事特記仕様書

熊本県土木部建築住宅局住宅課

建築士事務所名	一級建築士事務所 熊本県知事 登録第 3771号 株式会社 坂本達哉建築設計事務所 一級建築士事務所 熊本県知事 登録第 3731号 株式会社 長野聖二建築設計事務	工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
設計者氏名	一級建築士 大臣 登録第 285008号 坂本達哉 一級建築士 大臣 登録第 294002号 長野聖二	図面名称	建築工事特記仕様書 （その1）
		図面番号	A-02

4 地業工事

○ 1 支持地盤
※構造図による

・杭基礎 (4.3.4~5)(4.5.4~5)
支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)
・図示による ・( )

・直接基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
・図示による ・( )
長期設計支持力度
・( ) kN/m2 ・( )

・地盤の載荷試験 (4.2.4)
・行う
試験の位置、方法等は図示による

2 既成コンクリート杭地業

種類 (4.3.3)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・( )

試験掘
・あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による
試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う
・なし

寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.3)

		種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ・( ) (4.2.2)
試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による

杭先端部形状 (4.3.3)
・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・( )

施工方法 (4.3.3~5)
・セメントミルク工法 (4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・図示による ・( )
杭の支持地盤への根入れ深さ
・図示による ・( )
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1／4かつ100mm以下 ・( )
杭の傾斜 ・1／100以内 ・( )

・特定埋込杭工法 (4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法 図示による
・上記以外の特定埋込杭工法 図示による

工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・( )
杭周固定液
・使用する ・使用しない

杭の支持地盤への根入れ深さ
・図示による ・( )

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1／4かつ100mm以下 ・( )
杭の傾斜 ・1／100以内 ・( )

杭継手工法
・アーク溶接継手 (4.3.6)(7.2.5)
・種仕 4.3.6による
溶接材料
・種仕 7.2.5(1)(2)による ・種仕 7.2.5(1)(2)以外( )

・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
・( )
検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
・( )
施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による
・( )

杭頭の処理 (4.3.8)
※ 無し
・有り
処理方法
・図示による ・( )
杭頭の中詰め材料
※ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・( )

4 地業工事

○ 3 場所打ちコンクリート杭地業
※構造図による

杭径、長さ、仕様等
・図示による ・( )

材料その他
帯筋 ・図示による
鉄筋の最小かぶり厚さ ・図示による
セメントの種類
※ 高炉セメントB種 ・( ) (4.5.4)(6.3.1)
コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
・A種 ・B種
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
コンクリートの設計基準強度 ( )N/mm2 (4.5.4~6)
スランプ
・( ) cm
構造体強度補正値(S) (4.5.4)
・3N/mm2
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
・( )

掘削工法 (4.5.1)(4.5.5~6)
・アースドリル工法
安定液 ・使用する ・使用しない
・リバース工法
・オールケーシング工法
孔内の水張り ・行う ・行わない

併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による
鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ( )
・拡底杭工法 図示による
安定液 ・使用する ・使用しない
・( )

試験杭 (4.2.2)(4.5.5~6)
試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ・( )
試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による

孔壁測定 (4.5.5~6)
・行う
測定方法、測定箇所は図示による
・行わない

杭の支持地盤への根入れ深さ
・図示による ・( )

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・100mm以下 ・( )
杭の傾斜 ・1／100以内 ・( )

工法
・浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力
・( )kN/m2 ・( )

・深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力
・( )kN/m2 ・( )

形状、支持地盤、仕様
・図示による

長期設計支持力
・( )kN/m2 ・( )

セメントの種類 (6.3.1)
・高炉セメントB種 ・( )
コンクリートの設計基準強度 ( )N/mm2
構造体強度補正値(S)＝( )N/mm2

工法 ・( )
仕様、範囲、計測、試験等
・図示による

材料 (4.6.2)
※ 再生クラッシャラン ・切込砂利及び切込砕石

厚さ及び使用範囲 (4.6.3)

厚さ	使用範囲
※120	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・	

コンクリートの仕様 (4.6.4)(6.14.1~3)
※ 無筋コンクリートによる ・( ) (6.14.1~3)

セメントの種類
※ 高炉セメントB種 ・( ) (6.3.1)

厚さ及び使用範囲 (4.6.4)

厚さ	使用範囲
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、 土に接するスラブ下
・	

施工範囲 (4.6.5)
※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く)
・( )

材料
※ ポリエチレンフィルム厚さ0．15mm以上 ・
( )

防湿層の位置
○ 図示による ・( )

4 地盤改良
(セメント系固化材を用いた工法による改良)

5 置換コンクリート地業
(ラップルコンクリート地業)

6 液状化対策

○ 7 砂利地業
※構造図による

○ 8 捨てコンクリート
※構造図による

○ 9 床下防湿層

5 鉄筋工事

○ 1 鉄筋の種類
※構造図による

鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)	備考
・SD295		
・SD345		
・		
・		

○ 2 溶接金網
※構造図による

形状等 (5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

○ 3 鉄筋の継手
※構造図による

継手方法等 (5.3.4)(5.5.2)

部位	継手方法	呼び名(mm)
柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手	
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋( )	※ 重ね継手 ・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)(表5.3.2)
・図示による

継手位置図
・図示による

○ 4 鉄筋の定着の方法及び長さ
※構造図による

鉄筋の定着方法 (5.3.4)
・図示による

鉄筋の定着長さ (5.3.4)(表5.3.4)
・図示による ・( )

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)(表5.3.6)
・図示による ・( )

○ 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(溶接金網含む)
※構造図による

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・有り 適用箇所( )
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1．5倍以上
・( )
・無し

軽量コンクリートで土に接する部分
・無し
・有り 適用箇所( )
・図示による
・( )

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・無し
・有り 適用箇所( )
・図示による
・( )

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5.3.5)(表5.3.6)
・図示による
・( )

6 特殊な鉄筋継手

・機械式継手
使用箇所 (5.5.2)
・図示による ・( )
性能(H12建告第1463号に適合するもの) (5.5.2)
・A級 ・( )
機械式継手の種類( ) (5.5.2)
鉄筋相互のあき (5.3.5)
・図示による ・( )
品質の確認方法 (5.5.6)
・図示による ・( )
不良となった継手の修正方法等
・図示による ・( )

・溶接継手
使用箇所
・図示による ・( )
性能(H12建告第1463号に適合するもの) (5.6.3)
・A級 ・( )
溶接継手の工法( ) (5.6.3)
鉄筋相互のあき (5.3.5)
・図示による ・( )
品質の確認方法 (5.6.5)
・図示による ・( )
不良となった継手の修正方法等 (5.6.3)
・図示による ・( )

○ 7 各部配筋
※構造図による

各部配筋 (5.3.7)
※ 図示による ・( )

8 圧接完了後の試験

外観試験 (5.4.10)
※ 行う (全数)
抜取試験
※ 超音波探傷試験 ・引張試験

9 帯筋

10 最上階柱頭補強

11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋
(出隅受け部分の補強筋を含む)

組立の形の種別 ・図示による

補強方法 ・図示による

配筋方法 ・図示による

出隅部分及び出隅受け部の補強筋
・図示による

12 壁開口部の補強

一般壁 ・図示による
耐震壁 ・図示による

13 梁貫通孔の補強

補強形式 ・図示による
配筋種別 ・図示による
梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト
・図示による

○ 14 基礎梁主筋の継手
※構造図による

・図示による

15 機械吊上げ用フック

種別 ・図示による

6 コンクリート工事

○ 1 コンクリートの種類及び強度
※構造図による

普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)

設計基準強度(Fc) N/mm²	種別	・18	・21	・24	・27	
普通コンクリート	部位					
軽量コンクリート	部位					

軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)

設計基準強度(N/mm2)	適用箇所
・24	
・	

構造体強度補正値(S) ・ ※標準仕様書6.3.2による

スランプの値(単位:cm) (6.2.4)(表6.2.2)

打込み箇所	基礎、基礎梁 土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	
所要スランプ	15、18	18	

○ 2 レディーミクストコンクリートの種別
※構造図による

種別 (6.2.1)(表6.2.1)
※ Ⅰ種 ・Ⅱ種

○ 3 セメント
※構造図による

種類 (6.3.1)(表6.3.1)
・普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種
又はフライアッシュセメントA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が
7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
施工箇所( )
・高炉セメントB種
施工箇所( )
・フライアッシュセメントB種
施工箇所( )
・( )

○ 4 骨材
※構造図による

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※ A ・B

5 軽量コンクリート

種類 (6.10.1)(表6.10.1)
・1種 ・2種

6 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
・ ※ 普通コンクリート
適用箇所 (6.14.1)
・種仕 6.14.1(4)による箇所
・種仕 6.14.1(4)以外の箇所
・図示による ・( )
設計基準強度 (6.14.1)
※ 18N/mm2 ・( )
スランプ
※ 15cm又は18cm ・( )

○ 7 ひび割れ誘発目地打継目地

目地寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
○ 種仕 9.7.3による ○ 打継目地:25-20×20、誘発目地:現場指示による
間隔、位置、形状
○ 図示による ・( )

○ 8 コンクリート仕上り

部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5)(表6.2.3)
・種仕 表6.2.3による ・( )
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)
○ A種 ・B種 ・C種
※ 適用箇所は図示による

○ 9 打増し厚さ
(打放し仕上げ部)

・打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ (6.8.2)
○ 20mm(柱・梁・外壁) ○ 15mm(階段手摺壁) ○ 10mm(軒裏)
・打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ
(内部に面する部分に限る)
・( )
・外壁タイル張りで、MCR工法又はⅡ荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に
20mmの打増しを行う

○ 10 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
○ 合板(国産材)
○ (打ち放し用化粧)
せき板の厚さ
○ 12mm ・( )
断熱材の使用
・行う 適用箇所( )
○ 行わない
スリーブの材質
※ 種仕6.8.2(9)(ア)(イ)及び表6.8.1による ・( )

11 単位水量の測定

・有り ・無し (6.3.2)

○ 12 混和材量

・混和剤 (6.3.1)
・AE剤 ○ AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・防錆剤 ・( )
・混和材
・フライアッシュ (・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅳ種)
・高炉スラグ微粉末
・シリカフューム
・膨張材
・( )

7 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた
(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄構工業協会)の
「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を
受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・S ・H ・M ・R ・J グレード
・監督職員の承諾する工場(種仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者

※ 適用する (7.1.3)(7.1.4)
・適用しない

R5.3.17改定

熊本県建築工事特記仕様書	熊本県土木部建築住宅局住宅課	建築士事務所名	一級建築士事務所 熊本県知事 登録第 3771号 株式会社 坂本達哉建築設計事務所 一級建築士事務所 熊本県知事 登録第 3731号 株式会社 長野聖二建築設計處
		設計者氏名	一級建築士 大臣 登録第 285008号 坂本達哉 一級建築士 大臣 登録第 294002号 長野聖二
		工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
		図面名称	建築工事特記仕様書 (その2)
		図面番号	A-03

7 鉄骨工事

3 鋼材

材質等 (7.2.1)（表7.2.1）

種類の記号	適用箇所	規格
	※図示による(　　)	※JISによる ・大臣認定による ・
	※図示による(　　)	※JISによる ・大臣認定による ・

有効細長比(圧縮材に限る)　※ 図示による　・(　　)

4 高力ボルト

ボルトの区分 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1～7.4.9)
・ トルシア形高力ボルト

・ JIS形高力ボルト
セットの種類　・ 2種(F10T)　・(　　)
高力ボルトの径
・ 図示による　・(　　)
ボルトの最場距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による　・(　　)
すべり係数試験 (7.4.2)
※ 行わない
・ 行う　試験方法等　・ 図示による　・(　　)

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
・ 標仕 表7.2.3による　・(　　)
座金
・ 標仕 7.2.3(4)による　・(　　)
ボルトの径
・ 図示による　・(　　)
ボルトの最場距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)(7.3.2)
・ 図示による　・(　　)

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類 (7.2.2)(7.12.4～5)
・ 1種(F8T相当)　・(　　)
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
・ 図示による　・(　　)
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8)
※ 事業(評定又は大臣認定)を受けた内容による
・(　　)
ボルトの最場距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による
・(　　)
摩擦面の処理 (7.12.5)
・ ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又はリン酸塩処理
・(　　)

7 アンカーボルト

適用 (7.2.4)(表7.2.3)(7.10.3)
・ 構造用アンカーボルト
セットの種類　・ JIS B 1220　ABR400
・ JIS B 1220　ABR490
・(　　)
形状、寸法　・ 図示による　・(　　)
・ 建方用アンカーボルト
材質　・ SS400　・(　　)
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げの種度　・ 標仕 表7.2.3による
・(　　)
形状、寸法　・ 図示による　・(　　)

8 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
※ 標仕 7.2.5(1)(2)による。
・ 標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所　・ 図示による　・(　　)

9 ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックル胴　・ 割神式　・(　　)
建築用ターンバックルボルト　・ 羽子板ボルト　・(　　)
ねじの呼び　・ 図示による　・(　　)

10 床構造用デッキプレート

材質、形状及び寸法 (6.8.2)(7.2.7)

適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・構造床		
・合成スラブ		
・床型枠用		
・		

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。)
・ 図示による　・(　　)
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) (7.7.8)
・ アークスポット溶接又は隅肉溶接　・(　　)
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ)
・ 焼抜き栓溶接　・スタッド　・(　　)
耐火認定
・ 有り　耐火時間　・ 図示による　・(　　)
・ 無し

11 スタッド

材質、形状及び寸法
※ 頭付きスタッド JIS B 1198　・(　　)

呼び名等

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・ 16		
・ 19		
・ 22		

12 柱底均しモルタル

モルタルの種類 (7.2.9)
※ 無収縮モルタル　・(　　)
無収縮モルタルの材料、調合等
材料、調合等　※ 標仕 7.2.9(2)による　・(　　)
品質及び試験方法　※ 標仕 表7.2.5による　・(　　)

13 工作図

監督職員による現寸検査　・ 行わない (7.3.2)
・ 行う
増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。

14 鉄骨の製作精度

※ 標仕 7.3.3による (7.3.3)
溶接ずれ及び食い違い
・ 溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること
・ 溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認等。　・ 図示による　・(　　)

15 鉄骨の仮組

仮組を行う範囲　・ 図示による　・(　　) (7.3.10)
確認方法、確認項目　・ 図示による　・(　　)

16 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領及び試験を要する溶接箇所 (7.6.3)
・ 図示による　・(　　)

7 鉄骨工事

17 溶接接合

開先の形状　・ 図示による　・(　　) (7.6.4)
スカラップの形状　・ 図示による　・(　　) (7.6.7)
鋼製エンドタブの切除する部分　・ 全て (7.6.7)
・ 見え掛り部となる部分
・ 切除する部分なし
・(　　)
溶接部の余盛り高さ　・(　　) (7.6.7)

18 現場溶接の有無

・ 無し
・ 有り　適用箇所　・ 図示による　・(　　)

19 入熱、パス間温度溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
・ 図示による　・(　　)
適用箇所　・ 図示による　・(　　)
・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

20 溶接部の試験

浸透探傷試験又は磁粉探傷試験 (7.6.12)
・ 行わない
※ 行う　適用部位
※ 割れの疑いのある表面欠陥　・(　　)

完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)(表7.6.2)(表7.6.3)
・ 行わない
※ 行う
・ 工場溶接の場合
・ 全数検査
※ 抜取検査

AOQL(%)　※4.0　・2.5

節	・全て	・	・
検査水準	※第6水準	・	・

・ 工事現場溶接の場合
・ 全数検査
※ 計数連続合理型抜取検査
AOQL(%)　(※4.0　・2.5)

21 錆止め塗装

塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2)
・ 鉄鋼面の錆止め塗料
屋外
・ 標仕 18.3.2表18.3.1(※A・B)種
・(　　)
屋内
・ 標仕 18.3.2表18.3.1(※A・B)種
・(　　)
・(　　)
亜鉛めっき鉄面の錆止め塗料
・ 標仕 18.3.2表18.3.2(※A・B・C)種
・(　　)
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
・ 標仕 18.3.2表18.3.1(※A・B)種
・(　　)
耐火被覆材の接着する面への塗装
・ 行わない
・ 行う
適用箇所　・ 図示による　・(　　)
塗料の種別　・ 標仕 18.3.2表18.3.1(※A・B)種
・ 標仕 18.3.2表18.3.2(※A・B・C)種

22 耐火被覆

種別 (7.9.2～7.9.7)

種 別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
	・	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	
	・	
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール	
	・	
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火塗料		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適用箇所(部位・部分)
・30分耐火	
・1時間耐火	
・2時間耐火	
・3時間耐火	

23 アンカーボルトの保持及び埋込み工法

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)
種別　・A種　・B種
構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別　・図示による　・(　　)
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2)
※ 標仕 表7.10.2　(※A種[モルタル厚さ50]・B種[モルタル厚さ30])による

24 軽量形鋼構造

接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2)
・ 普通ボルト接合　・(　　)

25 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分)

種別等 (7.12.4)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材料	備考
・A種	・ 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
・B種	・ 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
・C種	・ 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	
	・ 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

表地ごしらえは、JIS　H　8641による
適用箇所　※ 図示による　・(　　)

26 梁貫通孔の補強

補強方法　・ 補強トラス筋
・(　　)
適用箇所　※ 図示による　・(　　)

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類 (8.2.2～5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モデュール呼び寸法 長さ	モデュール呼び寸法 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
・空洞ブロックC(16)	・120 ・150	・400 ・	・200 ・	・無　・有		
・型枠状ブロック-20				・無　・有		

各部の配筋　※図示による　・(　　)
モルタルの調合(容積比)
・ セメント (　　)　：砂 (　　)
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
※図示による
目地仕上げ　・押し目地　・化粧目地

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2～4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モデュール呼び寸法 長さ	モデュール呼び寸法 高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロックA(08)	・120 ・150	※400 ・	※200 ・	※無　・有		
・空洞ブロックC(16)	・120 ・150	※400 ・	※200 ・	※無　・有		

塀の正味の厚さ(2m以下は120、2m超は150)
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ計上　※図示による　・(　　)
各部の配筋　※図示による　・(　　)

工法　コンクリートブロック造帳壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造壁量とする

3 ALCパネル

(8.4.2～5)

パネルの種類	単位荷重(N/㎡)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構法の種別
・外壁パネル(幅300未満は図示すること)		・100 ・	・	・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種・B種
・間仕切壁パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種・D種・E種
・屋根パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種
・床パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間		

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地　・(　　)
耐風圧性能　建物概要による区分の(・1.0倍 ・1.15倍 ・1.3倍)の風圧力に対応した構法
耐震性能　(　　)
パネル幅の最小限度　※ 300mm　・300mm未満とする場合(　　)
パネル短辺小口相互の接合部の伸縮目地幅　※ 10～20mm　・(　　)
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない

4 押出成形セメント板

(8.5.2～6)

パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	工法の種別	耐火性能
・外壁パネル	・F　・F-R ・D　・D-R ・T　・T-R	・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・	・A種 ・B種	・30分 ・1時間 ・2時間
・間仕切壁パネル	・　・	・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・	・B種 ・C種	・30分 ・1時間 ・2時間

耐風圧性能　建物概要による区分の(・1.0倍 ・1.15倍 ・1.3倍)の風圧力に対応した構法
耐震性能　(　　)
大臣認定以外の目地及び隙間の処理　※ パネル製造所の仕様　・(　　)
パネル幅の最小限度　※ 300mm　・300mm未満とする場合(　　)
パネルの相互の目地幅(mm)　長辺(　　)、短辺(　　)
出隅及び入隅のパネル接合伸縮目地幅　※ 15mm　・(　　)
下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

パネルに開口を設ける場合		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
	短辺	・	・図示	・	・図示
	長辺	・	・図示	・	・図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・図示	・	・図示
	長辺	・	・図示	・	・図示

9 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2～5)(表 9.2.3～9)
防水層の種別

種 別	工種2	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・ A－1	－			※ポリスチレンフォーム又はプラスドヤーンクロス	・ 乾式保護材
・ A－2	－				(　　)
・ A－3	－				・ コンクリート押え
・ B－1	①			・ (　　)	
	②				
・ B－2	①				・ れんが押え
	②				(　　)
・ AI－1	－		(種類)※JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き)	※プラスドヤーンクロス70g/㎡程度	
・ AI－2	－			・(　　)	
・ AI－3	－				
・ BI－1	①		厚さ		
	②				
・ BI－2	①		・(　　)		
	②				

工種2：①部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合
②砂付あなあきルーフィングを用いる場合

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.2.3から標仕 表9.2.8による　・(　　)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.2.3から標仕 表9.2.8による　・(　　)
防水層の下地
・ 下地モルタル塗り　適用箇所 図示による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※ 水下 80mm以上　・(　　)
床タイル張り ※ 水下 60mm以上　・(　　)

屋根露出防水
防水層の種別

種 別	工種2	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・ D－1	①			※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	
	②					
・ D－2	①					
	②					
・ DI－1	－		規準仕様書9.2.2(9)			
・ DI－2	－		種類 ・(　　) 厚さ ・(　　)			

9 防水工事

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示による　・(　　)

防水層の種別

種別	施工個所	種別	施工個所
・E－1		・E－2	

保護層　・設ける(※図示による　・　　)　・設けない

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ
※ 標仕 表6.2.4打放し仕上げ種別のB種　・(　　)
押え金物の材質及び形状
※ アルミニウム製　L－30×15×2.0mm程度　・(　　)
防水層の下地のモルタル塗り　・適用する(施工範囲　・図示による・　　)
・ 適用しない
屋根排水溝　※ 図示による　・(　　)
施工標識　※ 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別 (9.3.2～4)(表 9.3.1～3)

種 別	施工箇所	断熱材	防湿層	備 考
・AS－T1				
・AS－T2				
・AS－J1				
・AS－T3				
・AS－T4				
・ASI－T1		標準仕様書9.3.2(3)(ケ) 種類 ・(　　) 厚さ ・(　　)	・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	
・ASI－J1				

仕上塗料の種類及び使用量
・ 図示による
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1～表9.3.3による　・(　　)
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1～表9.3.3による　・(　　)
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1～表9.3.3による　・(　　)
押え金物
※ 改質アスファルト製造所の仕様による　・(　　)
施工標識　※ 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表 9.4.1～3)

種 別	施工箇所	可塑剤移行防止用シートの材質	断熱材	仕上塗料	備 考
・S－F1				※カラー・シルバー	
・S－F2					
・S－M1				※カラー・シルバー	
・S－M2					
・SI－F1			標準仕様書9.4.2(3)(ニ)(b) (種類) ・(　　) (厚さ) ・(　　)	※カラー・シルバー	
・SI－F2					
・SI－M1			標準仕様書9.4.2(3)(ニ)(a)(3)(i)による (種類) ・(　　)	※カラー・シルバー	
・SI－M2		※発泡ポリエチレンシート ・	(厚さ) ・(　　)		
・S－C1					

歩行　・ 軽歩行　・非歩行
ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.4.1～表9.4.3による　・(　　)
固定金具の材質及び寸法形状
・ 標仕 9.4.2(3)(ニ)による
・(　　)
仕上塗料の種類及び使用量
・ 図示による
防水下地がPCコンクリート部材下地の場合の処理
目地処理　※図示による　・(　　)
入隅部の増張り(S－F1、SI－F1の場合)　※図示による(　　)
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

4 塗膜防水

防水層の種別 (9.5.3)(表 9.5.1～2)

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	備 考
・X－1		※カラー・シルバー		
・X－2		※カラー・シルバー		
・Y－1	※地下外壁防水 ・			
・Y－2	※屋内防水・		・ 保護コンクリート ・ 保護モルタル	

・ 塩化ビニル樹脂系塗膜防水
・ 塩化ビニル樹脂系塗膜防水
・ 塩化ビニル樹脂系塗膜防水

10 石工事

○ 1 施工

石材の割付け　※標仕10.1.3(1)(ア)～(イ)による　○ 図示による　(10. 1. 3～5)

○ 2 石材等

○ 天然石　(10. 2. 1～3)(表 10. 2. 1～2)

施工箇所	等級	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考
	・1等品 ・2等品		・ 矩形0.8㎡/枚	・図示		・粗磨き ・本磨き ・(　)	
	・1等品 ・2等品		・ 矩形0.8㎡/枚	・図示			

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型		
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型		

取り付用モルタル、既製合の目地モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材
※ 専門工事業者の指定する製品　・ (　　)

3 外壁湿式工法

石裏面処理　・ 適用する　・ 適用しない　(10. 2. 2～3)(10. 3. 2～3)
裏打ち処理　・ 適用する　・ 適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋横流し工法・流し筋工法　・あと施工アンカー工法
受金物　材質　※ SUS304　・ (　　)
形状及び寸法　・ L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm
・ L-75×75×6(mm)の加工　L=150mm
・ (　　)

ドレインパイプの材質　・ 樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ
・ (　　)
アンカー　材質　※ SS400　・ (　　)
寸法　・ (　　)
あと施工アンカーの材質及び寸法・ (　　)
目地　一般目地　目地幅　※ 6mm以上　・ (　　)
シーリング材　・ 適用する　・ 適用しない
伸縮調整目地　位置　※標仕 11. 1. 1による　・ 図示による
シーリング材の目地寸法　※標仕 9. 7. 3(1)(ウ)による
・図示による

4 内壁空積工法

(10. 2. 2)(10. 4. 2～3)
受金物　材質 ※SS400　・ (　　)
形状及び寸法　・ L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm
・ L-75×75×6(mm)の加工　L=150mm
・ (　　)

下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋横流し工法・流し筋工法　・あと施工アンカー工法
アンカー　材質　※ SS400　・ (　　)
寸法　・ (　　)
あと施工アンカー　材質　・ (　　)
寸法　・ (　　)
目地　一般目地　目地幅　※ 6mm以上　・ (　　)
シーリング材　・ 適用する　・ 適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 6mごと　・ 図示による
シーリング材の目地寸法　※ 標仕 9. 7. 3(1)(ウ)による
・ 図示による

(10. 2. 2)(10. 5. 2～3)(表10. 2. 4)

5 外壁乾式工法

乾式工法の方式による金物の種類、針上、寸法等
・ (　　)
取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式

裏打ち処理　・適用する　・適用しない
だぼ用の穴の位置　※標仕 10. 5. 2(2)(ア)による　・図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1　・1.15　・1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
アンカー　材質　※ SUS304　・ (　　)
寸法　・ (　　)
あと施工アンカー　材質　・ (　　)
寸法　・ (　　)
目地　目地幅　※ 8mm以上　・ (　　)
シーリング材　・適用する(※標仕 9章7節による　・図示)　・適用しない

○ 6 床及び階段の石張り

(10. 6. 2～3)
床の浸透性吸水防止剤　・ 適用する　・ 適用しない
床の石裏面処理　・ 適用する　・ 適用しない
床の裏打ち処理　・ 適用する　・ 適用しない
階段の石裏面処理　・ 適用する　・ 適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示による　・ (　　)
シーリング材　・ 適用する　・ 適用しない
伸縮調整目地　位置　※床面積30㎡ごと、道路6mごと及び他部材の取合い部
・図示による

7 笠木、甲板等の石張り

(10. 2. 2)(10. 7. 1～3)
取付け金物　※標仕 10. 2. 2(3)による　・ (　　)
引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※標仕 10. 2. 2(1)による　・ (　　)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※標仕 10. 5. 3(2)による　・ (　　)
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
アンカーの材質及び径　・ステンレス(SUS304)　・ (　　)
あと施工アンカーの材質及び寸法(　　)

8 製造所及び施工業者

監督員の承諾による。

11 タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標仕 表11. 1. 1による　・図示による　(11. 1. 3)(表11. 1. 1)

2 セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等　(11. 2. 2)(11. 2. 3)(11. 2. 7)

施工箇所	改良積算による区分	形状/寸法	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		滑り抵抗性	備考
	(JIS)		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　※ 行わない
見本焼き　・ 行う　※ 行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・MCR工法　・目荒し工法(高圧洗浄)　・
壁タイル張りの工法
外装タイル　※ 密着張り　・ 改良積上げ張り　・ 改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・ マスク張り　・ モザイクタイル張り

既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、
混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能・試験方法)　建築材料等品質性能表による

3 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等　(11. 3. 2～4)(11. 3. 7)

施工箇所	改良積算による区分	形状/寸法	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		滑り抵抗性	備考
	(JIS)		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　※ 行わない
見本焼き　・ 行う　※ 行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・ (　　)
目地詰め　・ 行う　※ 行わない
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・ (　　)
伸縮調整目地、その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・ (　　)

モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・MCR工法　・目荒し工法(高圧洗浄)　・ (　　)

4 階段滑り止め

※樹脂製 (　　)　・ (　　)

12 木工事

○ 1 製材

JIS1083(製材)に基づく製材　(12. 2. 1(2))(12. 5. 1)(12. 6. 1)(12. 7. 1)
・ 下地用製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	備考
			※2級 ・		※A種 ・B種			
			※2級 ・		※A種 ・B種			

○ 造作用製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	備考
内部造作	杉		上小節	-	※15%以下	-	A種 B種	

・ 広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	備考
			※1等 ・		※10%以下			
			※1等 ・					

○ JIS1083以外の製材

施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考
敷居	杉 桧		(　) 造作材の場合 (※A種・B種)	○適用する ・適用しない	・適用する ○適用しない	※A種・B種 ・	・

2 造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12. 2. 1(3))
・ 造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面数	見付け材面の品質	備考
				※1等　・2等	

・ 化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧厚板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧厚板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	備考
						※1等　・2等	

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
・ 造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考
				※15%以下　・	・

・ 化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧厚板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧厚板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考
						※15%以下 ・	・

3 造作用単板積層材

(12. 2. 1(4))
JAS0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材

施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防虫処理	備考
		・有り(加工　・天然木加工・塩装加工) ・無し(等級:　　)	・適用する ・適用しない	・

JAS0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材以外の造作要単板積層材

施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	備考
		・有り(加工・天然木加工・塩装加工) ・無し(　　)	・適用する ・適用しない	※15%以下	・

4 直交集成材

CLT(直交集成材)　(12. 2. 1(5))

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法	備考

12 木工事

○ 5 合板等

下地用合板　(12. 2. 1(6))
○ 普通合板

施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の種類	板面の品質	防虫処理	備考
	※5.5 ○12	○ラワン ・しな ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	○適用する ・適用しない	

・ 構造用合板

施工箇所	厚さ	等級	単板の樹種名	接着の種類	板面の品質	防虫処理	強度等級	備考
	※12 ○24	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	○適用する ・適用しない	○適用する (　) ・適用しない	・

化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の種類	防虫処理	備考
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・

天然木化粧合板

施工箇所	厚さ	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の種類	防虫処理	備考
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	・

特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ	接着の種類	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	備考
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	・

パーティクルボード

施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※15		※13タイプ・	※MR1(M)又は MR2(P) ・	

構造用パネル

施工箇所	品名	寸法	等級			
			・1級	・2級	・3級	・4級

・MDF

施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12. 2. 2)
ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・ (　　)

防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材　(12. 3. 1～2)
適用部位:(　　)

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分	
	・K2	・K3　・K4
	・K2	・K3　・K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	行属書Aに基づく表面処理用木材保存剤による処理	薬剤の種類	処理の方法
	・適用する　・適用しない	・	※製造所の使用による ・
	・適用する　・適用しない	・	※製造所の使用による ・
	・適用する　・適用しない	・	※製造所の使用による ・

ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理
適用部位(　　)

○ 6 接着剤

○ 7 防腐・防蟻

○ 8 「製材」及び「合板」製品

合板木材証明書を監督員に提出すること。

13 屋根及びとい工事

○ 1 長尺金属板葺

(13. 2. 2～3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類	めっき付着量	厚さ	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150) ・				・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・横揃葺 ・横葺 ○型へぎ葺	

下葺材料　・ アスファルトルーフィング 940
○ 改質アスファルトルーフィング下葺材
(一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ)
雪止め　・設置する(図示)

2 折板葺

(13. 2. 2)(13. 3. 2～3)(表 13. 2. 1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形		( )型	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製			・有り・無し	・30分 ・無し

材料　※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)
・ (　　)
断熱材　・ 有り(種別:　　厚さ(mm):　　防火性能:　時間)
・ 無し
タイトフレームに使用する材料はJIS G 3302とする
使用する場合の表面処理
(標準仕様書表14.2.2による　・B種　・F種　)
工法　折板のけらば納め
※けらば包みによる方法
・

13 屋根及びとい工事

○ 3 とい

といの材種　(13. 5. 2～3)(表 13. 5. 6)

種別	材種	径	施工箇所	備考
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ○ガルバリウム鋼板(HACO　タニタハウジング同等品)			SUS304、厚2
軒どい	○ガルバリウム鋼板(HACO　タニタハウジング同等品)			

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・ (　　)
鋼管製といの防露巻き　・ 適用する(工法:※標仕表13. 5. 4による　・
・ 適用しない

とい受金物　(13. 5. 2)(表13. 5. 2)
材種　※標仕表13. 5. 2　・(　　)
形状　※市販品(とい径100以下)　25×4.5(とい径100を超えるこの)
・ (　　)
取付間隔　・ (　　)

足金物
材種　※標仕表13. 5. 2　・(　　)
形状　※市販品　・ (　　)
取付間隔　・ (　　)

ルーフドレン

種別	施工箇所
・ろく屋根用(・緩型　・横型)	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

○ 4 保証書の提出

屋根工事は責任施工とし、保証書を屋根工事施工者及び請負者の連名にて提出すること。
(　　)年間保証

5 事後調査

・ 行う　・ 行わない
竣工後2年目に施工箇所の事後調査を指示にしたがって実施すること。

14 金属工事

1 あと施工アンカーの確認試験

標仕14. 1. 3(1)(ニ)による確認試験を行う。　(14. 1. 3)

2 鉄鋼の亜鉛めっき

(14. 2. 3)(表14. 2. 2)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)
溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種	
電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種	

3 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　(14. 4. 2～4)
屋外　(※ 25形　・ 19形)　屋内　(※ 19形　・ 25形)
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※ 適用する
(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1　・1.15　・1.3倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔
原則　(一般部900mm程度、周辺部の端から150mm以内)
屋外　・図示による　・(　　)
野縁の間隔
原則　(標仕表14. 4. 2による)
屋外　・図示による　・(　　)
吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　※ 図示による　・ (　　)
天井のふところが3. 0mを超える場合
補強方法　※ 図示による　・ (　　)
天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　・ 図示による　・ (　　)
補強方法　※ 図示による　・ (　　)

「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造を定める件」
(平成25年8月5日　国土交通省告示第771号)に定める特定天井
※ 工法及び適用等　・ 図示による
・ 天井構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/㎡を超える天井
※ 工法及び適用等　・ 図示による
・ 水平でない天井及びシステム天井
※ 工法及び適用等

4 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類　(14. 5. 3)(表14. 5. 1)
標仕表14. 5. 1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類　・ 図示による
スタッドの高さが5. 0mを超える場合　※ 図示による　・ (　　)

5 金属成形板張り

(14. 6. 2～3)(表14. 2. 1)

材種	・アルミニウム　・ (　　)
製法	※ 押出し　・ プレス　・ ロール
寸法	板幅　※ 100　・ (　　)　板厚　※ 1. 0　・ (　　)
形状	・ スパンドレル形　・ パネル形
表面処理等	・　・　・ (　　) ・　・

伸縮調整継手　・ 設ける　・ 設けない

6 アルミニウム製笠木

部材の種類　・ 250形　・ 300形　・ 350形　・ 100形
・ 板折り曲げ形　(本体幅　　mm)
板厚(mm)　※ 2　・ (　　)

表面処理　(14. 7. 2～3)(表14. 2. 1)
被膜等の種類　※ 標仕表14. 2. 1による　・ (　　)
着色 (　　)

R5. 3. 17改定

熊本県建築工事特記仕様書	熊本県土木部建築住宅局住宅課	建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事　登録第　3771号　株式会社　坂本達哉建築設計事務所 一級建築士事務所　熊本県知事　登録第　3731号　株式会社　長野聖二建築設計處
		設計者氏名	一級建築士　大臣　登録第　285008号　坂本達哉 一級建築士　大臣　登録第　294002号　長野聖二
		工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
		図面名称	建築工事特記仕様書 (その4)
		図面番号	A-05

15 左官工事

○ 1 モルタル塗り

モルタル　○現場調合材料　・既調合材料　(15.3.2~5)
(材料:　)
床の下地　○塗付ける　(下地制り　※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)　・　)
(種類　※押し目地　・　)
・設けない

○ 2 仕上塗材仕上げ

厚付け仕上塗材　(15.6.2)(表15.6.1)

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け
・可とう形外装薄塗材SI	・ゆず肌状	・吹付け　・ローラー塗り
・外装薄塗材E	・さざ波状	・ローラー塗り
・可とう形外装薄塗材E	○平たん状	○こて塗り
・防水形外装薄塗材E	・凹凸状	・こて塗り
・外装薄塗材S	・着色骨材砂壁状	・吹付け　・こて塗り
・内装薄塗材C	・砂壁状じゅらく	・吹付け
・内装薄塗材L	・京壁状じゅらく	・吹付け
・内装薄塗材SI		
・内装薄塗材E		
・内装薄塗材W		

現状面性　・適用する　・適用しない
内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放射量　※ F☆☆☆　・(　)

厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装厚塗材C	・吹放し	・吹付け
・外装厚塗材SI	凸部処理	・吹付け
・外装厚塗材E	・平たん状	・こて塗り　・ローラー塗り
・内装厚塗材C	・凹凸状	・こて塗り　・ローラー塗り
・内装厚塗材L	・ひき起こし	・こて塗り　・ローラー塗り
・内装厚塗材G	・かき落とし	・こて塗り
・内装厚塗材SI		
・内装厚塗材E		

複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状等
・複層塗材CE	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
・複層塗材RE	
・複層塗材SI	上塗り材
・複層塗材E	耐候性　・耐候形3種　・(　)
・可とう形複層塗材CE	溶媒　・溶剤系　・弱溶剤系　・水系　・水系
・防水形複層塗材CE	樹脂　・(　)
・防水形複層塗材RE	外観　・つやあり　・つやなし
・防水形複層塗材E	・メタリック

軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・吹付用軽量塗材	・	
・こて塗用軽量塗材	・	

3 マスチック塗料塗り　種別　・A種　・B種　(仕上材塗り:EP－G　※B種・A種)　(15.7.2)(表15.7.1)

4 ロックウール吹付け　(15.12.2~4)

種　類	色　彩	吹付け厚さ
・一般用　・(　)	・着色　・原色	・10　・15　・20　・25

ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放射量　※ F☆☆☆　・(　)

○ 5 保証書の提出

・外装塗材は、施工業者及び指負者との連名で保証期間5年間の保証書を提出すること。

16 建具工事

○ 1 アルミニウム製建具
※建具表による

(16.2.2)(16.2.3~5)(表16.2.1)
性能等級
外部に面する建具　・A種　○B種　○C種　・D種　・E種
・防雪ドア、防雪サッシとする場合　遮音性の等級(　)　※図示による
○断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級(4)　※図示による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級(　)　※図示による

枠の見込み寸法　○建具表による　○70・120
表面処理
外部に面する建具　・BB－1種　○BB－2種　・(　)
皮膜等の種類(※様仕表14.2.1による・　)
着色(　)
屋内の建具　・BC－1種　・BC－2種　・(　)
皮膜等の種類(※様仕表14.2.1による・　)
着色(　)
結露水の処理方法　※図示による　・(　)
水切り板、ぜん板　※図示による　・(　)

○ 2 網戸等　(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
○防虫網	○合成樹脂製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
	※ガラス繊維入り合成樹脂製	・(　)	・(　)
	・ステンレス(SUS316)製		
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

3 樹脂製建具　性能等級　(16.2.2(1))(16.3.2~4)(表16.3.3)
外部に面する建具　・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・防雪ドア、　遮音性の等級(・T-1 ・T-2)　※図示による
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級(・H-3 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8)
※図示による
外部に面する建具　日射熱取得性の等級(・N-1 ・N-2 ・N-3)
枠の見込み寸法　・建具表による　・メーカー仕様による
表面色　・標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示による　・(　)
ガラス　※複層ガラス　・(　)

4 鋼製建具　性能等級　(16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2)
開扉気密型　・適用する　・適用しない　(表16.4.1)
外部に面する建具の耐風圧性　・S－4　・S－5　・S－6　(表16.2.1)
・防雪ドア、防雪サッシとする場合　遮音性の等級(T-1)　※図示による
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級(H-3)　※図示による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級(　)　※図示による

鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	・表16.4.2による

5 鋼製軽量建具　性能等級　(16.2.2)(16.5.2~4)
開扉気密型　・適用する　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S－4　・S－5　・S－6
・防雪ドア、防雪サッシとする場合　遮音性の等級(　)　※図示による
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級(　)　※図示による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級(　)　※図示による

鋼板等　・鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　・様仕表16.5.1による
召合せ、縦小口包み板等の材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金

16 建具工事

6 ステンレス製建具　性能等級　(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5)
開扉気密型　・適用する　・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性　・S－4　・S－5　・S－6
・防雪ドア、防雪サッシとする場合　遮音性の等級(　)　※図示による
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級(　)　※図示による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級(　)　※図示による

ステンレス鋼板　※SUS430J1L、SUS443J1、SUS304　・(　)
表面仕上げ　※HL　・鏡面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ　(16.6.5)

○ 7 木製建具
※建具表による　(16.7.2~4)(表16.7.1)
建具材の加工、組立時の含水率　・A種　・B種

○ フラッシュ戸
表面材の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り　(※ラワン程度　・　) 不透明塗料塗り　(※しな程度　・　) 板面の品質　(　) 接着の程度　(　・1類　・2類　)	
・天然木化粧合板	樹種名　(　) 接着の程度　(　・1類　・2類　)	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法　(・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能　(　)タイプ 接着の程度　(　・1類　・2類　)	
・MDF	表裏面状態による区分　・(　) 曲げ強さによる区分　・(　) 接着剤による区分　・(　) 難燃性による区分　・(　)	

ホルムアルデヒド放射量　※ F☆☆☆☆　・(　)
表面板の厚さ　・様仕表16.7.6による　・(　)

8 建具用金物
※建具表による　(16.4.6)(16.8.4)
・マスターキー　・製作する　(　・新規　・既存におわせる　)　・製作しない
・シリンダー錠能
・レバーハンドル　材質　・アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
座金　・丸座　・長座
・ドアクローザー
・Grade1　・Grade2
材質　・アルミニウム合金

標準型建具以外の建具　(表16.8.1)(16.8.2)
・マスターキー　・製作する　(※新規　既存におわせる)　・製作しない
・シリンダー錠能
・レバーハンドル　材質　・アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
座金　・丸座　・長座
・握り玉　材質　・ステンレス
・本締り能　耐じん性能(　)
・空錠
※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
座金　※丸座　・長座
・握り玉　材質　※ステンレス
・グレモン錠
レバーハンドルの材質　※亜鉛合金　・ステンレス
・点検口錠(平座ハンドル錠)
材質　※ステンレス　・亜鉛合金程度
・非常錠
・ピボットヒンジ
カバー部の材質　・ステンレス　・亜鉛合金
・フロアヒンジ
・Grade1　・Grade2
カバー部の材質　・ステンレス
・ヒンジクローザー(丁番形)
材質　・鋼(焼付け塗装)
・ヒンジクローザー(ピボット形)
材質　・鋼(焼付け塗装)
・ドアクローザー
・Grade1　・Grade2
材質　・アルミニウム合金　*印建具金物の製造所は評価名簿による
・閉鎖順位調整器
材質　※ステンレス　・鋼製
・押棒、押板
材質　・ステンレス　・黄銅　・合成樹脂
・アームストッパー
材質　・鋼(クロムめっき)　・ステンレス
・クレセント
材質　※建具製造所の仕様による
・換気オペレーター　(　・施込　・露出　)
・レール
材質　・ステンレス　・アルミニウム合金　・黄銅

9 錠前　形式　・30本　(　個)　・120本　(　個)　(　個)　(16.8.4)
鋼製市販品とし、監督員の承諾による。

10 自動ドア開閉装置　(16.9.2~3)
引き戸用駆動装置
性能値　・標準仕様書16.9.1
・種類、開閉方法　(　)　・耐電圧　(　)
・湿度上昇　(　)　・耐久性(サイクル)　(　)
・防錆　(　)　・電源　(　)

多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値　・標準仕様書16.9.2
・耐電圧　(　)　・湿度上昇　(　)
・耐久性(サイクル)　(　)　・防錆　(　)
・電源　(　)

引き戸用検出装置
性能値　・標準仕様書16.9.3
・耐電圧　(　)　・防錆　(　)
・防錆　(　)　・電源　(　)

戸の開閉方式
・建具表による　・
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書16.9.4
・建具表による　・
凍結防止措置
・適用する　・適用しない

11 自閉式上吊り引戸装置　性能　※様仕表16.10.1による　(16.10.2~3)(表16.10.1)

16 建具工事

12 重量シャッター　(16.11.2~4)(表16.11.1)

種類	シャッターケース	耐風圧強度(Pa)	開閉形式	備考
・管理用シャッター	・設ける ・設けない	・1600 ・(　)	※電動式 (手動併用) ・手動式	
・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター	※設ける			※危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式

電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置一の設置箇所
・図示　・(　)
電動シャッターの障害物感知装置一の設置箇所
・図示　・(　)
屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所
・図示　・(　)

スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量　※Z12又はF12　・(　)
電動式の場合の電源　※三相200V　0.75kw以下(遠電流保護装置付)
・(　)
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

13 軽量シャッター　(16.12.2~4)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度(Pa)
※手動式 ・電動式 (手動併用)	※設ける ・設けない	・1600 ・(　)

スラットの材質	めっき量
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z06又はF06
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板)	※AZ90

スラットの形状	ガイドレール・座金の材質
・インターロッキング形	・ステンレス(SUS304)
・オーバーラッピング形	・溶融亜鉛めっき鋼板

電源　※単相　100V　(通電流保護装置付)　・(　)
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。
※障害物感知装置(自動開鎖型)

14 オーバーヘッドドア　(16.13.2~3)

セクション材料による区分	耐風圧(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・1600 ・(　)	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※ステンレス鋼板(SUS304) ※溶融亜鉛めっき鋼板

○ 15 ガラス　(16.14.2)
○ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
○ 建具表による

○ 型板ガラスの厚さによる種類
○ 建具表による

○ 網入りガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
○ 建具表による

○ 合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
○建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ－1類　・Ⅱ－2類　・Ⅲ類

○ 強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称　○建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅲ類

・ 熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類　・建具表による
性能による種類　・1類　・2類

○ 複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ　○建具表による
断熱性による区分　・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分　・G　・S
乾燥気体の種類　・空気　・アルゴン

・ 熱線反射ガラス　(16.14.2)(16.14.4)
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　・建具表による
日射熱遮蔽性による区分　・1種　・2種　・3種
耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)　・A類　・B類

・ 倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.3)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材　・(　)	
ステンレス製	・シーリング材　・(　)	
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル	

ガラスブロック積み
JIS A 5212によるもの又は評価名簿によるもの　(16.14.5)

表面形状	寸法	厚さ	色調	防火認定	備考
				・なし ・防火設備	

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等　・図示による

2 メタルカーテンウォール
カーテンウォールの材料　(17.2.2)

材料	規格	表面処理	映像調整
※アルミニウム製 ・ステンレス	※様仕16.2.3による ・(　)	皮膜の種類 (※様仕表14.2.1による) 着色(　)	・行う ・行わない

製品及び取付位置の寸法許容差　※様仕表17.2.1~3による
ガラス溝の寸法、形状　※製造所の仕様による
シーリング材の種類　・(　)
ガラスの取付方法　・(　)

3 PCカーテンウォール　(17.3.2~5)
カーテンウォールの材料
コンクリート　種類　(　)
※様仕17.3.2(1)(ア)~(ケ)による
鉄筋　※295A　(・D13 ・D10)
補強鉄線　径(mm)　・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法　・
配筋　※図示による
先付けの材料　・サッシ枠　・ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ剤　・磁器質タイル　・石材(　・花こう岩　・大理石　)
ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・h=1~+2、W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差　※様仕表17.3.1~2による　・(　)

18 塗装工事

○ 1 材料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
次の箇所を除き防火材料とする。　(箇所:　)

○ 2 素地ごしらえ　(18.2.2~7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面	耐候性塗り(DP)の場合	※C種　・A種　・B種
	耐候性塗り(DP)以外の場合	※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面　注)		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	耐候性塗り(DP)の場合	※B種　・A種　・C種
	耐候性塗り(DP)以外の場合	・B種　・A種　・C種
せっこうボード面及び	目地:縦目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地:縦目処理工法以外	※B種　・A種

注)亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種別

種別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具の場合又は2溶形ポリウレタンエナメル塗 若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗の場合
B種	A種以外

○ 3 錆止め塗料塗り　塗料種別　(18.3.2)(表18.3.1)

下地面等		塗料の種別	備考
鉄鋼面	SOP	A種	
	DP	C種(1回目)、D種(2・3回目)	
	EP－G	※A種　・B種	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種　(工程を表18.5.3のB種とする場合はB種)	
	DP	B種	
	EP－G	C種	

工種　(18.3.3)(表18.3.3~6)

下地面等			工種の種別	備考
鉄鋼面	SOP	見え掛り部分	※A種　・B種	
	EP－G	見え隠れ部分	※B種　・A種	
	DP		※表16.3.4による	
亜鉛めっき鋼面	SOP	鋼製建具等	※A種　・B種	
	EP－G	その他	※B種　・A種	
	DP		※表18.3.6による	

○ 4 塗装　(18.4.1~18.4.2)

塗装		種別	塗料の種類
○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	※1種　・2種
	木部屋内	※B種　・A種	※1種　・2種
	鉄鋼面	※B種　・A種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	―	※1種　・2種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	―
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	―
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り等級(　)級
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り等級(　)級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種　・B種 ・C種	―
○つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP－G)	コンクリート面等	※B種　・A種	―
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	―
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	―
○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	―
・ステイン塗り	・ビグメントステイン塗り		
	・オイルステイン塗り		
○木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	―

19 内装工事

○ 1 接着剤
ホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(19.2.2)

○ 2 ビニル床シート　(19.2.3~3)

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
○発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)	○無地 ○マーブル柄	・帯電防止 ○耐防通直性	※2.0	※熱溶接 ・突付け
・発泡層のあるもの		・無地 ・柄物	・防滑性 耐薬品性		

目地処理する場合の工法　・熱溶接工法　・

3 ビニル床タイル　(19.2.2)

JIS記号	色柄	寸法	厚さ	特殊機能
※KT(コンポジションビニル床タイル) ・(　)	・無地 ・柄物	※300角 ・450角	※2.0 ・2.5 ・3.0	・帯電防止 ・防滑性

4 視覚障害者用床タイル　(19.2.2)(19.2.2)

	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	・図示による　・(　)	・300角	・(　)
屋外	・図示による　・(　)	・300角	・(　)

ブロックパターンはJIS T 9251による

5 ビニル幅木　(19.2.2)

材種	厚さ	高さ
※軟質　・硬質	※1.5以上	※60　・75　・100

R5.3.17改定

熊本県建築工事特記仕様書	熊本県土木部建築住宅局住宅課	建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事　登録第　3771号　株式会社　坂本建鼓建築設計事務所 一級建築士事務所　熊本県知事　登録第　3731号　株式会社　長野聖二建築設計處
		設計者氏名	一級建築士　大臣　登録第　285008号　坂本達鼓 一級建築士　大臣　登録第　294002号　長野聖二
		工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
		図面名称	建築工事特記仕様書　(その5)
		図面番号	A-06

19 内装工事

5 ゴム床タイル

(19. 2. 2)

色柄	種類	厚さ	寸法(mm)
・(　)		・3.0　・4.5　・6.0　・9.0	・(　)

6 カーペット敷き

・タイルカーペット　(19. 3. 1～3)

パイルの形状	種別	寸法	織厚さ(mm)	色柄	帯電性
※ ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用	※ 第一種 ・第二種	※ 500角 ・(　)	※ 6.5 ・(　)	※ 無地 ・柄物	※ 3KV以下 ・その他

タイルカーペットの敷き方　平張　※ 市松敷き　・横横流し　階段部分　※ 横横流し　・市松敷き

見切り、押え金物　・適用する　(材質、形状等 ※図示　・　)　・適用しない

○ 7 合成樹脂塗床

(19. 4. 2～3)(表19. 4. 1．～8)

種別	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		※ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材		※ 平滑仕上げ
○ (JIS規格塗床コンクリート・スティン塗料)	○ 硬化コンクリート塗布工法	

8 フローリング張り

間伐材の運用　・適用する　・適用しない

フローリング張り　(19. 5. 2～5)(表19. 5, 1～6)

種類	工法	厚さ、幅、長さ	樹種	仕上塗装
・フローリング ボード1等	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り)	15×75×400 15×100×200	・ひのき ・杉	・塗装品 ・無塗装品
・フローリング ブロック1等	・接着	8×75×400 ・(　)	・ひのき ・なら	
○ 複合フローリング	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張・ ○ 接着	・A種 ・B種 ・C種	・ひのき ・なら	

ホルムアルデヒド放出量　※ F☆☆☆　・(　)

接着工法の場合の裏面緩衝材　※ 合成樹脂発砲シート　・(　)

9 畳敷き

(19. 6. 2)(表19. 6. 1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種　(畳床:　・KT一　)

下地の種類　・張仕表12. 6. 1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン)

・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

○ 10 せっこうボード その他ボード及び合板張り

(19. 7. 2～3)(表19. 7. 1)

規格名称	種類	厚さ等
・木質系セメント板		
・繊維強化セメント板		・
・火山性ガラス質複層板		
・繊維板		
・パーティクルボード		
・吸音材料		
○ せっこうボード製品	石膏ボード・耐水石膏ボード	12.5

普通合板
- 表板の樹種名　・(　)
- 板面の品質　・(　)
- 厚さ　・(　)
- 防虫処理　・行う　・行わない

天然木化粧合板
- 化粧板の樹種名　・(　)
- 厚さ　・(　)
- 防虫処理　・行う　・行わない

特殊加工化粧合板
- 化粧加工の方法　・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・(　)
- 表面性能　・(　)
- 厚さ　・(　)
- 防虫処理　・行う　・行わない

天井のボードの直ね張り　・行う　・行わない
合板類の張付け　・A種　・B種
せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・継目処理工法

○ 11 壁紙張り

(19. 8. 2)

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)
事務所	ビニールクロス	・不燃　・準不燃	サンゲツ　AA級程度
カフェ　トイレ天井	ビニールクロス	・不燃　・準不燃	サンゲツ　AA級程度
カフェ　収納天井	ビニールクロス	・不燃　・準不燃 ・不燃　・準不燃 ・不燃　・準不燃	サンゲツ　AA級程度

商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

12 断熱材

(19. 8. 3)

床断熱	・A種　※ B種
せっこうボード面	・A種　※ B種
コンクリート及びALC面	・A種　※ B種

○ 断熱材打込み工法　(19. 9. 2)

種類		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリエチレンフォーム断熱材		
○ 押出法ポリエチレンフォーム断熱材(スキンなし)	基礎スラブ　基礎立上り	
・硬質クレークンフォーム断熱材		
○ フェノールフォーム断熱材	屋根	

・断熱材現場発泡工法　(19. 9. 3)

種類	厚さ(mm)	施工箇所
○ 1種2号D	・ 8	※ 図示による
○ HG14-38	・ 105	※ 図示による
○ 3種bA	・ 65	※ 図示による

20 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材　(20. 2. 2)

構法	・パネル構法　・張構法
寸法(mm)	・450角以上600角以下
高さ(mm)	・100　・110　(床版から仕上材天端までの寸法)
耐震性能	・1. 0G　・0. 6G　・(　)
所定荷重(N)	・3000　・5000　・(　)
帯電防止性能	・0. 6以上　・1. 2以上　・(　)
鳴えい拡充	・(　)

試験方法　(20. 2. 2)

耐荷重性能	変形(mm)	※ 5. 0以下　・(　)
	残留変形(mm)	※ 3. 0以下　・(　)
耐衝撃性能	残留変形(mm)	※ 3. 0以下　・(　)
	損傷	※ なし　・(　)
ローリングロード性能	残留変形(mm)	※ 3. 0以下　・(　)
耐燃焼性能	不燃材料	※ 指定又は認定　・(　)
	残炎時間(秒)	※ 0　・(　)

寸法精度　※張仕20. 2. 2(オ)による　・(　)

2 可動間仕切

(20. 2. 3)

構造形式	構成基材の種類 スタッド	パネル	遮音性能 線厚さ(mm)	遮音性能 (db)
・スタッド式(内張)	・アルミ	・木質系	※ 30以上	・0
・スタッド式(露出)	・スチール	・スチール系	・(　)	・12
・パネル式		・ガラス系	※ 60以上	・20
・スタッドパネル式		・アルミニウム合金系	・(　)	・28 ・36

3 移動間仕切

表面仕上げ材　(20. 2. 4)

材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ
・鋼板 ・(　)	・0. 6 ・0. 8	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り

パネル内に取り付ける建具　・あり(※図示による)　・なし

(20. 2. 4)

操作方法	圧縮装置 操作方法	線厚さ(mm)	表面仕上げ材 材質	表面仕上げ材 パネル表面仕上	遮音性能 (db/500Hz)
・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	※ 60遮度 ・100遮度	・鋼板	※ 焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上

4 トイレブース

(20. 2. 5)

表面材の種類	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同等

○ 5 手すり

(20. 2. 6)

材料の種類	表面仕上げ	直径(mm)	備考
・タモ	・クリアラッカー	・35	・1段手すり
○ ステンレスパイプ	・HL	・45	・2段手すり
・フラットバー	・EP-G　・リン酸処理	・(　)	(指づめ防止材共)
・ビニル製ハンドレール	・		

6 階段滑り止め

(20. 2. 7)

材種	幅(mm)	取付工法
・ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り	※ 36	※ 接着工法 ・(　)　・(　)

7 床目地棒

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。　(20. 2. 8)

・ステンレス製　型　(3×15)

・ステンレス製　6×12　・黄銅製　6×12

8 ホワイトボード

(20. 2. 9)

種類	取付方法	形状	備考
ほうろう白板	直付け	・平面 ・曲面	マーキングペン 受け付き

9 タラップ

(20. 2. 12)

種類	仕上げ	備考
※ ステンレス製(SUS304) ・(　)	※ 研磨なし ・(　)	

10 煙突ライニング

材料　(20. 2. 13)

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　・400℃　・650℃　・(　)

工法

・(　)

11 ブラインド

(20. 2. 14)

形式	※ 横型ブラインド	・縦型ブラインド
開閉方式	※ ギヤ式　・コード式　・操作棒式	※ 2本操作コード方式
スラットの幅	※ 25　・35	・80　・100

○ 12 ロールスクリーン

(20. 2. 15)

材質	操作方式	備考
※ ポリエステル ・繊 ・ガラス繊維	※ チェーン式 ・プルコード式 ・電動式	

13 カーテン

(20. 2. 16)(表20. 2. 1)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別 品質、特殊加工
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・(　)

14 カーテンレール

レール及びブラケットの独さによる区分　・10～90　・(　)　(20. 2. 16)

レールの材料による区分　・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成形材

・(　)

仕上げ　・アルマイト　・(　)

形状　・角型　・(　)

フック　・鋼製　・樹脂製

15 カーテンボックス

材質　・アルミニウム製既製品　(　・シルバー　・

・鋼製

・木製

着色　)

20 ユニット及びその他工事

・ 16 コーナービード(壁ボード出隅保護金物)

材質　・アルミニウム押出形材挿込型

・シルバー　・焼付　・(　)

・コーナー保護金物付きジョイントテープ

・硬質樹脂

・ 17 天井見切縁

材質　・アルミニウム押出形材

・塩化ビニル製

施工箇所　※ 仕上表による　・(　)

○ 18 点検口

形式	材種	寸法	形式	備考
天井	○ アルミニウム製	○ 450角	○ 一般形	○ 額付き
	・	・600角		
床	・アルミニウム製目地	・450角		
	・ステンレス鋼製目地	※ 600角		

19 収納・収納家具

合板類

ホルムアルデヒド放出量　※ F☆☆☆　・(　)

ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボード

○ 20 消火器ボックス

※ 市販品(埋込みタイプ)

材質	仕上	寸法	扉	表示
※ 鋼製	※ 焼付塗装 ・	※ W300×H900程度	※ 有り	※ 絵・文字表示 ・

21 ステンレス流し台

※ 市販品　・個人住宅部品(セクショナルキッチン)

上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

・ 22 コンロ台

※ 市販品　・個人住宅部品(セクショナルキッチン)

テーブルトップはステンレス製、バックガード　(　※ 有り　・ 無し　)

・ 23 吊戸棚

※ 市販品　・個人住宅部品(セクショナルキッチン)

・ 24 水切棚

※ 既製品ステンレス製一般型　・(　)

25 くつふきマット

材種　・ステンレス製ノンスリップ型　(踏金物　ステンレス製)

・硬質アルミニウム製　(踏金物　硬質アルミニウム製)

・塩化ビニル製またはゴム製　(踏金物　ステンレス製)

26 旗竿

材種	形状	操作方法	固定方法	備考
※ アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式	・ロープ式 ・ハンドル式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

27 旗竿受金物

材種　※ ステンレス製(SUS304)

28 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス

・複層強化メッシュフェンス

・鋼管フェンス

・アルミフェンス

29 敷地境界標

・花こう岩(文字記号入り)

・コンクリートブロック製の市販品程度

・金属製(高ちゅう製50角　アンカー共)

30 止水板

形状　・整込式　・据置式　・整備引式

21 排水工事

○ 1 屋外雨水排水管

材種　・遠心力鉄筋コンクリート管　(21. 2. 1)(表21. 2. 1)

○ 硬質ポリ塩化ビニル管　(　※ VP　・ VU　・ RS-VU　)

・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管

2 鋳鉄製ふた

鋳鉄製マンホールふた　(21. 2. 1)

種類	適用荷重	錠
・水封形 ・簡易密閉形(パッキン形) ・密閉形(テーパ・パッキン形) ・中ふた付き密閉形(テーパ・パッキン形)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 ・	・有り ・無し

上記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE－S209による。

※ 鉄面には用途別の識別文字付きとする。

3 グレーチング

(21. 2. 1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	目あわっき (付着量)	上面形状
・鋼製 ホールふた ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(縦断用) ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	・鋼め ・(　) ・普通目 ・鋼め	・(　)	・凹凸形 ・(　) ・平形

4 埋戻し土

※ B種　・(　)

22 舗装工事

1 路床

路床の材料　(22. 2. 2～3)(表3. 2. 1)

種別	材料
盛土	・A種　・B種　・C種　・D種
凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)
路床安定処理用	・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種
添加材料	・フライアッシュセメントB種　・生石灰(特号)　・生石灰(1号) ・消石灰(特号)　・消石灰(1号)

試験　(22. 2. 5)

砂の粒度試験　・行う　・行わない

路床度の支持力比(CBR)試験　・行う　・行わない

路床締固め度の試験　・行う　・行わない

2 路盤

路盤の材料　(22. 3. 3)

・砕石　C-40

・再生クラッシャラン　RC-40

・クラッシャラン鉄鋼スラグ　CS-40

試験　(22. 3. 5)

路床締固め度の試験　・行う　・行わない

22 舗装工事

○ 3 アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類　(22. 4. 4)

一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物(13)	○ 遮水性改質アスファルト舗装
	・細粒度アスファルト混合物(13)	

シールコートの乳剤の種別　・PK-1　・PK-2　(22. 4. 5)

試験　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない　(22. 4. 6)

4 コンクリート舗装

早強セメント　・使用しない　・使用する　(22. 5. 3)

溶接金網　・使用しない　・使用する

試験　コンクリート版の厚さの試験　・行う　・行わない　(22. 5. 6)

5 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　(22. 8. 2～3)

・インターロッキングブロック舗装

○ 6 車止め

車止め用既製コンクリート　W200×L600×H120　小型反射板付き

全面挟着アンカー併用固定(据り込み30mm埋め込み65mm以上)

○ 7 区画線等

トラフィックペイント　JIS規格品

※ 溶融型　(ア1. 5)　・加熱型　(ア1. 0種度)

区画線幅　※ 150　・(　)

・身障者専用駐車スペース表示　(1300角)

・駐車スペースナンバー表示　(350角)

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度(pH)試験　・行う　・行わない　(23. 1. 3)

水溶性塩類(EC)の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備

土壌改良材　・適用する　(指定基:　)　・適用しない　(23. 2. 2)

3 植込み用土

・地段発生土の良質土　・客土　(23. 2. 3)

4 土壌改良材

・適用する(施工範囲　・図示による)　(23. 2. 3)

○ 5 芝

種類　・ヨウライ芝　・ノシバ　(23. 4. 2)

6 樹木札

図示による

○ 7 枯損樹木などの植替え

○ 引渡し日から1年

・(　)

8 その他

上記以外は、熊本県営都市緑地植栽工事仕様書　(平成9年版)　による。

工事区分

別表－1の記入上の注意　該当箇所は●(黒塗り)とし該当しない工事内容及び区分欄は斜線消去すること

別表－1　設備工事との工事区分表

工事内容			建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎 屋内		○		
		配電盤・制御盤の基礎 屋外		○		
		配電盤・制御盤の基礎 屋上	○			
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	○			
		テレビアンテナ基礎(　#　)	○			
		避雷針の基礎(　#　)	○			
	機械関係	屋内設置(架台、アンカーボルトを除く)			○	
		屋上設置(　#　)	○			
		屋外設置(　#　)			○	
	架台、アンカーボルト				○	
	特記した基礎		○			
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの		○	○	
	貫通スリーブ	補強を要しないもの		○	○	
	梁、床、壁	補強を要するもの	○			
	貫通部型枠	補強を要しないもの	○			
	鉄骨梁有下地、鋼、	補強を要するもの	○			
	天井ボード貫の切込	補強を要しないもの(アウトレットボックスは除く)	○			
	吸込形分電盤、	補強を要するもの	○			
	端子盤等の型枠	補強を要しないもの	○			
	上記開口部の補強		○			
	上記開口部の墨出し			○	○	
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)			○	○	
	フリーアクセスフロア用配線器具		○			
点検口	床、壁、天井		○			
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		○			
器具底のフード			○			
換気扇の取付枠				○		
流し台	排水トラップ共		○			
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	自家発用		○		
	タンク基礎	空調用			○	
床下水槽のマンホールふた			○			
屋外排水管	雨水		○			
	汚水、雑排水				○	
雨水立管　(たてどい)			○			
トイレ手すり					○	
化粧かぶら					○	
ほの込形長型番用カウンター (施板共)			○			
ガスボンベ転倒防止用の鋼					○	
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御盤と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ		○			
	防火扉レリーズ			○		
	電極棒				○	
	配線ピット及びふた		○			
	機器などへの接続　(1次側)			○		
	機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管　(接地共)				○	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○		
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配線配線			○		
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線			○		
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの渡り配管　(接地共)			○		
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの渡り配線				○	
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチ				○	
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの端込ボックス			○		
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)				○	
	煙感知器から遠動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線			○		
	小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線				○	
ガス漏れ検知器				○		
電気錠	電気錠及び通電金具		○	(○)		
	TEN等一及び制御盤		(○)	○		
エレベーター出入口三方枠　(左側)			○	(○)		
エレベーター出入口三方枠　(右側)			○	(○)		
シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン			○			
システム天井	ボード・Tバー		○			
	照明ライン設備プレート			○		
	空調ライン設備プレート				○	

R5. 3. 17改定

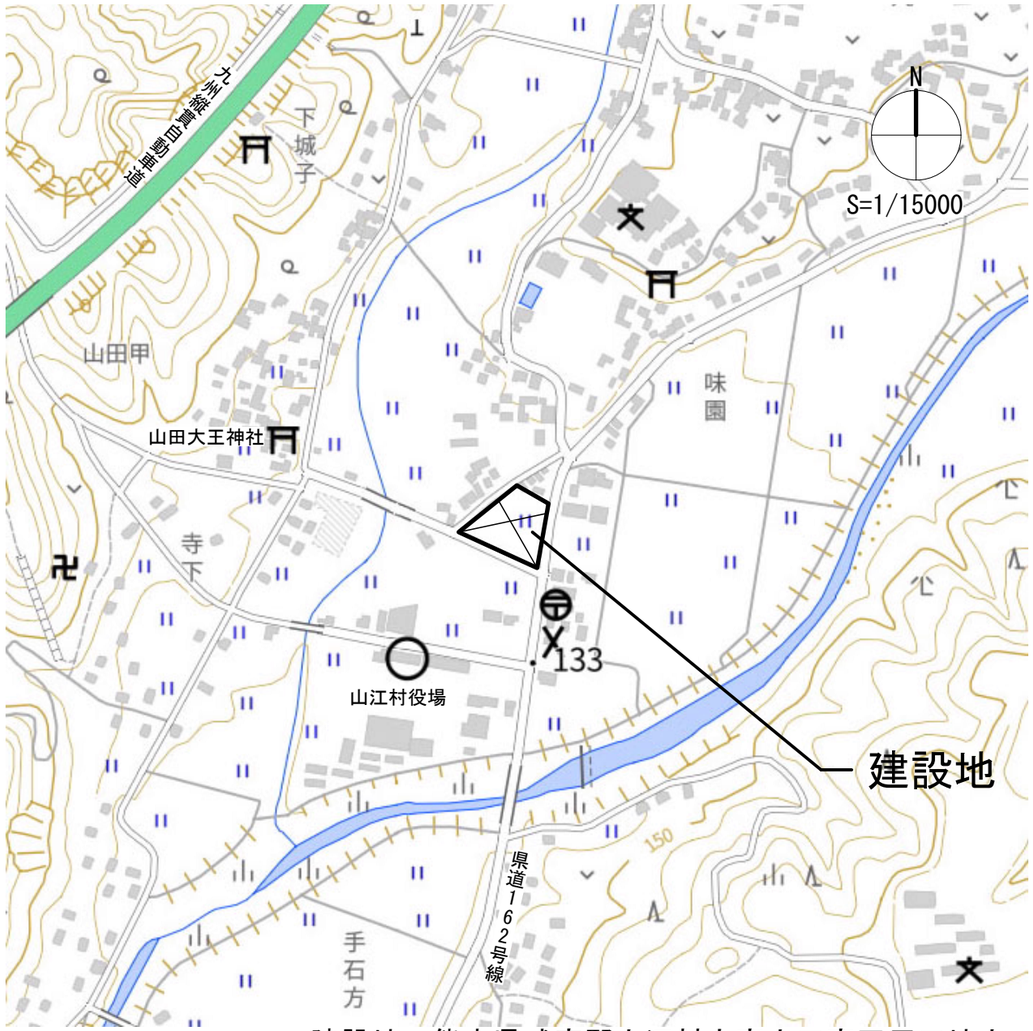
熊本県建築工事特記仕様書

熊本県土木部建築住宅局住宅課

建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事　登録第　3771号　株式会社　坂本達哉建築設計事務所 一級建築士事務所　熊本県知事　登録第　3731号　株式会社　長野聖二建築設計室	工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
設計者氏名	一級建築士　大臣　登録第　285008号　坂本達哉 一級建築士　大臣　登録第　294002号　長野聖二	図面名称	建築工事特記仕様書　(その6)
		図面番号	A-07



広域図



建設地　熊本県球磨郡山江村大字山田字五反田地内

付近見取図

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	付近見取図		2025. 9. 30	A-08

地番	①1384-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
72250	-83351.295	-21871.017	-0.090	1968.391530
72294	-83369.145	-21824.948	-37.710	823018.789080
72331	-83389.005	-21827.699	0.090	-1964.492910
72292	-83369.055	-21878.017	37.710	-825020.021070
			倍面積	-1997.333370
			1/2	998.666685
			地積	998.66㎡

地番	②1386-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
70421	-83327.175	-21861.767	8.361	-182786.233887
72237	-83342.934	-21821.358	-41.970	915842.395260
72294	-83369.145	-21824.948	-8.361	182478.390228
72250	-83351.295	-21871.017	41.970	-917926.583490
			倍面積	-2392.031889
			1/2	1196.015945
			地積	1196.01㎡

地番	③1387-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
70355	-83301.924	-21852.177	18.601	-406472.344378
70373	-83308.574	-21847.427	-7.750	169317.559250
70377	-83309.674	-21846.427	-2.600	56800.710200
70382	-83311.174	-21842.877	-10.090	220394.628930
70461	-83319.764	-21817.988	-10.240	223416.197119
70463	-83321.414	-21818.338	-23.170	505530.891460
72237	-83342.934	-21821.358	-5.761	125712.843439
70421	-83327.175	-21861.767	41.010	-896551.064670
			倍面積	-1850.578649
			1/2	925.289325
			地積	925.28㎡

地番	④1390-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
70368	-83305.924	-21864.526	4.650	-101670.045900
70364	-83303.724	-21861.276	5.150	-112585.571400
70352	-83300.774	-21855.977	1.500	-32783.965500
70358	-83302.224	-21854.727	-16.201	354068.432127
70392	-83316.975	-21860.617	-6.150	134442.794550
70372	-83308.374	-21868.226	11.051	-241665.765526
			倍面積	-194.121649
			1/2	97.060825
			地積	97.06㎡

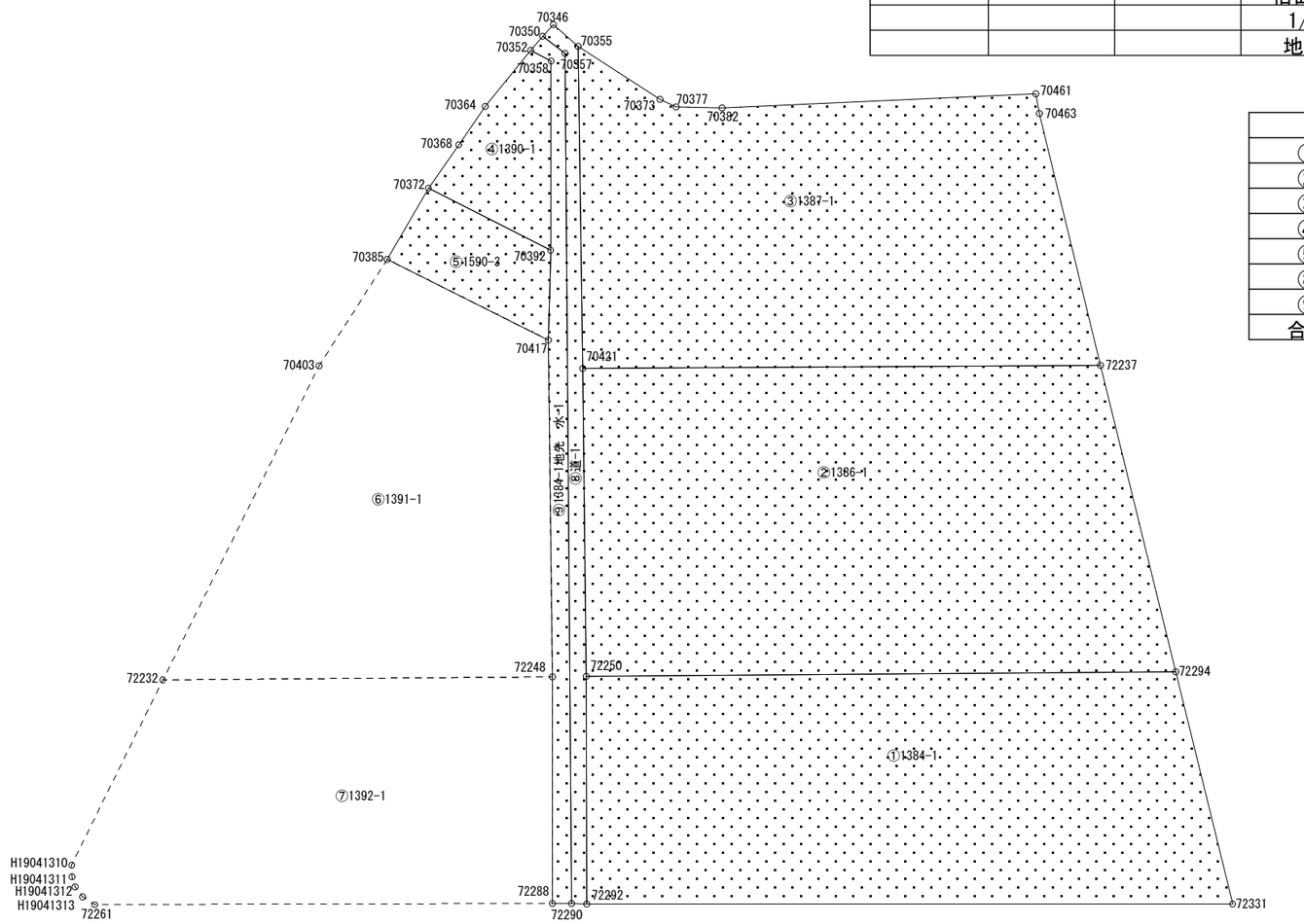
地番	⑤1590-3			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
70372	-83308.374	-21868.226	-4.350	95126.783100
70392	-83316.975	-21860.617	-15.551	339954.454967
70417	-83323.925	-21863.567	4.350	-95106.516450
70385	-83312.625	-21873.626	15.551	-340156.757926
			倍面積	-182.036309
			1/2	91.018155
			地積	91.01㎡

地番	⑥1391-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
70403	-83318.825	-21882.226	25.870	-566093.186620
70385	-83312.625	-21873.626	-5.100	111555.492600
70417	-83323.925	-21863.567	-37.670	823600.568890
72248	-83350.295	-21873.667	-14.570	318699.328190
72232	-83338.495	-21904.126	31.470	-689322.845220
			倍面積	-1560.642160
			1/2	780.321080
			地積	780.32㎡

地番	⑦1392-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
72232	-83338.495	-21904.126	-0.189	4139.879814
72248	-83350.295	-21873.667	-29.460	644398.229820
72288	-83367.955	-21880.667	-3.611	79011.088536
72261	-83353.906	-21916.376	15.020	-329183.967520
H19041313	-83352.935	-21917.074	1.995	-43724.562630
H19041312	-83351.911	-21917.336	1.893	-41489.517049
H19041311	-83351.042	-21917.276	1.805	-39560.683180
H19041310	-83350.106	-21916.931	12.547	-274991.733256
			倍面積	-1401.265464
			1/2	700.632732
			地積	700.63㎡

地番	⑧道-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
70357	-83302.074	-21853.427	68.531	-1497637.205737
70350	-83300.024	-21854.627	2.600	-56822.030200
70346	-83299.474	-21853.427	-1.900	41521.511300
70355	-83301.924	-21852.177	-27.701	605327.155078
70421	-83327.175	-21861.767	-49.371	1079337.298557
72250	-83351.295	-21871.017	-41.880	915958.191960
72292	-83369.055	-21878.017	-17.260	377614.573420
72290	-83368.555	-21879.167	66.981	-1465488.484827
			倍面積	-188.990450
			1/2	94.495225
			地積	94.49㎡

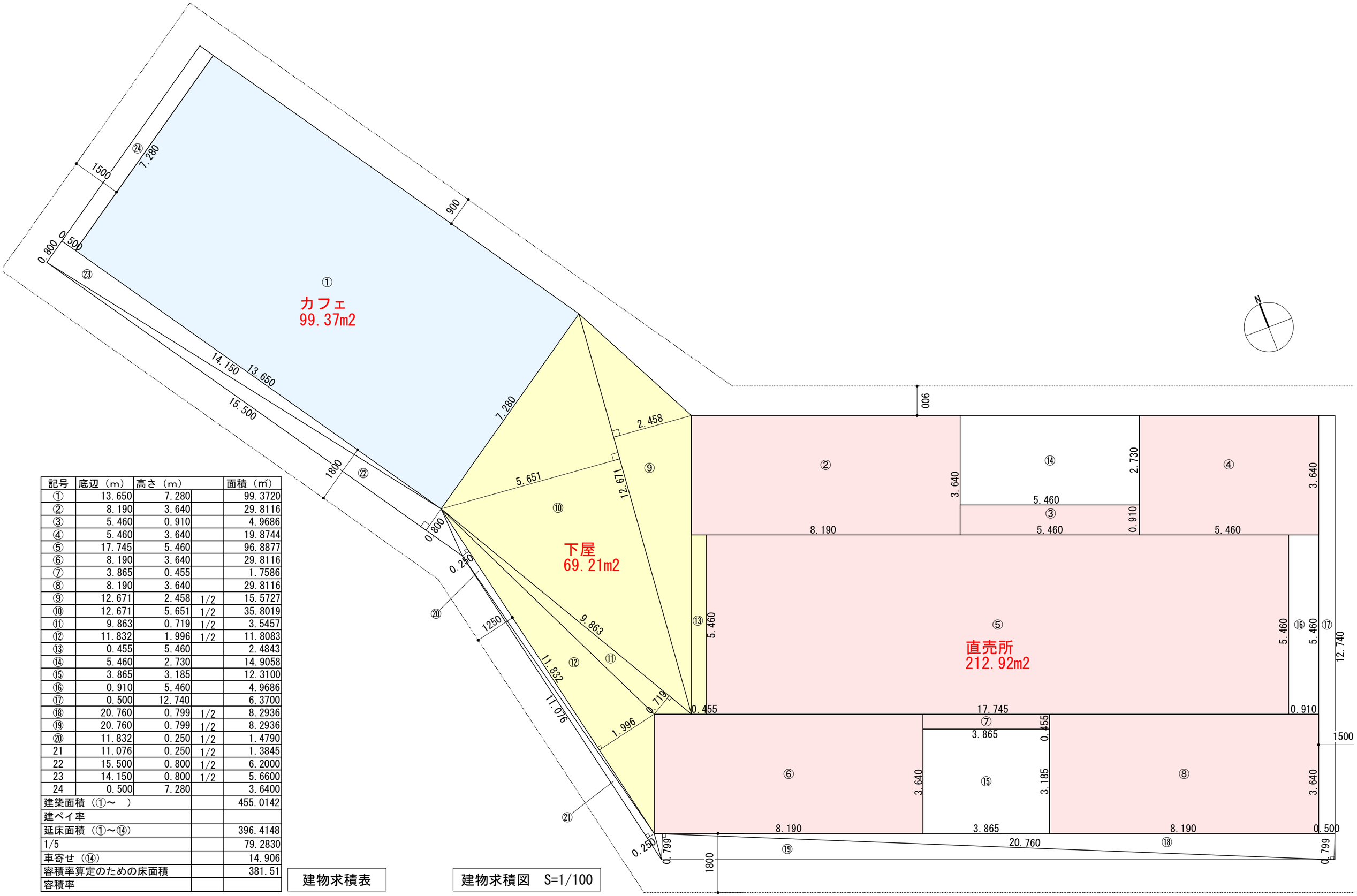
地番	⑨1384-1地先　水-1			
NO	Xn	Yn	Xn+1- Xn-1	Yn(Xn+1- Xn-1)
72288	-83367.955	-21880.667	18.260	-399540.979420
72248	-83350.295	-21873.667	44.030	-963097.558010
70417	-83323.925	-21863.567	33.320	-728494.052440
70392	-83316.975	-21860.617	21.701	-474397.249517
70358	-83302.224	-21854.727	16.201	-354068.432127
70352	-83300.774	-21855.977	2.200	-48083.149400
70350	-83300.024	-21854.627	-1.300	28411.015100
70357	-83302.074	-21853.427	-68.531	1497637.205737
72290	-83368.555	-21879.167	-65.881	1441421.401127
			倍面積	-211.798950
			1/2	105.899475
			地積	105.89㎡



	敷地面積（m2）
①	998.66
②	1196.01
③	925.28
④	97.06
⑤	91.01
⑧	94.49
⑨	105.89
合計	3508.40

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	敷地求積図	1/500	2025.9.30	A-09



記号	底辺（m）	高さ（m）		面積（㎡）
①	13.650	7.280		99.3720
②	8.190	3.640		29.8116
③	5.460	0.910		4.9686
④	5.460	3.640		19.8744
⑤	17.745	5.460		96.8877
⑥	8.190	3.640		29.8116
⑦	3.865	0.455		1.7586
⑧	8.190	3.640		29.8116
⑨	12.671	2.458	1/2	15.5727
⑩	12.671	5.651	1/2	35.8019
⑪	9.863	0.719	1/2	3.5457
⑫	11.832	1.996	1/2	11.8083
⑬	0.455	5.460		2.4843
⑭	5.460	2.730		14.9058
⑮	3.865	3.185		12.3100
⑯	0.910	5.460		4.9686
⑰	0.500	12.740		6.3700
⑱	20.760	0.799	1/2	8.2936
⑲	20.760	0.799	1/2	8.2936
⑳	11.832	0.250	1/2	1.4790
21	11.076	0.250	1/2	1.3845
22	15.500	0.800	1/2	6.2000
23	14.150	0.800	1/2	5.6600
24	0.500	7.280		3.6400
建築面積（①～　）				455.0142
建ペイ率				
延床面積（①～⑭）				396.4148
1/5				79.2830
車寄せ（⑭）				14.906
容積率算定のための床面積				381.51
容積率				

建物求積表

建物求積図　S=1/100

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	建物求積図		2025.8.29	A-10

建築概要

工事場所：熊本県球磨郡山江村大字山田字五反田地内		屋根	垂木180×45@455	水切	ガルバリウム鋼板 t=0.4（通気用）	断熱材	屋根　吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ A種3　厚120	雑工事	
主要用途：店舗　規模：木造平屋建て			通気21×45　構造用合板 t=12		WN防鼠付ｽﾘﾑ水切り		（ﾌｫｰﾑﾗｲﾄSL-100　同等品）		
防火地域：無指定			ゴムアスルーフィング		WMF-S40（城東ﾃｸﾉ　同等品）		熱伝導率 0.040		
工事種別：新築　工法：在来工法　基礎：ベタ基礎			ガルバリウム鋼板 t=0.4　竪ハゼ葺	巾木	モルタル刷毛引き		壁　吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ A種3　厚75		
外壁1	構造用合板 t=12　透湿防水シート	軒天	杉板 t=12貼　木材保護塗装	ふれあい広間	コンクリート洗い出シ		（ﾌｫｰﾑﾗｲﾄSL-100　同等品）		
	横胴縁 21×45　通気工法		（キシラ塗　同等品）				熱伝導率 0.040		
	無塗装ﾌﾗｯﾄｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t=14(ﾆﾁﾊ同等品)下地		構造材現シ　木材保護塗装				基礎壁（外気に接する部分）		
	杉板 t=15貼　木材保護塗装（ｷｼﾗ塗　同等品）		（キシラ塗　同等品）				ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 1種2号CⅡ　厚25		
外壁2	構造用合板 t=12　透湿防水シート	樋	軒樋　ガルバルム鋼板　ハコ樋				熱伝導率 0.020		
	横胴縁 21×45　通気工法		HACO GH12号(ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ同等品)				床　押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 3種bA　厚50		
	無塗装ﾌﾗｯﾄｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t=14貼(ﾆﾁﾊ同等品)　塗装		竪樋　ガルバルム鋼板 75φ				熱伝導率 0.028		
	リシン吹付（ジョリパット同等品）		(ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　同等品)						

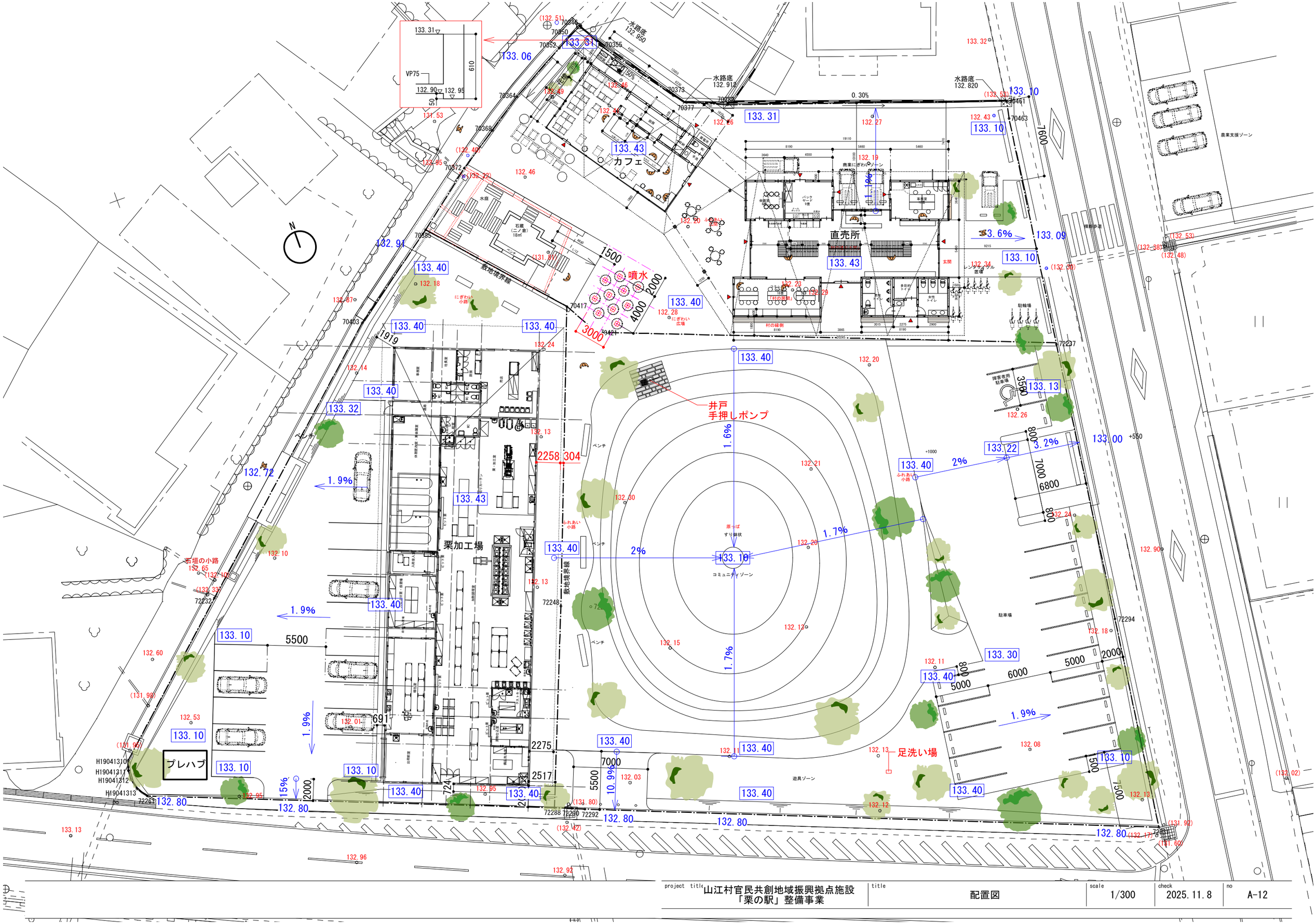
内部仕上表

階	室名	床	巾木・腰壁		壁		天井			雑工事
		仕上	仕上	塗装	仕上	塗装	仕上	塗装	廻縁	
1階	直売所	モルタル下地調整 t=20	目透シ		石膏ボード t=12.5下地　杉板 t=12貼		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5下地　杉板 t=12貼			商品棚　什器
		石貼 t=30（石蔵石材再利用）			木材保護塗料塗		木材保護塗料			
	コミュニティー	同上	同上		同上		同上			ベンチ（下部収納）
	ルーム									TV壁付
	バックヤード	モルタル金コテ押エ　防塵塗装	同上		構造用合板 t=12貼		野縁下地　ジプトーン t=9 貼			
	会議室	モルタル下地不陸調整（3mm/m以内）	同上		構造用合板 t=12下地　石貼 t=20(石蔵石材再利用)		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5下地　杉板 t=12貼			TV壁付
		直貼複合ｵｰｸ150幅(塗装品)貼 t=12(ﾆｯｼﾝｲｸｽ同等品)					木材保護塗料			
	事務所	モルタル下地調整	木巾木　H=40	OP	石膏ボード t=12.5下地　ビニールクロス貼		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5下地　ビニールクロス貼			
		長尺シート貼 t=3								
	多目的WC	モルタル下地調整　タイル貼 t=10	SUS巾木　H=30 t=0.8		石膏ボード t=12.5下地　キッチンパネル貼		野縁下地　ケイ酸カルシウム板 t=6 貼			大便器　手洗　手ｽﾘ　紙巻器
					FJ-936ZD(ｱｲｶ)同等品		ウレタン塗装			鏡　ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ　ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ
	男性WC	同上	同上		同上		同上			大便器　小便器　SK
										紙巻器
	女性WC	同上	同上		同上		同上			大便器　手洗　紙巻器
										鏡　ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
	洗面スペース	コンクリート洗い出し t=50	同上		同上		同上			手洗　鏡　ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
	カフェ	モルタル下地調整 t=20	目透シ		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5 下地　杉板 t=12貼　木材保護塗料塗		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5下地　杉板 t=12貼			カウンター　レジ台
		石貼 t=30（石蔵石材再利用）			一部構造用合板 t=12下地　石貼 t=20		木材保護塗料			
	カフェ　厨房	モルタル下地調整	SUS巾木　H=30 t=0.8		石膏ボード t=12.5下地　キッチンパネル t=3貼		野縁下地　ケイ酸カルシウム板 t=6 貼	ウレタン		厨房設備　コンロ
		長尺シート貼 t=3			FJ-936ZD(ｱｲｶ)同等品		ウレタン塗装			
	カフェ　収納	同上	木巾木　H=40	OP	石膏ボード t=12.5 下地　ビニールクロス貼		石膏ボード t=9.5 下地　ビニールクロス貼			棚
	カフェ　WC	モルタル下地調整　タイル貼 t=10	SUS巾木　H=30 t=0.8		石膏ボード t=12.5下地　キッチンパネル t=3貼		野縁下地　ケイ酸カルシウム板 t=6 貼			大便器　紙巻器
					FJ-936ZD(ｱｲｶ)同等品		ウレタン塗装			
	カフェ　手洗	同上	同上		同上		同上			手洗カウンター
										鏡　ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ

※　内装仕上げ材はF☆☆☆☆を使用のこと。　天井裏等の下地等はF☆☆☆以上を使用のこと

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業 | title 仕上表 | scale | check 2025.10.31 | no A-11


133.31
VP75
610
132.90
132.95
50
133.06
水路底
132.950
水路底
132.912
水路底
132.820
0.30%
133.10
133.31
132.27
132.43
133.10
7600
133.43
カフェ
132.19
農業にぎわいゾーン
1190
直売所
133.43
玄関
132.34
レンタタオル置場
3.6%
133.09
133.10
(132.53)
(132.38)
(132.48)
(132.30)
農業支援ゾーン
傾斜歩道
132.94
133.40
132.18
にぎわい小路
噴水
1500
2000
4000
3000
133.40
132.28
にぎわい広場
敷地境界線
132.87
70403
133.40
133.40
1919
132.24
132.14
133.40
133.32
ベンチ
1.9%
132.72
132.13
2258
304
133.43
栗加工場
井戸
手押しポンプ
1.6%
133.40
ベンチ
132.20
132.21
132.00
ふれあい小路
原っぱ
すり鉢状
133.40
2%
133.10
コミュニティゾーン
1.7%
132.20
1.7%
132.15
132.12
ベンチ
駐車場
72294
132.18
133.30
132.11
133.40
6000
5000
5000
2000
1.9%
132.08
132.13
足洗い場
遊具ゾーン
133.40
133.40
132.12
(132.02)
132.13
(131.92)
(131.60)
(132.17)
132.80
132.80
132.80
(132.42)
(134.80)
72288
72290
72292
2517
2275
7000
5500
10.9%
724
132.95
133.40
133.40
15%
2000
132.80
133.10
5500
プレハブ
H19041310
H19041311
H19041312
H19041313
72261
132.53
(131.98)
132.60
(131.98)
132.10
132.65
(132.10)
(132.33)
72232
1.9%
133.10
133.40
691
132.01
1.9%
132.13
72248
132.96
132.92
132.10
お堀の小路
133.13
132.72
1.9%
133.40
2%
133.22
3.2%
133.00
+550
+1000
133.40
ふれあい小路
7000
6800
800
132.24
132.90
800
3500
障害者用駐車場
133.13
132.26
駐車場
72237
132.32
132.46
132.49
132.46
132.46
132.46

水路底
132.912

70373

70382

70377

0.50%

0.30%

水路
132.

制御盤

4550
2000
710
13650
6330
950
1820
900
2175
7280
2200
5405
1500
1800

X6
X5
X3
Y1
Y2
Y3
X7
X4
X2
X1
A1
A2
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10

厨房
収納
蓄電池
WC
手洗
お渡し口
洗文口
レジ
ショーケース

長尺シート
PM-22243
ニューセーフティプレーン（サンゲツ）

タイル貼
IPF-300/RSK-23D
(LIXIL)

石貼
石蔵再利用

店舗用直貼オークフローリング

コンクリート下地
モルタルコテ押エ
防塵塗装

19110
8190
5460
5460
7470
3640
4550
10100

商業にぎわいゾーン

長尺シート
PM-22243
ニューセーフティプレーン（サンゲツ）

会議室
8畳
TV
保冷庫
バック
ヤード
9畳
メール
ボックス
作業台
デスク
冷凍庫
冷凍庫
冷蔵庫
650
1253
400
直売所
2540
780
750
1500
1000
1000
780
2540
750
750
「村の道」土間
玄関
5460
3640

事務室
12畳
冷蔵庫
ミニキッチン

ふれあい
広間

コミュニティ
ルーム
18畳
TV
「村の居間」
600

石貼
石蔵再利用

タイル貼
IPF-300/RSK-23D
(LIXIL)

男性
トイレ
多目的
トイレ
女性
トイレ
1500
3640

村の縁側
8190
1800
3015
2275
8190
2900
3865
20245

コンクリート洗い出し t=50

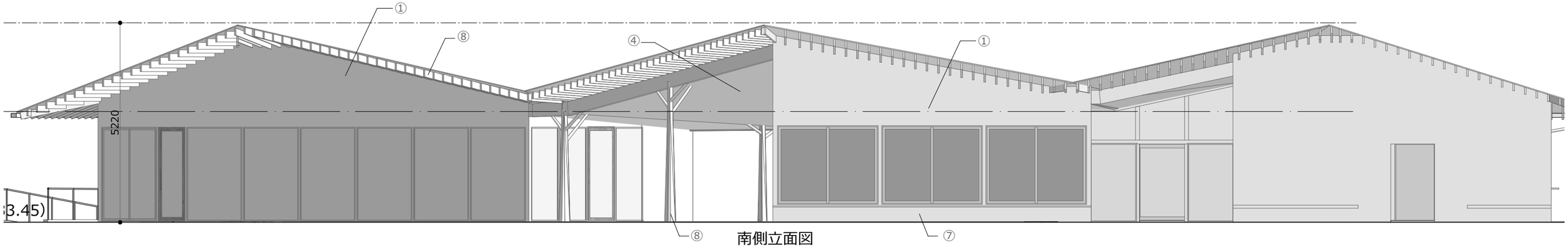
タイル貼 IPF-960PF/KSN-2 (LIXIL)

コンクリート洗い出し t=50

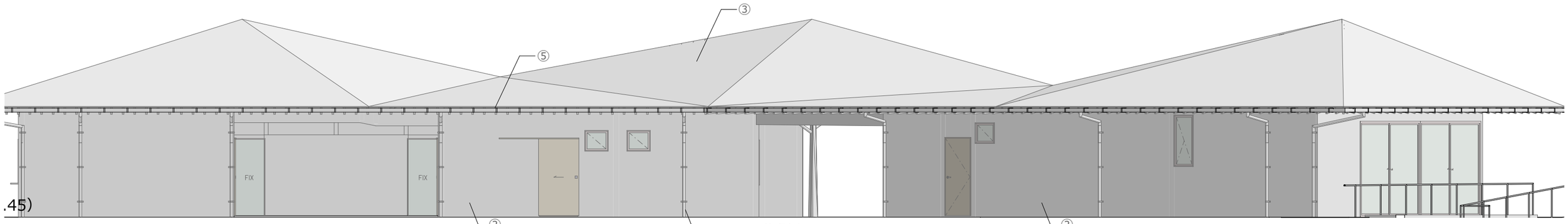
噴水
4680
1/12
1500
2000
4000
4000
3000
70417
70421
1250

にぎわい
広場

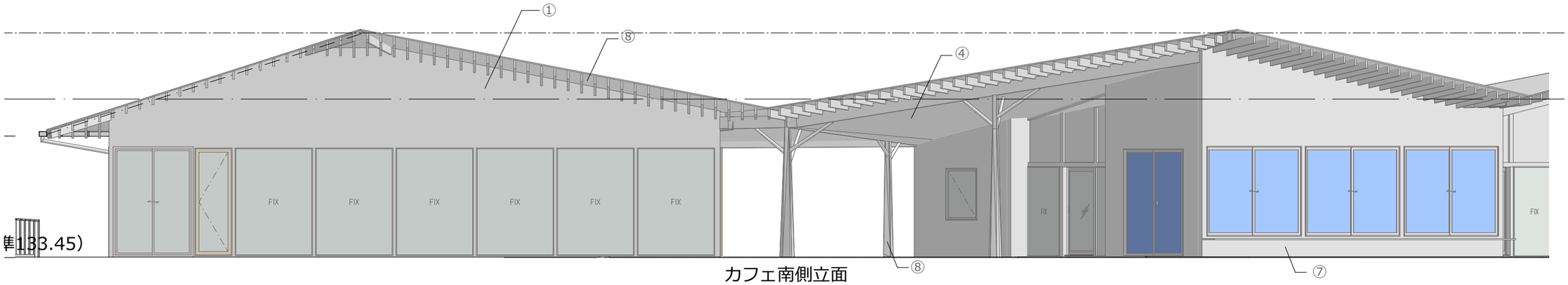
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	平面図	1/100	2025.11.8	A-13



南側立面図



北側立面図

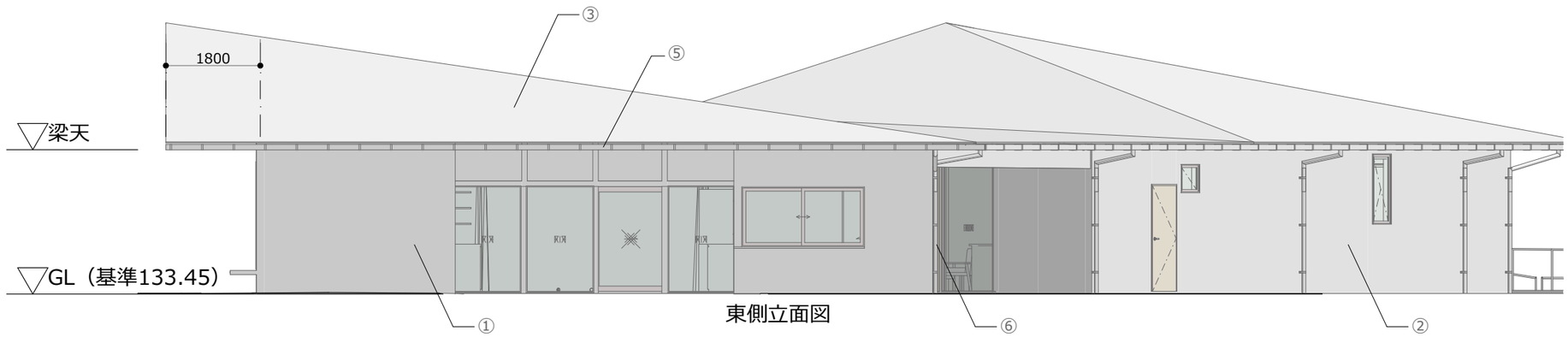


カフェ南側立面

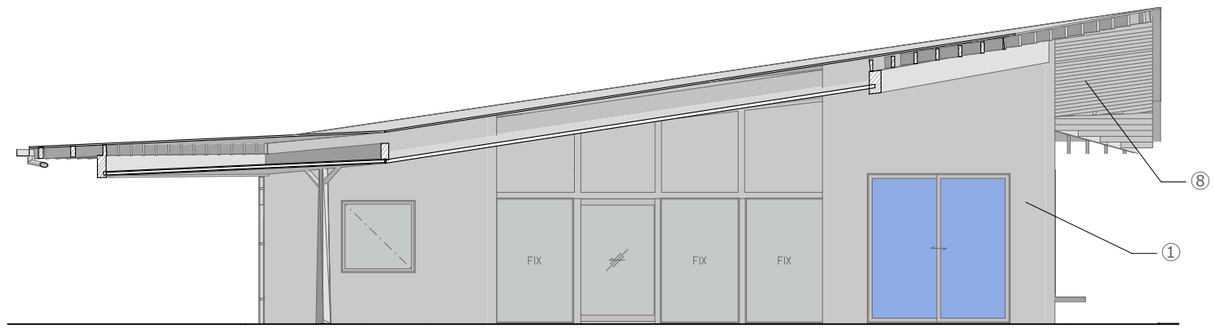
① 外壁1　杉板 t=15貼　木材保護塗装（キシラ塗　同等品）	② 外壁2　無塗装サイディング t=14貼　塗装　リシン吹付（ｼﾞｮﾘﾊﾟｯﾄ同等品）	③ 屋根　ガルバリウム鋼板 t=0.4　竪ハゼ葺
④ 軒天　杉板 t=12貼 木材保護塗装（キシラ塗　同等品）	⑤ 軒樋　ガルバルム鋼板 ハコ樋　HACO GH12号(ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ同等品)	⑥ 竪樋　ガルバリウム鋼板 75φ　(ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　同等品)
⑦ 巾木　モルタル刷毛引き	⑧ 構造材現シ　（キシラ塗　同等品）	

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

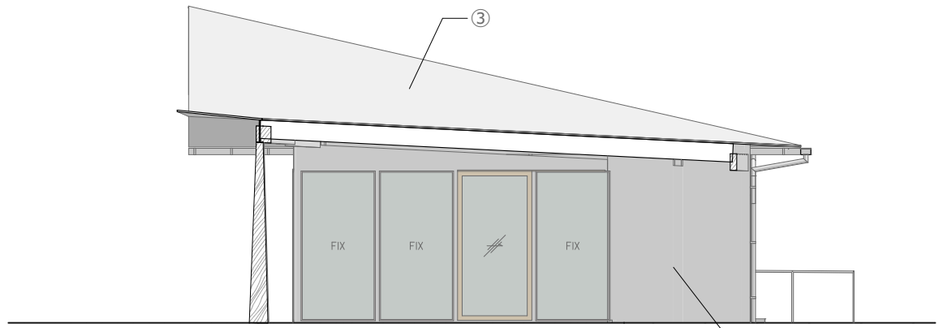
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	立面図- 1	1/100	2025.11.4	A-14



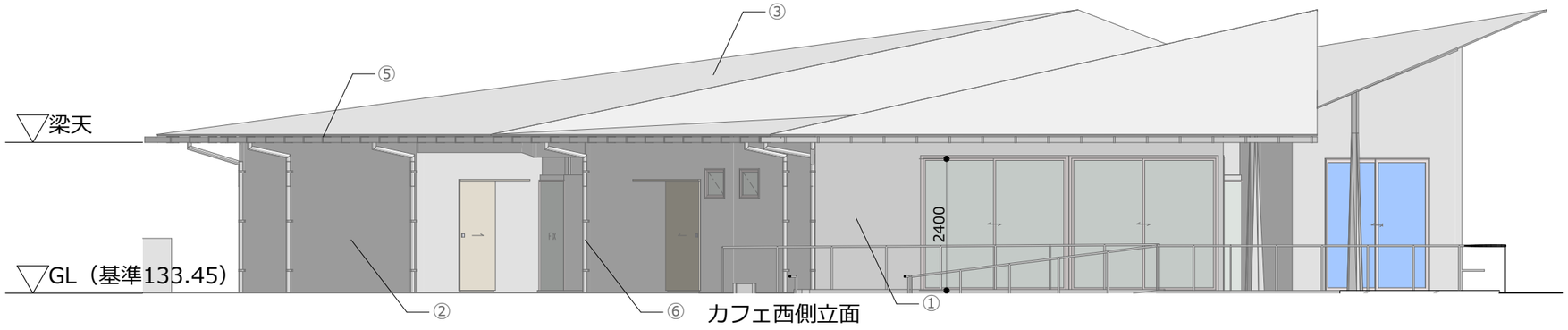
東側立面図



ふれあい広間　西側立面図



ふれあい広間　東側立面図

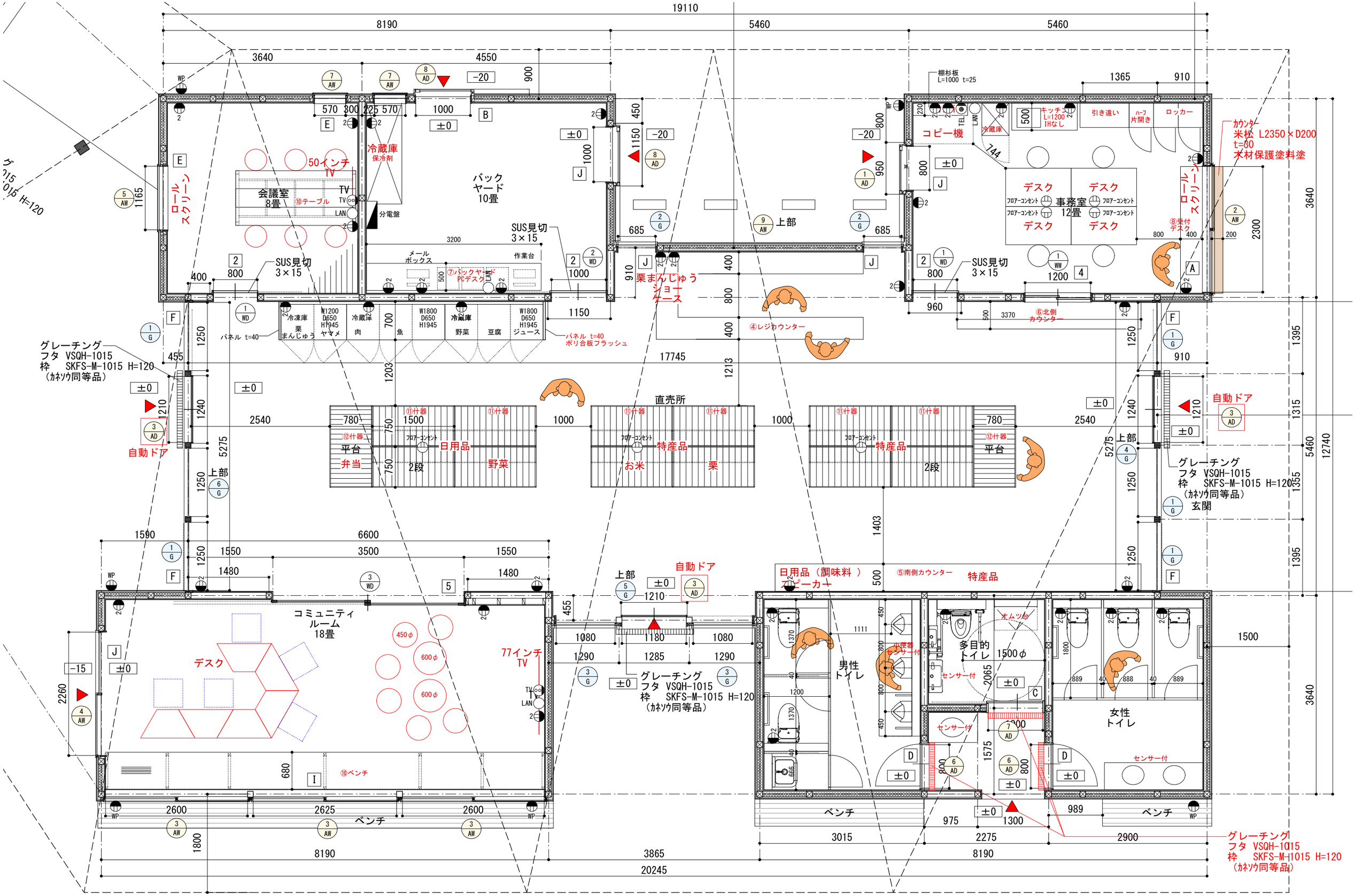


カフェ西側立面

①　外壁1　杉板 t=15貼　木材保護塗装（キシラ塗　同等品）	②　外壁2　無塗装サイディング t=14貼　塗装　リシン吹付（ｼﾞｮﾘﾊﾟｯﾄ同等品）	③　屋根　ガルバリウム鋼板 t=0.4　竪ハゼ葺
④　軒天　杉板 t=12貼 木材保護塗装（キシラ塗　同等品）	⑤　軒樋　ガルバルム鋼板 ハコ樋　HACO GH12号(ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ同等品)	⑥　竪樋　ガルバリウム鋼板 75φ　(ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　同等品)
⑦　巾木　モルタル刷毛引き	⑧　構造材現シ　（キシラ塗　同等品）	

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

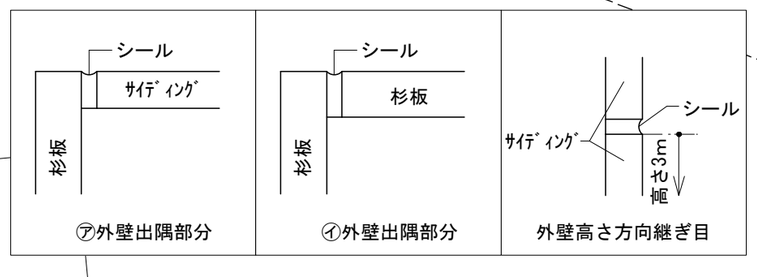
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	立面図-2	1/100	2025.10.16	A-15



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

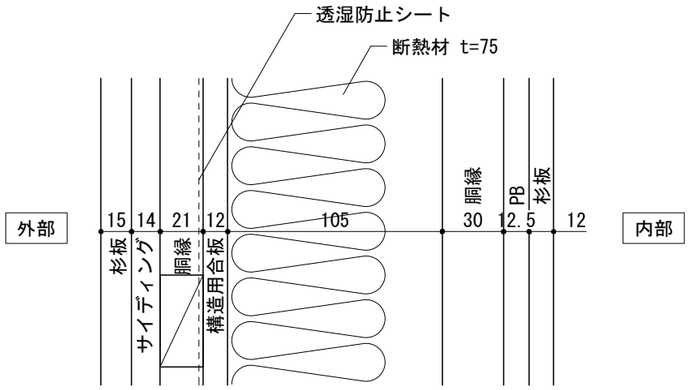
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	直売所平面詳細図	1/60	2025.11.8	A-16

13650
4550
6330
950
1820
2000
制御盤 GP
WS
レンジフード（建築工事）
SUS t=1.0 L1600×D850×H600
レンジフード（建築工事）
SUS t=1.0 L2450×D750×H600
グリスフィルター付油圧扇（機械設備工事）
10 AW
570
7 AW
570
900
2 AD
710
-20
B
J
2
収納
WC
5 WD
2
800
手洗
③手洗台
4 WD
1
SUS見切
3×15
厨房
6
800
550
965
2160
965
1690
715
6 WD
600
821
R/F
①カウンター
下部
ゴミ箱
1000
ショー
ケース
1200
お渡し口
6500
①中央カウンター
注文口
レジ
カフェ
910
910
2730
2605
2175
7280
5105
2200
1500
-60
±0
2730
2625
8 AW
G
I
±0
865
6 AW
1765
805
1765
1765
1765
1765
1765
1765
1820
910
1820
1820
1820
1820
1820
1820
1800
5 AD
自動ドア
グレーチング
フタ VSQH-1015
枠 SKFS-M-1015 H=120
（カネソウ同等品）
②窓際カウンター
自動ドア
4 AD
±0
グレーチング
フタ VSQH-1015
枠 SKFS-M-1015 H=120
（カネソウ同等品）
1100
1075
1015
1095
1050
990
1040
1765
1820
ふれあい広間

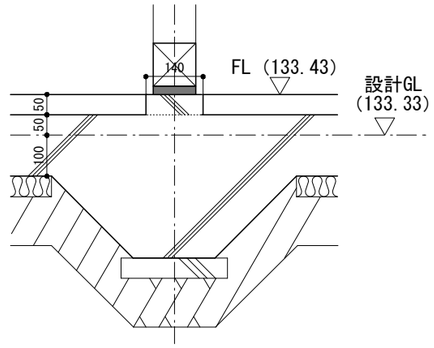


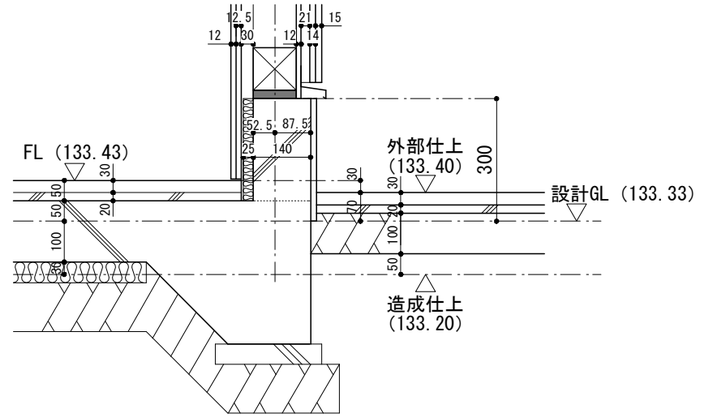
株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

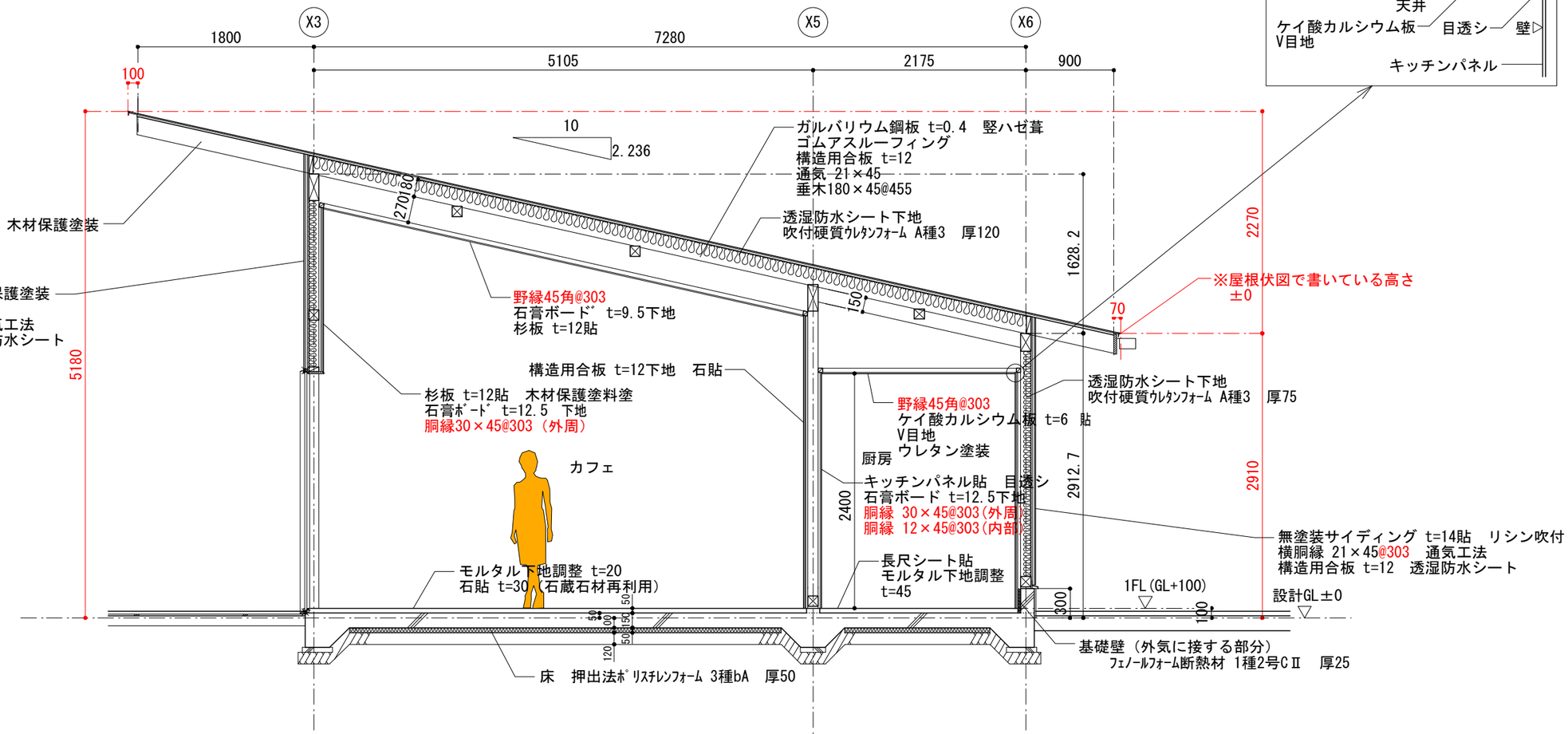
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	カフェ平面詳細図	1/60	2025.11.17	A-17



外壁詳細図

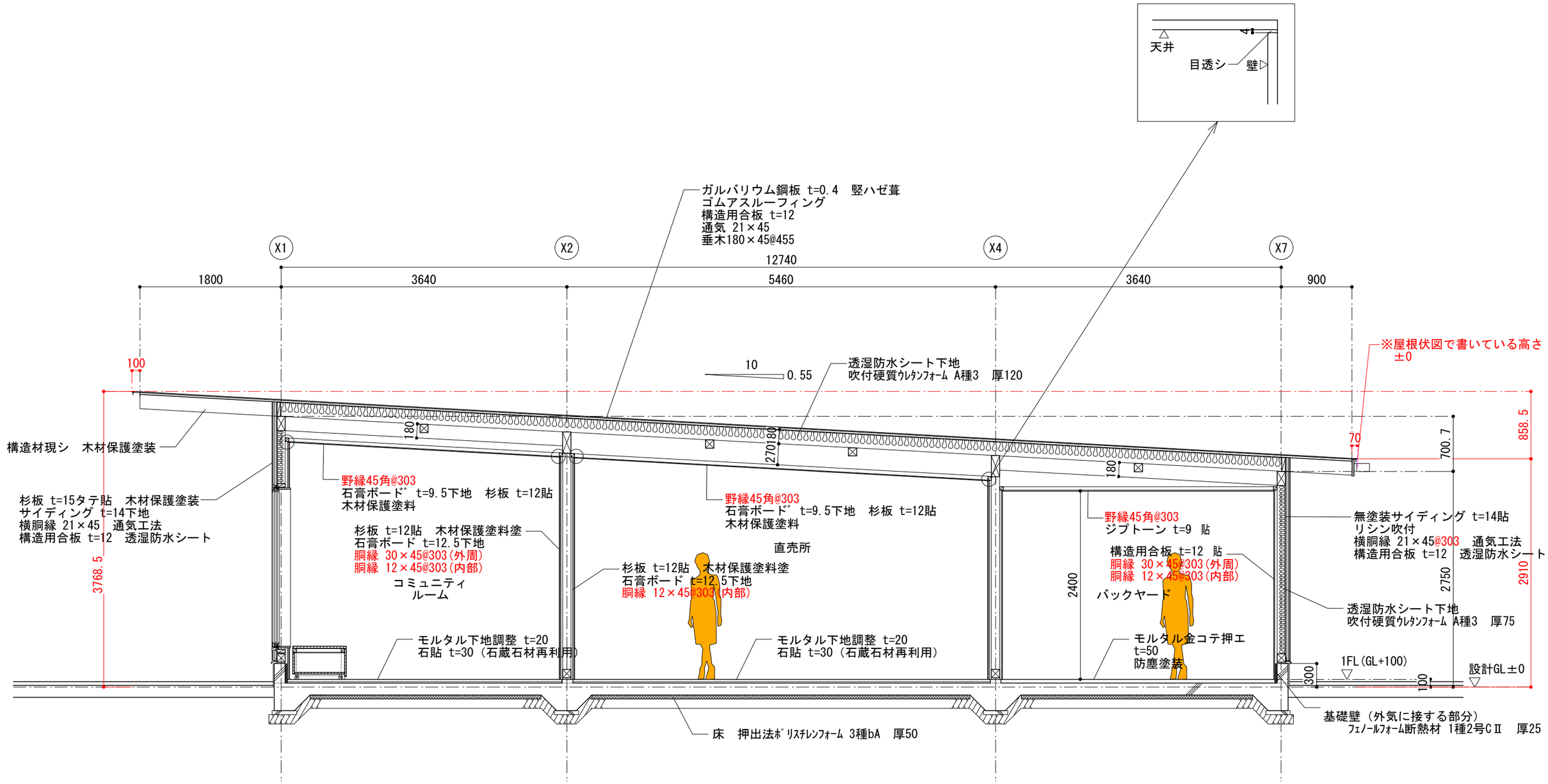






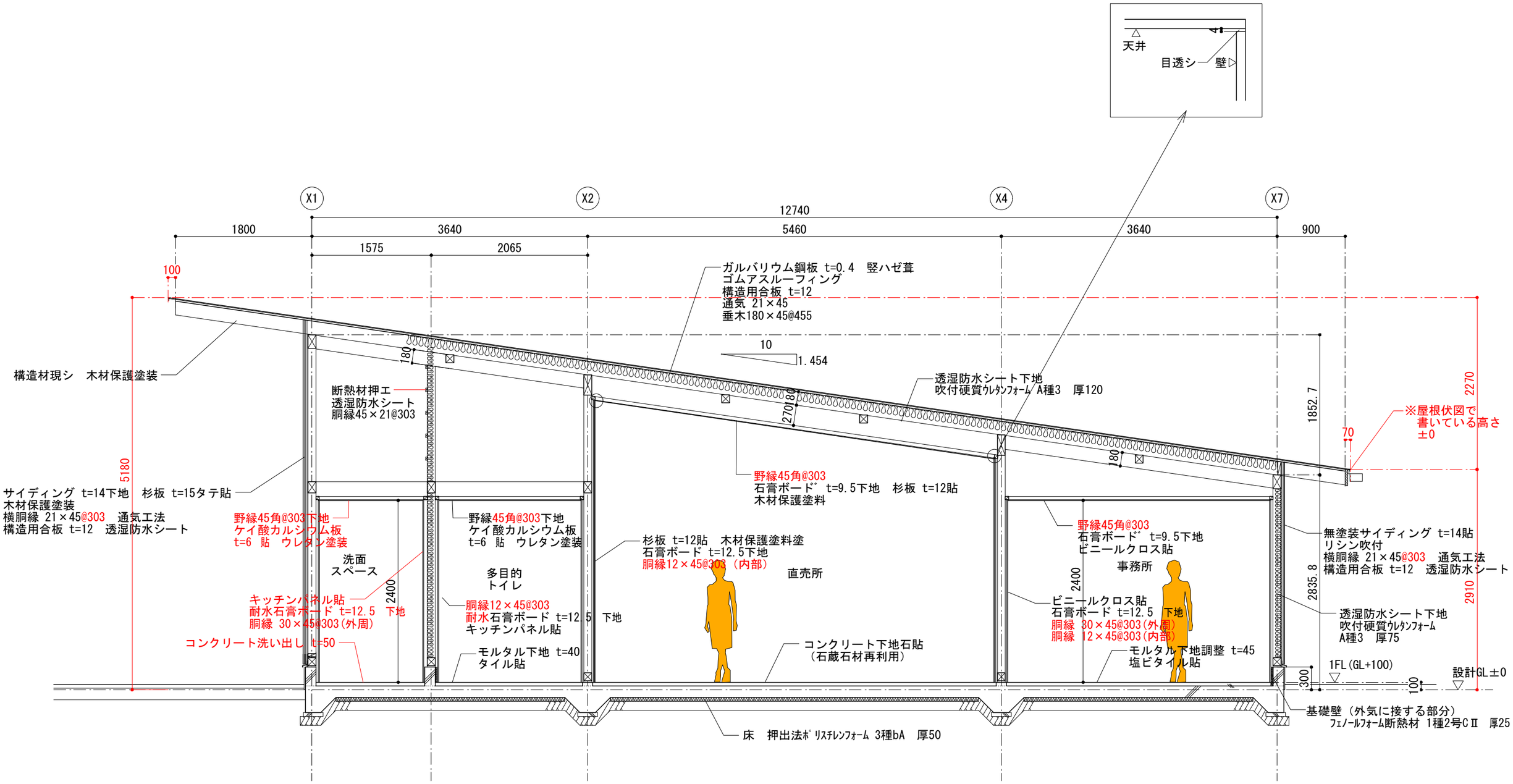
株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	矩計図-1	1/50	2025.10.31	A-18



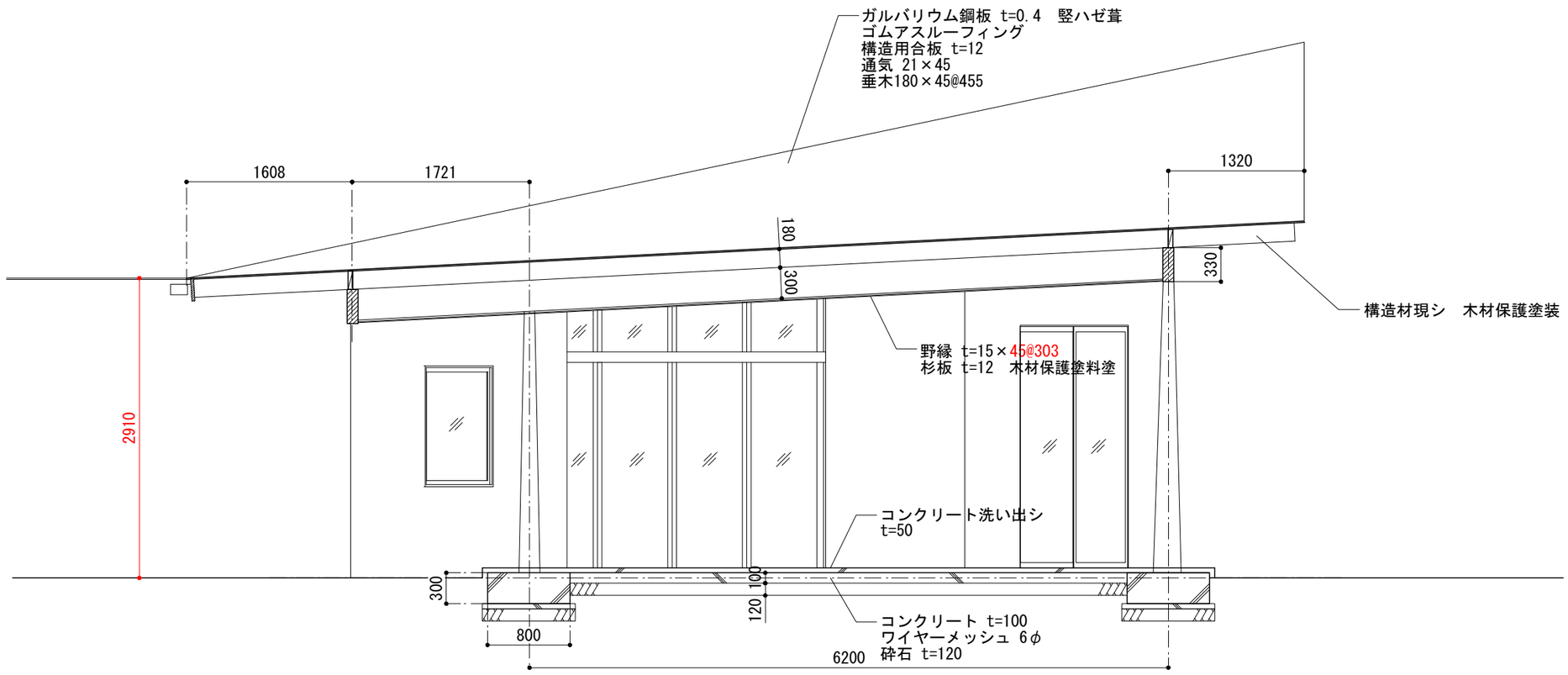
株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	矩計図-２	1/50	2025.10.31	A-19



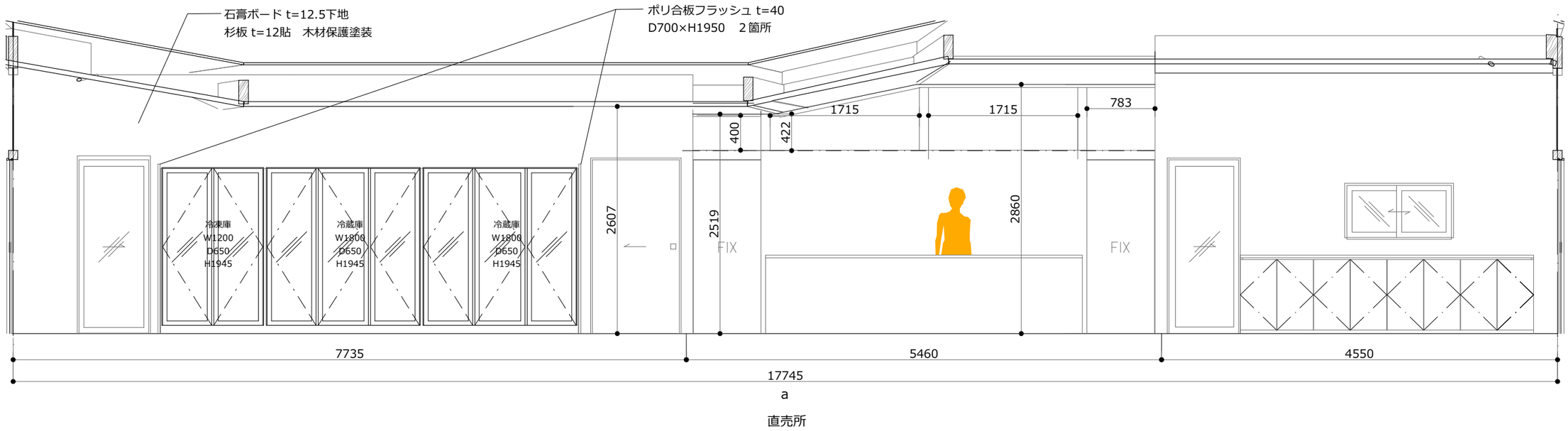
株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

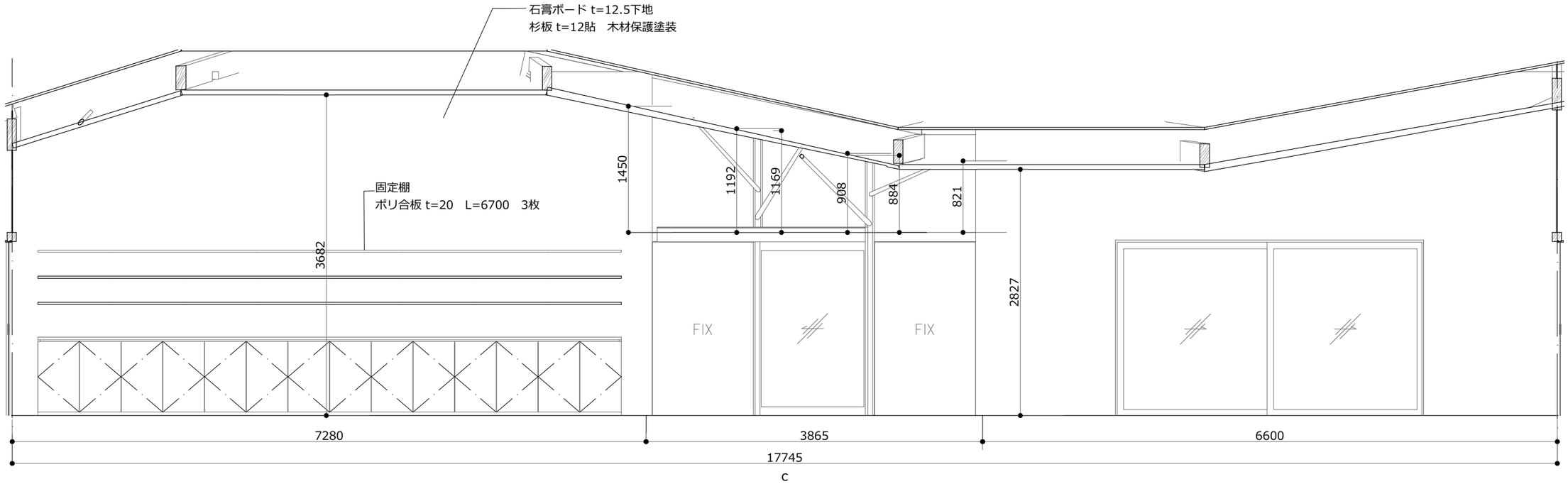
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	矩計図-３	1/50	2025.10.31	A-20



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

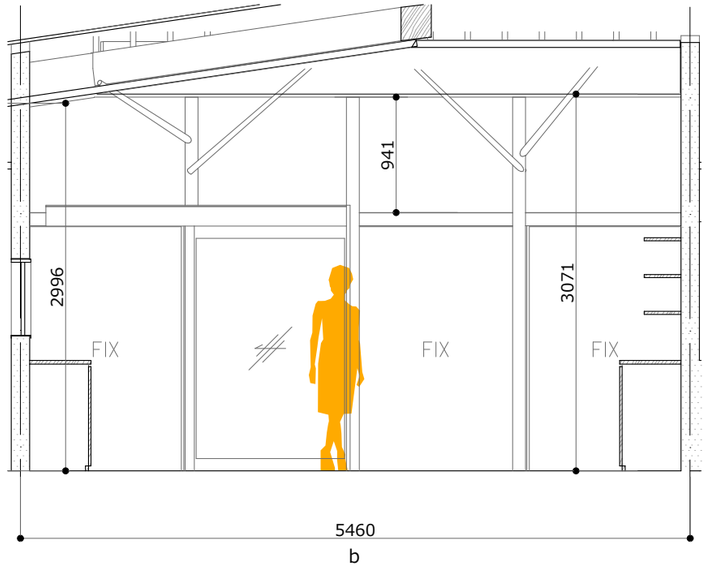
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	矩計図-４	1/50	2025.10.31	A-20-1

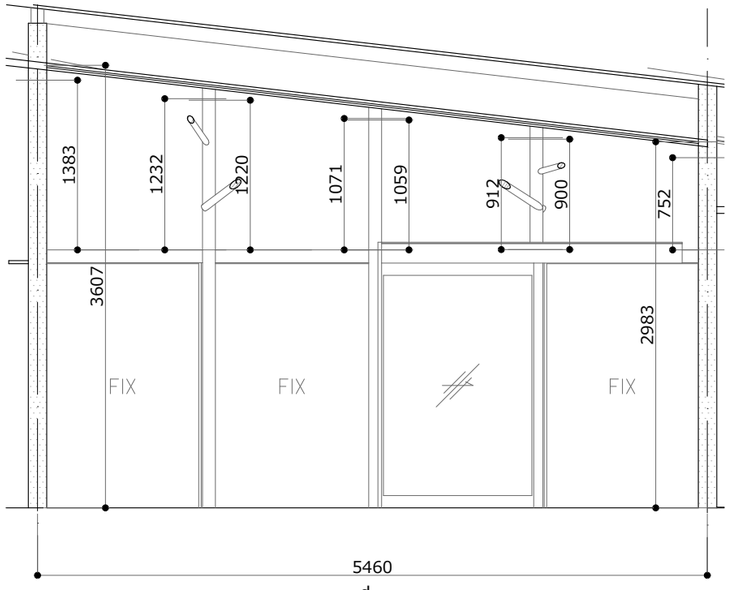




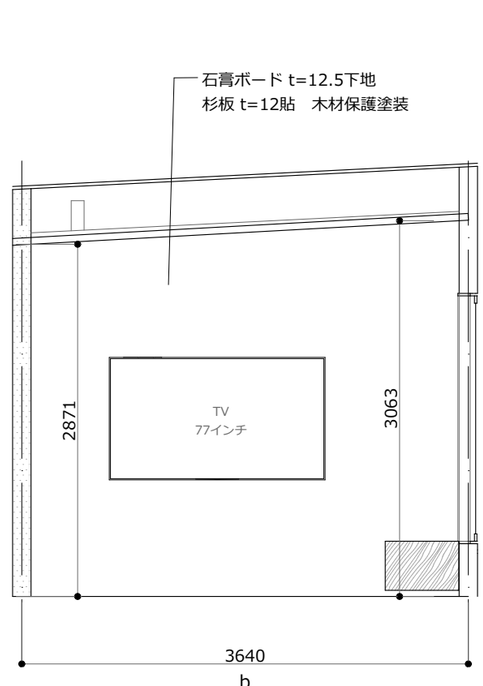
株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

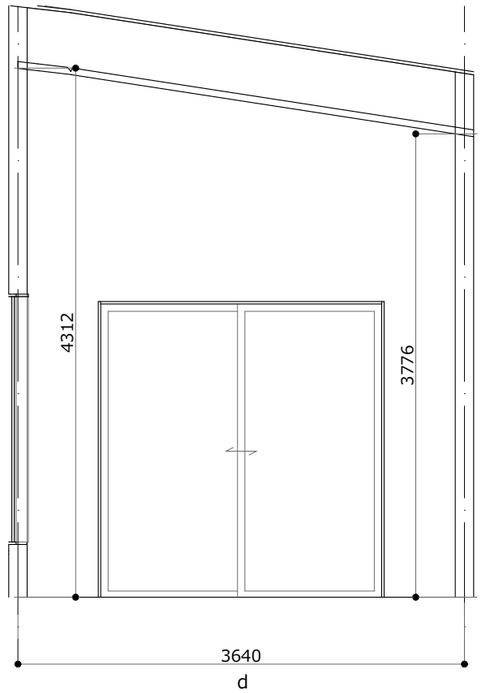
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	展開図-1	1/50	2025.11.11	A-21



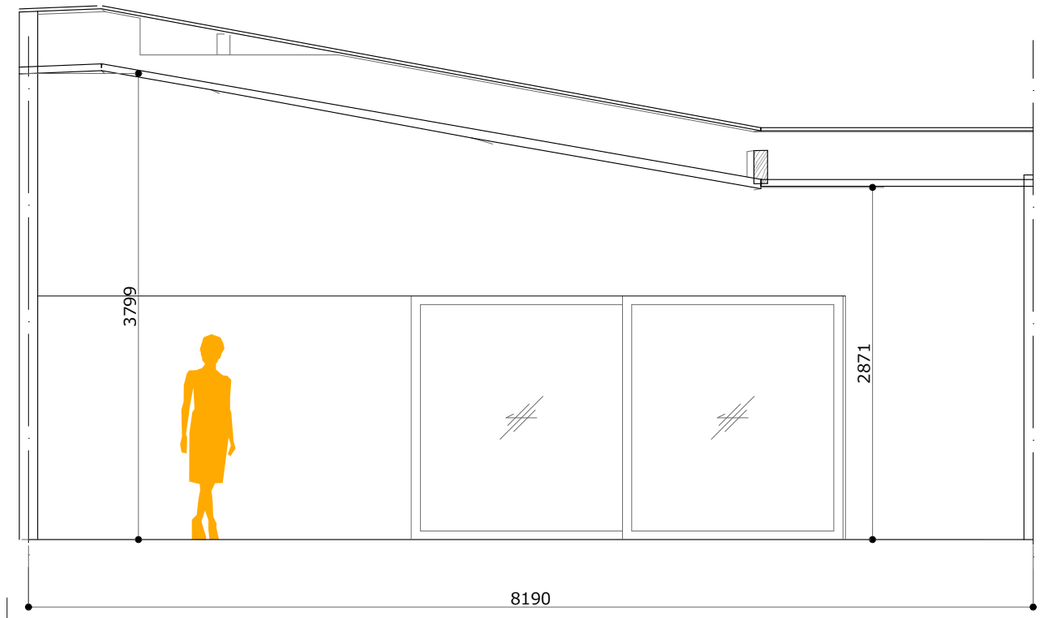


直売所

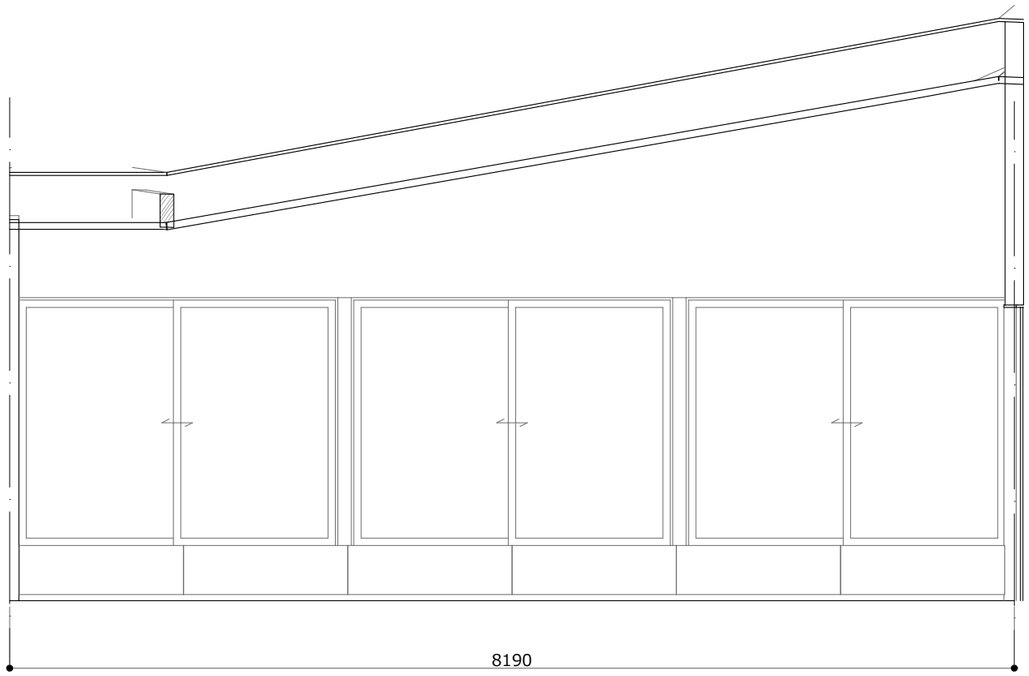




コミュニティールーム



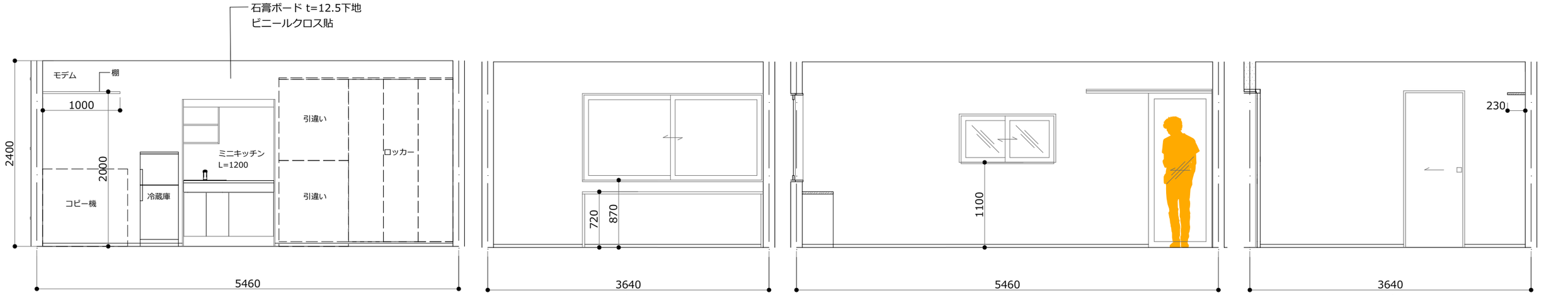
コミュニティールーム



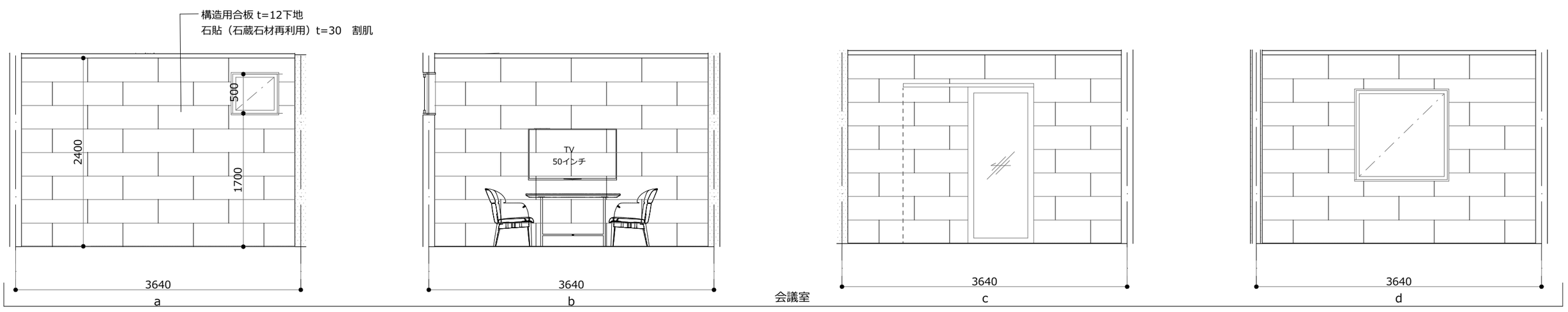
株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	展開図-2	1/50	2025.9.26	A-22

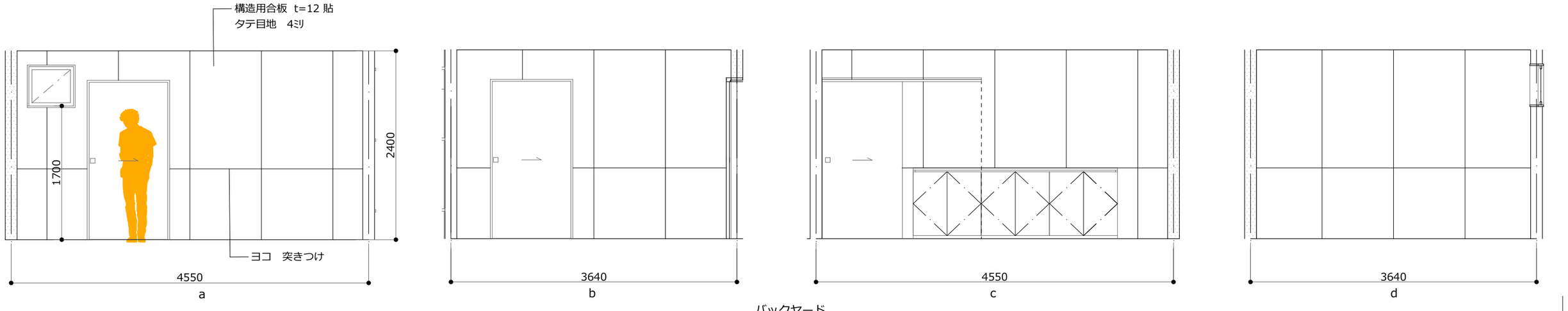
事務所



会議室



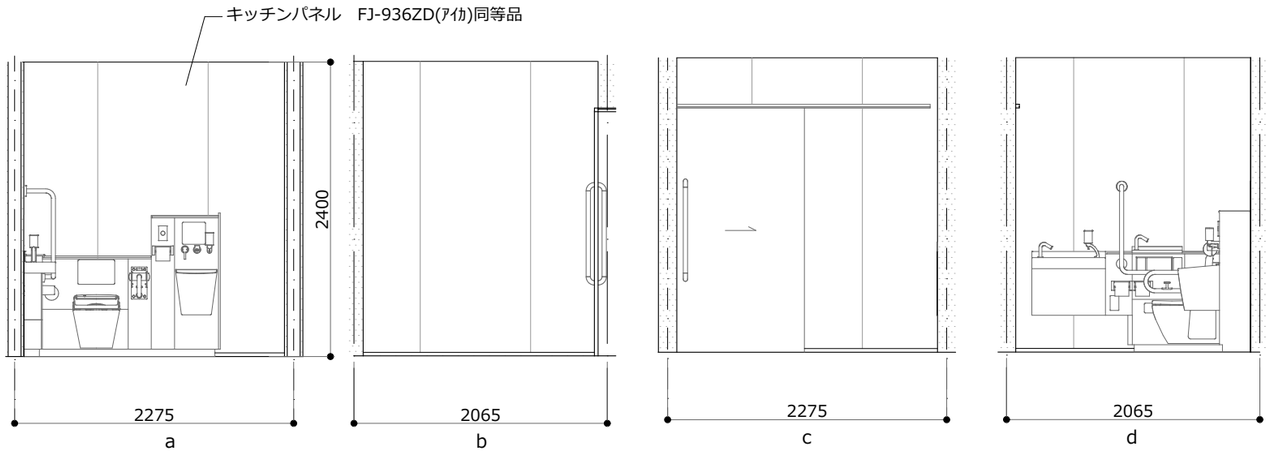
バックヤード



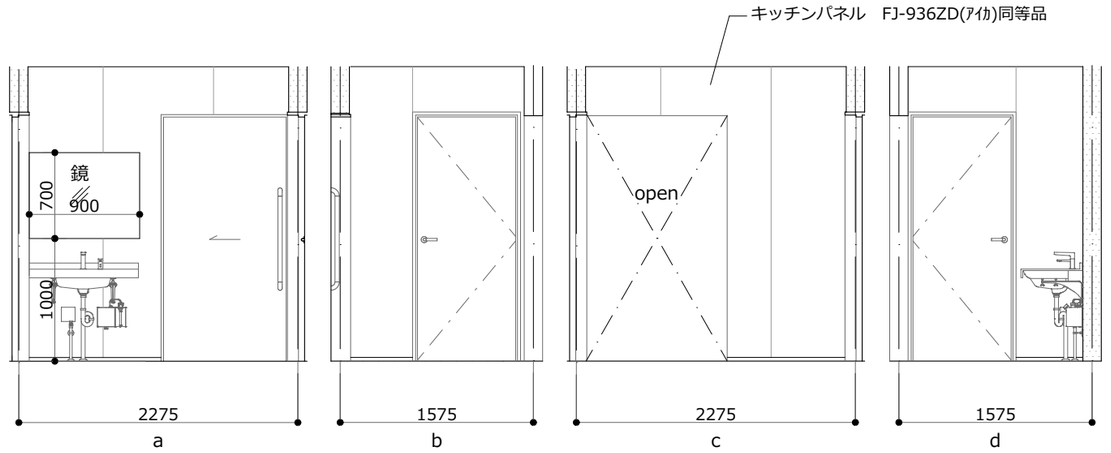
株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	展開図-3	1/50	2025.10.14	A-23

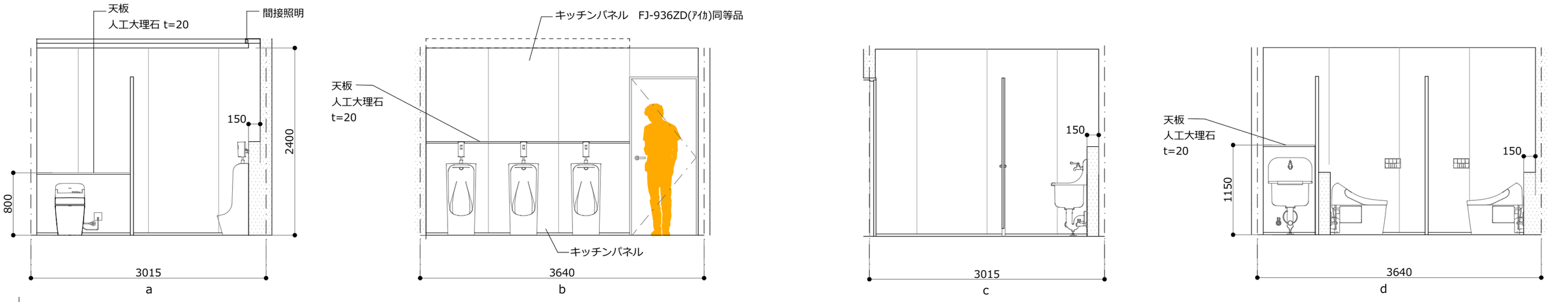
多目的WC



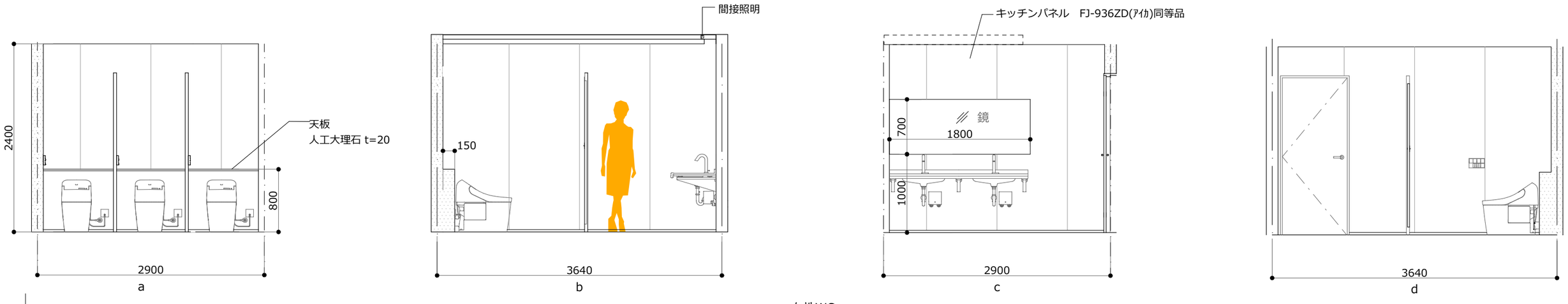
洗面スペース



男性WC

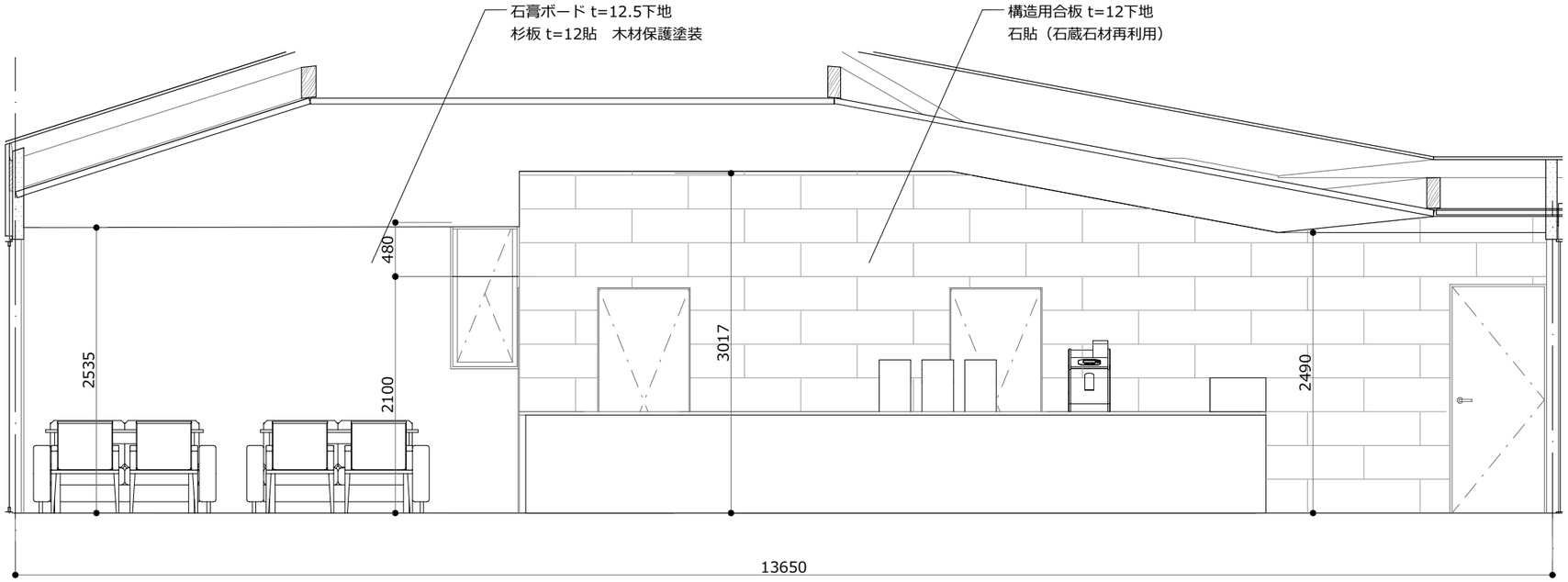


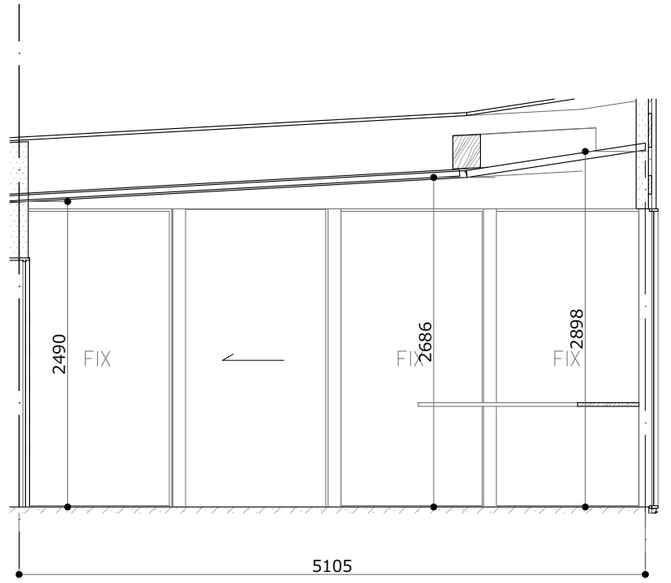
女性WC



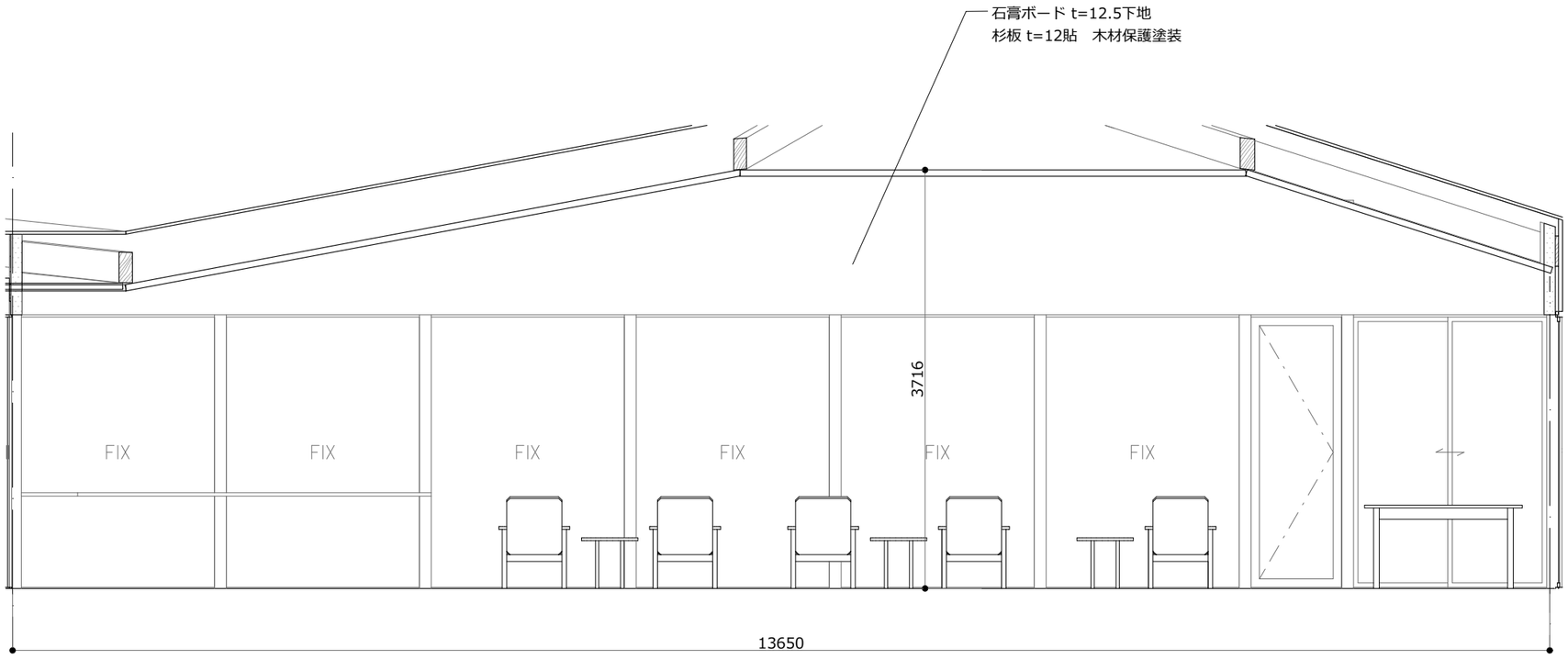
株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

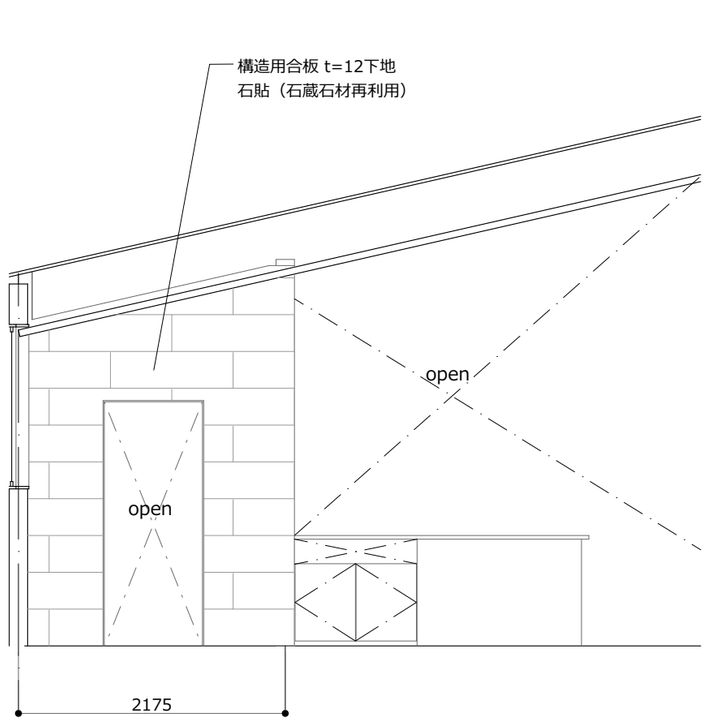
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	展開図-4	1/50	2025.10.31	A-24





カフェ

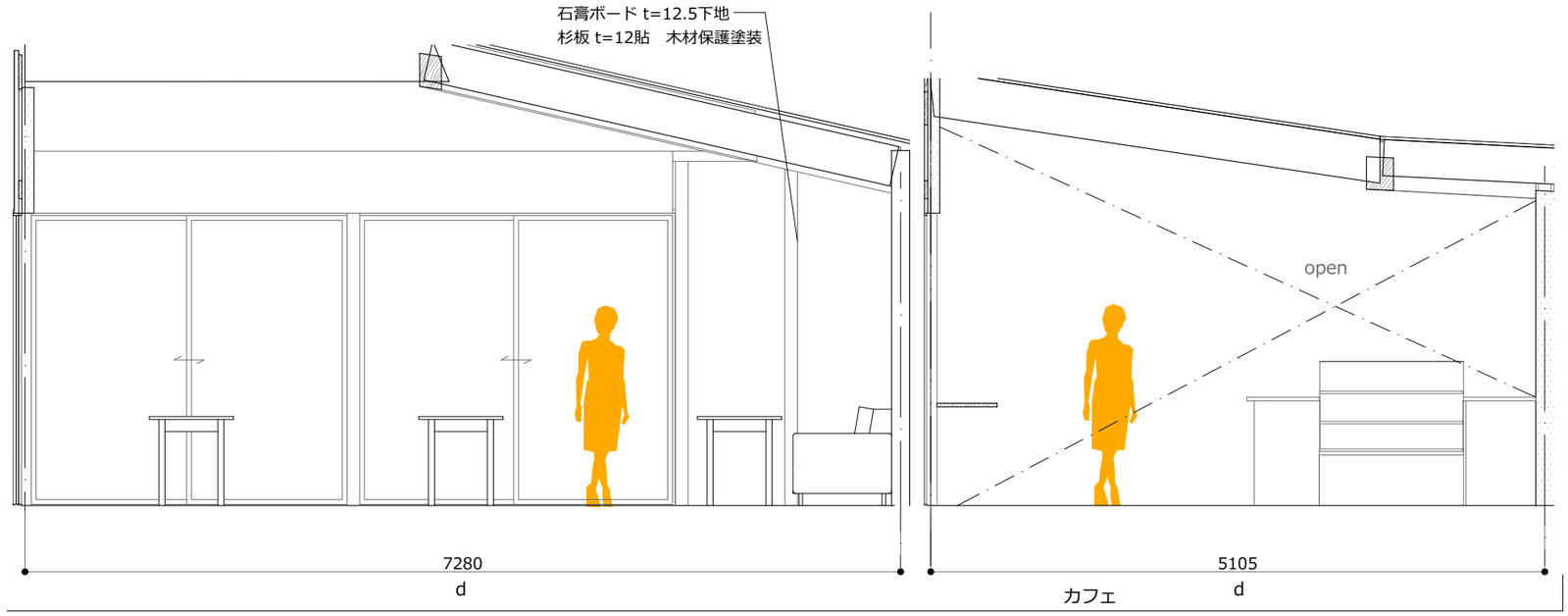


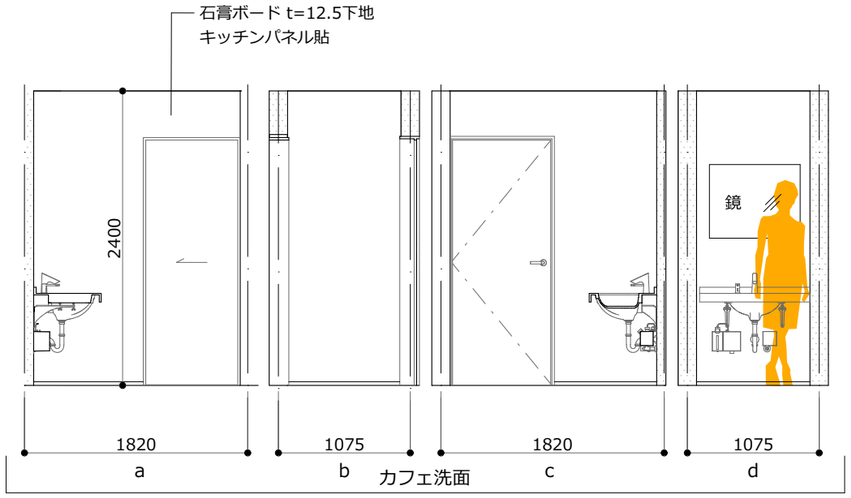


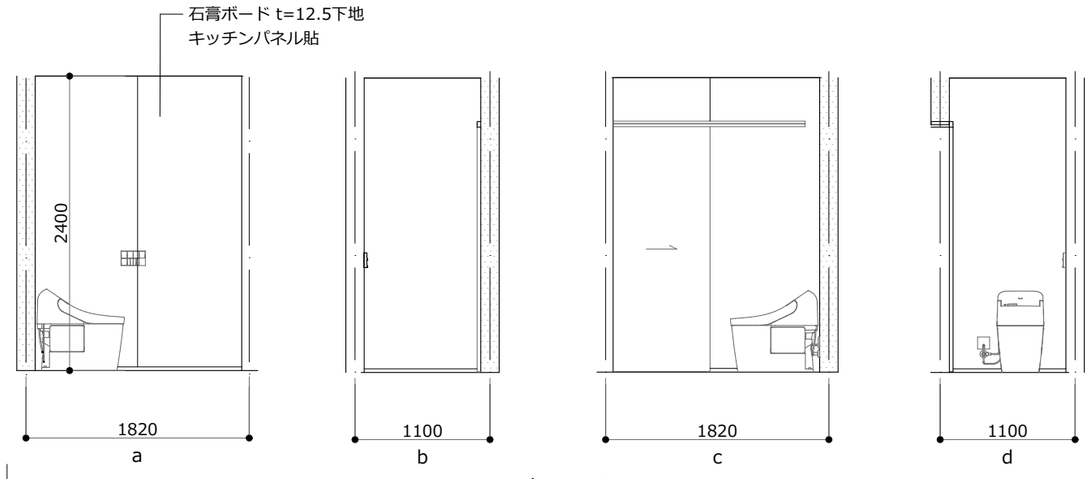
カフェ

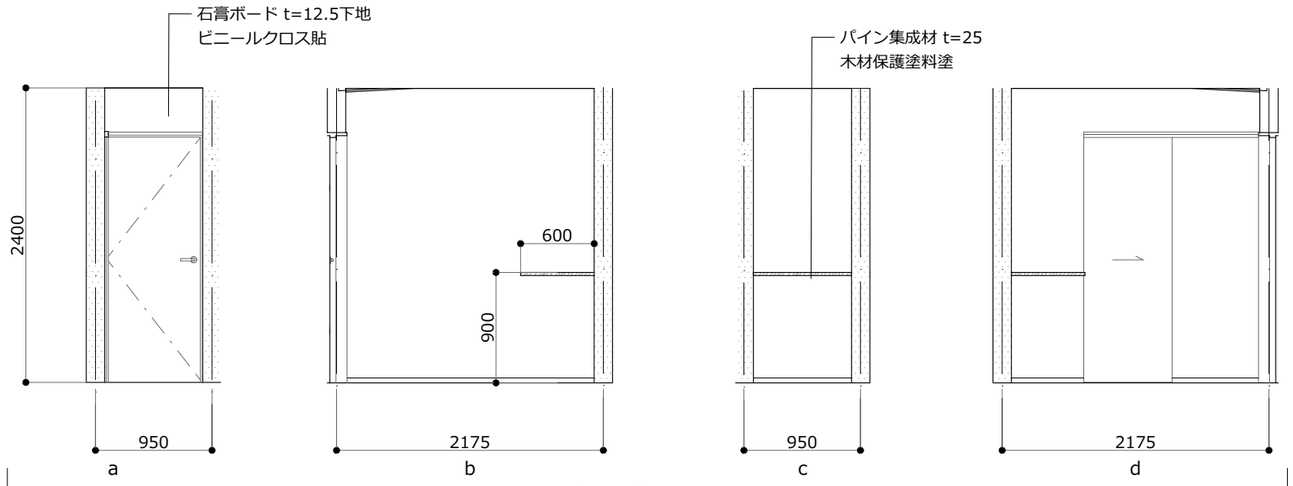
株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

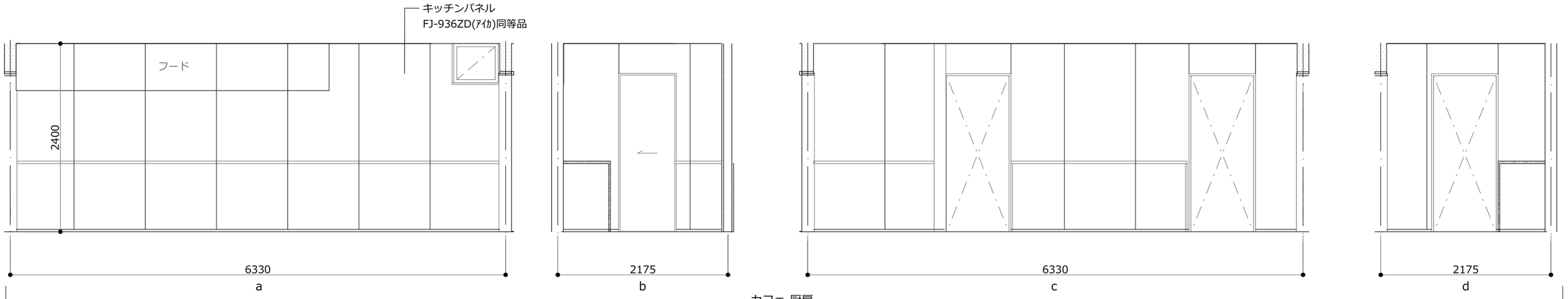
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	展開図-5	1/50	2025.10.16	A-25





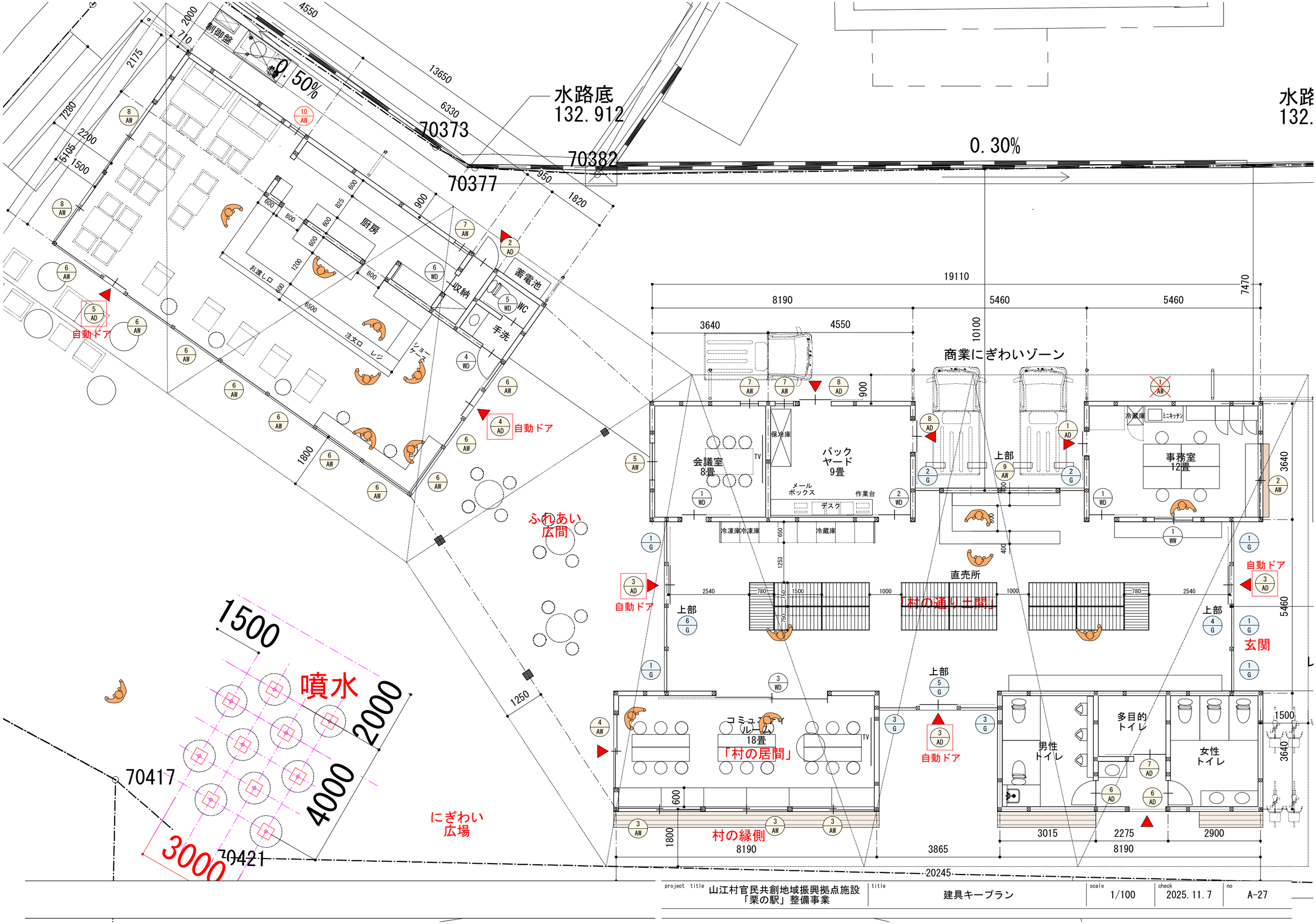




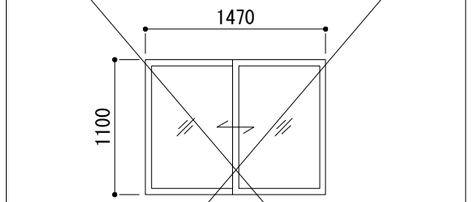
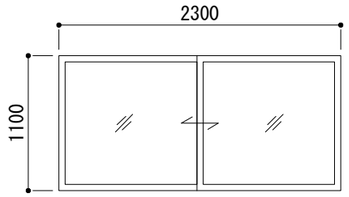
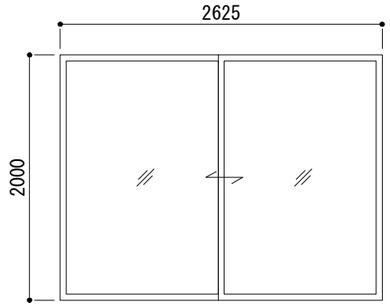
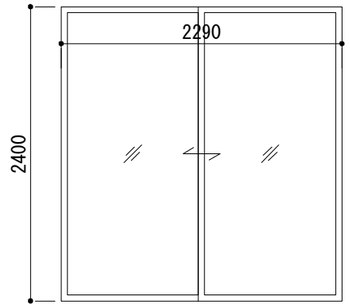
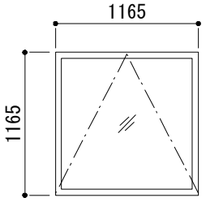


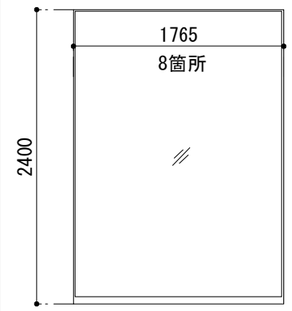
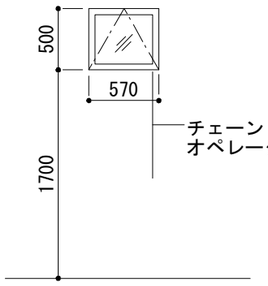
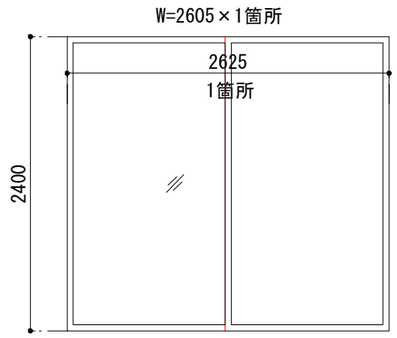
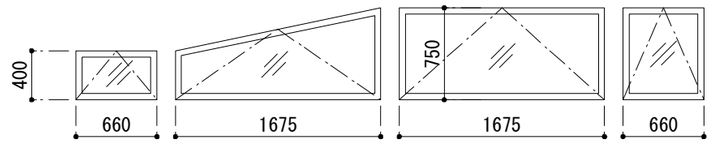
株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

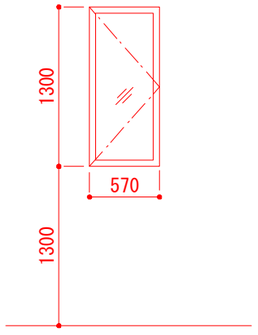
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	展開図-6	1/50	2025.10.31	A-26



project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 建具キープラン	scale 1/100	check 2025.11.7	no A-27

符号 / 数量	1 AW 事務室 1箇所	2 AW 事務室 1箇所	3 AW コミュニティールーム 3箇所	4 AW コミュニティールーム 1箇所	5 AW 会議室 1箇所
姿図					
名称	引き違い窓 半外付	引き違い窓 半外付	引き違い窓 半外付	断熱土間引戸 半外付	横辷り出シ窓 半外付
材料	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
硝子	複層Low-E（断熱）透明ガラス　3+A+3	複層Low-E（遮熱）透明ガラス　3+A+3	複層Low-E（遮熱）透明ガラス　5+A+5	複層Low-E（遮熱）透明ガラス　5+A+5	複層Low-E（断熱）透明ガラス　5+A+5
付属金物	クレセント　網戸	クレセント　網戸	クレセント　網戸	クレセント　網戸	クレセント　網戸
特記事項				グレーチング付	

符号 / 数量	6 AW カフェ 10箇所	7 AW 会議室　バックヤード カフェ厨房 3箇所	8 AW カフェ 2箇所	9 AW 直売所 1箇所
姿図				
名称	FIX窓	横辷り出シ窓 半外付	引き違いテラス窓	横辷り出し窓
材料	アルミ　フラットバー連想	アルミ	アルミ　フラットバー連想	
硝子	複層Low-E（遮熱）透明ガラス　6+A+6	複層Low-E（断熱）透明ガラス　3+A+3	複層Low-E（遮熱）透明ガラス　5+A+5	複層Low-E（断熱）透明ｶﾞﾗｽ　3+A+3
付属金物		チェーンオペレーター　網戸	クレセント　網戸	チェーンオペレーター　網戸
特記事項				

符号	10 AW カフェ 1箇所
姿図	
名称	縦辷り出シ窓 半外付
材料	アルミ
硝子	複層Low-E（断熱）透明ガラス　3+A+3
付属金物	オペレーター　網戸
特記事項	

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

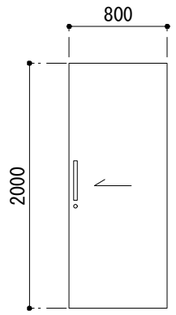
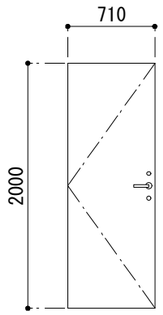
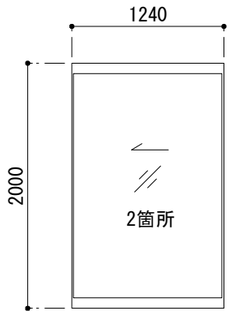
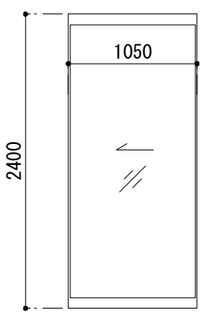
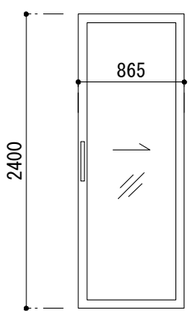
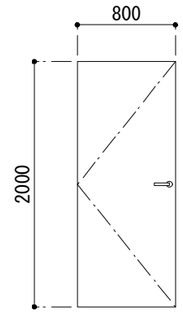
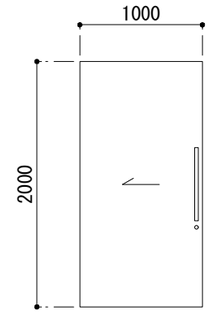
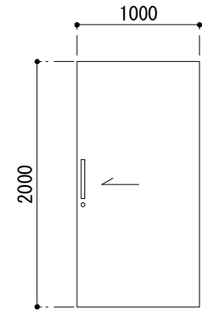
project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

title 鋼製建具表-1

scale 1/50

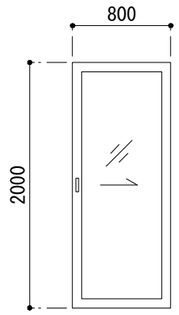
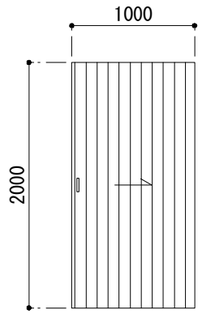
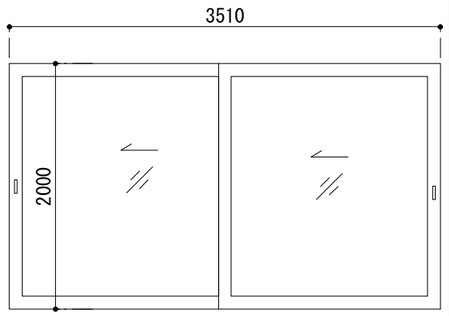
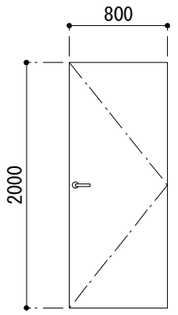
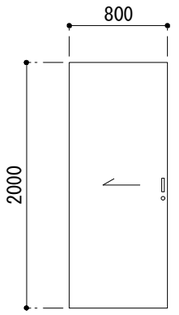
check 2025.11.7

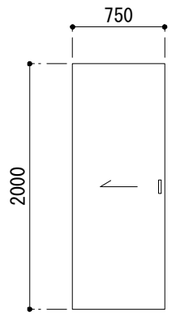
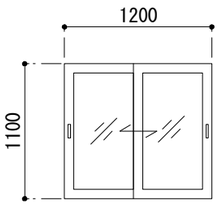
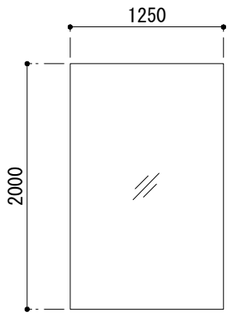
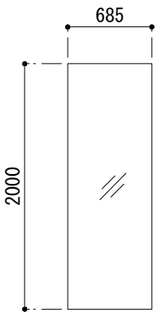
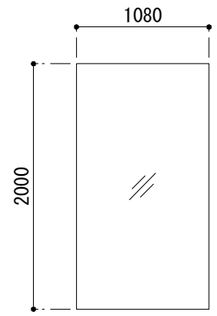
no A-28

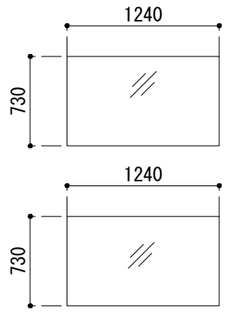
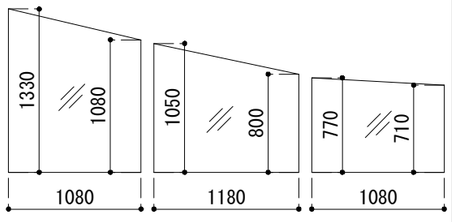
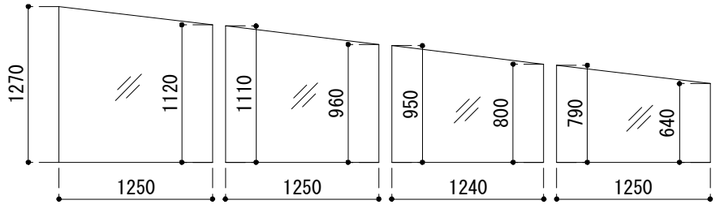
符号 数量	1 AD 事務室 1箇所	2 AD カフェ収納 1箇所	3 AD 直売所 3箇所	4 AD カフェ 1箇所	5 AD カフェ 1箇所
姿図			 ※直売所南面 W=1210箇所×1箇所		
名称	片引き戸（ビル用）　半外付	片開き戸　半外付	自動ドア（ロスカA　ﾅﾌﾞｺ同等品）	自動ドア（ロスカA　ﾅﾌﾞｺ同等品）	自動ドア（ロスカA　ﾅﾌﾞｺ同等品）
材料	アルミフラッシュ（断熱H-4）	アルミフラッシュ（断熱H-4）	アルミ	アルミ	アルミ
硝子			複層Low-E透明ｶﾞﾗｽ 5+A+5　遮熱(東面)　断熱(南面　西面)	複層Low-E(断熱)透明ｶﾞﾗｽ 5+A+5	複層Low-E(遮熱)透明ｶﾞﾗｽ　5+A+5
付属金物	バーハンドル　ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ　その他付属金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　丁番　ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　その他付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
特記事項	ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	飛散防止フィルム　ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　非接触ｽｲｯﾁ	飛散防止フィルム　ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　非接触ｽｲｯﾁ	飛散防止フィルム　ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　非接触ｽｲｯﾁ
符号 数量	6 AD 男性トイレ　女性トイレ 2箇所	7 AD 多目的トイレ 1箇所	8 AD バックヤード 2箇所		
姿図					
名称	片開き戸（ビル用）	片引き戸　アウトセット（ビル用）	半自動式片引き戸（ビル用）　半外付		
材料	アルミフラッシュ(断熱H-4)	アルミフラッシュ(断熱H-4)	アルミフラッシュ（断熱H-4）		
硝子					
付属金物	レバーハンドル　丁番　戸当り　ドアクローザー	ハンガーレール（ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ）バーハンドル　振留め	バーハンドル　ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ　その他付属金物一式		
特記事項	シリンダー錠	表示付カマ錠　シリンダー錠　アルミ額縁	ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		
符号					
姿図					
名称					
材料					
硝子					
付属金物					
特記事項					

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業 | title 鋼製建具表-２ | scale 1/50 | check 2025.11.17 | no A-29

符号 / 数量	1 WD 事務室　会議室 2箇所	2 WD バックヤード 1箇所	3 WD コミュニティールーム 1箇所	4 WD カフェ手洗 1箇所	5 WD カフェトイレ 1箇所
姿図					
名称	片引き戸（アウトセット） 40	半自動式片引き戸（アウトセット） 33	２枚片引き戸（アウトセット） 40	片開き戸 33	片引き戸（アウトセット） 33
材料	杉框	杉	杉框	ポリ合板	ポリ合板
硝子	透明ガラス　t=5		透明ガラス　t=6		
付属金物	ハンガーレール（ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ）引手　振留め	半自動式引戸金物 ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ(ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ) 引手　振留め	FB-5×30　埋込Vレール(真鍮)　戸車(重量用)　引手	レバーハンドル　丁番　戸当り	ハンガーレール（ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ）引手　振留め
特記事項	飛散防止フィルム		飛散防止フィルム		表示付カマ錠

符号 / 数量	6 WD カフェ収納 1箇所	1 WW 事務所 1箇所	1 G 直売所 6箇所	2 G 直売所 2箇所	3 G 直売所 2箇所
姿図			 ※西面（断熱）		
名称	片引き戸 33	引き違い窓 40	FIX	FIX	FIX
材料	ポリ合板	杉框			
硝子		透明ガラス　t=3	複層Low-E透明ｶﾞﾗｽ　5+A+5　西面(断熱)　東面(遮熱)	複層Low-E（断熱）透明ｶﾞﾗｽ 5+A+5	複層Low-E（断熱）透明ｶﾞﾗｽ 5+A+5
付属金物	ハンガーレール（ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ）引手　振留め　回転引手	FB-5×30　引手　振留め			
特記事項		飛散防止フィルム	飛散防止フィルム	飛散防止フィルム	飛散防止フィルム

符号 / 数量	4 G 直売所 4箇所	5 G 直売所 1箇所	6 G 直売所 1箇所
姿図			
名称	FIX	FIX	FIX
材料			
硝子	複層Low-E（遮熱）透明ｶﾞﾗｽ　3+A+3	複層Low-E（断熱）透明ｶﾞﾗｽ　4+A+4	複層Low-E（断熱）透明ｶﾞﾗｽ 4+A+A
付属金物			
特記事項	飛散防止フィルム	飛散防止フィルム	飛散防止フィルム

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

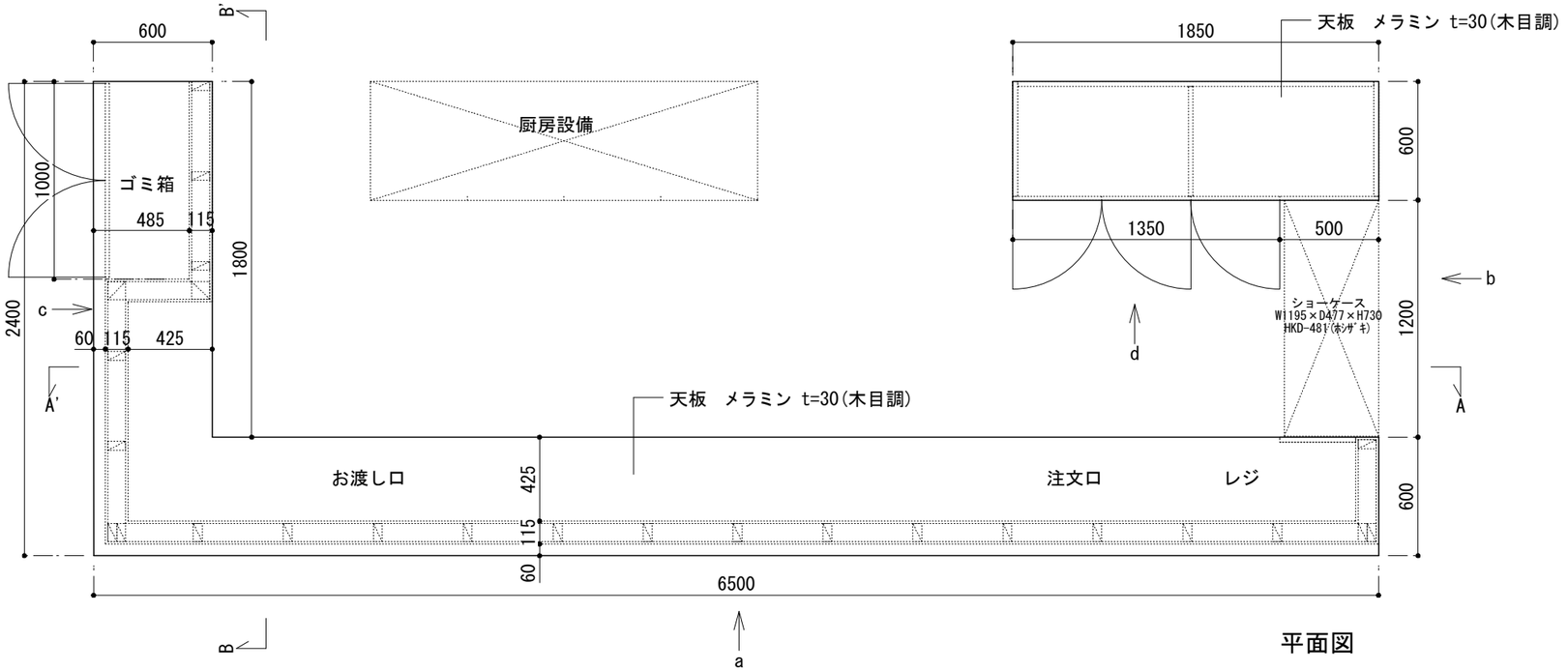
title 木製建具表

scale 1/50

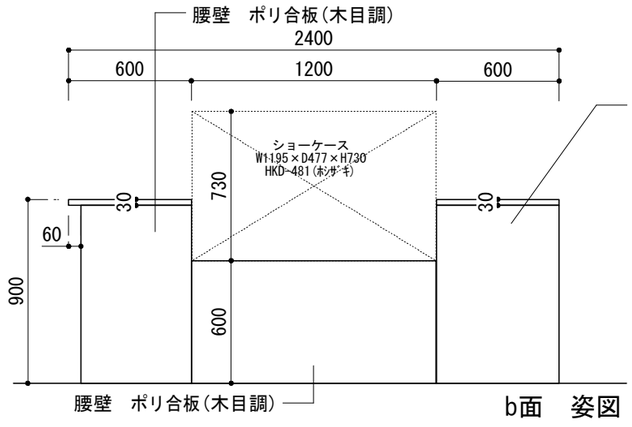
check 2025.10.14

no A-30

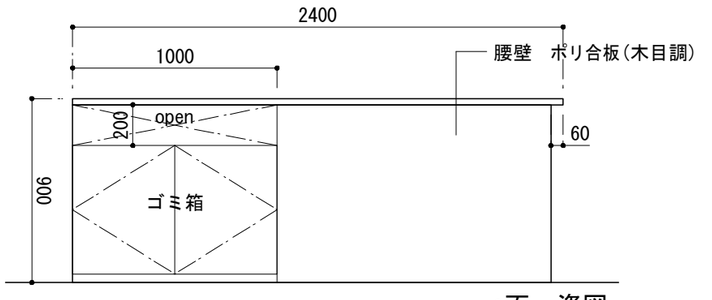
① カフェ　中央カウンター家具



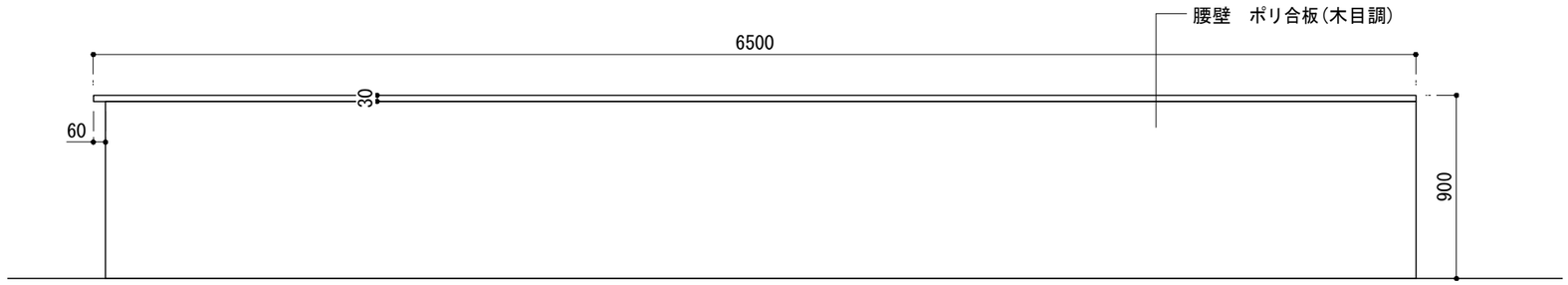
平面図



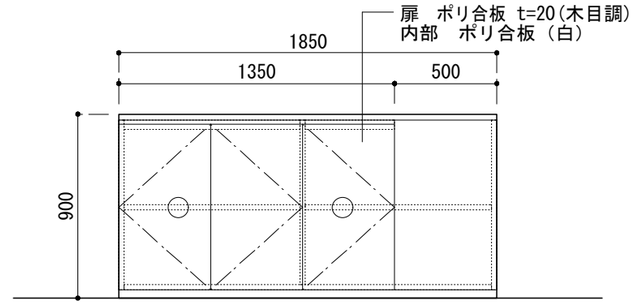
b面　姿図



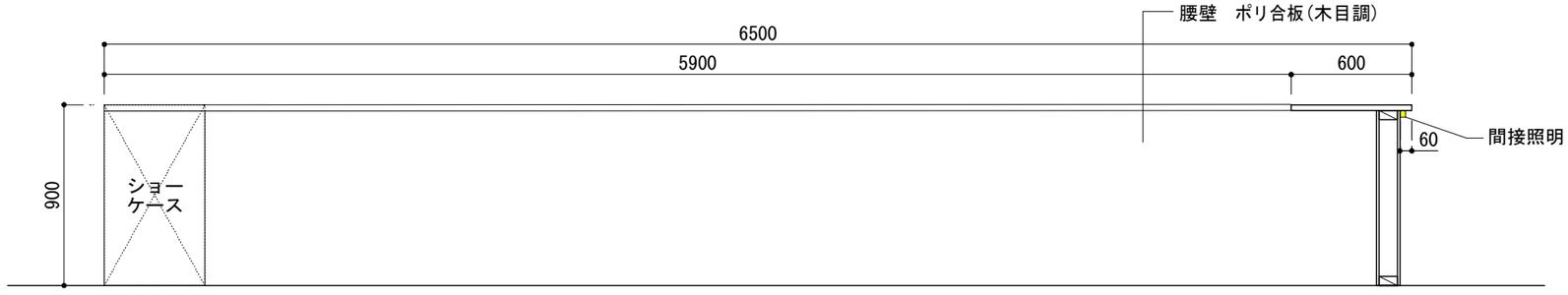
c面　姿図



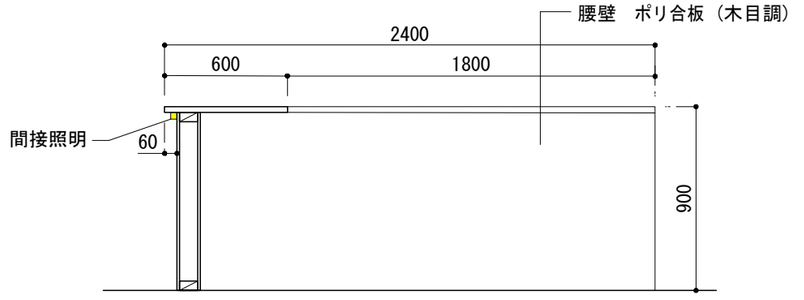
a面　姿図



d面　姿図



A-A'　断面図

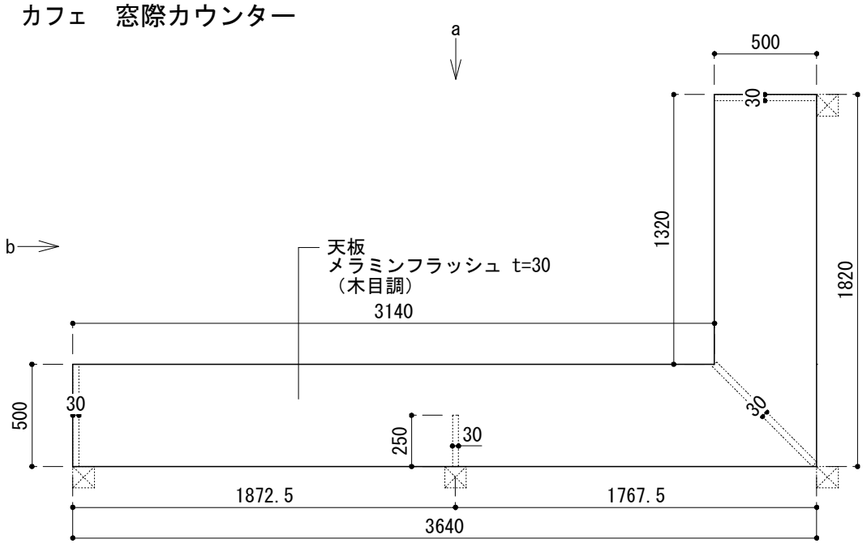


B-B'　断面図

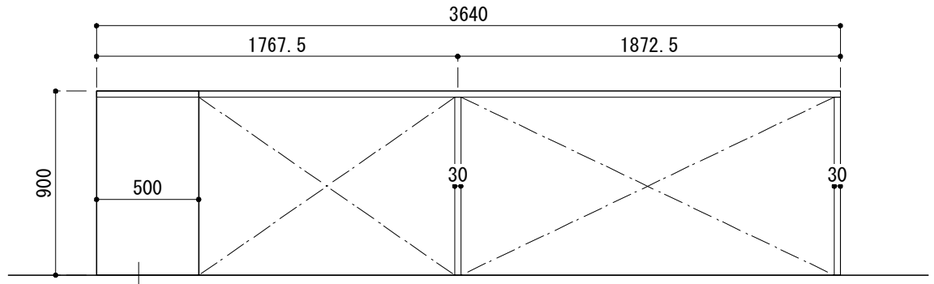
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	家具図-１	1/30	2025.10.16	A-31

② カフェ　窓際カウンター

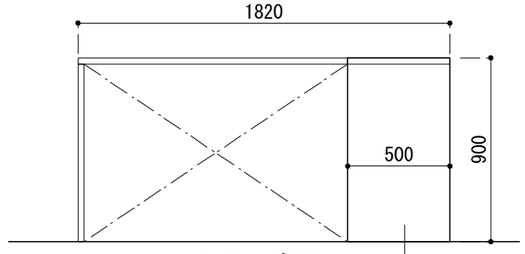


平面図



a面　姿図

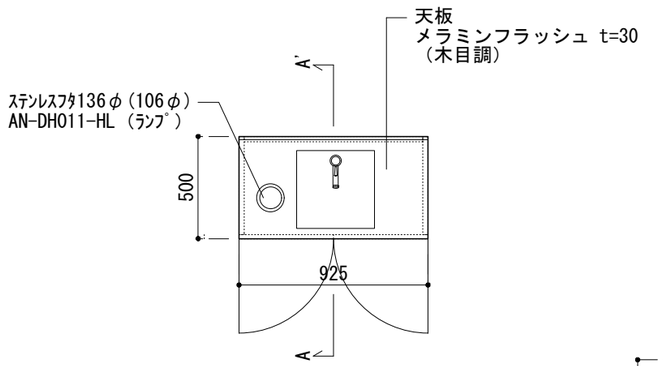
側板
ポリ合板フラッシュ t=30
（木目調）



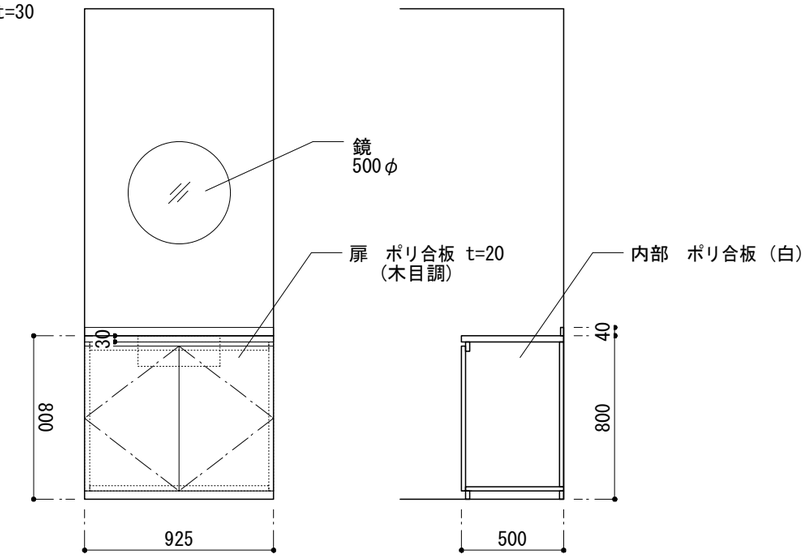
b面　姿図

側板
ポリ合板フラッシュ t=30
（木目調）

③ カフェ　手洗台



平面図

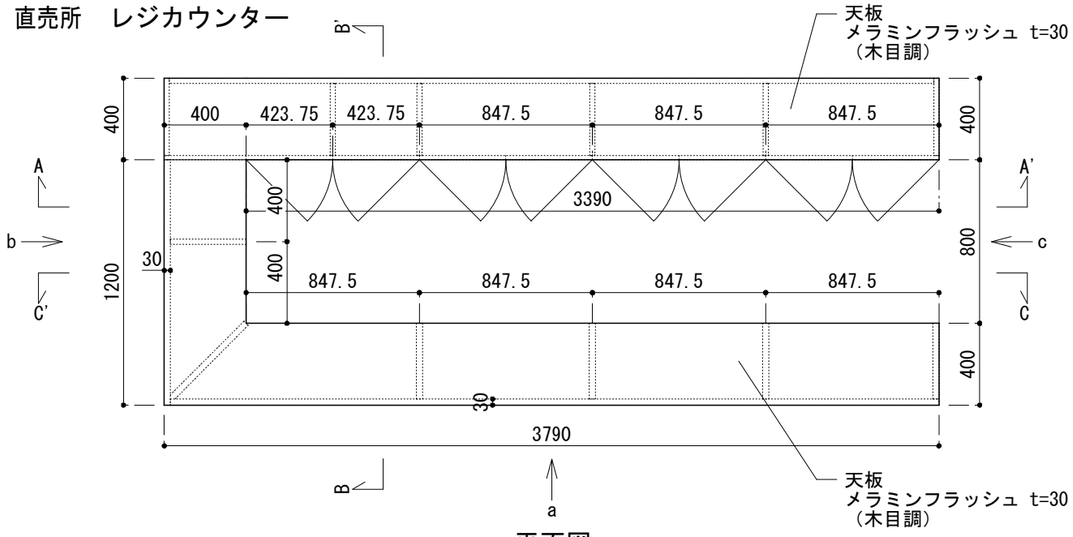


姿図　　A-A’ 断面図

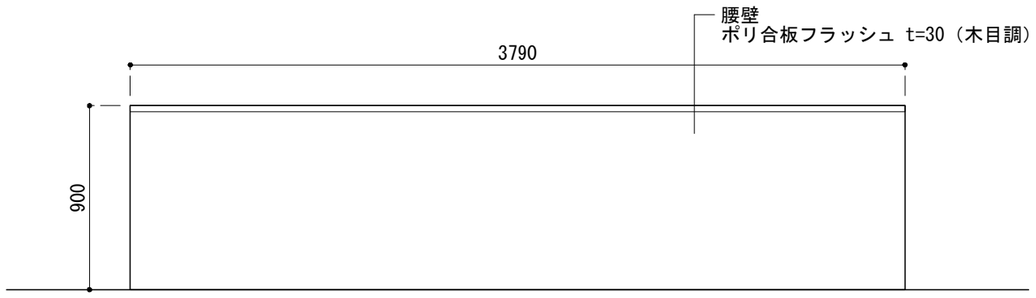
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	家具図-２	1/30	2025.10.16	A-32

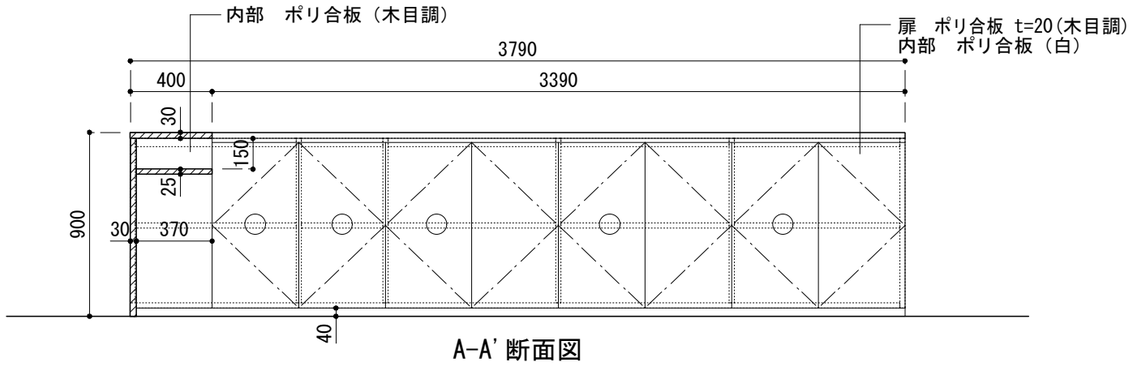
④　直売所　レジカウンター



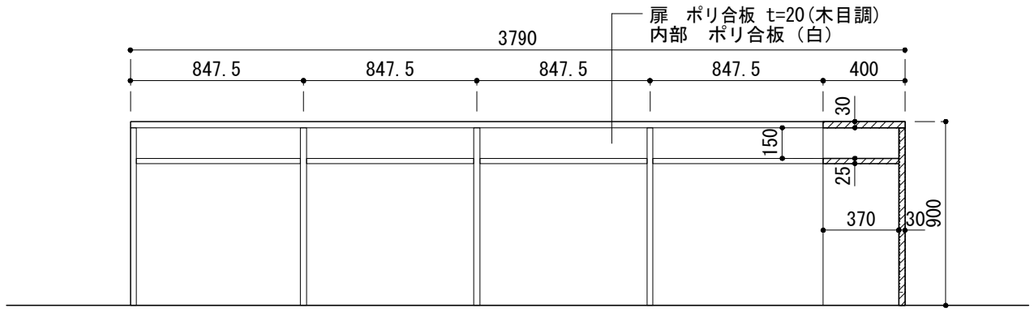
平面図



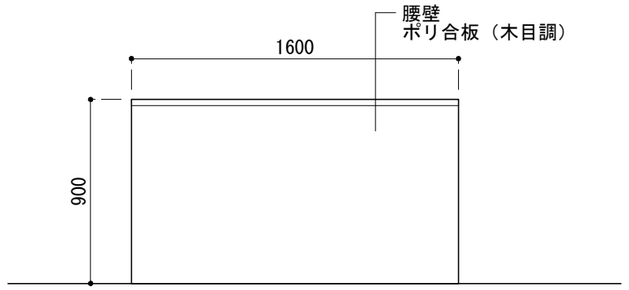
a面　姿図



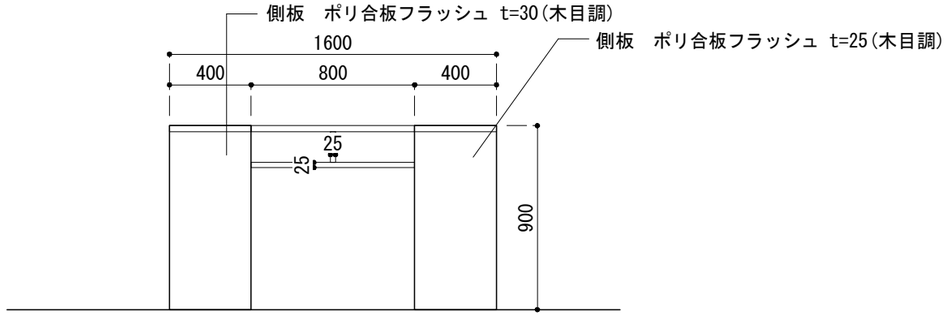
A-A'断面図



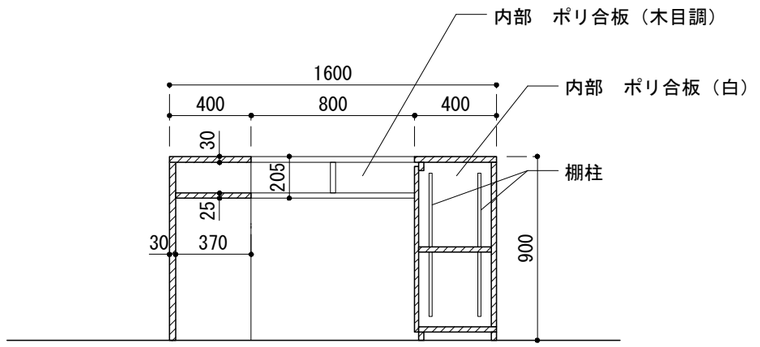
C-C'断面図



b面　姿図



c面　姿図



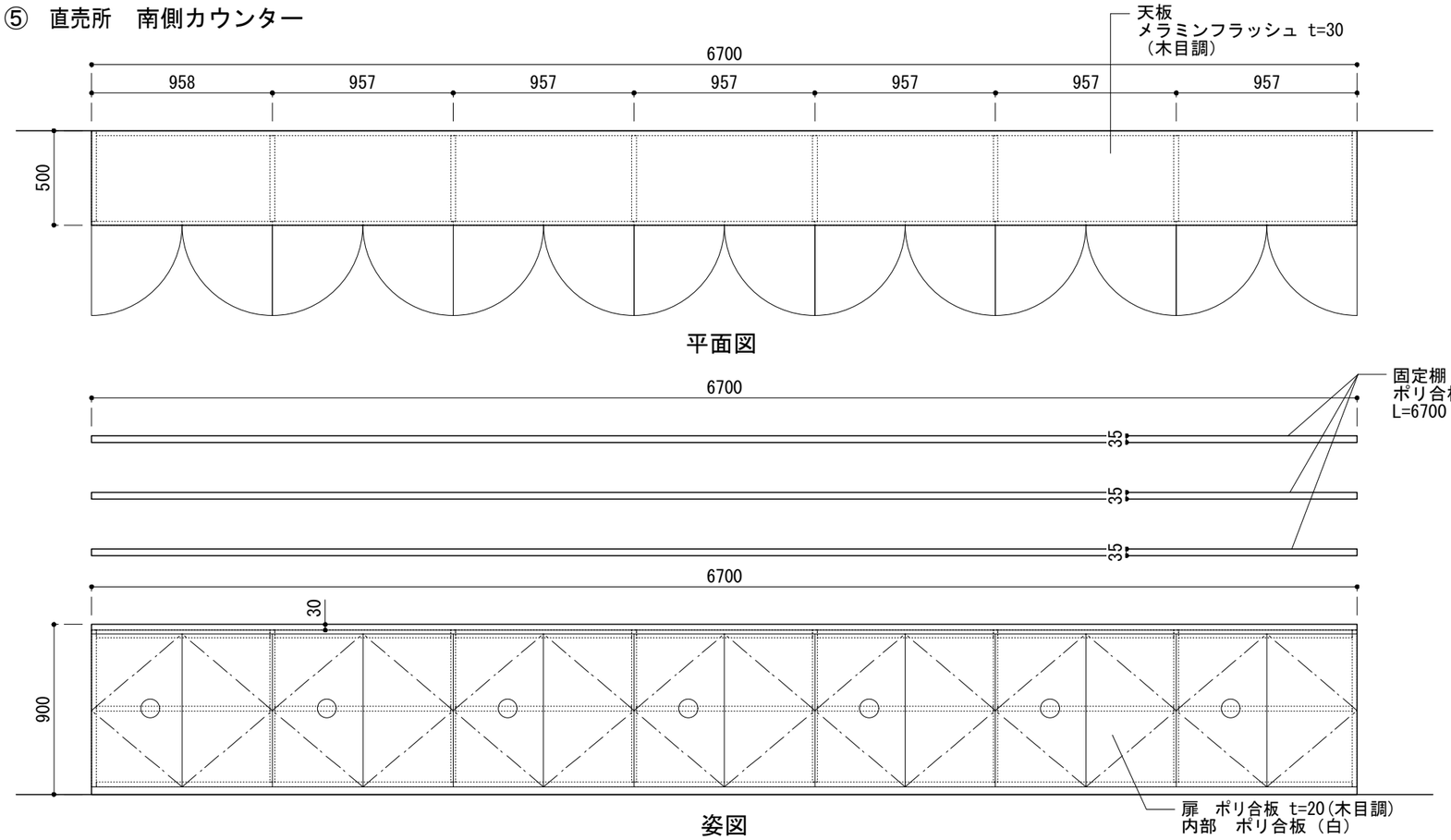
B-B'断面図

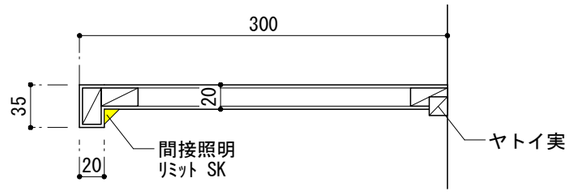
※　○は可動棚を示す

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

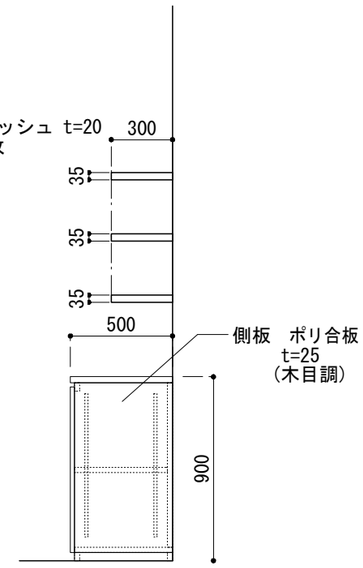
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	家具図-３	1/30	2025.8.22	A-33

⑤　直売所　南側カウンター

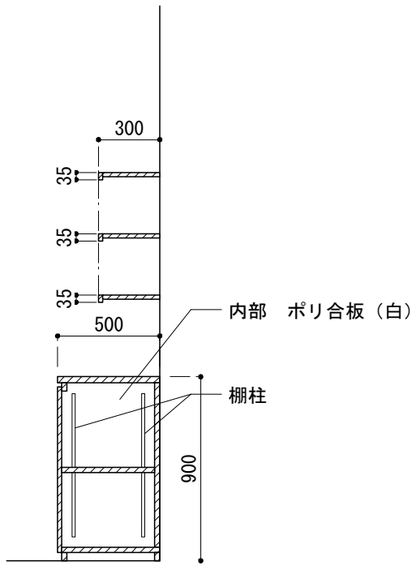




固定棚断面詳細図　S=1/5

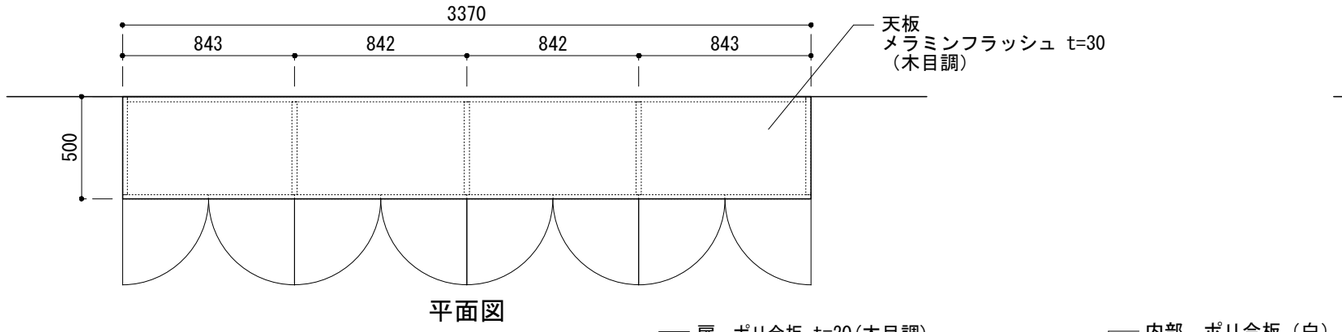


側面姿図

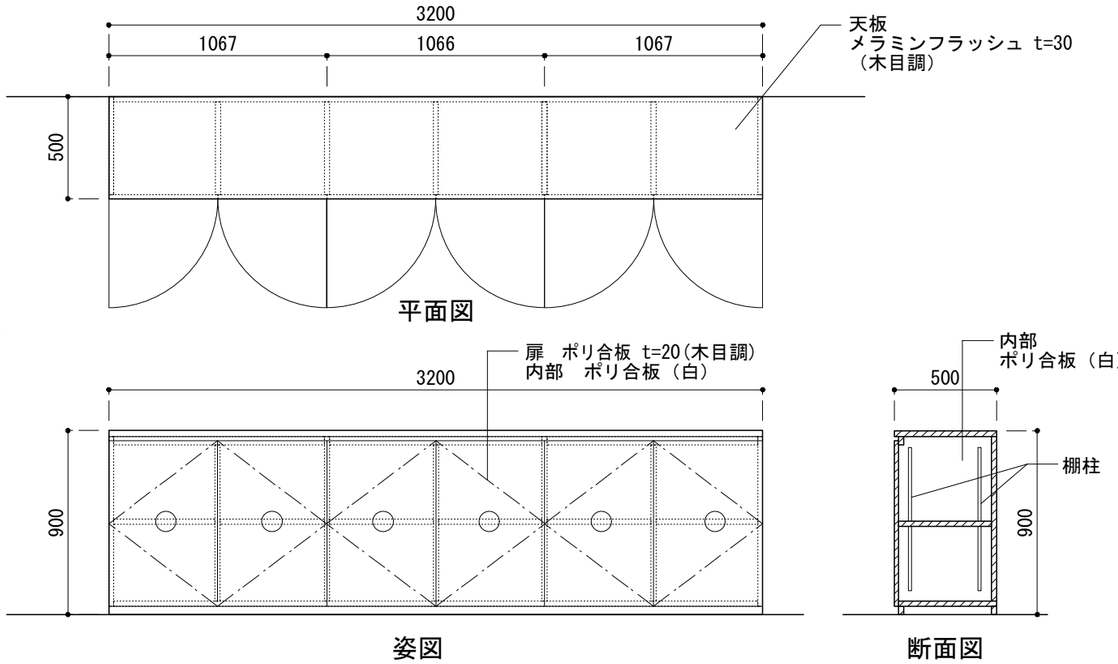


断面図

⑥　直売所　北側カウンター



⑦　バックヤード　PCデスク

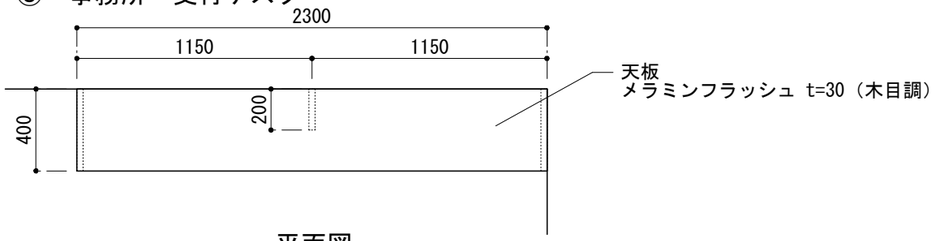


※　○は可動棚を示す

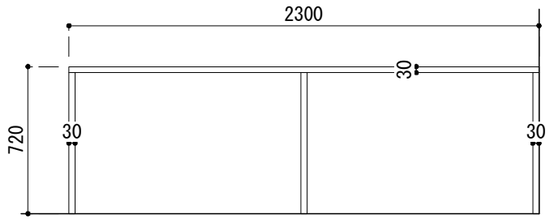
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	家具図-４	1/30	2025.10.16	A-34

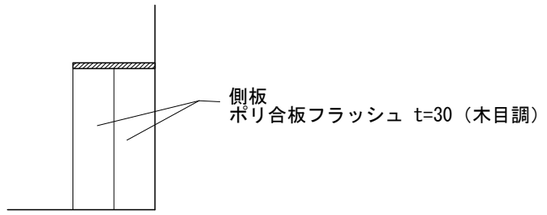
⑧　事務所　受付デスク



平面図

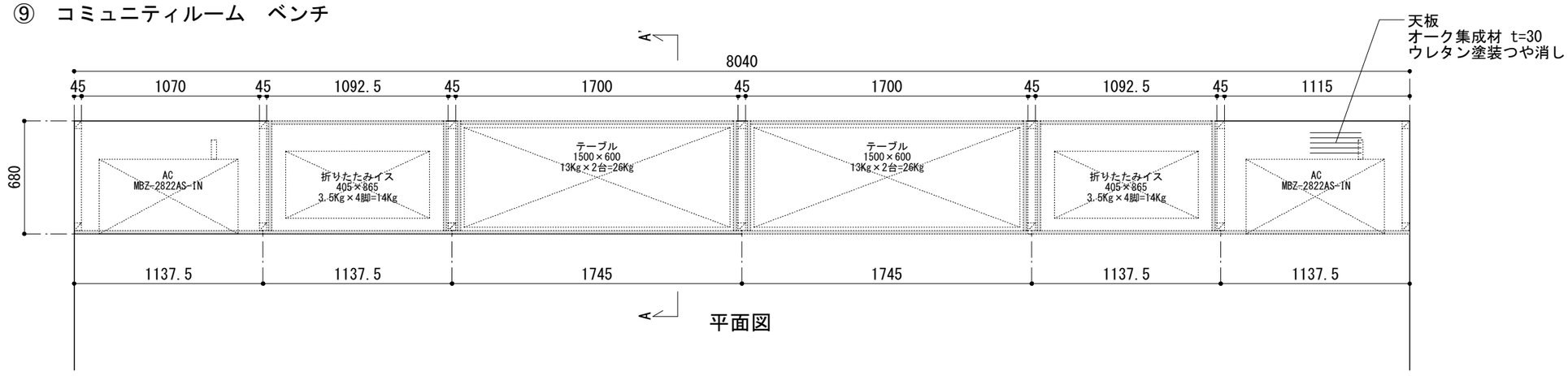


姿図

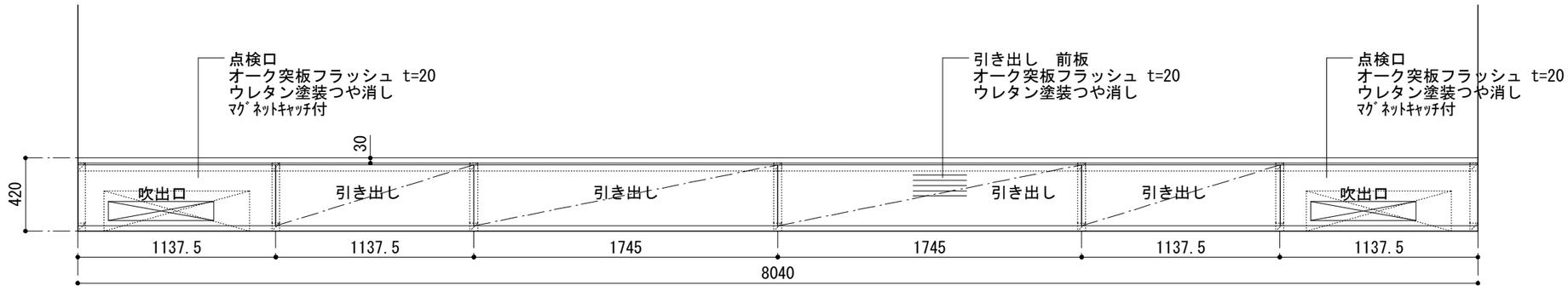


断面図

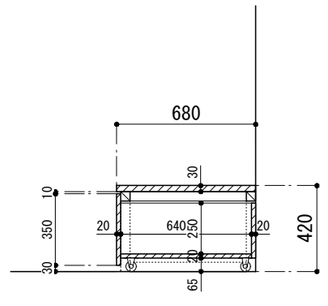
⑨　コミュニティルーム　ベンチ



平面図



姿図



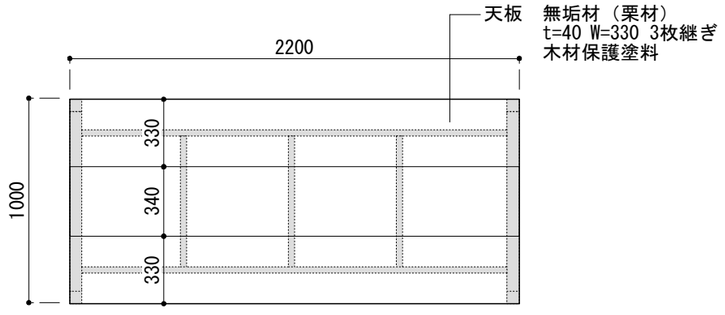
A-A'断面図

※　○は可動棚を示す

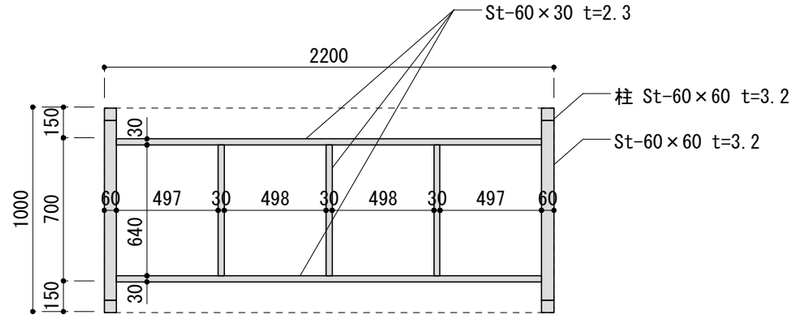
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	家具図-５	1/30	2025.10.16	A-35

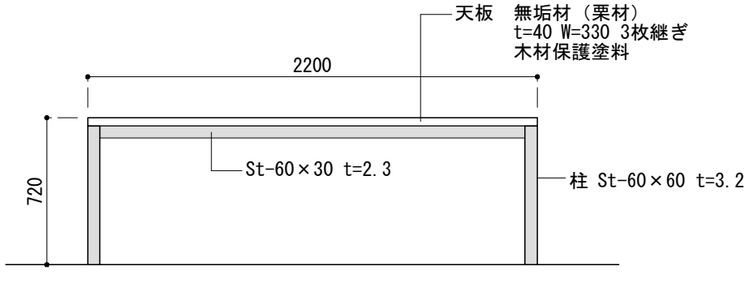
⑩　会議室テーブル



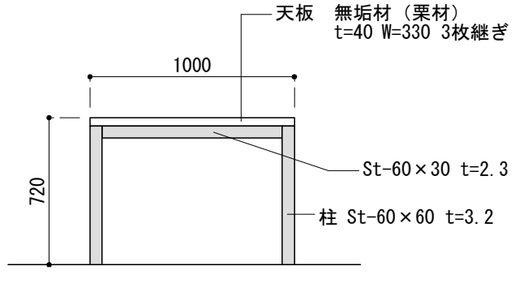
平面図 S=1/30



フレーム平面図 S=1/30



正面姿図 S=1/30



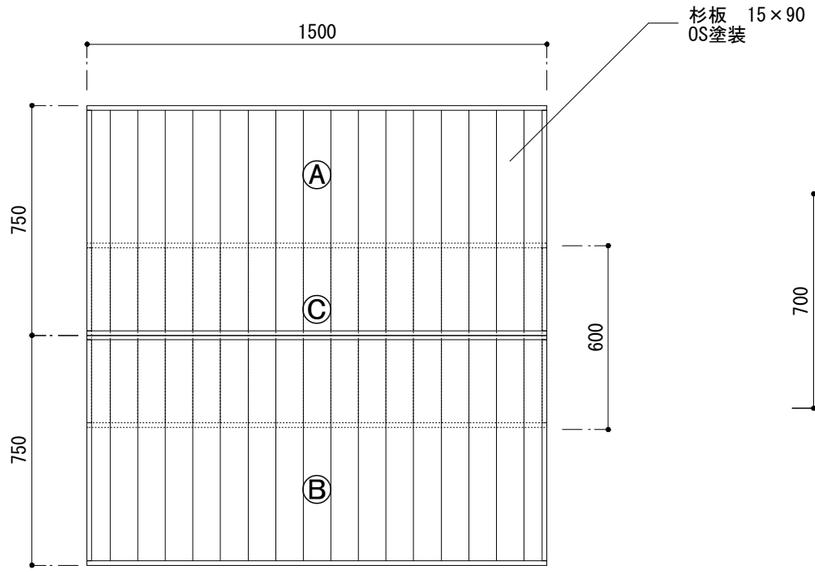
側面姿図 S=1/30

※フレームは　錆止め下地処理
OPツヤ消シ

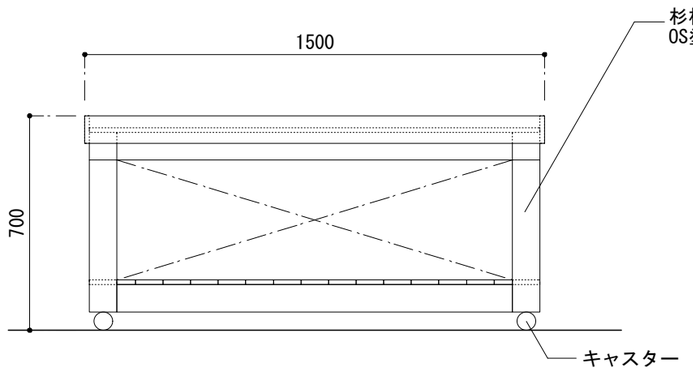
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	家具図-６	1/30	2025.9.30	A-36

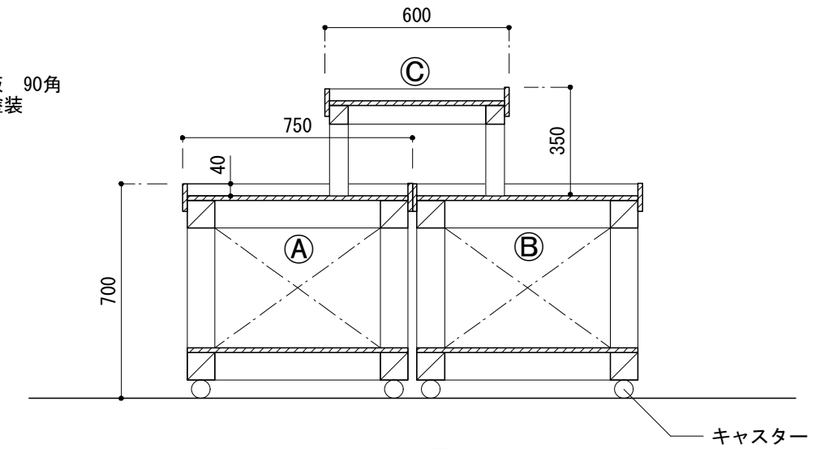
⑪　2段　1500サイズ　×6セット（1セット3台）



平面図

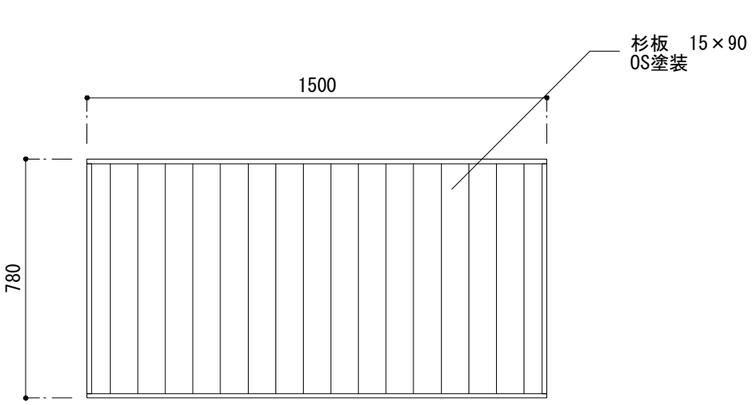


正面姿図

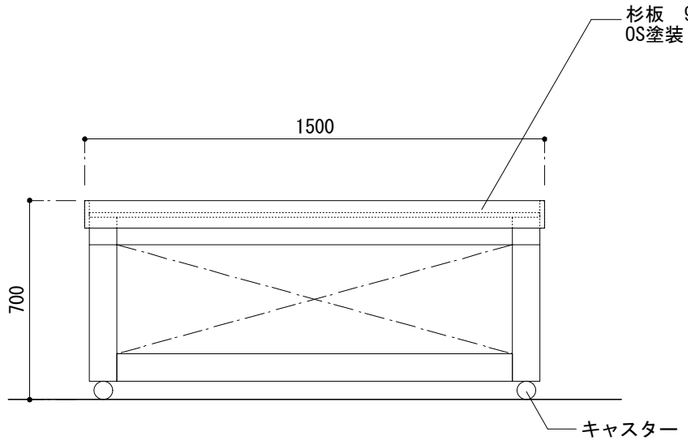


断面図

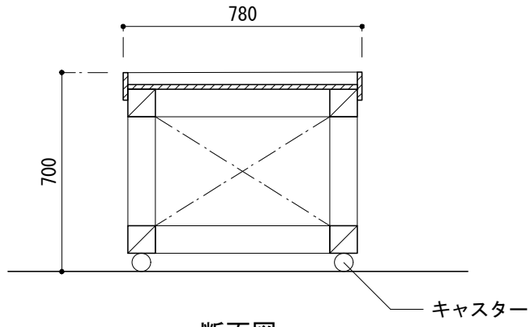
⑫　平置き　1500サイズ　×2台



平面図



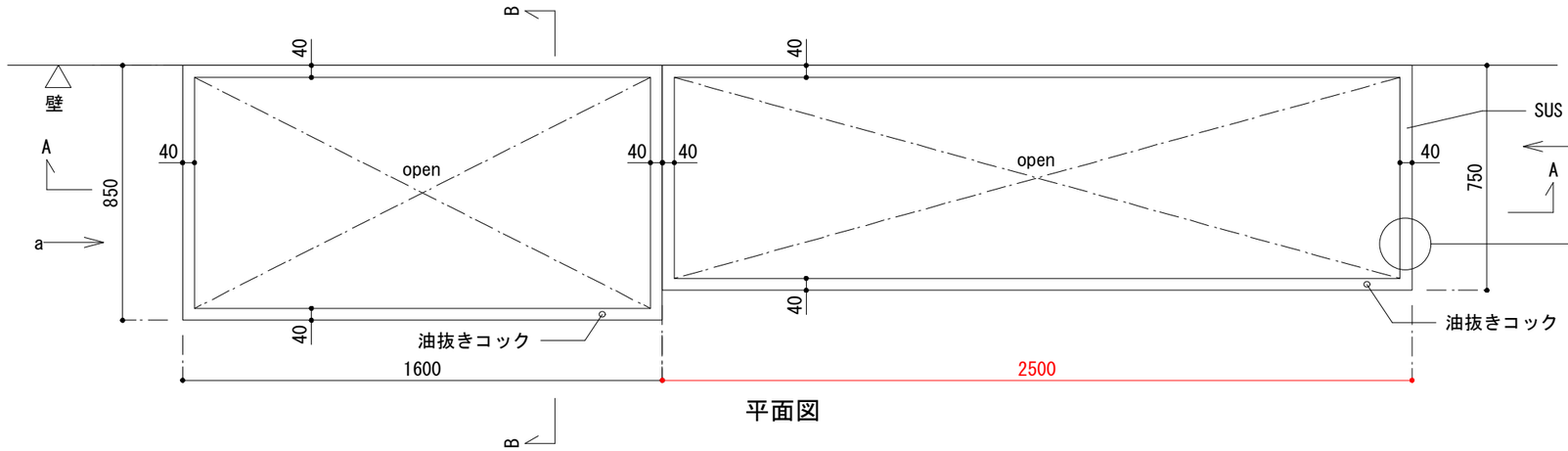
正面姿図



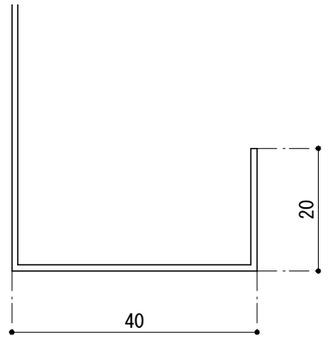
断面図

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

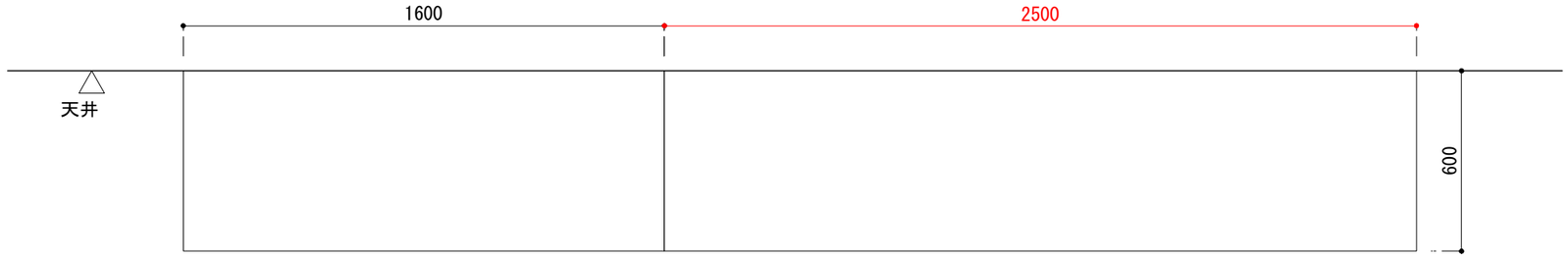
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	什器家具図 W1500	1/20	2025.10.14	A-37



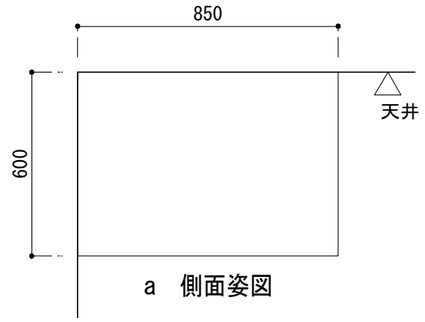
平面図



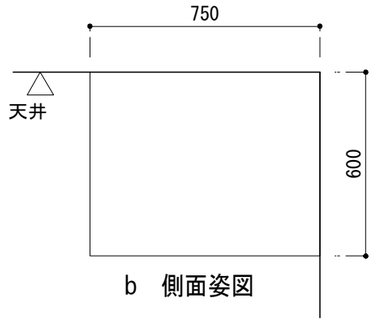
ツバ部分詳細図



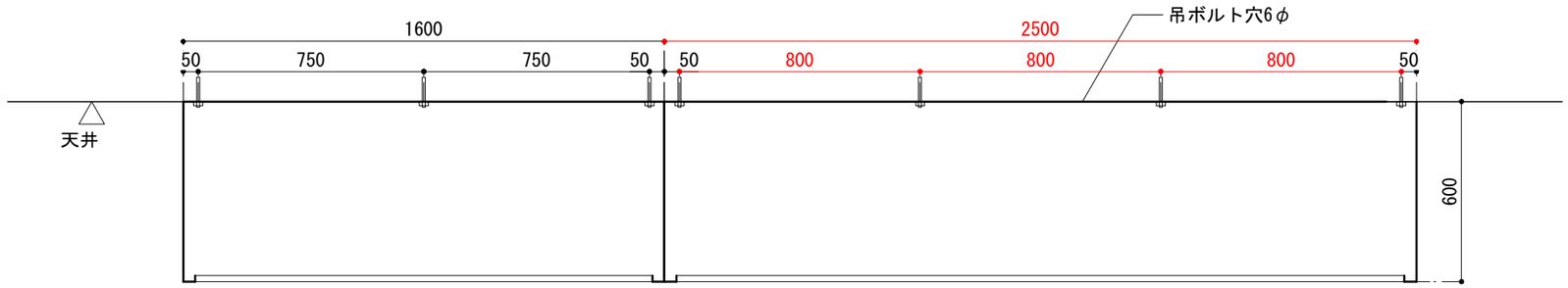
正面姿図



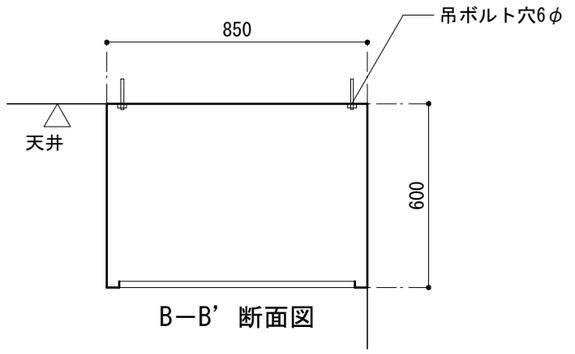
a　側面姿図



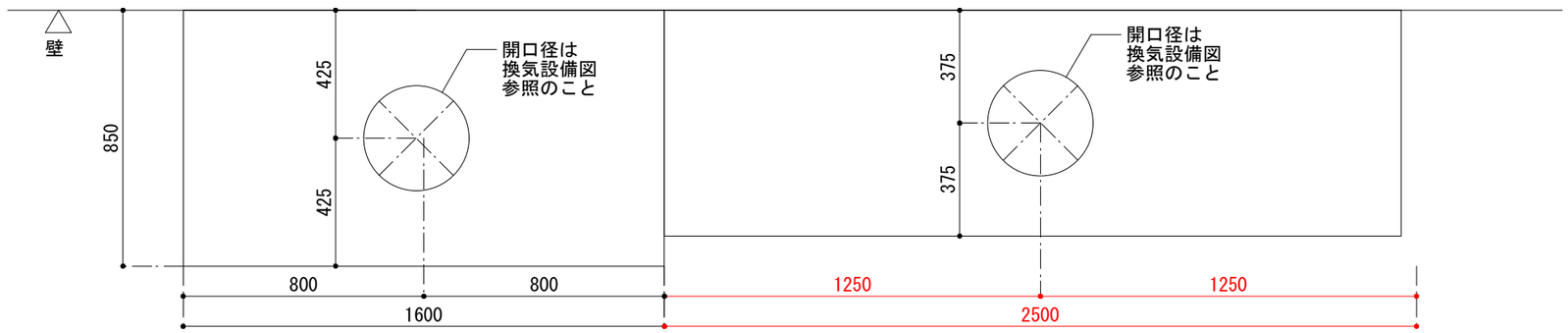
b　側面姿図



A-A'断面図



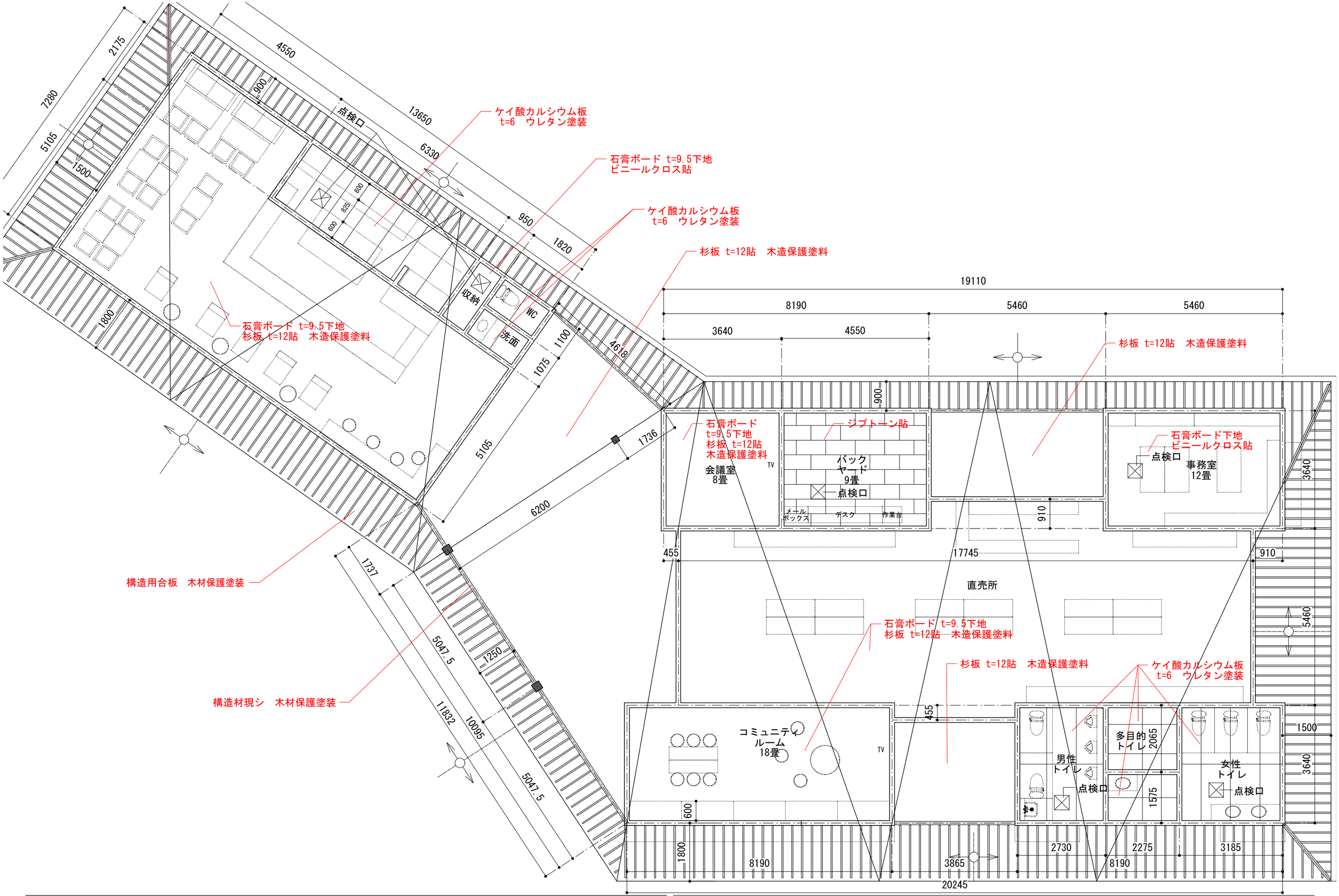
B－B'　断面図



天井伏図

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

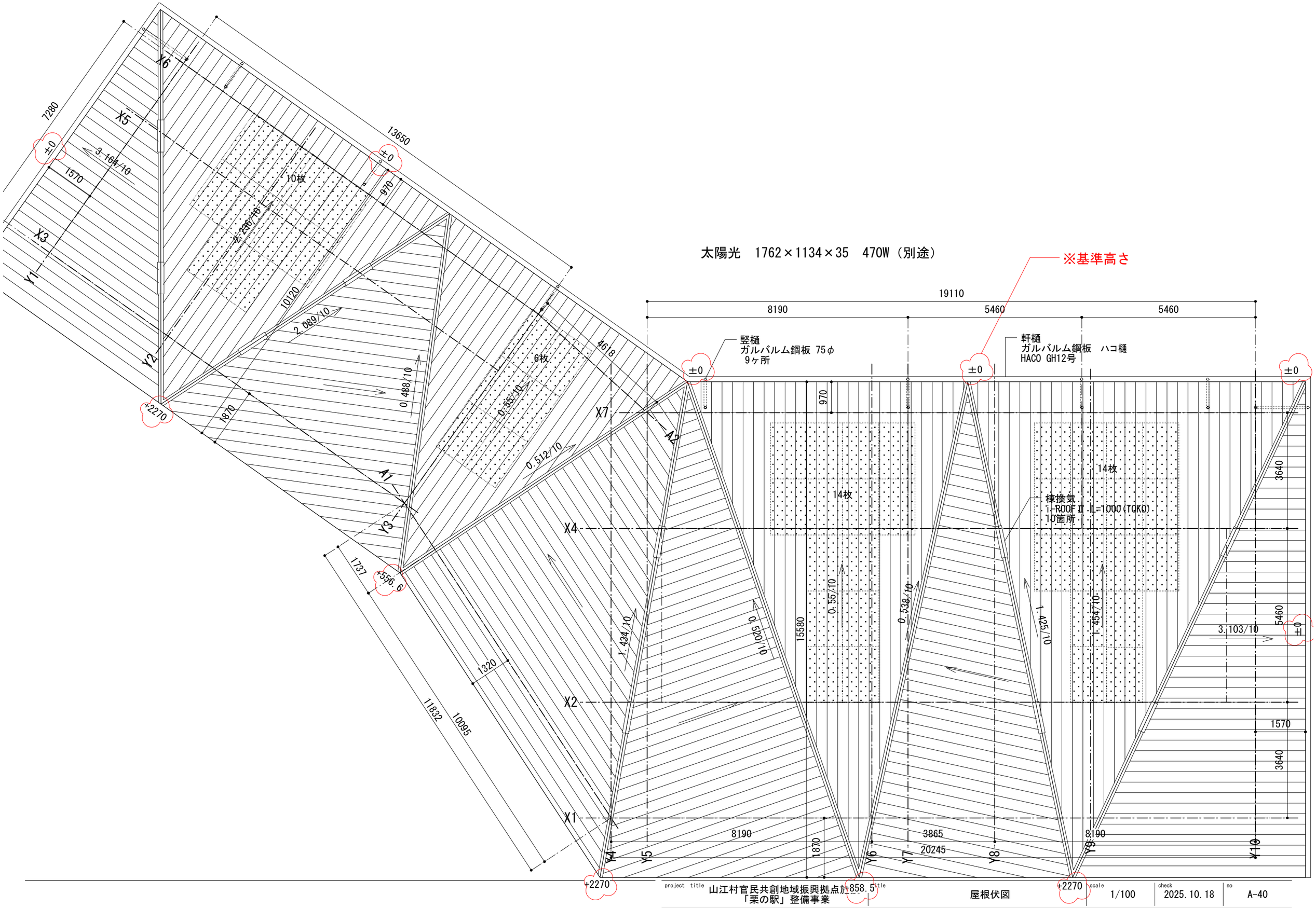
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	レンジフード図	1/20	2025.10.22	A-38



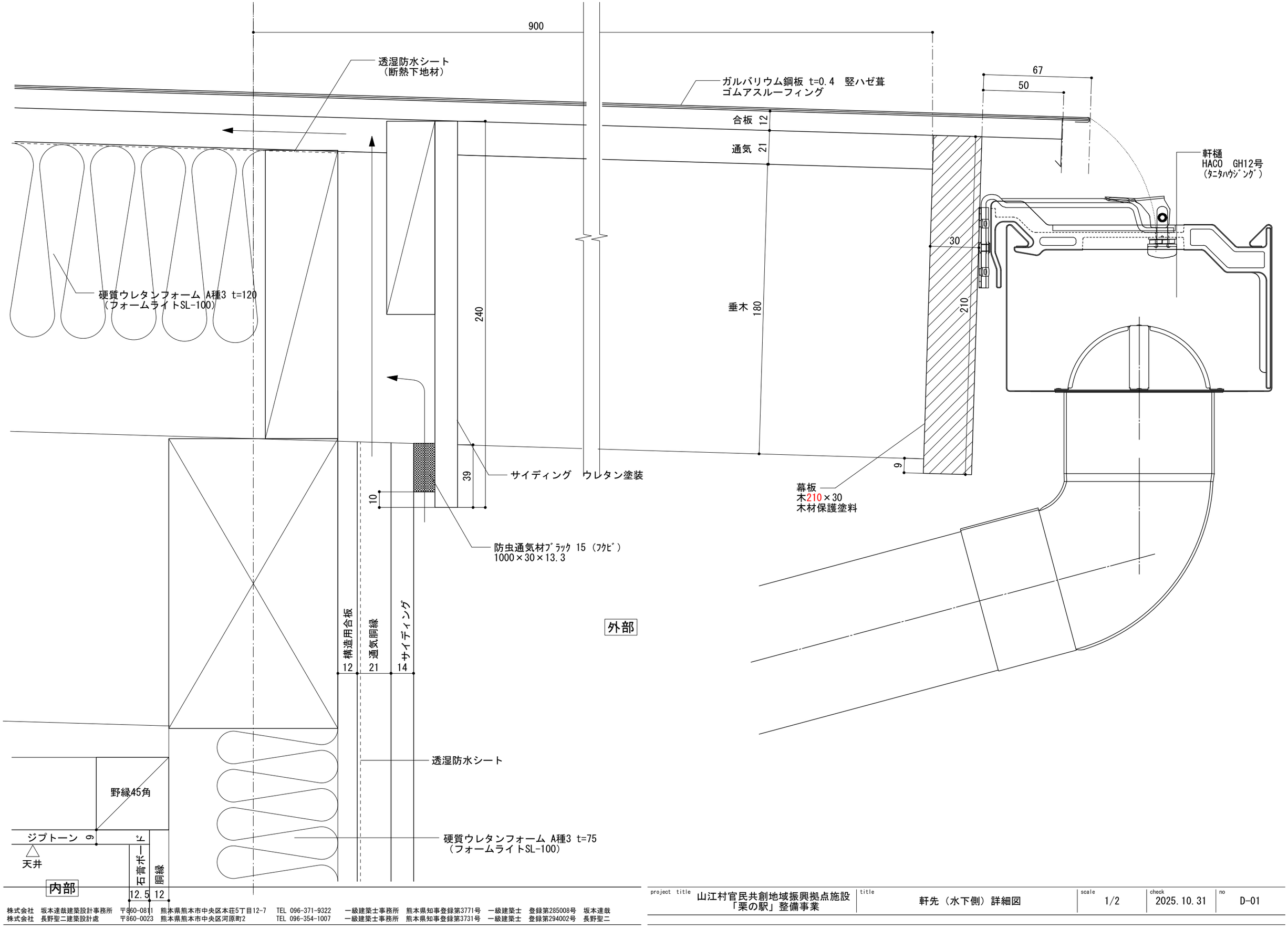
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	天井伏図	1/100	2025.10.31	A-39

太陽光　1762×1134×35　470W（別途）

※基準高さ

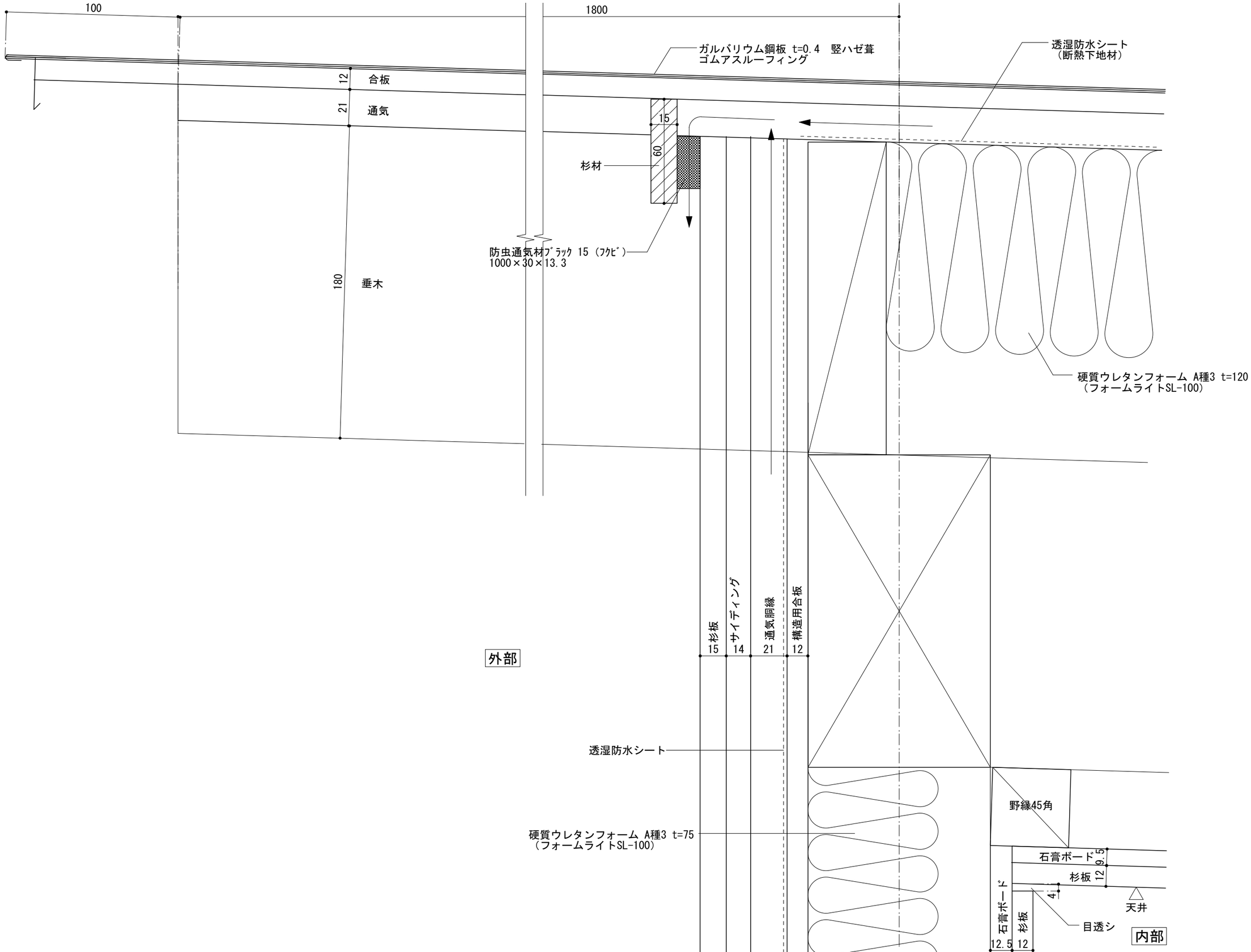


project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	屋根伏図	scale	1/100
check	2025.10.18	no	A-40		



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

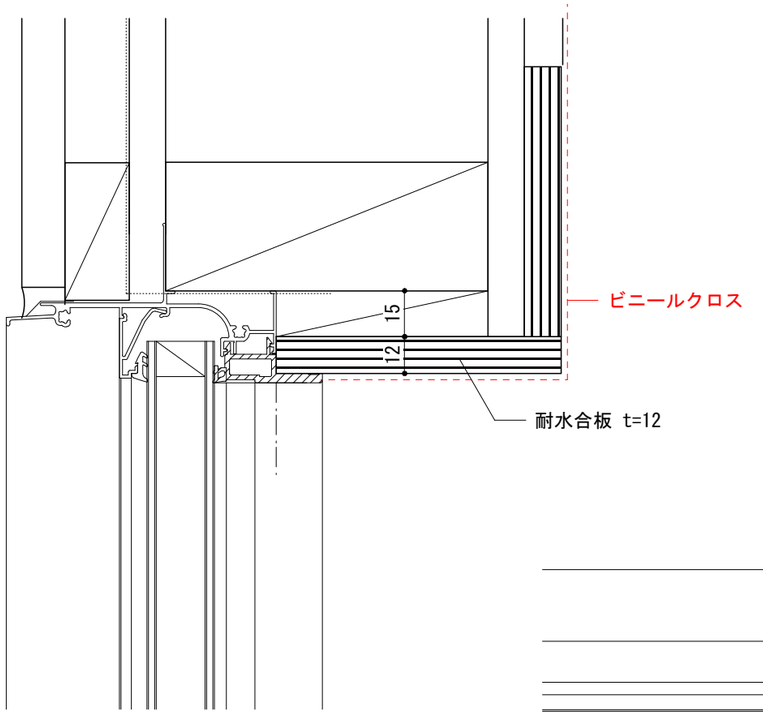
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	軒先（水下側）詳細図	1/2	2025.10.31	D-01

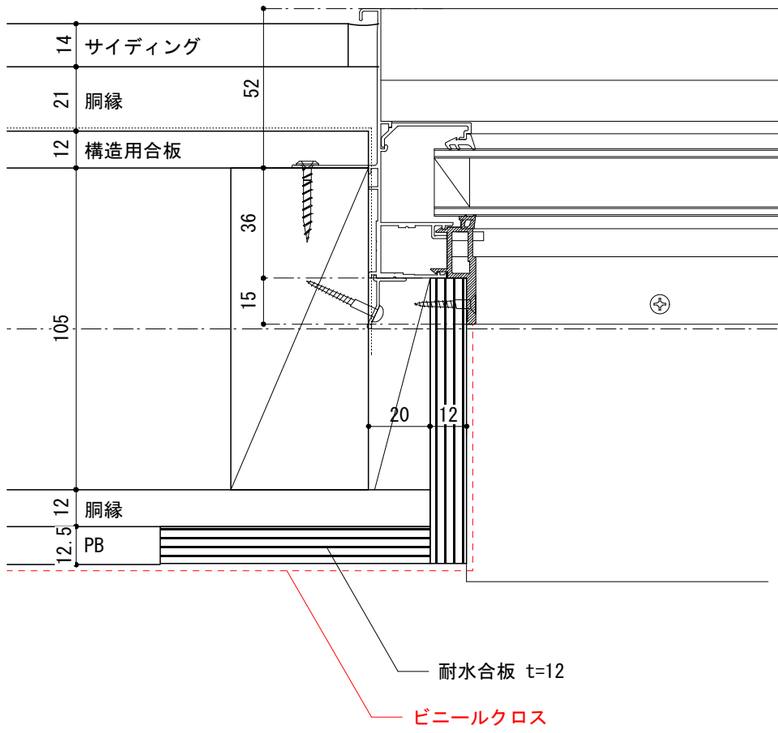


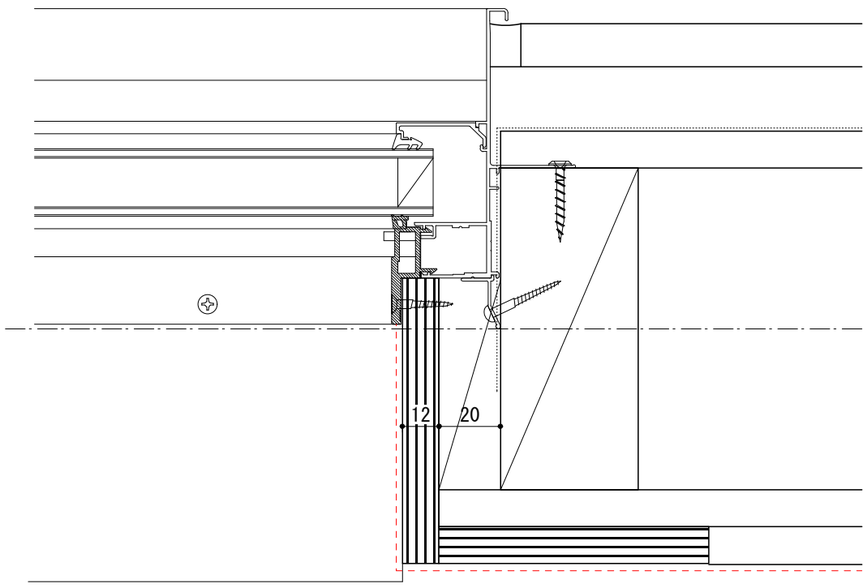
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

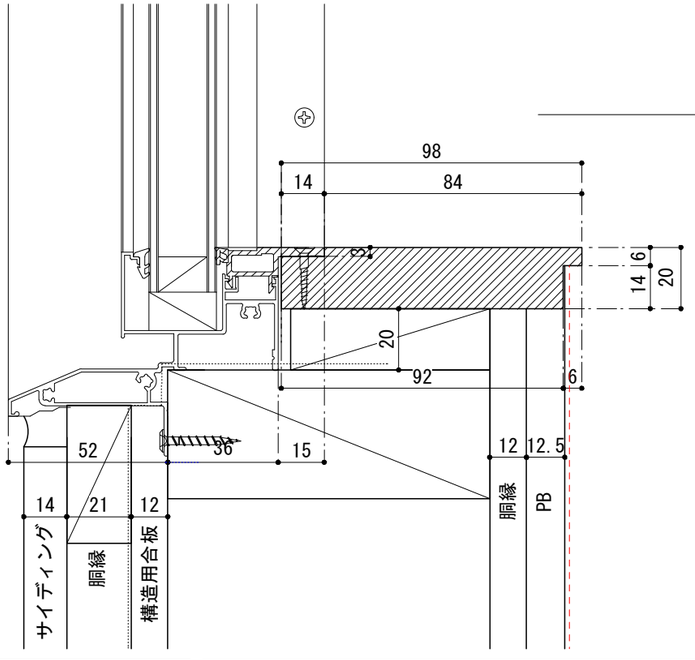
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	軒先（水上側）詳細図	1/2	2025.10.16	D-02

標準　窓枠詳細図（下枠のみ）　A







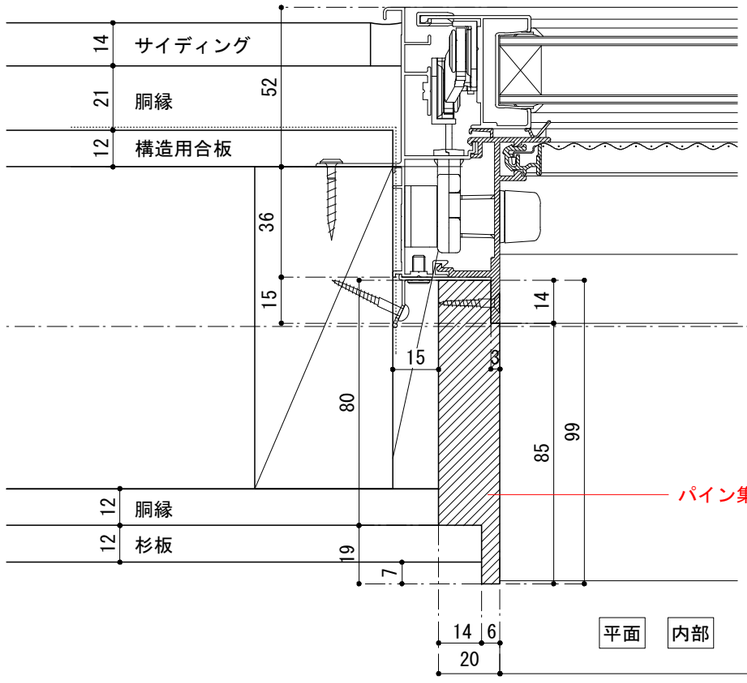


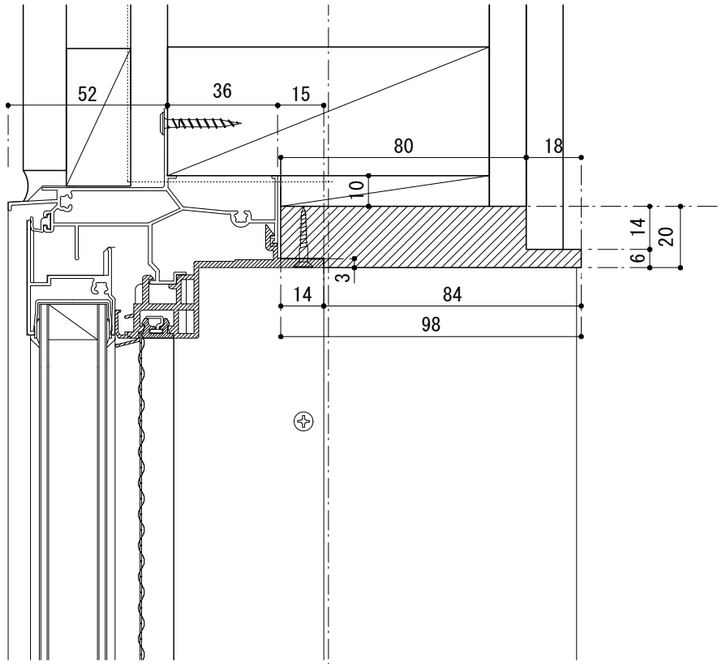
※サッシはサーモスＬ
※現場で採寸し、図面との整合性を確認後加工のこと

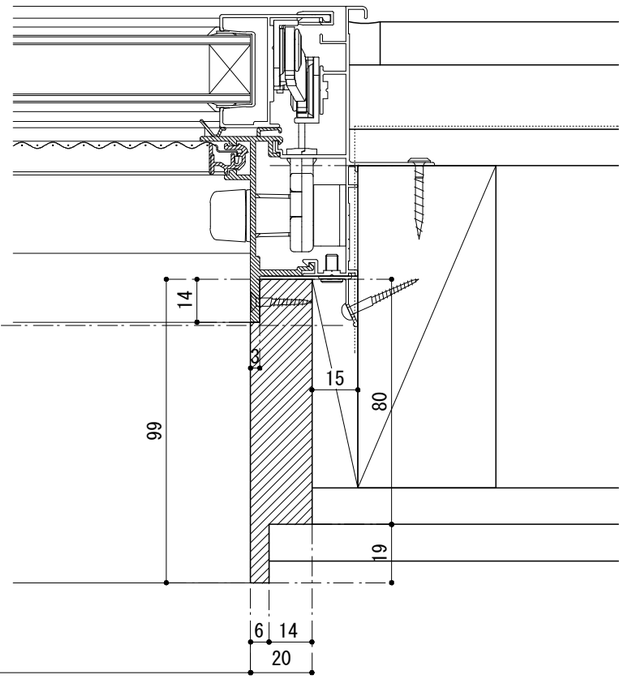
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

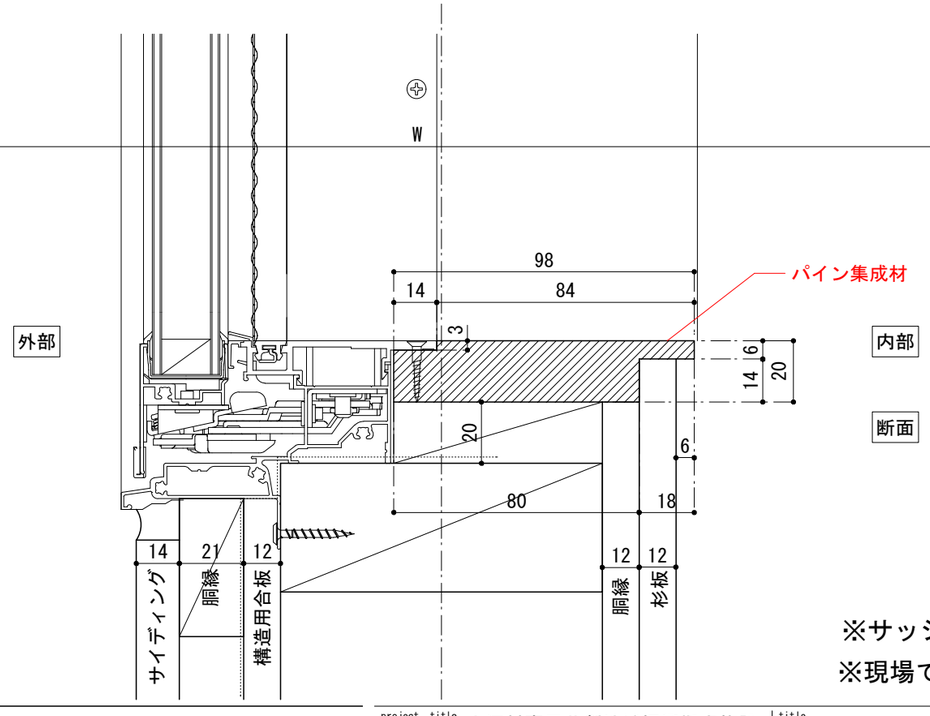
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	窓枠詳細図（下部のみ）	1/2	2025.10.31	D-03

窓枠詳細図（四方枠）B









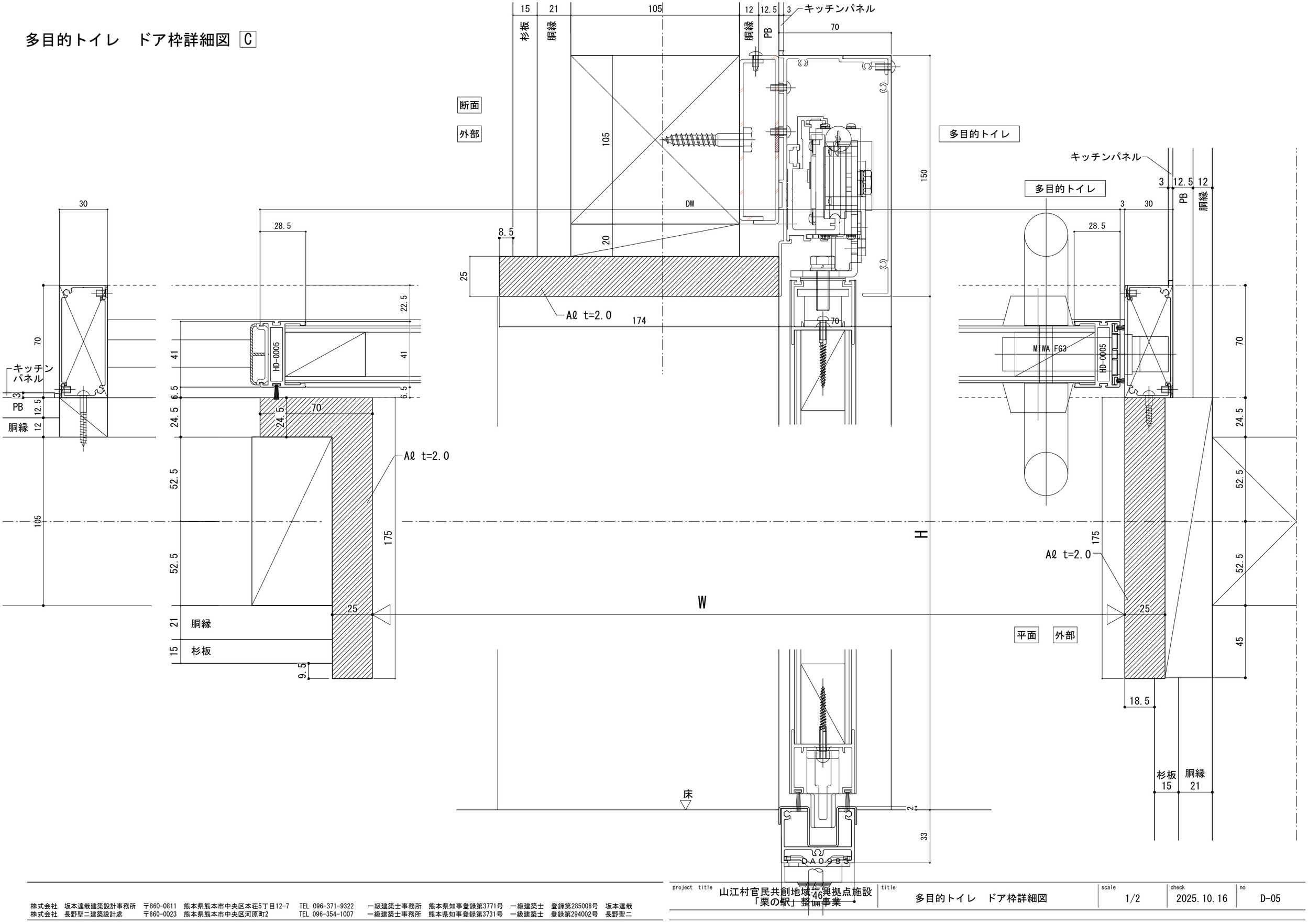
※サッシ　サーモスL

※現場で採寸し、図面との整合性を確認後加工のこと

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	窓枠詳細図（四方枠）	1/2	2025. 10. 31	D-04

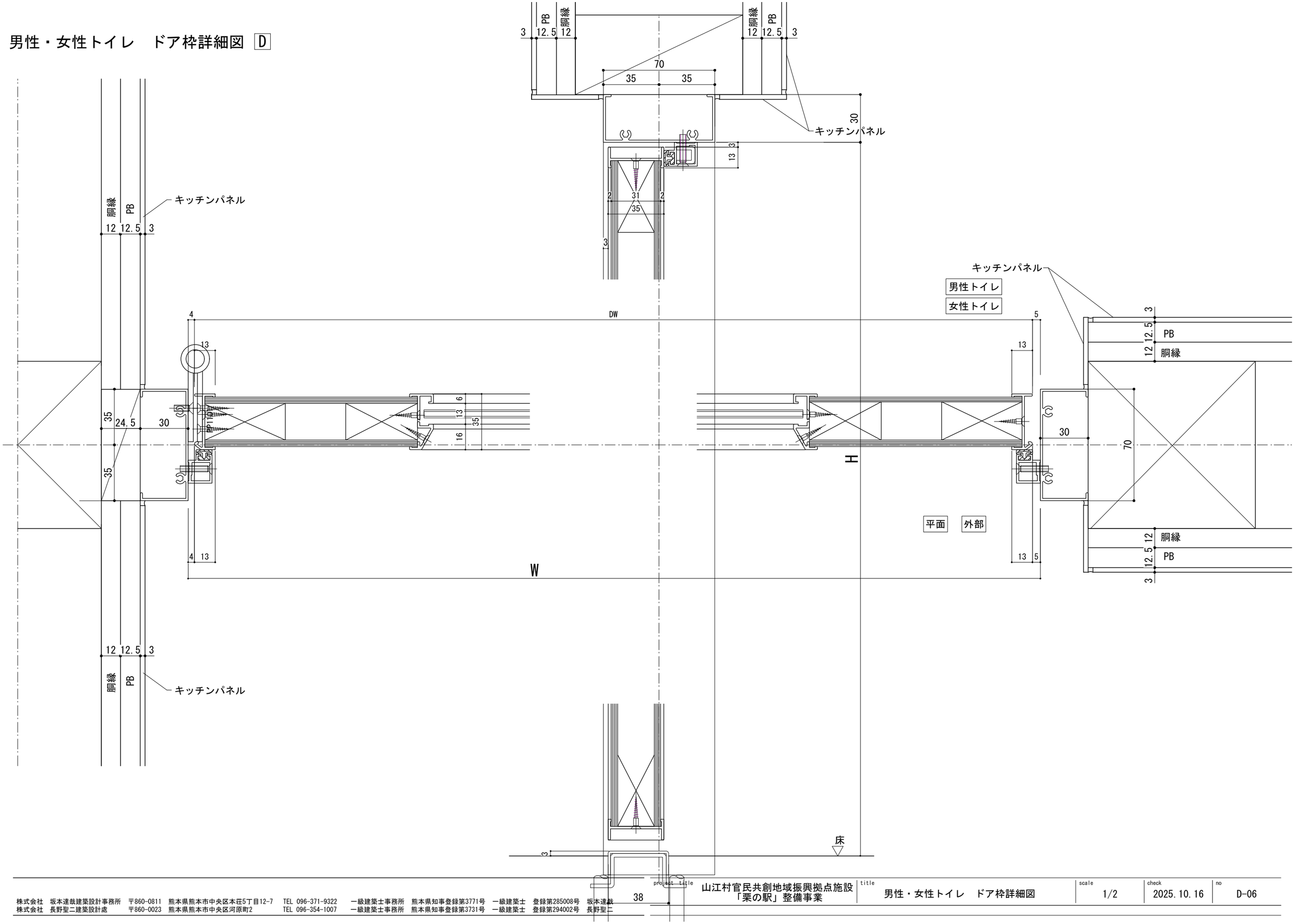
多目的トイレ　ドア枠詳細図 C



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	多目的トイレ　ドア枠詳細図	1/2	2025.10.16	D-05

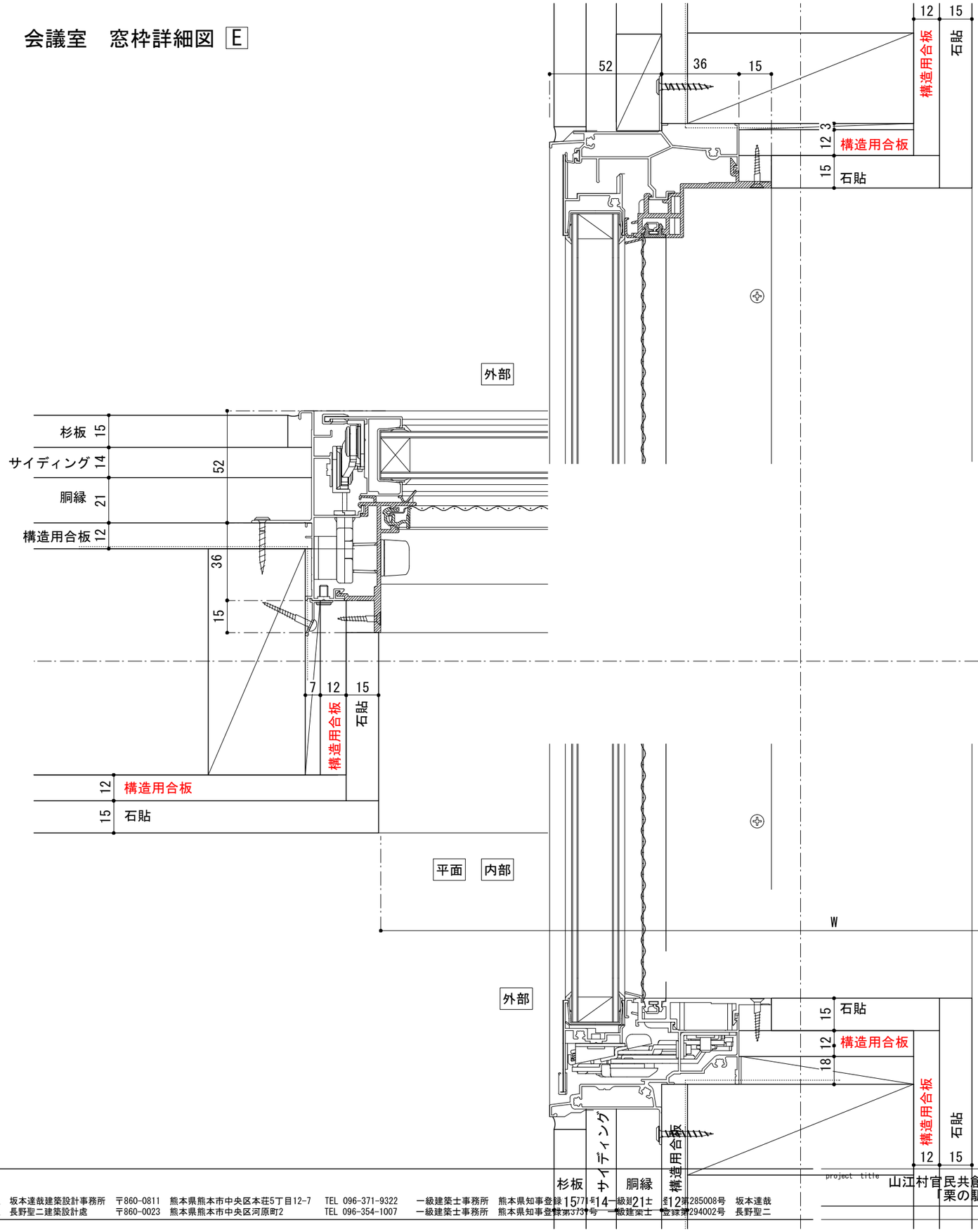
男性・女性トイレ　ドア枠詳細図 D



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	男性・女性トイレ　ドア枠詳細図	1/2	2025.10.16	D-06

会議室　窓枠詳細図 E



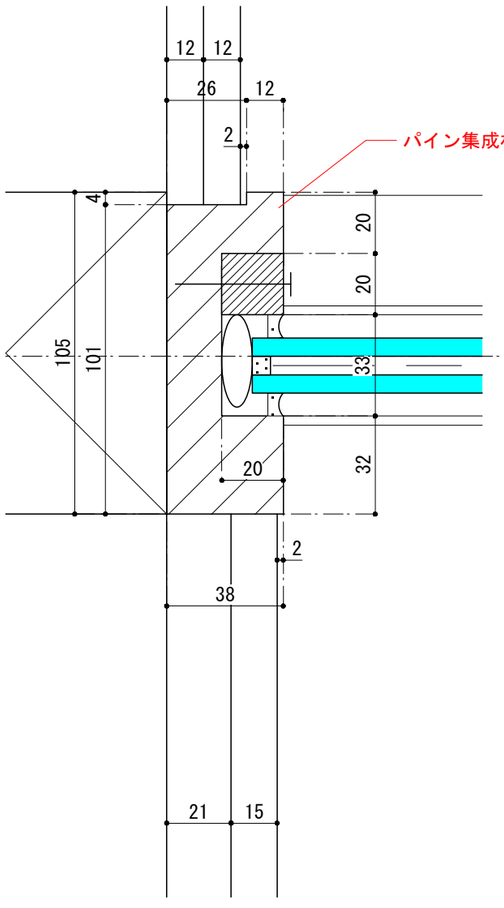
※サッシ　サーモスL

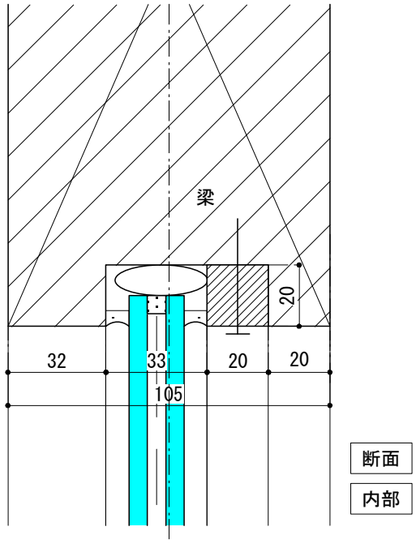
※現場で採寸し、図面との整合性を確認後加工のこと

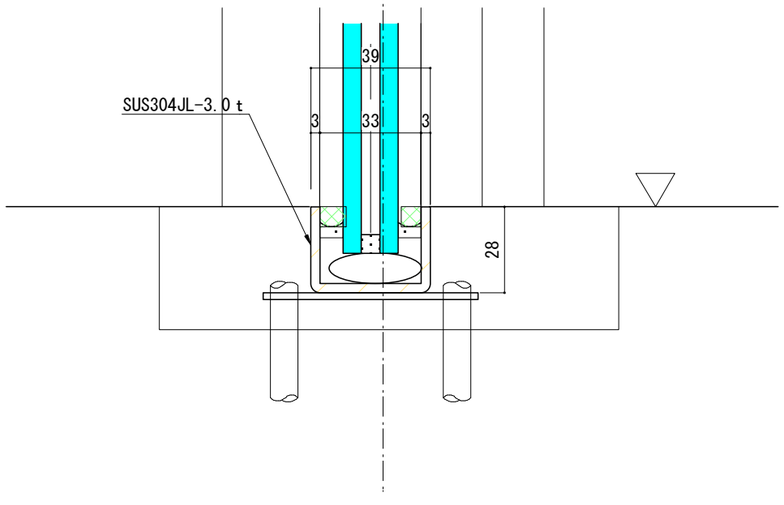
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録 第7715号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録 第7734号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

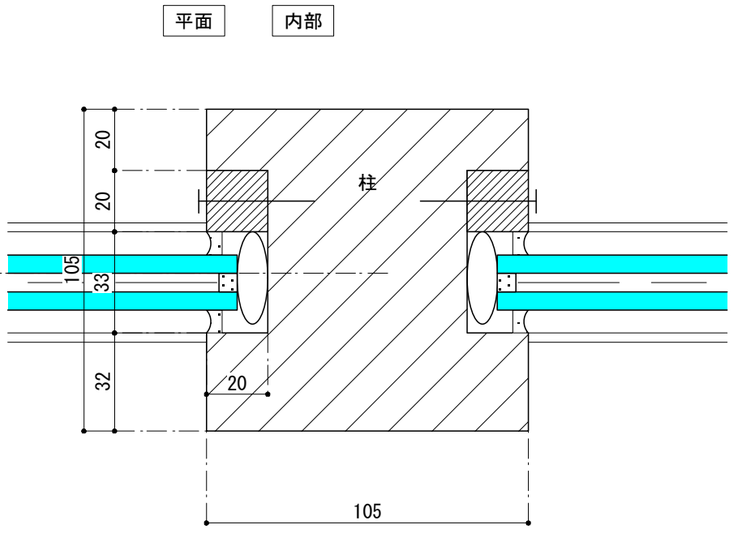
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	会議室　窓枠詳細図	1/2	2025.10.31	D-07

直売所　FIX窓枠詳細図 F





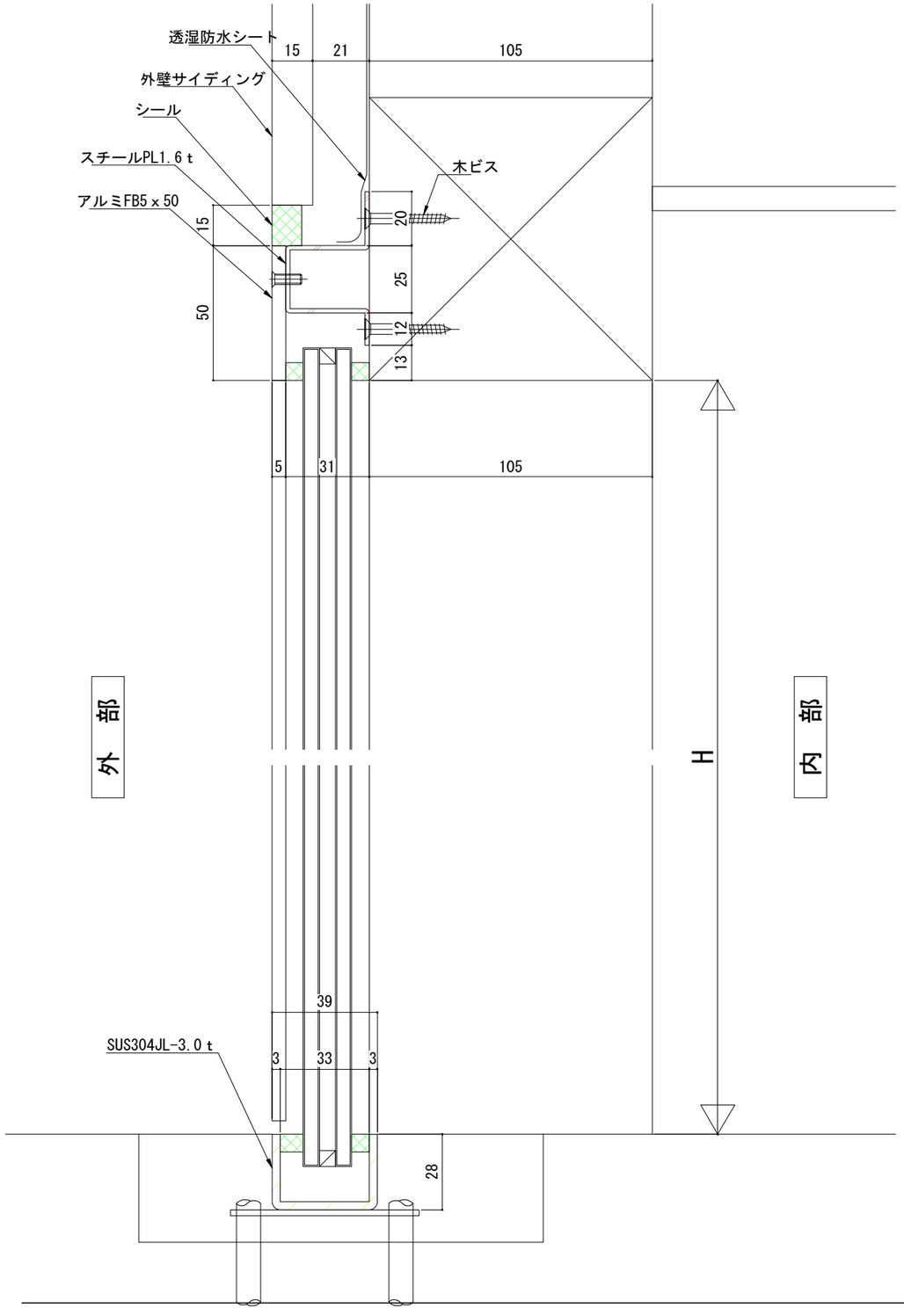




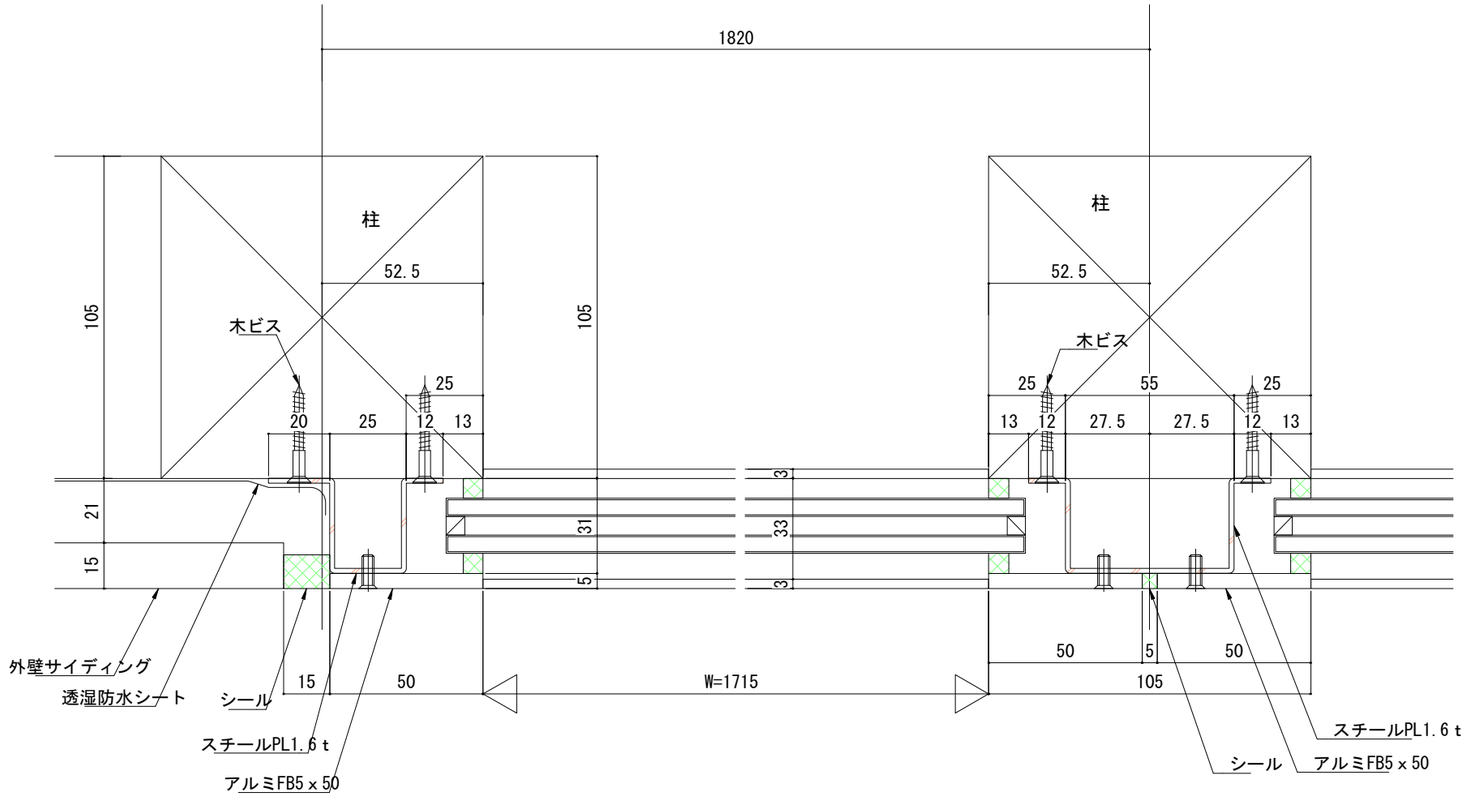
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	直売所　FIX窓枠詳細図	1/2	2025.7.23	D-08

カフェ　FIX窓枠詳細図　G



内　部

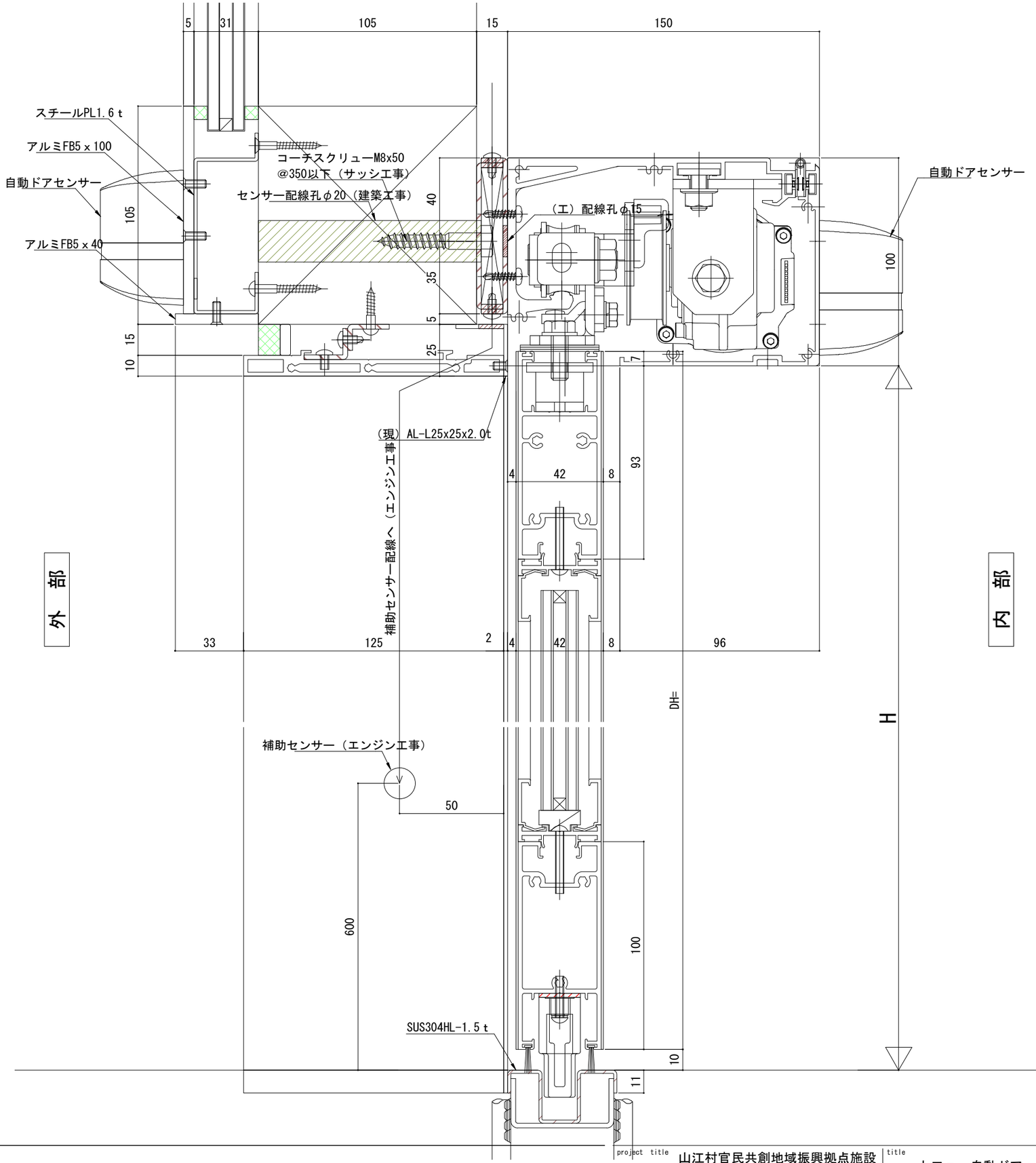


外　部

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	カフェ　FIX窓枠詳細図	1/2	2025.7.23	D-09

カフェ　自動ドア
縦断面詳細図 H

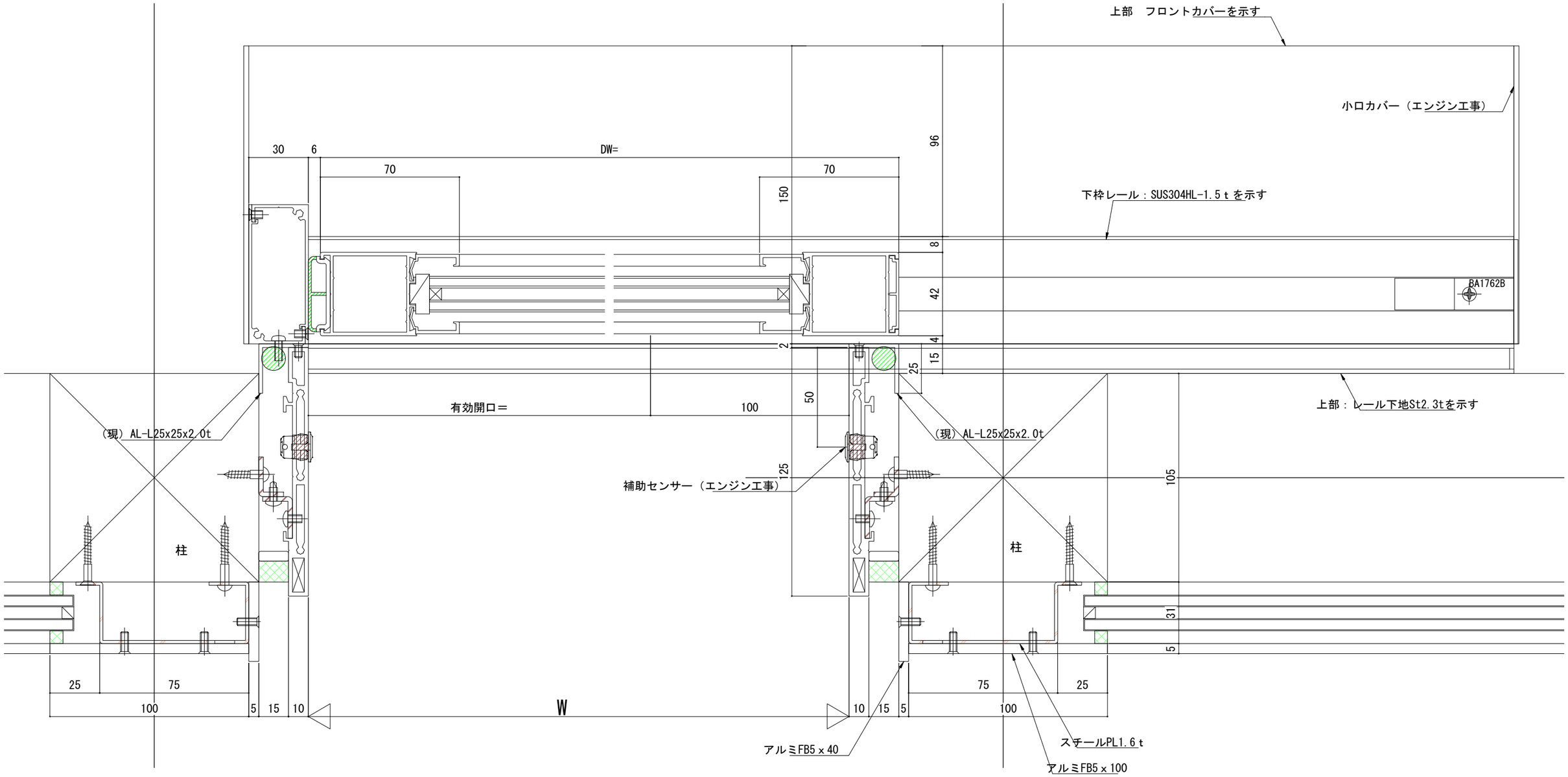


株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	カフェ　自動ドア　縦断面詳細図	1/2	2025.7.23	D-10

カフェ　自動ドア
横断面詳細図 H

内　部



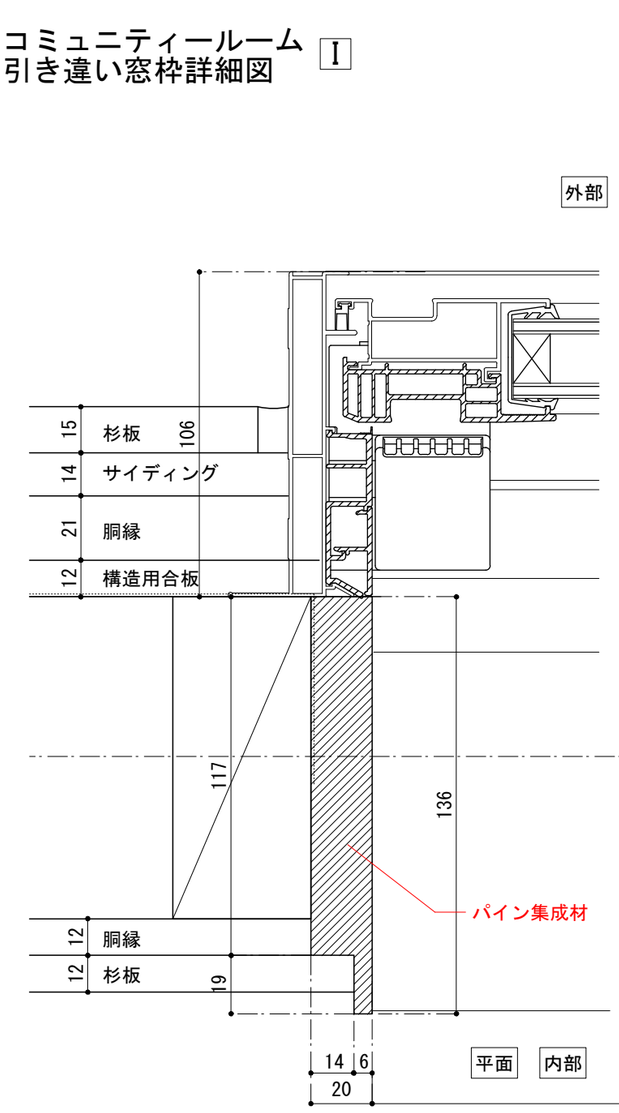
外　部

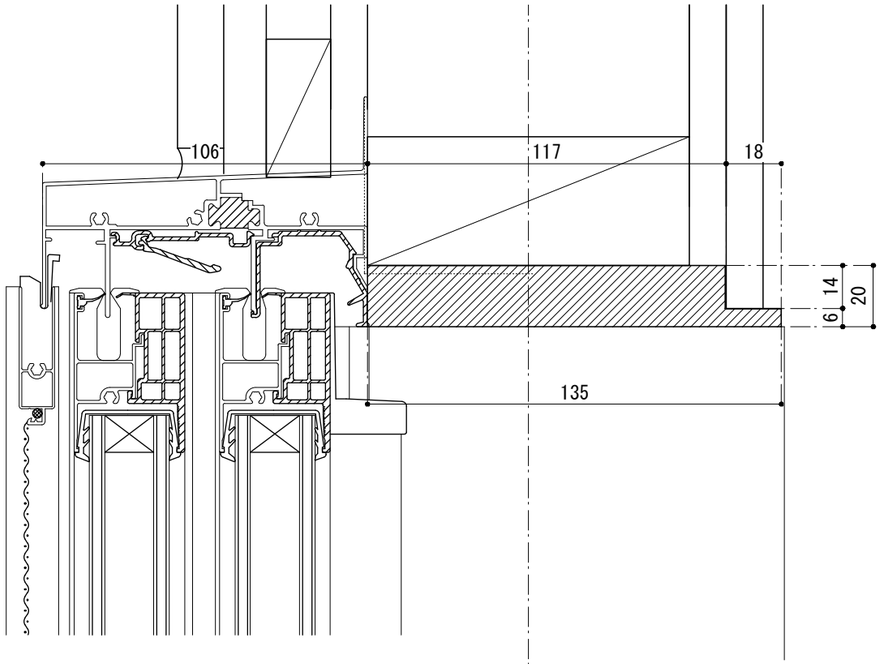
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

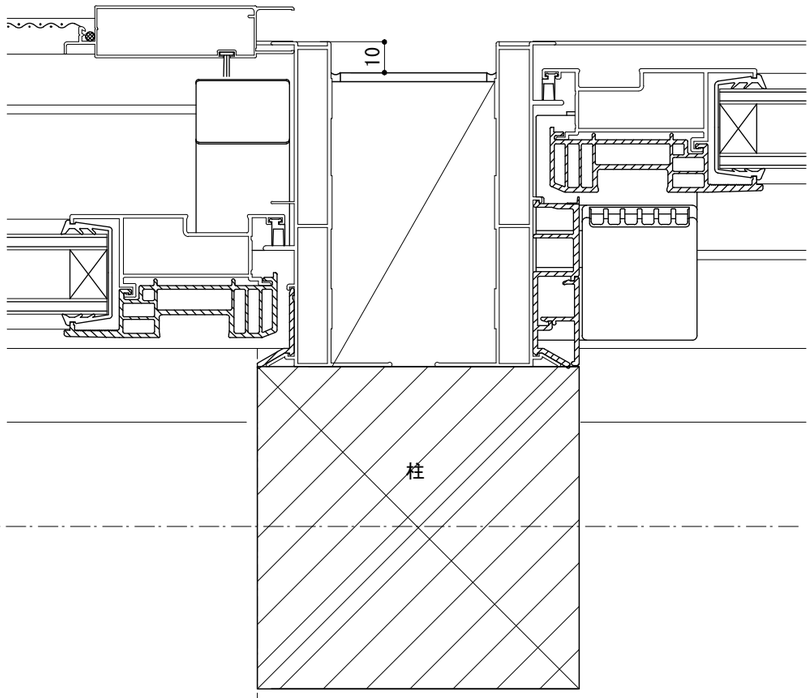
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	カフェ　自動ドア　横断面詳細図	1/2	2025.7.23	D-11

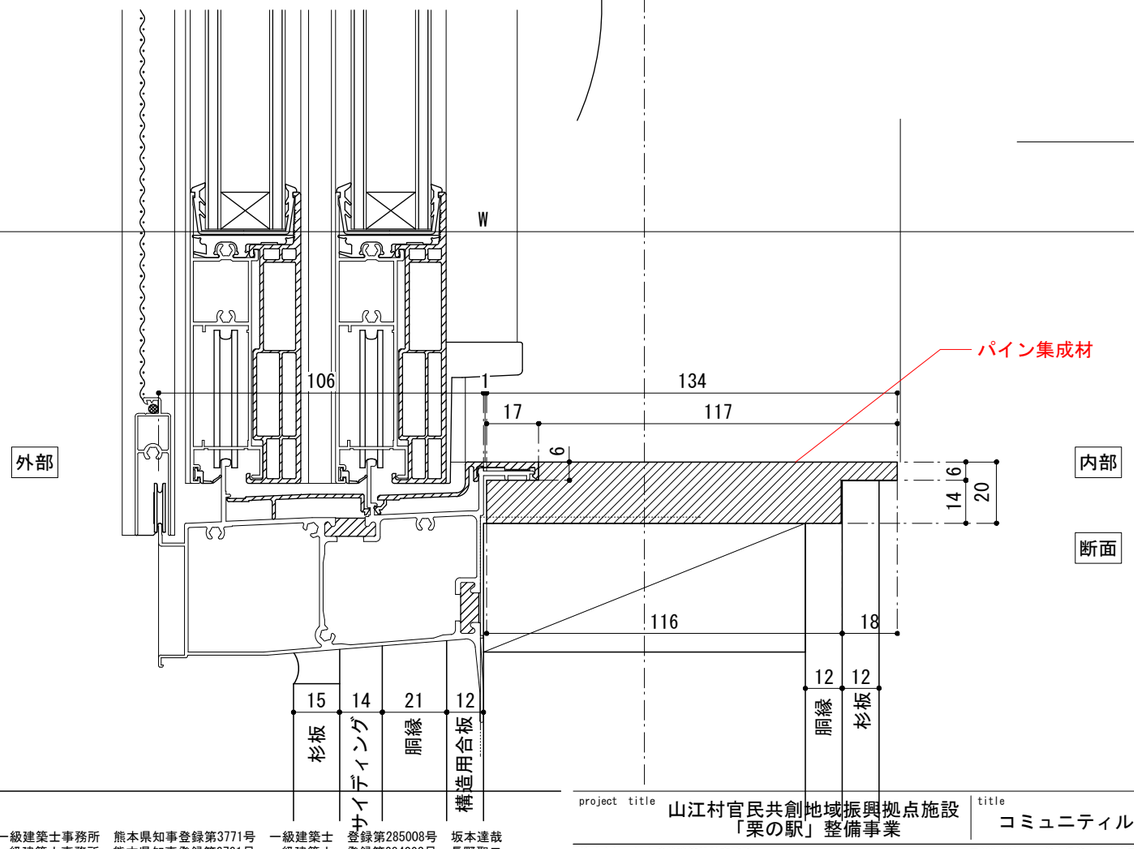
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　坂本達哉　大臣登録第285008号

コミュニティールーム
引き違い窓枠詳細図 I







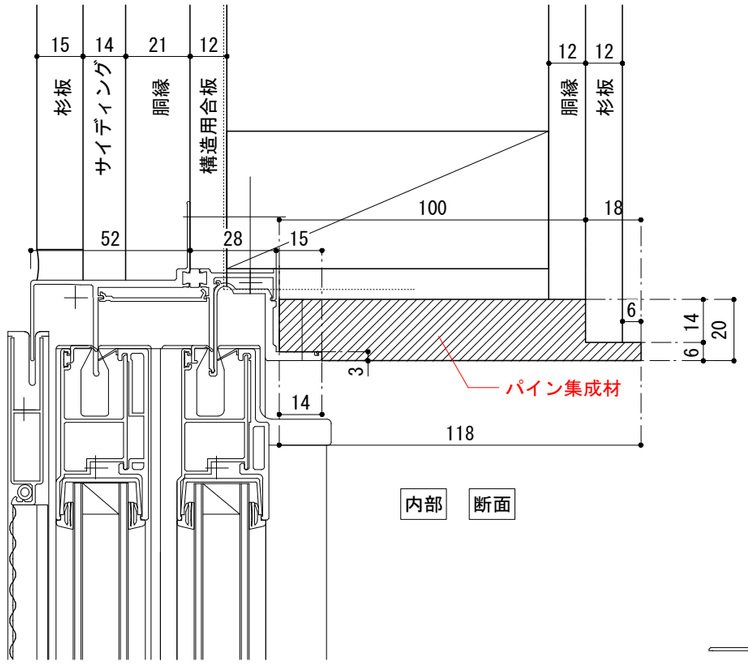


株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

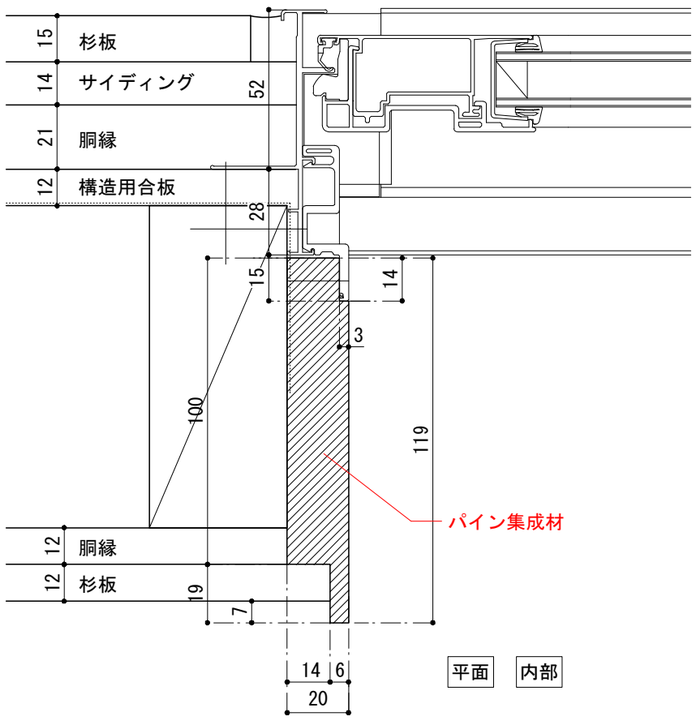
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	コミュニティールーム　引き違い窓枠詳細図	1/2	2025.8.4	D-12

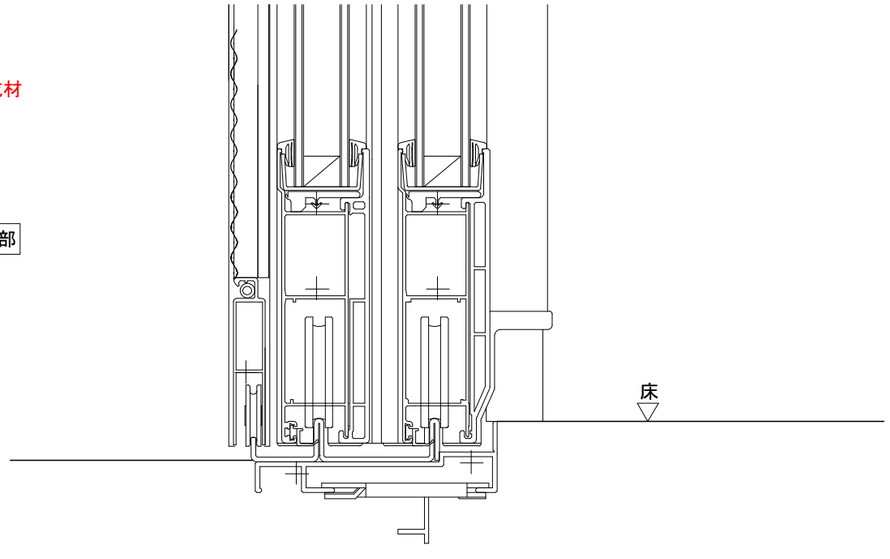
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　坂本達哉　大臣登録第285008号

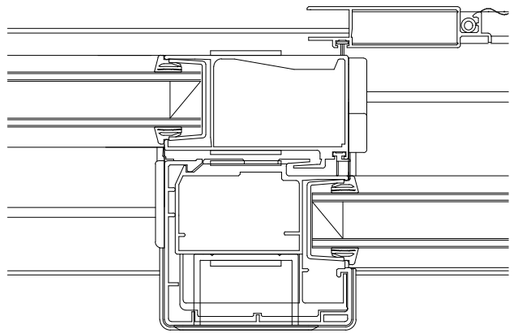
窓枠詳細図（三方枠）J

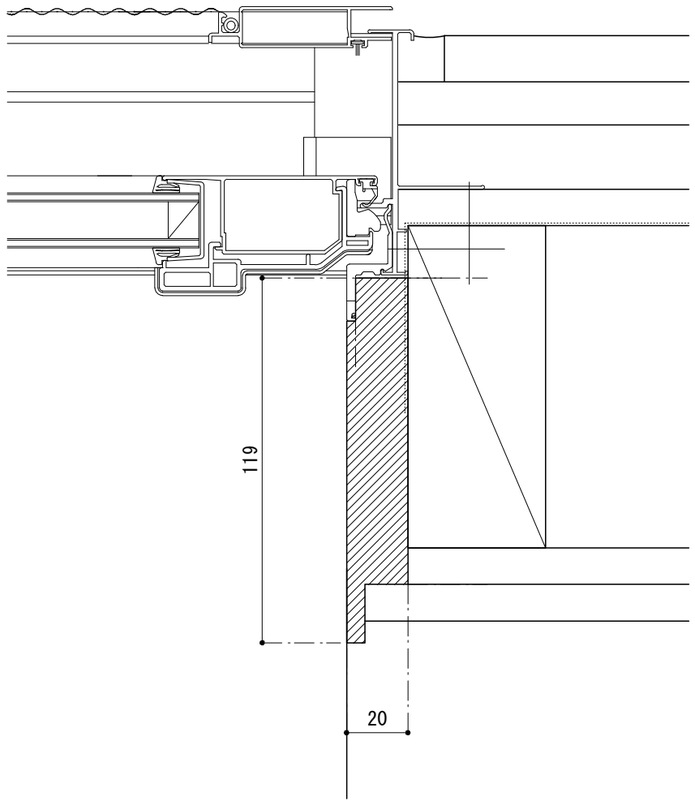


外部　内部　断面









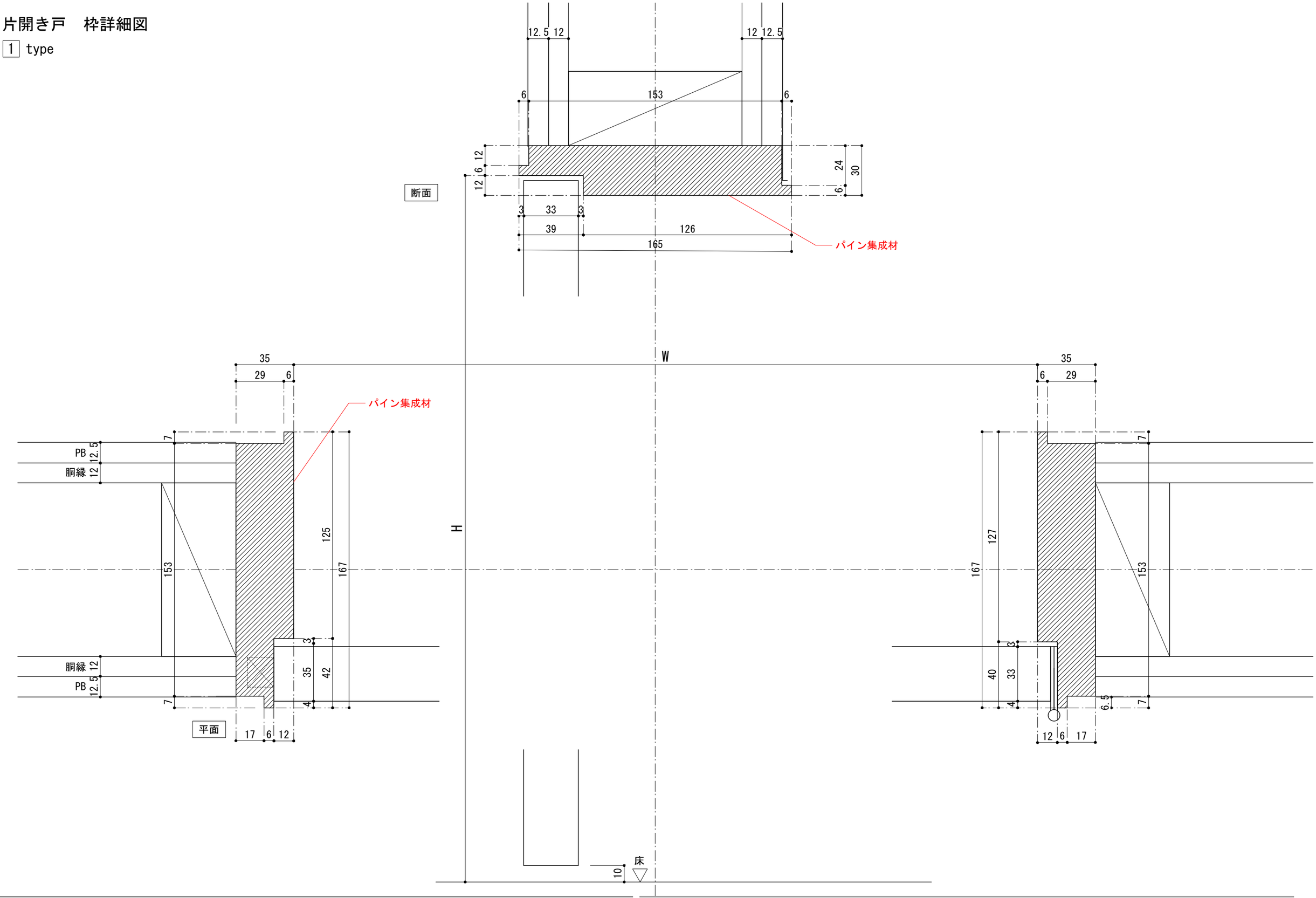
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	窓枠詳細図（三方枠）	1/2	2025.11.7	D-13

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　坂本達哉　大臣登録第285008号

片開き戸　枠詳細図

1 type

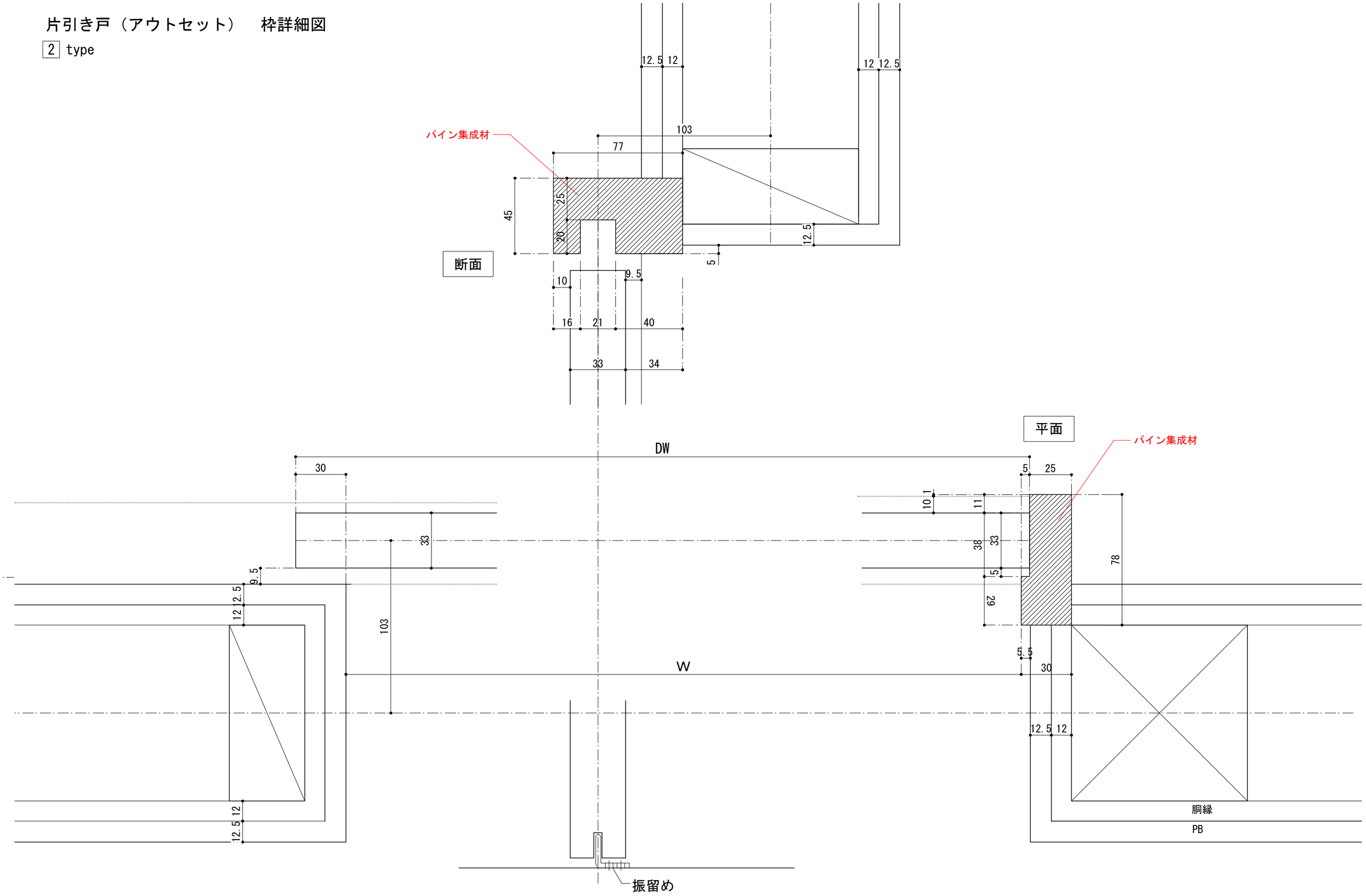


株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	片開き戸　枠詳細図　1	1/2	2025.10.31	D-14

片引き戸（アウトセット）　枠詳細図

2 type

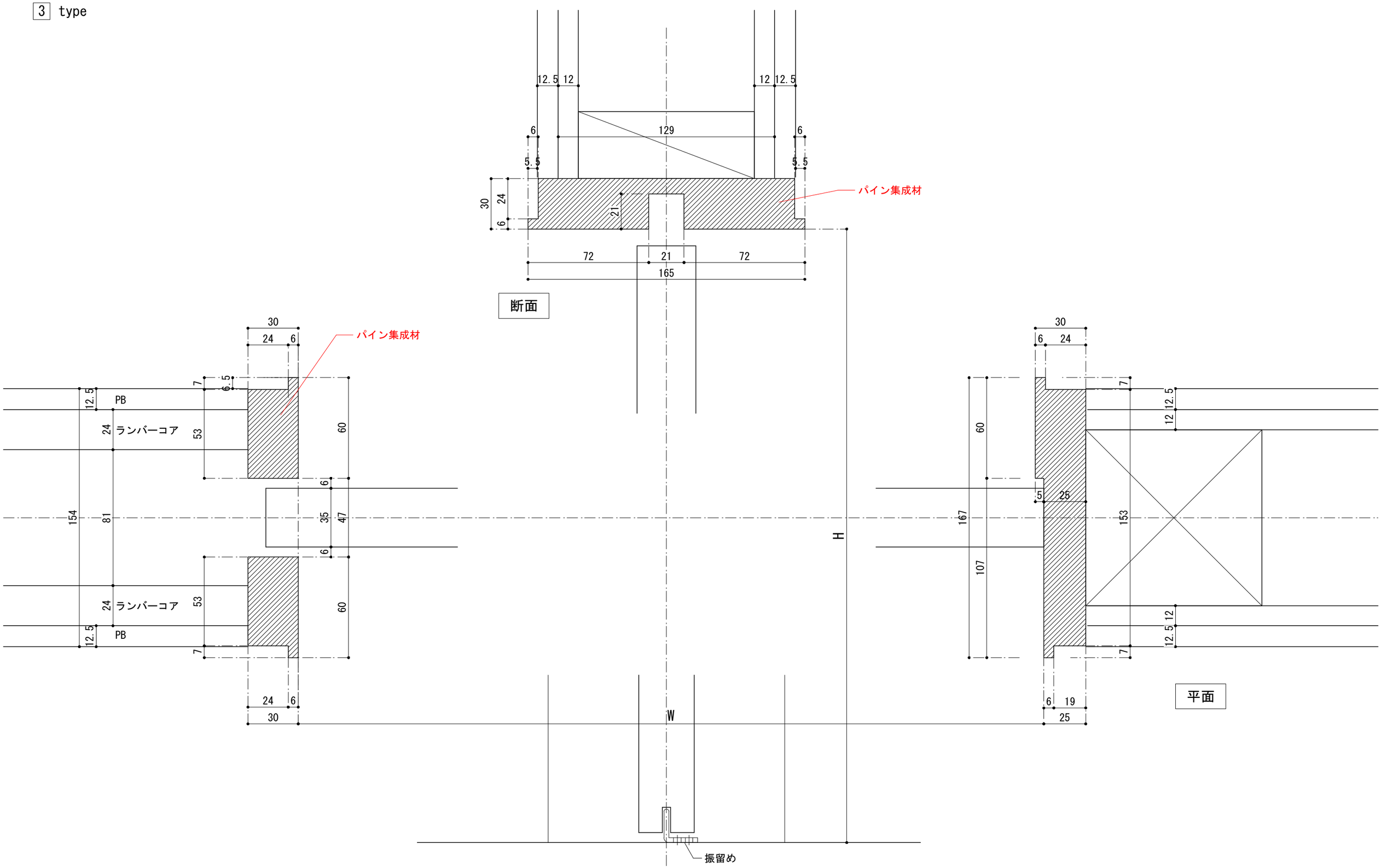


株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	片引き戸　枠詳細図　2	1/2	2025.10.31	D-15

片引込み戸枠詳細

3 type

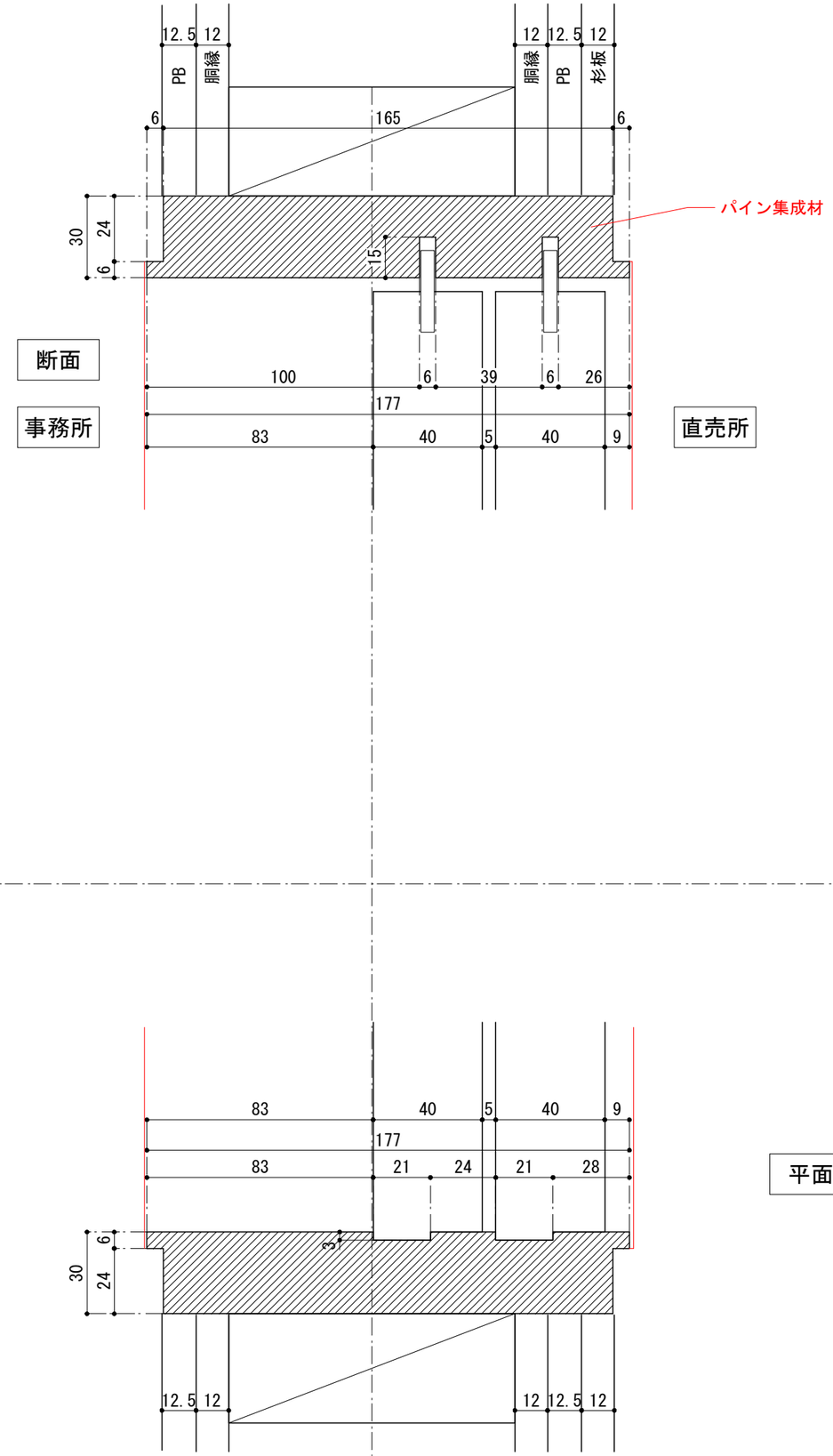


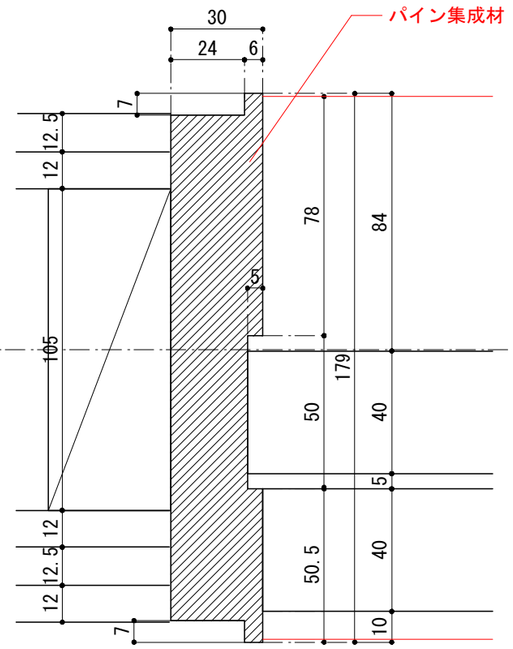
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

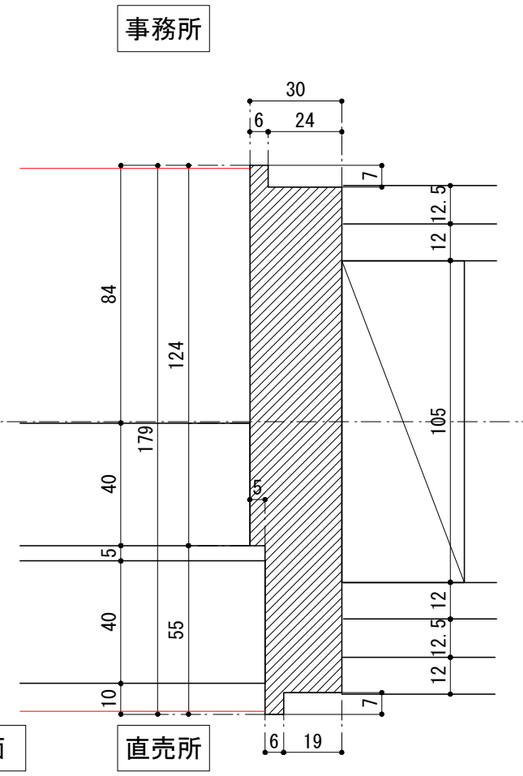
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	片引込み戸　枠詳細図　3	1/2	2025.10.31	D-16

引き違い戸枠詳細

4 type







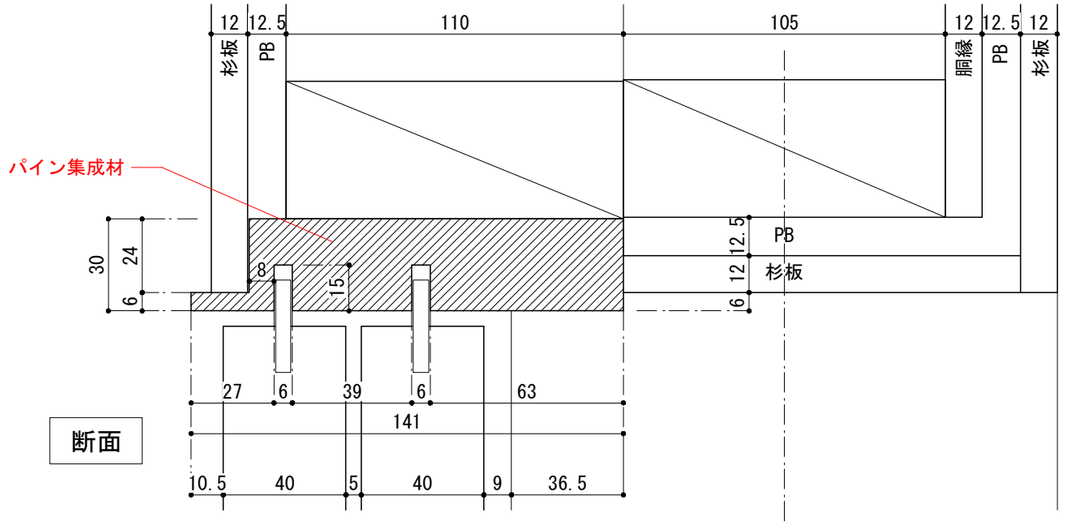
平面

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

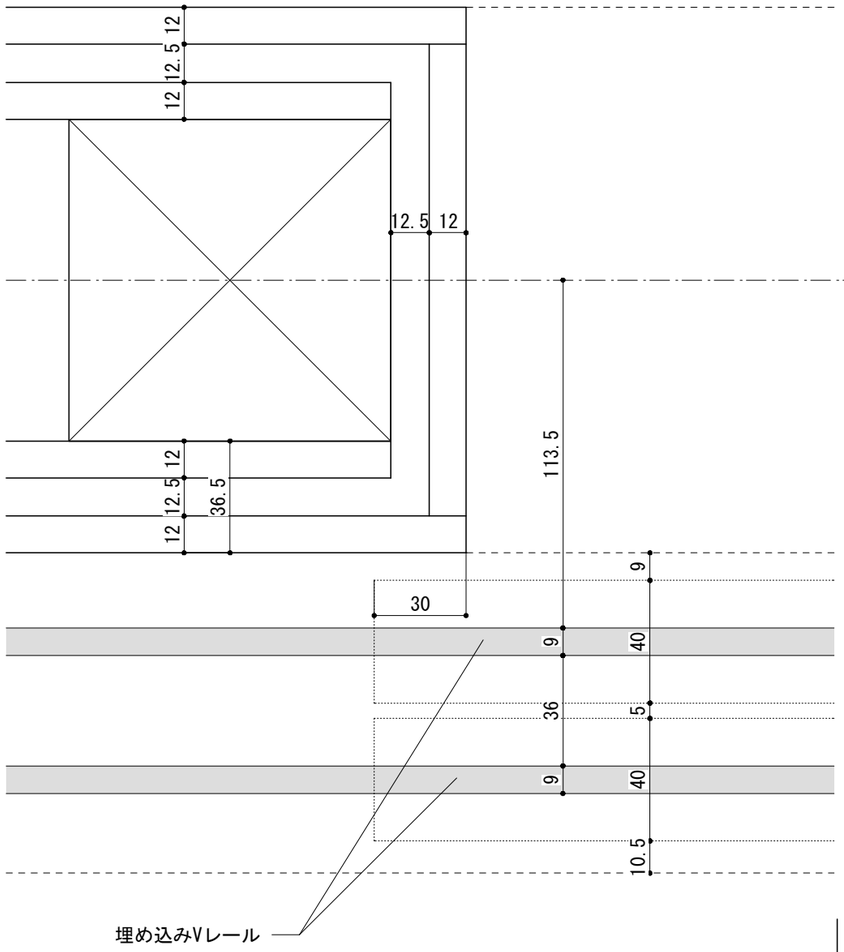
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	引き違い戸　枠詳細図　4	1/2	2025.10.31	D-17

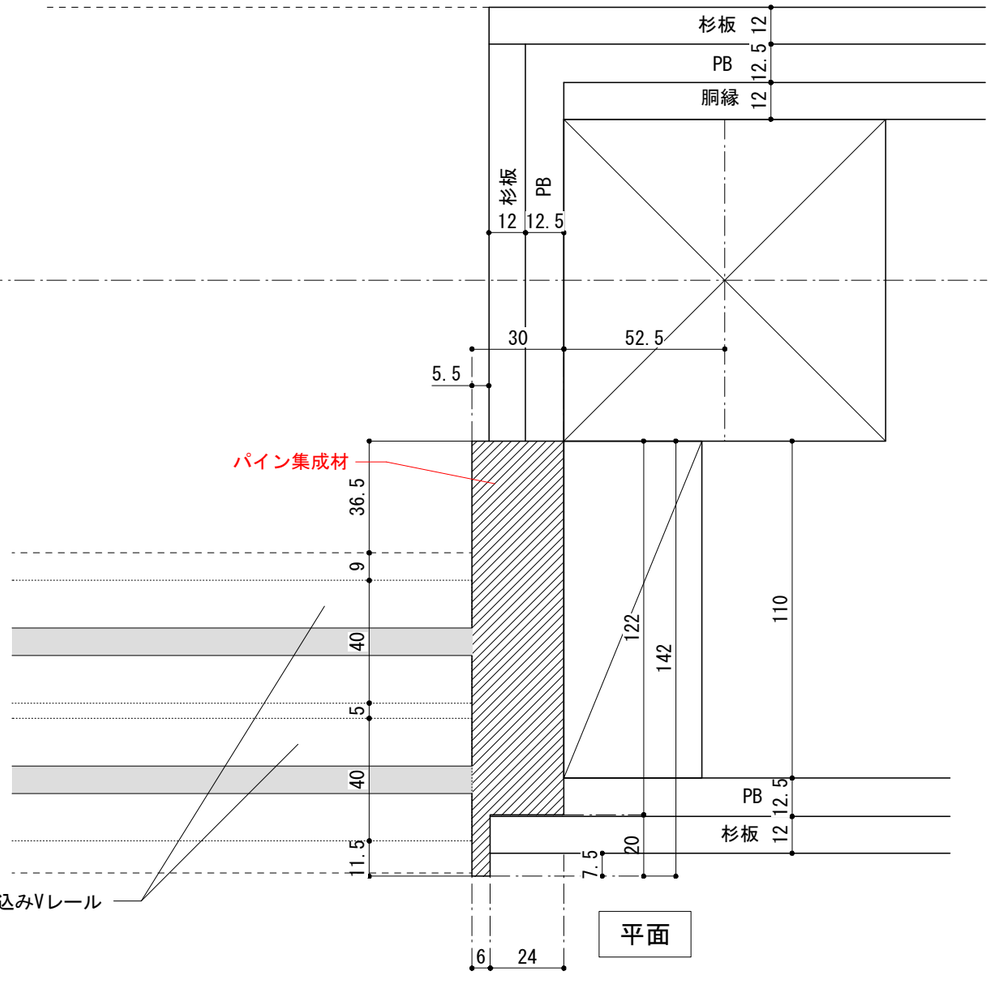
２枚片引き戸　戸枠詳細図

5 type

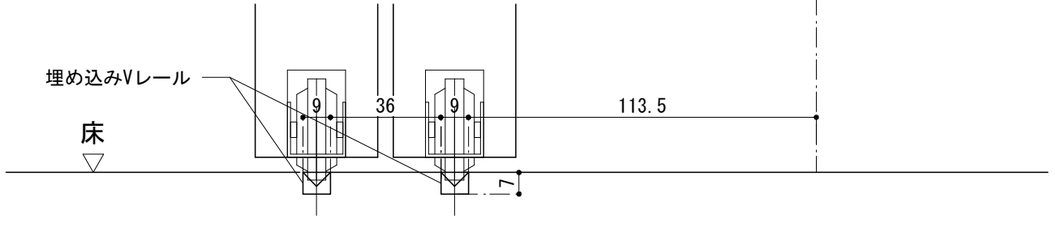


断面





平面

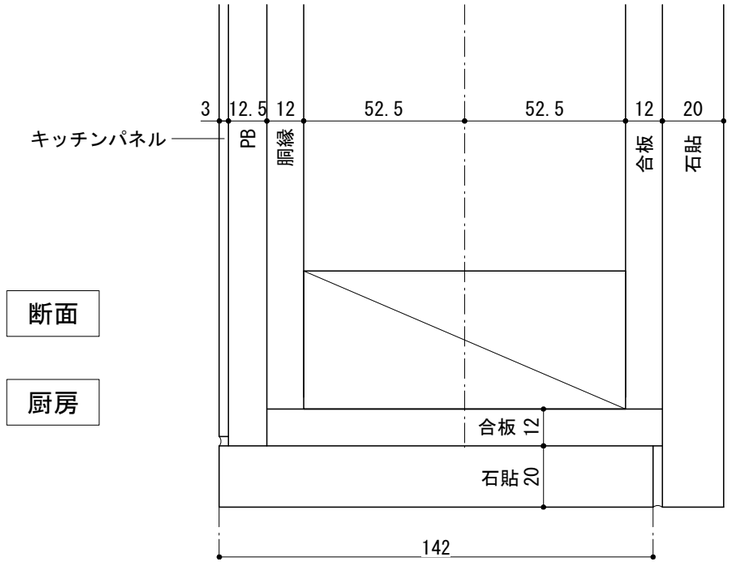


株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	2枚片引き戸　枠詳細図　5	1/2	2025.10.31	D-18

カフェ厨房　開口部分詳細図

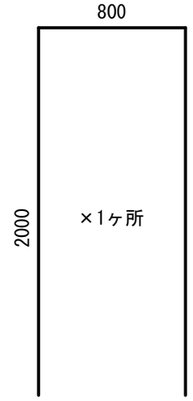
6 type



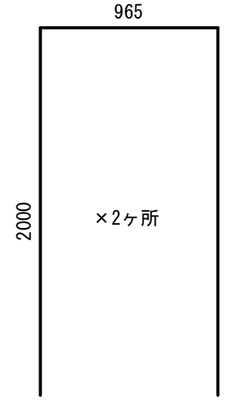
断面

厨房

カフェ

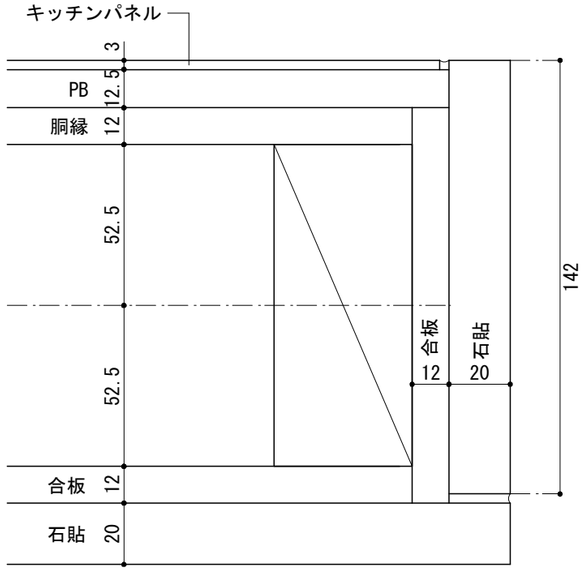


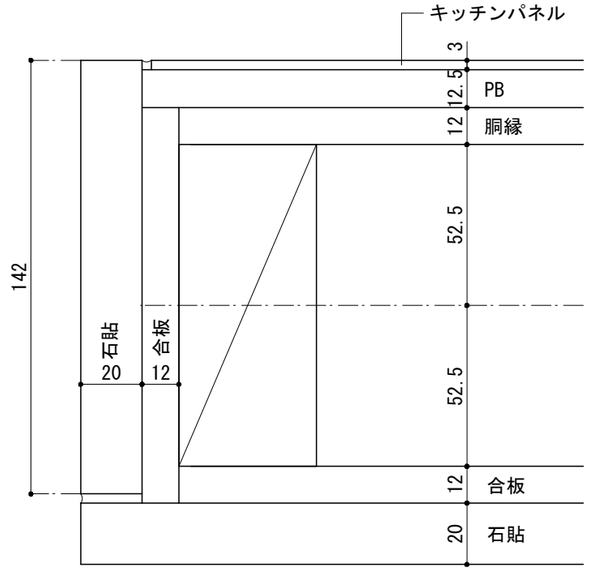
開口部分姿図



開口部分姿図

厨房　平面





カフェ

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	カフェ厨房　開口部分詳細図　6	1/2	2025.11.17	D-19

構造特記仕様書（施工方法等計画書、使用材料一覧表を兼ねる

1 共通事項

- 図面及び本仕様書に記載されていない事項は、
「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、令和4年版）
による。
- 項番号に ○ 印を付した項目を適用範囲とし、さらに、その項目内で ○ 印の付いているものは
● 印を適用とする。
- 設計図書の優先順位は次の通りとする。
1. 質疑回答書、現場指示書
2. 設計図及び本特記仕様書
3.「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」
- 各工事前に施工要領書、計画書を提出し、不明事項に関しては監理者と十分に打合せを行うこと。

2 土工事

① 根切り及び埋戻し

- 埋戻し及び盛土
  - ● A種（山砂の類）：既存躯体底盤上部の埋戻しとする。
  - ● B種（根切り土の中の良質土）：一般部分
  - ○ C種（地周場の建設発生土の中の良質土）
  - ○ D種（再生コンクリート砂）
- 建設発生土の処理
  - ● 構内処理
  - ● 構外搬出　　搬出場所：

2. 山留め

- 山留めの設置
  - ● 親杭横矢板壁
  - ● 鋼矢板壁（シートパイル）、鋼管矢板壁
  - ○ 柱列山留め壁
  - ○ 連続地中壁
  - ○ その他　　（　　）
- 山留めの撤去
  - ● 存置する
  - ○ 存置しない
- 確認・検査項目
  - ● 山留め工事施工計画書（計算書を含む）

3 地業工事

① 直接基礎

種　類	本体
基礎形式	べた基礎
支持層	砂質土、粘性土
深さ	GL-0.25m

- 確認・検査項目
  - ○ 床付け検査
- 地盤改良工事
  - 工　法　　**
  - 改良深さ　　GL－**m　付近
  - 設計基準強度　　** kN/㎡

2. 杭基礎　　工法：Hype-MEGA工法　　**大臣認定番号**：TWCP-0360

- 杭の寸法、継手箇所、支持層及び許容支持力は図面による。
- 杭の支持力算定は、認定工法の算定式による。
- 杭の施工後の処理
  - ● 杭芯ずれの許容値　　±100（mm）
  - ● 杭頭レベルずれの許容値　　±30（mm）
  - ● 許容値を超えた場合は監理者の指示による補強を行う。
- 確認・検査項目
  - ● 杭芯ずれ報告書
  - ● 施工結果報告書
  - ● 試験杭　　［● 最初の1本　○ 図面に指示］
  - ● 試験掘り　　深さ　GL-2.21（m）
    本数　2（本）
    杭頭補強　杭頭補強の施工要領は図面による。

3. 既製コンクリート杭

- 杭の種類
  - ● PHC杭　　［● A種　● B種　● C種］
  - ○ PRC杭　　［○ I種　○ II種　○ III種　○ IV種］
  - ● CPRC杭　　［● I種　○ II種　● III種　● IV種］
  - ● SC杭　　鋼材種別　　SKK490
  - ○ 鋼管杭　　鋼材種別
  - ○ NPH杭　　［○ A種　○ B種　○ C種］
- 杭の施工方法
  - 打込み工法
    - ○ プレボーリング併用打撃工法
    - ○ 打撃工法
    - ハンマー種別　○ ディーゼルハンマー　○ 油圧式ハンマー
    - オーガー径　　杭径－50（mm）程度
    - プレボーリング長　　本杭長－2.0（m）
    - ベントナイト安定液　　使用　［○ する　○ しない］
  - 埋込み工法
    - ○ セメントミルク工法
    - ○ 中掘り工法
    - ○ 回転圧入工法
    - ● 特定埋込み杭工法
- 杭の形状
  - 先端形状　　○ 開放型　● 閉塞型
  - 継手　　○ なし　● あり［○ アーク溶接　● その他］
  - 杭頭部の処理　　○ ダイヤモンドカッターにより所定の高さに切り揃える。
    ○ 杭頭部の空洞に底板を敷き、基礎コンクリートの流入を避ける。

4. 場所打ちコンクリート杭

- 杭の種類　　○ A種（無水掘り）　○ B種（無水掘り以外）
- 杭の施工方法　　特殊工法の場合は監理者の承諾を得ること。
  - 掘削工法
    - ○ アースドリル工法
    - ○ オールケーシング工法
    - ○ 拡底杭工法
    - ○ 深礎工法
  - 特殊工法
    - ○ 拡頭杭工法
    - ○ 鋼管コンクリート杭工法

⑤ 砂利、捨てコンクリート地業

- 砂利の種類
  - ● 再生クラッシャラン（RC-40）
  - ○ 切込み砂利
  - ○ 切込み砕石
- 砂利及び捨てコンクリート地業の厚さは以下の通りとする。

適用範囲	砂利地業	捨てコンクリート地業
基礎梁下	60(mm)	50(mm)
構造スラブ下	60(mm)	-
土間スラブ下	60(mm)	-

4 鉄筋工事

① 鉄筋の種類、継手工法及び定着

- 鉄筋は JIS G3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）による規格品とする。
- 溶接金網は JIS G3551（溶接金網及び鉄筋格子）による規格品とする。
寸法、形状及び鉄線の径は図面による。
- 鉄筋の種類と適用範囲及び継手工法は下表による。

種　類	呼び径	継手工法	適用範囲
SD295A	D10~D16	重ね継手	躯体全般
SD345	D19~D25	重ね継手	-
		ガス圧接継手	躯体全般
SD390	D29~	重ね継手	-
		ガス圧接継手	-

- 特殊継手　　○ 機械式継手　　○ 溶接継手
- 特殊定着　　○ 機械式定着
- 特殊鉄筋　　○ 開先付異形鉄筋
- 継手位置及び定着長さは鉄筋コンクリート標準図による。

② 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- かぶり厚さ及び間隔は鉄筋コンクリート標準図による。
- HOOP、STP の加工に用いるかぶり厚さは、5（mm）を加えた数値を標準とする。
- スペーサーは見本を提出して監理者の承諾を得ること。
- スラブ筋に対しては鋼製バースペーサーを用いる。

3. ガス圧接

- ● ガス圧接は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ● ガス圧接工は、JIS Z3881 による 2 種有資格者以上によること。
- ○ 圧接技量資格者の技量確認試験を行う。
- ● ガス圧接完了後の試験
  - ● 外観検査　　100（%）
  - ● 抜取り検査　　一試験ロットは一組の作業班が一日に行った圧接箇所
    - ○ 引張試験　　5 本 / 一試験ロット
    - ● 超音波探傷試験　　30 箇所 / 一試験ロット
      - 超音波探傷試験は、JIS Z3062 により、専用の探傷機器を使用する。
      - 試験従事者はガス圧接工事に従事しない者とし、鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査技術者技量資格を有する者とする。
      - 超音波探傷試験を行う場合も最初の1ロットについては引張試験も採用すること。
        1回の試験は3本以上とする。

④ 設備配管との取合い、塗貫通孔の補強

- ● 設備配管と鉄筋の取り合いについては、設備施工者と十分に協議すること。
床スラブの電気配管については鉄筋コンクリート標準図を参考にして施工図書を作成し、提出のこと。
- ● 塗貫通孔の補強筋に、建築技術評価規定に基づく評価又は日本建築センター評定を受けたものを
用いる場合、監理者の承諾を必要とする。

⑤ 確認・検査項目

- 書類確認
  - ● 材料証明
  - ○ 鉄筋加工図
  - ○ ガス圧接技取り試験結果
- 立会い検査
  - ● 配筋検査
    - 監理者による配筋検査前に施工者による自主検査を実施し、報告する。
      配筋検査による是正事項は施工者の責任で是正し、写真記録を取ること。

5 コンクリート工事

① コンクリートの種類、強度及びスランプ

● 普通コンクリート　　○ 軽量コンクリート　［○ I種　○ II種］

	設計基準強度	スランプ	共通
●	18(N/mm²)	15(cm)	捨てコン、土間コン
○	21(N/mm²)	15(cm)	-
●		18(cm)	基礎、スラブ
○	24(N/mm²)	15(cm)	-
○		18(cm)	-
○	30(N/mm²)	15(cm)	-
○		18(cm)	-

- レディーミクストコンクリートの種別　［● I類　○ II類］

② コンクリートの品質

- コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法を施工計画書の品質計画に
おいて定め、監理者の承諾を得る。
- コンクリート表面の仕上り状態
  - ● 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの種別　［● A種　○ B種　○ C種］
  - ● コンクリートの仕上り平坦さを施工計画書の品質計画において定め、監理者の承諾を得る。

③ 材料

- セメント

	規　格	名　称	種　別	適用範囲
●	JIS R5210	ポルトランドセメント	普　通	躯体全般
○	JIS R5211	高炉セメント	○ A種　○ B種	-
○	JIS R5212	シリカセメント	○ A種　○ B種	-
○	JIS R5213	フライアッシュセメント	○ A種　○ B種	-

- 混和材料

	種　類	規　格	名　称	種　別	適用範囲
○	混和剤	JIS A6204	AE剤	-	-
○			減水剤	○標準形　○遅延形　○促進形	-
●			AE減水剤	●標準形　○遅延形　○促進形	-
○			高性能AE減水剤	○標準形　○遅延形	-
○		JASS 5T-402	流動化剤	○標準形　○遅延形	-
○		JIS A6205	防錆剤	-	-

- 練混ぜ水　　- 練混ぜ水は JISA5308（レディーミクストコンクリート）附属書9（規定）による。
- 骨材　　- 砂利、砂は JISA5308（レディーミクストコンクリート）による。
- アルカリシリカ反応性による区分　［● A　○ B］

④ 調合及び試験

- 調合管理強度
  - ● 設計基準強度に構造体強度補正値を加えた値以上とする。
- 調合条件

単位水量	単位セメント量	水セメント比	所要空気量
185(kg/m3)以下	270(kg/m3)以上	65(%) 以下	4.5%

- 塩化物量試験
  - 試験回数は製造工場及びコンクリートの種類が異なるごとに、一日一回以上かつ、150（?）ごと
    及びその端数につき一回以上とする。最初の測定は打込み当初とする。
- 圧縮強度試験

試験項目		試験の目的	養生方法	材齢	試験回数
調合管理強度の管理試験	●	調合管理強度の管理	JIS A 1132 による標準養生	28日	（※1）による
構造体コンクリート強度の推定試験	●	構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定	工事現場における水中養生		
	●	型枠取り外し時期の決定		必要に応じて定める	
	○	構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定	工事現場における封かん養生	28日を超え91日以内	（※1）による

- 試験回数は製造工場及びコンクリートの種類が異なるごとに、一日一回以上かつ、150（?）ごと
及びその端数につき一回以上とする。（※1）
- 強度試験は原則として、公的試験機関で行う。ただし、型枠脱型用試験は生コン会社でもよい。
- 供試体の個数は、適切に間隔をあけた運搬車から 3度に分けて、試験目的ごとに3個採取する。
ただし、調合管理強度の管理試験用は一台の運搬車から3個採取する。

⑤ 養生（建築基準法施行令第75条による）

- 打込み後5日間以上は、コンクリート温度を2℃以上に保つ。
- 打込み後のコンクリートは、普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種の場合は5日以上、
高炉セメントB種の場合は7日間以上、散水その他の方法で湿潤状態を保つ。
- 硬化初期のコンクリートが、有害な振動や外力による悪影響を受けないようにする。

⑥ 型枠及び支保工（建築基準法施行令第76条による）

- せき板の材料は複合合板とし、「コンクリート型枠用合板の日本農林規格」によるB-C 又は所要の
品質を確保できるものとする。
- せき板及び支保工の存置期間は、部位及びセメントの種類、気温に応じて、次表（A）の存置日数
以上が経過するか、（B）の圧縮強度以上となるまでとする。
（B）の圧縮強度による場合、監理者に圧縮強度試験結果を提出の上、承諾を得ること。

	部　位	（A）平均気温に応じた存置日数			（B）コンクリートの圧縮強度
		15(℃)以上	5～15(℃)	5(℃)未満	
型　枠	基礎、梁側面、柱、壁	3	5	8	5(N/mm²)
	スラブ下、梁下	6	10	16	Fc の 50(%)
支保工	スラブ下	17	25	28	Fc の 100(%)
	梁　下	28			Fc の 100(%)

- 支保工の盛りかえは下記に従う。
  - ● 大梁の支保工の盛りかえは行わない。
  - ● 直上階に著しく大きい積載荷重が存在する場合は、支保工の盛りかえは行わない。
  - ● 支保工の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらす可能性のある振動や衝撃を
    与えないようにする。
  - ● 支保工の盛りかえは逐次行い、同時に多数の支保工について行わない。

7. 特殊コンクリート

- ○ 寒中コンクリート　　適用期間：
- ○ マスコンクリート　　適用箇所：
- ○ プレストレストコンクリート

⑥ 確認・検査項目

- 書類確認
  - ● 生コン調合表及び材料試験結果
  - ○ 圧縮強度試験結果
- 立会い検査
  - ○ 試験練り
  - ○ 型枠撤去後の躯体検査
    - 打込み不足、じゃんか、目違い等の有害な不良部分が認められた場合、
      監理者の指示により、施工者の責任で補修を行う。

6 鉄骨工事

1. 鉄骨製作

- ○ 鉄骨製作工場は使用数量に応じて定める。いずれの場合においても、監理者の承諾を得ること。
  - 使用量が 30(t)を超える場合は国土交通大臣認定（（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鉄
    構工業協会の認定）の工場とし、グレードは下記とする。
    ［○ S グレード　○ H グレード　○ M グレード　○ R グレード］
  - 使用量が 30(t)未満の場合は、選定した鉄骨製作工場の施工実績、作業管理組織、工作設備等を
    記載した資料を提出の上、承諾を受けること。
- ○ 施工管理技術者を適用する。
- ● 全ての部材について1/20 程度の詳細図を作成する。詳細図には仕上げ材取付け金物、仮設用金物
などを含めて表現すること。
- ● 鉄骨の製作精度は JASS6 鉄骨工事付則 6「鉄骨精度検査基準」による。

2. 鋼材種別

	規　格	種　別	適用箇所
○	JIS G3101	SS400	-
○	JIS G3136	SN400A	-
○		SN400B	-
○		SN490B	-
○		SN490C	-
○	JIS G3444	STKN400B	-
○		STK490	-
○	JIS G3466	STKR400	-
○		STKR490	-
○	その他（法37条に基づく認定品）	BCR295	-
○		BCP325	-

③ ボルト

- ○ 高力ボルト　　○ S10T（トルシア形ボルト：JIS B1186 の 2 種相当）　　認定品：MBLT-9010
  ○ F10T（JIS形ボルト：JIS B1186 の 2 種）
  ○ F8T（溶融亜鉛めっき高力ボルト：JIS B1186 の 1 種 A）　　認定品：MBLT-9026
- ● 普通ボルト　　ボルトは JIS B1180、ナットは JIS B1181 認定品とする。
- 摩擦面の処理の方法は標準仕様書による。
- 溶融亜鉛めっき高力ボルトで、ボルトの長さが呼び径の 5 倍を超える場合のナット回転量は、実験に
より決定する。

4. アンカーボルト

- ○ 構造用　　- JIS G3138 による認定品の SNR400B とする。
  - 保持及び埋込み工法　［○ A種　● B種　○ C種］
- ● 建方用　　- JIS G3101 による認定品の SS400 とする。
  - 保持及び埋込み工法　［○ 図面による］
- 柱底均しモルタル　［● A種　○ B種］

5. 頭付きスタッド及びデッキプレート

- ● 頭付きスタッド　　- JIS B1198 認定品とする。
- ● デッキプレート
  - ○ 構造床　　JIS G3352 による SDP1T とする。
  - ● 合成スラブ　　JIS G3352 による SDP1T とする。
  - ● 型枠用　　JIS G3352 による SDP1T 同等品とする。
- スタッド溶接部分には塗装を行わないこと。
- 合成スラブ用デッキプレートの溶接は焼抜き栓溶接とする。ただし、スタッドをデッキ上から溶接する
場合は兼用してよい。

6. ターンバックル

- 胴の種類　　［● 割栓式　　○ パイプ式］
- ボルトの種類　　［● 羽子板ボルト　　○ アイボルト　　○ 両ねじボルト］

7. 溶接部の検査

- ○ 超音波探傷試験の規準は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」による。
- ● ずれ、食い違い、アンダーカットの外観検査規準は、平成12年建設省告示第1464号による。
- ○ 完全溶込み溶接部（工場溶接）
  - 工場溶接の場合の検査方法、抜取り率は下表による。一試験ロットは一節又は 300 溶接線程度
    とする。ロットからの抜取りは均等となるように無作為に行う。

種　類	検査者及び検査率		
	社　内	第三者	監理者
外観検査	100(%)	30(%)	適宜
超音波探傷試験	100(%)	AOQL2.5% 第4水準	適宜

- ○ 完全溶込み溶接部（工事現場溶接）
  - JIS Z9008（計数連続生産型抜取検査（不良個数の場合））に準じて行い、全ての完全溶込み溶接
    部を対象とする。AOQL は 2.5(%)（第4水準）とする。
- ● その他の溶接部は外観検査とする。
- ○ マクロ試験
- ○ 浸透探傷試験（JIS Z2343）
- ○ 第三者検査機関は CIW 認定を取得した機関とする。

8. 錆止め塗装

- ● 錆止め塗装を行わない範囲
  - 現場溶接を行う箇所に隣接する両側それぞれ 100（mm）以内、かつ、超音波探傷試験に支障を
    きたす範囲
  - 高力ボルト摩擦接合部の摩擦面
  - コンクリートに埋め込まれる部分及び接触する部分
  - 密閉となる内面
  - 外周部の柱・梁を除いた耐火被覆材を接着する部分
- ● 素地ごしらえ
  - 見え掛り　［● A種　○ B種　● C種］　- 見え隠れ　［● A種　○ B種　● C種］
- ● 塗料種別

	種　別	規　格	名　称	種　類	適用範囲
○	A種	JIS K5625	シアナミド鉛錆止め	2種	
●		JIS K5674	鉛・クロムフリー錆止め	1種	
○	B種	JIS K5674	鉛・クロムフリー錆止め	2種	

- ● 塗装回数
  - 工場　2 回　　- 現場　　回

⑨ 溶融亜鉛めっき工法（JIS H 8641）

- 亜鉛めっきの種別　　［● A種　○ B種　○ C種］
- 適用箇所　　屋外に露出する部分
- ● 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ　　［● A種　○ B種　○ C種］

10. 確認・検査項目

- 書類確認
  - ● 製品自主検査記録
  - ● 鋼材規格証明
- 立会い検査
  - ○ 原寸検査
  - ○ 仮寸付検査
  - ● 仮組み検査
  - ● 製品検査
  - ● 建方検査
  - ○ 本締め検査

7 その他

令第129条の2の4に関する事項

○ 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全な物として、以下の構造方法による

□ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

□ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

□ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

□ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

□ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

□ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

構造担当 ： 合同会社建築食堂　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二　一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士　第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	構造特記仕様書	-	25/10/01	S-01

木造建物用基礎配筋基準図

1 共通事項

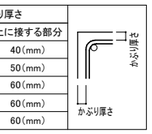
1. 鉄筋の表示記号

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
呼び径(d)	10	13	16	19	22	25	29	32	35	38	41
最外径(D1)	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46
記 号	•	×	⌀	●	○	◉	⊗	◎	⊕	◈	⊠

2. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(1) 鉄筋の最小かぶり厚さ

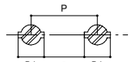
構造部位	最小かぶり厚さ	
	一般部 ()は屋外	土に接する部分
床スラブ、屋根スラブ、非耐力壁	30(40)(mm)	40(mm)
柱、梁、耐力壁	40(mm)	50(mm)
基礎、基礎梁、耐圧板	—	60(mm)
地下外壁、擁壁	40(mm)	60(mm)
煙 突	60(mm)	60(mm)



- 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合、主筋のかぶり厚さが径の1.5倍以上となるように最小かぶり厚さを定める。
- 打増しコンクリートは、スラブは10(mm)、壁は20(mm)とする。
- 打増しコンクリートの厚さは、かぶり厚さには考慮しない。
- 杭基礎の場合、基礎フーチングの鉄筋のかぶり厚さは杭天端からとする。
- 貫通孔に接する鉄筋においても、かぶり厚さを確保すること。

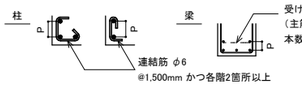
(2) 鉄筋の最小間隔とあき

- 鉄筋相互のあき a は下記のうち最大のものとする。
  (イ) a = 25(mm)
  (ロ) a = 1.25×粗骨材最大寸法
  (ハ) a = 1.5×d(鉄筋の呼び径)



粗骨材の最大寸法	あきの最小値(mm)								
	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35
20(mm)	25			29	33	38	44	48	53
25(mm)	31								

- 鉄筋の間隔 P = a + D1(鉄筋の最外径)
- 柱及び梁の主筋が二段筋以上の場合、下図により鉄筋相互のあきを確保する。

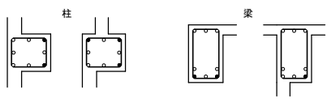


3. 鉄筋の折曲げ基準

(1) フック形状(末端部)

折曲げ角度	詳 細 余 長	折曲げ内法直径(D) SD295A、SD345 D16以下	折曲げ内法直径(D) SD295A、SD345 D19～D38	折曲げ内法直径(D) SD390 D19～D38	使用箇所
180°	≧4d	3d 以上	4d 以上	5d 以上	・柱、梁の出隅部分の重ね継手 ・柱の四隅の柱頭 ・煙突の主筋 ・杭基礎のベース筋
135°	≧6d	3d 以上	4d 以上	5d 以上	・フープ及びスターラップ ・スパイラル筋 ・壁筋末端部に使用するD10 及び D13 ・幅止め筋
90°	≧8d	3d 以上	4d 以上	5d 以上	・T形、L形梁のスターラップに用いるキャップタイ ・スラブ筋、壁筋の末端部 ・幅止め筋

- 柱、梁の出隅部分とは、下図の●印の主筋とする。



(2) ベンド形状(中間部)

折曲げ角度	詳 細	折曲げ内法直径(D) SD295A、SD345、SD390 D16以下	D19～D25	D29～D38	使用箇所
90° 以下		3d 以上	4d 以上	—	・フープ及びスターラップ ・スパイラル筋
		4d 以上 (5d 以上)	6d 以上	8d 以上	・その他の鉄筋 (スラブ筋、壁筋等)

- SD390は、使用箇所がその他の鉄筋の場合に( )内を適用する。

4. 継手及び定着

(1) 継手及び定着基準

方 法		詳 細	使用箇所
重ね継手 (*1)	フック有り	≧0.5L1h	D16以下の鉄筋
	フック無し	≧0.5L1 / 0.5L1	
ガス圧接継手		≧400mm ・d2≦d1≦d2 + 5mm ・ふくらみの直径 : H≧1.4・d2 ・ふくらみの長さ : L≧1.1・d2 ・偏心量 : e≦d2×1/5 ・圧接面のずれ : a≦d2×1/4 ・ガス圧接後の曲げ加工は行わないこと。	D19～D32の鉄筋(柱、梁の主筋等)
特殊継手 (*2)	機械式継手	≧400mmかつ(b+40)mm	特記による
溶接金網の重ね継手		応力伝達継手 ≧1節半かつ150mm / ひび割れ防止用継手 ≧1節かつ100mm	スラブ筋及び壁筋
直線定着(フック有り)		▽定着起点 L1、L2	
直線定着(フック無し)		▽定着起点 L1、L2 又は L3	
溶接金網の定着		スラブ: ≧1節半かつ 150mm / 壁	スラブ筋及び壁筋

- (*1) 重ね継手で、相互の鉄筋径が異なる場合の重ね継手長さL1 は細い方の dによる。
  重ね継手の長さL1は(2)定着の長さと同じ値とする。
- (*2) 特殊継手は、平成12年建設省告示第1463号「鉄筋の継手の構造方法を定める件」に適合するものとする。使用箇所は特記によることとし、エ主は監理者の承諾を得ること。

(2) 定着長さ

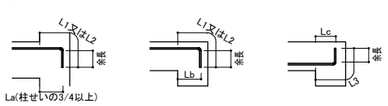
鉄筋種類	Fc (N/mm²)	フック無し L1	フック無し L2	フック無し L3 小梁	フック無し L3 スラブ	フック無し L3 片持小梁/片持スラブ	フック有り L1	フック有り L2
SD295A	18	45d	40d	20d	10dかつ150mm以上	25d	35d	30d
	21	40d	35d				30d	25d
	24	35d	30d				25d	20d
	27							
	30							
	33							
	36							
SD345	18	50d	40d	20d	10dかつ150mm以上	25d	35d	30d
	21	45d	35d				30d	25d
	24	40d	35d					
	27							
	30	35d	30d				25d	20d
	33							
	36							

- L3 : 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
- フックあり定着の場合は、フック部分を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
- 軽量コンクリートの場合、上表の値に 5d を加える。

(3) 折曲げ定着

- 全長は(2)の定着長さ以上とする。
- 投影定着長さは右表のLaまたはLbまたはLcとする。
- 余長は8d以上とする。
- La : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
- Lb : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
- Lc : 小梁及び片持梁の下端筋の投影定着長さ
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

鉄筋種別	Fc (N/mm²)	La	Lb	Lc
SD295A	18	20d	15d	10d
	21以上	15d	15d	
SD345	18, 21	20d	20d	10d
	24, 27	20d	15d	
	30,33,36	15d	15d	

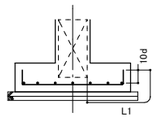


3 基 礎

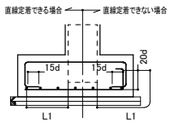
1. 基礎フーチングの納まり

(1) 独立基礎、連続基礎

A. はかま筋が不要な場合

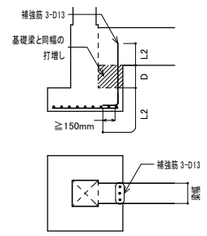


B. はかま筋が必要な場合

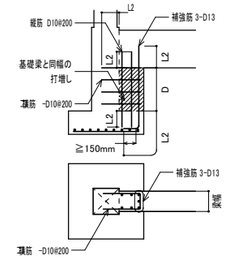


2. 基礎フーチングと基礎梁の接合部

(1) 0<D≦500 の場合



(2) 500<D≦1,000 の場合

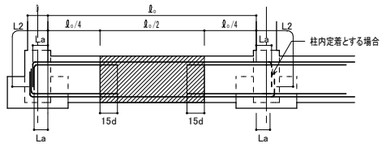


4 基礎梁

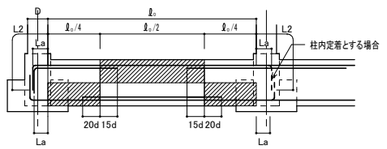
1. 継手位置、定着及び余長

- 主筋の継手位置は下図の▨ 内とする。
- 基礎梁の連続端で柱に接する梁筋が同数の場合、主筋は柱をまたいで引き通す。
  柱をまたいで主筋を引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
- 梁主筋ののみ込み長さは柱せいの3/4倍以上とする。

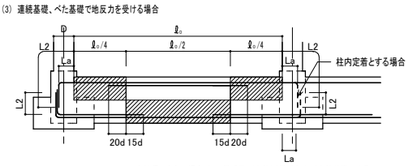
(1) 独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付かない場合



(2) 独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付く場合



(3) 連続基礎、べた基礎で地反力を受ける場合



Lbを確保できない場合は、4.継手及び定着(1)継手および定着基準による。

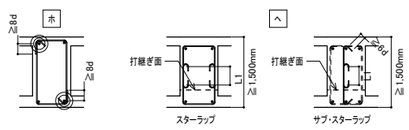
2. スターラップ

(1) 形状及びサブ・スターラップ(中子筋)

A. 梁せいが 1,500mm 未満の場合 → 6.2-(1)、(2)による。

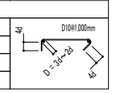
B. 梁せいが 1,500mm 以上の場合

- 梁の上下にスラブが付く場合、ホおよびへの形状も可能とする。
- ホは、90°フック(⑥印)側にスラブが付く場合にのみ可能とする。
- へで、重ね継手の代わりに特殊継手を用いる場合は監理者の承諾を得ること。



3. 腹筋及び幅止め筋

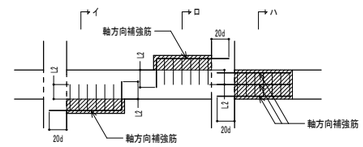
梁せい(mm)	段 数	腹 筋	幅止め筋
D<800	不 要		
600≦D<900	1	2-D10	D10@1,000mm
900≦D<1,200	2	4-D10	
1,200≦D<1,500	3	6-D10	
1,500≦D<1,800	4	8-D10	

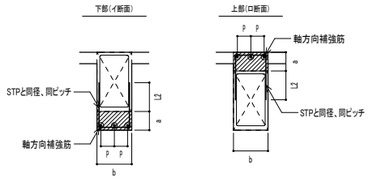


- 梁せいが上表を超える場合、梁せい 300mm ごとに1段(2-D13)を加える。
- 腹筋端部は、梁の第一スターラップから 30mm 程度つきだしてスターラップに結束する。

4. 打増し補強筋

- 軸方向の補強筋は下記の通りとする。
  (1) a<70mm の場合 : 不要
  (2) 70mm≦a≦200mm の場合 : D16、鉄筋同士のあき P≦150mm
  ただし、打増し部に耐力壁(耐震壁、土圧壁)が取付く場合で、壁筋がD19以上の場合は壁筋と同径以上とする。
  (3) a>200mm の場合 : 梁主筋と同径、鉄筋同士のあき P≦150mm
- 梁の打増し部分に取り合う梁、壁、スラブの鉄筋の定着長さは打増し部分を除いて算定する。



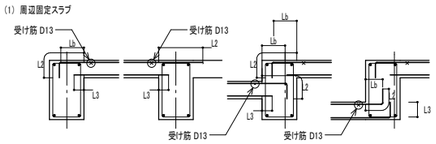


5 スラブ

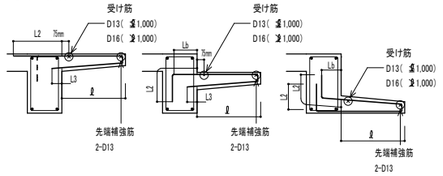
1. 定 着

- スラブ筋のかぶり厚さの確保は、バーサポート(@600 以下)によること。

(1) 周辺固定スラブ

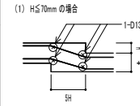


(2) 片持ちスラブ

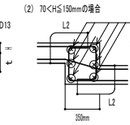


2. スラブ段差の納まり

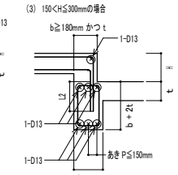
(1) H≦70mm の場合



(2) 70<H≦150mm の場合



(3) 150<H≦300mm の場合

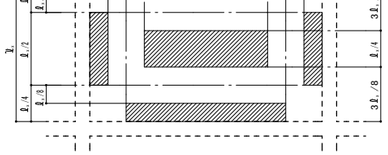


(4) 300mm<H の場合 : 構造図の特記により小梁を設ける。

3. スラブ開口

(1) 開口の範囲

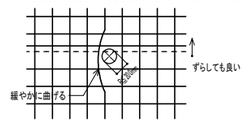
- スラブの開口可能範囲は、原則として下図の▨以外の部分とする。
- 施工時に一時的に設ける開口(ダメ穴)は、原則として設けないこととするが、やむを得ず設ける場合は下図に準じて配置の計画をし、監理者の承諾を得ること。



(2) 補強要領

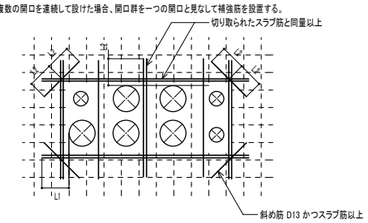
i 開口部の最大径が 200mm 以下の場合

- 単独の開口(孔径の3倍以上離れている場合も含む)で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口を避けて配筋できる場合は補強を省略できる。この場合、スラブ筋をずらしても良い。



ii

- 複数の開口を連続して設けた場合、開口群を一つの開口と見なして補強筋を設置する。



構造担当 : 合同会社建築食堂 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二 一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士 第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	木造基礎用RC造配筋基準図	-	25/10/01	S-02

1 木工事

① 一般事項

・ 木材・接合金物等の製作にあたり製作要領書を作成して監理者の承諾を受けること。
・ 工事に先立ち、必要な製作図と共に施工要領書を作成して監理者の承諾を受けること。
・ 各工程の施工終了後はすみやかに施工記録を作成して監理者に提出すること。

② 木質材料

● 構造用製材
・ 平成19年日本農林水産省告示1083号の第5条または第6条に準ずること。
・ 乾燥の際背割りを行う。見えがかり部、相欠き部材、構造用合板の釘接合面には行わない。
・ 含水率は平均含水率とし、20%以下とすること。
・ 構造用製材の種類、強度、区分等は伏図を参照。

樹　種	等級区分	種　別	等　級	使用箇所

○ 構造用集成材、構造用単板積層材
・ 平成15年日本農林規格235号「構造用集成材の日本農林規格」、同236号「単板積層材の日本農林規格」に準ずること。
・ JAS品質検査記録証明書を提出すること。
・ ラミナは、全数グレーディングマシーン（MGFS）による機械的等級区分されたラミナ材（MSR材）を使用する。また、ラミナの縦継ぎは垂直フィンガージョイントとし、フィンガー長さ18mm以上とする。ラミナの乾燥は高温高湿脱脂乾燥方式とし、含水率 20（%）以下とする。
・ ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆
・ 構造用集成材、構造用単板積層材の種類、強度、区分等は伏図による。

樹　種	等級区分	等　級	材面品質	使用箇所

● 構造用合板
・ 平成15年日本農林規格233号「合板の日本農林規格」に準ずること。
・ 接着等級　特類（屋外等、常時湿潤状態にある場所）、Ⅰ類（その他）
・ 強度等級　2級 B-C
・ ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

③ 接合材料

● 釘
・ JIS A 5508 に適合すること。
・ 材質　鉄（亜鉛メッキ処理したもの）またはステンレス
・ 種類
　・ N 釘
　・ CN 釘　耐力壁、準耐力壁、床板、屋根板
　・ ZN 釘　Cマーク、Zマーク金物
　・ ZS 釘　Zマーク金物
　・ ZF 釘
　・ GNF 釘　プラスターボードによる耐力壁
　・ SN 釘　シージングボードによる耐力壁

● 木ネジ
・ JIS B 1112（十文字孔付き木ネジ）もしくは JIS B 1135（十文字孔付き木ネジ（皿木ネジ、丸皿木ネジ））に適合すること。

● ボルト・ナット
・ JIS B 1180 に適合する以下のいずれかを使用すること。ただし、せん断ボルトには必ず呼び径六角ボルトを使用する。
　・ 呼び径六角ボルト
　・ 有効径六角ボルト
　・ 全ネジ六角ボルト

○ コーチボルト（ラグスクリュー）
・ JIS G 3507 に適合すること。
・ 材質　SWRCH10R

○ ドリフトピン
・ 材質　SS400

● 座金
・ JIS G 3131 に適合すること。
・ ボルトに使用する座金は原則として丸座金とし、寸法は下記による

ボルト		M8	M10	M12	M16	M20	M24
引張ボルト	厚　さ	4.5	4.5	6.0	9.0	9.0	13.0
	直　径	45	60	70	90	120	140
せん断ボルト	厚　さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6.0	6.0
	直　径	30	35	40	60	70	80

● アンカーボルト
・ JIS G 3101 に適合すること。
・ 材質　SS400 同等以上

● 既製金物
・ 既製金物及び接合具は以下のいずれかを使用する。
　・（財）日本住宅・木材技術センター「軸組工法用金物規格」による Zマーク金物
　・（財）日本住宅・木材技術センター「3階建て木造住宅用金物規格」による Z、Cマーク金物
　・ 上記金物と同等以上の性能を有する同等認定金物（Dマーク金物）又は、性能認定金物（Sマーク金物）を使用する場合は、監理者の承諾を得ること。

● その他の金物
・ JIS G 3101 等を準用すること。
・ 材質　SS400 同等以上
・ 防錆処置として溶融亜鉛メッキを施す。

④ 製作、加工

・ 加工寸法は以下を標準とする。

● 構造用製材
・ 断面寸法　±1.5（mm）以下
・ 材長　在来軸組工法の継手・仕口の場合 ： ±1.5（mm）以下
　ボルト接合の場合 ： ±5.0（mm）以下
・ 直角度　直角との歪み ±1/100 以下

● 集成材、構造用単板積層材
・ 短辺　±1.5（mm）以下
・ 長辺　±1.5（%）かつ±5.0（mm）以下
・ 材長　±5.0（mm）以下

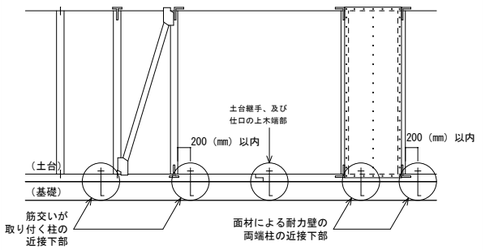
● 接合具の先孔径、深さ
・ ホネジ　針葉樹の場合、主材 ： 0.6d、側材 ： 0.8d
　広葉樹の場合、主材 ： 0.8d、側材 ： 1.0d
・ ボルト　M12 以下 ： d±1.5（mm）以下
　M16 以上 ： d±2.0（mm）以下
・ コーチボルト　2段空けを原則とする。胴部の先行孔は同寸、ネジ部は部材の樹種に応じて 40～75（%）とする。深さはネジ部と同寸とする。
・ ドリフトピン　d±0（mm）

● 金物
・ 幅、長さ　±1.0（mm）以下
・ ボルト孔径　±1.0（mm）以下
・ ボルト孔芯距離　±1.0（mm）以下

・ 表面仕上げの程度は要求に応じた仕様とする。
・ 面取りの程度は要求に応じた仕様とする。

⑤ 建方

・ アンカーボルトの設置
● 芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ適切な機器等で正確に行う。
● アンカーボルトは鉄筋等を用いて組み立て、適切な補助材で型枠等に固定してコンクリートの打設を行う。
● アンカーボルトは二重ナットとする。
● 土台の孔空けは、コンクリート打設後にボルトの通り芯からのずれを計測してから行う。ずれの許容値は±3.0（mm）とする。
● 埋込み位置および埋込み長さは下記による。
　・ 径、本数は構造図による。
　・ 埋込み位置は構造図による。特記無き場合、耐力壁および土台の継手、仕口以外での埋込み間隔は 2.7（m）以内（3階建ての場合は 2.0（m）以内）とする。
　・ 埋込み長さ　M12 ： 250（mm）以上、M16 ： 360（mm）以上



・ 建方の精度基準は下記による。建方精度に不具合が生じた場合、速やかに監理者に報告して対応策を協議する。
● 建物の倒れ　e≦H/2,500 + 10（mm）かつ e≦50（mm）
● 建物の湾曲　e≦H/2,500（mm）かつ e≦25（mm）
● 横架材の水平度　e≦L/700 + 5（mm）かつ e≦15（mm）
● 柱据付け面の高さ及び位置
　・ 高さのずれ　基準高さから±3.0（mm）以下
　・ 通り芯からのずれ　±3.0（mm）以下
　・ 階高　±5.0（mm）以下

・ 確認・検査項目
・ 書類確認　● 施工図（プレカット図を含む）
　○ 材料規格証明書
　○ 輸送計画書
　○ 建方計画書
・ 立会い検査　● アンカーボルト施工時検査
　● 接合部金物施工時検査
　○ 地組み時検査
　● 建方検査（軸組、耐力壁等の施工完了時）

⑥ 接合

● 釘接合
・ 釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように間隔を大きくとる。
・ 釘の長さは、原則として材厚の2.5倍以上とする。
・ 1箇所の釘の本数は2本以上とする。
・ 釘に錆が生じる恐れがある場合は、適切な防錆処理を施す。
・ 自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。
・ 構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は、昭和56年建設省告示第1100号による。
・ 構造耐力上主要な部分において、釘を引抜き方向に抵抗させない。
・ 小口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

● 木ネジ接合
・ ねじ込みには適切な道具を使用し、ハンマーなどで打ち込まないこと。
・ 構造耐力上主要な部分において、木ネジを引抜き方向に抵抗させない。
・ 小口面に打たれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。

● ボルト接合
・ 締付けに先立ち、ボルトの長さ・材質・呼び径・座金等が施工箇所に適したものであることを確認する。
・ ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
・ ボルトの締付けは座金が部材へめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で終了する。
・ 締付を完了した引張ボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
・ 座金のめり込みの程度及びねじ山の出を、目視により確認する。
・ 一度締め付けたボルトについても、工事期間中の木材の乾燥収縮等によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締直しを行うこと。

● コーチボルト（ラグスクリュー）接合
・ コーチボルトの配置間隔、縁距離、端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。
・ 先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではならない。
・ 構造耐力上主要な部分において、コーチボルトを引抜き方向に抵抗させない。

● ドリフトピン接合
・ ボルトやコーチボルトを併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。
・ 先孔に密着させる。
・ 一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

○ ジベル接合
・ 木部材は、接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み、打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
・ 接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

○ 接着接合
・ 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
・ 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従い、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合、その作業条件を標準とする。

● 既製金物の接合
・ 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。

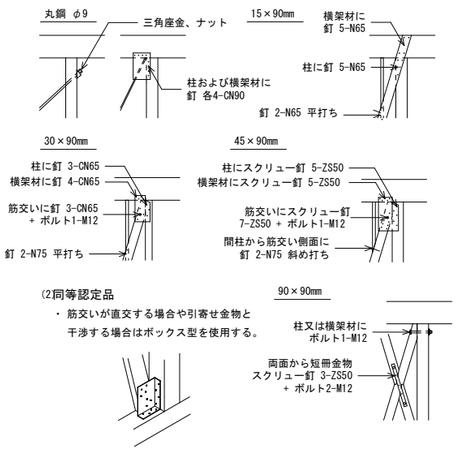
⑦ 耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

・ 木材の防腐・防蟻処理は下記のいずれかによる。
○ 高耐久材の使用（製材の心材、心持ち材または集成材とする）
● 工場処理（現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）
　・ 処理剤　● JAS保存処理剤　［○ K2　● K3　○ K4 ］
　○ AQ認証材保存処理剤　［○ 1 種　○ 2 種　○ 3 種 ］
○ 現場処理（給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）
　・ 処理方法　［○ 塗布　○ 吹付け　○ 浸漬 ］
　・ 日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。
・ 土壌処理は下記のいずれかによる。
○ 防蟻薬剤による処理
　・ 日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
○ 防蟻薬剤による処理と同等以上の対策
　・ 対策方法　べた基礎
○ 防蟻処理の省略（北海道、東北地方、北陸地方）

⑧ 耐力壁の施工方法

● 筋交い
・ 筋交い端部の接合は、平成12年建設省告示第1460号例示仕様または同等認定品とする。
・ 筋交いが間柱と取合う部分は筋交いを通し、間柱を筋交いの厚さだけ欠き取るか分割する。
・ たすき掛け筋交いの交差部は、
　・ 幅90（mm）未満の場合、筋交い同士をずらして双方を通して交差部にN75釘両面打ち
　・ 幅 90（mm）以上の場合、一方を通して他方は筋交い当たり傾ぎ大入れ、
　両面から短冊金物　スクリュー釘（3-ZS50）+ ボルト（2-M12）止め

(1) 告示第1460号例示仕様

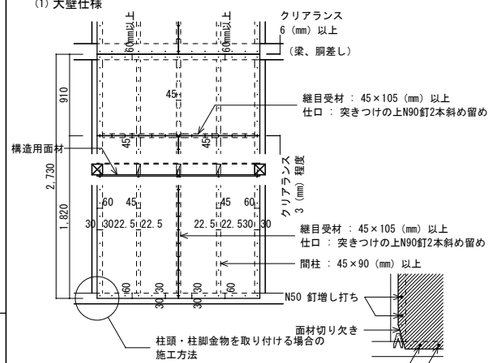


(2同等認定品
・ 筋交いが直交する場合や引寄せ金物と干渉する場合はボックス型を使用する。

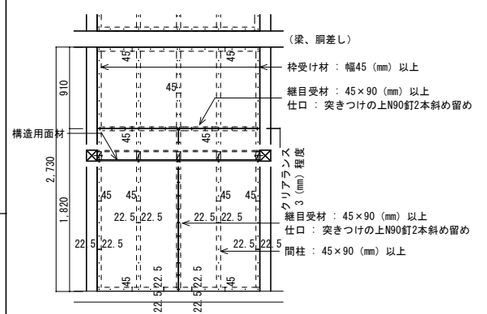
● 構造用面材
・ 構造用面材は 3’×6’版 縦、横貼りを基本とする。
・ 構造用面材の継手は突きつけ継ぎとし、継目下に所定の受け材を設ける。継目のクリアランス幅は3（mm）程度とする。
・ 間柱および胴縁の断面寸法は、45×90（mm）以上とする。
・ 構造用面材は、釘で構造部材に確実に留め付ける。
　材種、釘打ち間隔および釘の種類は、伏図を参照。

構造用面材	材料規格	最小厚さ	釘の種類	間　隔

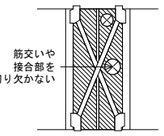
(1) 大壁仕様



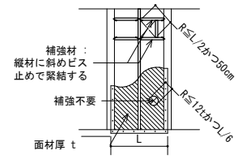
(2) 真壁仕様
・ 幅45（mm）以上の枠受材を、N90釘もしくはコーススレッドビス（L= 120mm）を用いて釘打ち間隔 300（mm）で柱、梁、胴差し等に固定する。



● 耐力壁の小開口
・ 筋交い耐力壁



・ 面材耐力壁



⑨ 床面、屋根面の施工方法

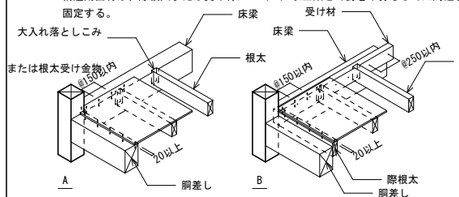
○ 火打ち
・ はり、胴差し、桁等との仕口は傾ぎ大入れとし、六角ボルト締めとする。ただし、横架材の上端もしくは下端に取り付ける場合は渡り腮掛けとし、六角ボルト締めとする。
・ 鋼製火打ちは、Z、Cマーク同等認定品を使用すること。

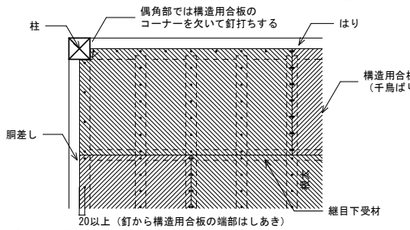
● 構造用面材
・ 床下地板に構造用面材を用いて、火打ちを省略した剛床とする場合に適用する。
・ 床下地板の大きさは 3’×6’版とし、こま切れしたものは使用しない。
・ 構造用合板の長手方向を根太と直交させ、かつ、千鳥ばりとする。継手は根太上で突きつけ継ぎとし、継目下に断面寸法45×45（mm）以上の受け材を設ける。
・ 柱と床ばり・胴差し同士もしくは梁と胴差しの仕口は、金物、ボルトにより緊結補強する。
・ 構造用面材は、釘で構造部材に確実に留め付ける。釘打ち間隔および釘の種類は面材の種類に応じて下表の通りとする。

	構造用面材	材料規格	最小厚さ	釘の種類	間　隔
●	構造用合板	JAS 233	12（mm）	N50、CN50	150（mm）
○	パーティクルボード	JIS A 5908	15（mm）		
○	構造用パネル	JAS 238	－		

A. 根太とはり、胴差しの上端高さが同じ場合
・ 根太間隔は500（mm）以下とする。
・ 根太は床梁、胴差に大入れ落しこみN75釘2本を斜め打ちとするか、根太受け金物等を用いて床梁、胴差に留めつける。
・ 構造用面材は、はり、胴差しに20（mm）以上乗せて釘を平打ちして直貼りする。
・ 隅角部では柱があるため構造用合板のコーナー部を欠いて釘打ちする。

B. 根太とはり、胴差しの上端高さが異なる場合
・ 根太間隔は300（mm）以下とする。
・ はり、胴差しに直交する根太は渡り腮掛けとし、N75釘2本を斜め打ちとする。
・ はり、胴差しの際に、際根太または根太と同寸以上の受け材をN90釘を間隔250（mm）で千鳥に平打ちして添えつける。
・ 構造用面材は、際根太または受け材に20（mm）以上乗せて釘を平打ちして四周辺を固定する。





C. 根太を用いず直接、はり、胴差しに留め付ける場合
・ 床下地板は構造用合板 24（mm）以上を使用する。
・ はりまたは胴差しへN75釘を間隔150（mm）以下で平打ちし、四周辺を固定する。

構造担当 ： 合同会社建築食堂 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二 一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士 第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	木造仕様書(1)	－	25/10/01	S-03

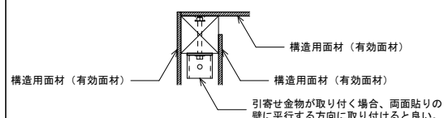
●大引、床束による床組み

- 大引きの断面寸法は、90×90（mm）を標準とする。
- 大引きと土台の仕口は、大入れ蟻掛け、腰掛け、または乗せ掛けとし、いずれもN75釘2本斜め打ちとする。
- 大引きと柱の仕口は、添木を柱に取り付けたのち乗せ掛けとするか、柱に大入れとする。いずれもN75釘2本斜め打ちとする。
- 床束の断面寸法は、90×90（mm）を標準とする。
- 床束と大引きの仕口は、突き付けにしてN75釘を斜め打ちの上、かすがい打ちとする。
- 床束の下部は、束石に突き付けとし、根がらみ貫を添え付け釘打ちとする。
- プラスチックまたは鋼製束とする場合は、特記による。

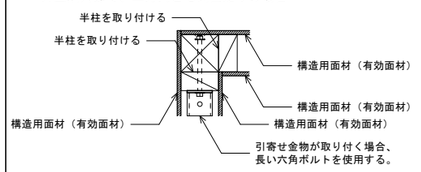
⑥ 耐力壁および床面の納まり

(1)面材貼り耐力壁交差部の納まり（平面）

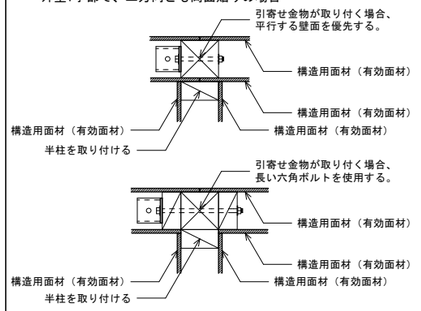
・ 外壁隅角部で、一方が両面貼り、他方が片面貼りの場合



・ 外壁隅角部で、二方向とも両面貼りの場合

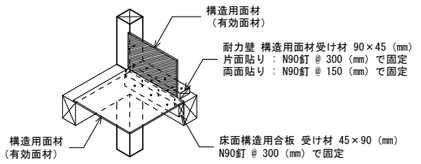


・ 外壁T字部で、二方向とも両面貼りの場合

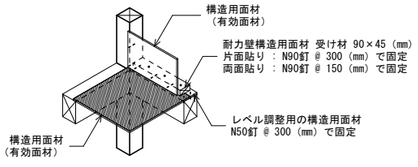


(2)面材貼り耐力壁と床面の納まり

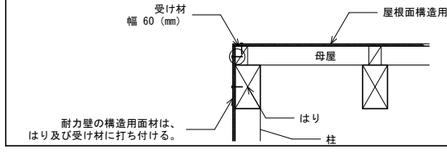
・ 壁面を優先する場合



・床面を優先する場合



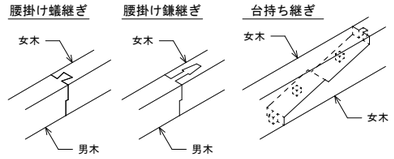
(3)面材貼り耐力壁と屋根面の納まり（母屋とはりの上端高さが異なる場合）



⑪ 在来軸組工法接合部の標準仕様

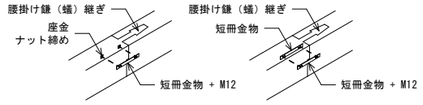
(1)継　手

A. 曲げ応力や引張力を負担しない継手

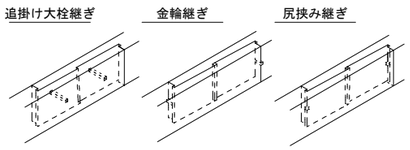


B. 曲げ応力や引張力を負担する継手

・ 金物を使用する場合



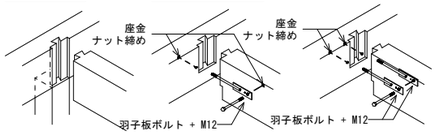
・ 金物を使用しない場合



(2)横架材同士の仕口

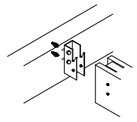
A. （大入れ）蟻掛け

・ 男木せいが女木の2/3以下か仕口直下に柱がある場合は、大入れ蟻掛けとしてよい。
・ 上記以外の場合は、男木せいの2/3程度の顎をかけて、羽子板ボルトを併用する。



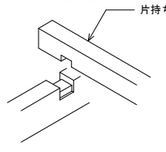
B. 梁受け金物

・ Z、Cマーク同等認定品を使用し、適用箇所は特記による。



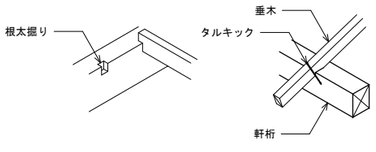
C. 渡りあご掛け

・ 片持ち梁とする場合は、レベル差を設けて渡りあご掛けとする。
・ 羽子板ボルト等を併用すること。



D. 根太、垂木と横架材

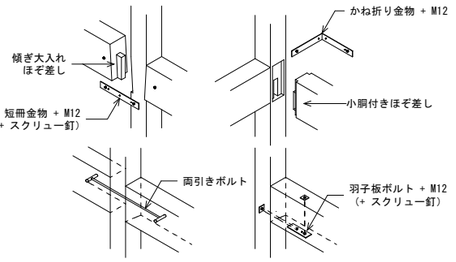
・ 落とし込み根太 ： 大入れ、根太掛け + 斜め釘、根太受け金物
・ 半欠き根太 ： 横架材に大入れあご掛け＋斜め釘
・ 転ばし根太（根太が正角断面の場合）： 横架材に脳天釘止め
　転ばし根太（根太が縦長角断面の場合）： 斜め釘2本 + 転び止め
・ 垂木 ： 横架材に垂木道を掘り、転ばし根太と同様に止める。
・ 垂木には、風の負圧に対する補強としてひねり金物等を取り付ける。



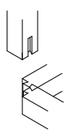
(3)柱と横架材の仕口

A. 柱通しの場合

・ 小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物のいずれかとする。
　・ 梁受け金物以外の場合は、短冊金物やかね折り金物等を併用すること。
　・ 梁受け金物は、Z、Cマーク同等認定品を使用すること。
・ 土台と柱の接合部は、柱勝ちの場合は落とし蟻とする。

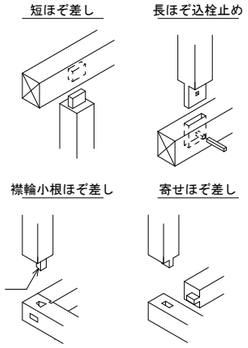


落とし蟻（柱勝ち）



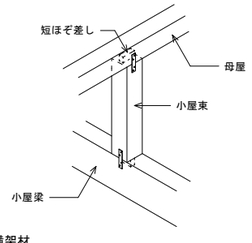
B. 横架材通しの場合

・ 柱の上下端は短ほぞ差し又は長ほぞ込栓止めとする。
・ 土台同士は襟輪小根ほぞ差しまたは寄せほぞ差し、柱脚部は肩ほぞ差し又は寄せほぞ差しとする。
・ 柱頭・柱脚接合部金物は、平成12年建設省告示第1460号の例示仕様または Z、Cマーク同等認定品とする。告示の例示仕様は右表による。



C. 小屋束の上下端

・ 短ほぞ差しまたは長ほぞ差し込み栓止めとする。
　短ほぞ差しの場合、かすがい2本、ひら金物、山形プレートのいずれかで補強する。



D. 間柱と横架材

・ 上部ほぞ差し、下部突き付け + N75釘2本斜め打ち
・ 上部大れ + N75釘2本斜め打ち、下部突き付け + N75釘2本斜め打ち
・ 上部、下部とも深さ3（mm）程度大入れ + N75釘2本斜め打ち

符号	は		に	
耐力	5.07（kN）	5.88（kN）	7.5（kN）	
名称	かど金物（T字型金物）	かど金物（V字型金物、山形金物）	羽子板ボルト（釘なし）	短冊金物（釘なし）
詳細	かど金物 CP・T 太め釘 ZN65×10 2材の接合面が釘孔間隔の中心となるように取り付ける。 ひら金物（SM-40） 太め釘 ZN65×12本 横架材の上下管柱の接合金物が「は」で、横架材のせい（D）が120mm以下の場合、ひら金物（SM-40）で上下の管柱を緊結する。	継目受材 ： 45×90（mm）以上 仕口 ： 突きつけの上N90釘2本斜め留め かど金物 VP 太め釘 ZN90×8 中心線と木材の接合面を一致させる。 太め釘ZN90は材が割れやすいため、施工時には下孔を空けておく。 背割りがある場合、上下逆に用いる。	羽子板ボルト SB・F2 , SB・E2 六角ボルト 1- M12 胴差しのせいが大きく施工が困難な場合は、両引き羽子板ボルト（Zマーク表示金物同等認定品）を使用する。 SB・F2　SB・E2 六角ボルト 1-M12　六角ボルト 1-M12 F2（フラット）タイプで、ボルト孔が材に近接して施工性が悪い場合や角座金が部材に干渉する場合は、E2（腰高）タイプとする。	短冊金物 S（釘なし） 六角ボルト 2- M12 柱の小口からM12の孔芯までの距離が90mm以上となるものを使用する。 胴差しのせいが大きく施工が困難な場合、構造用面材にボルト頭が干渉する場合は、両引き羽子板ボルト（Zマーク表示金物同等認定品）を使用する。 六角ボルト 1-M12 両引きボルト M12 六角ボルト 1-M12

符号	ほ		へ	と
耐力	8.5（kN）		10.0（kN）	15.0（kN）
名称	羽子板ボルト（釘あり）	短冊金物（釘あり）	10kN 引寄せ金物	15kN 引寄せ金物
詳細	羽子板ボルト SB・F , SB・E 六角ボルト 1- M12 スクリュー釘 ZS50×1 胴差しのせいが大きく施工が困難な場合は、両引き羽子板ボルト（Zマーク表示金物同等認定品）を使用する。 SB・F　SB・E 六角ボルト 1-M12　六角ボルト 1-M12 F（フラット）タイプで、ボルト孔が材に近接して施工性が悪い場合や角座金が部材に干渉する場合は、E（腰高）タイプとする。	短冊金物 S（釘あり） 六角ボルト 2- M12 スクリュー釘 ZS50×2 柱の小口からM12の孔芯までの距離が90mm以上となるものを使用する。 胴差しのせいが大きく施工が困難な場合、もしくは、構造用面材にボルト頭が干渉する場合は、両引き羽子板ボルト（Zマーク表示金物同等認定品）を使用する。 六角ボルト 1-M12　両引きボルト M12 六角ボルト 1-M12	引寄せ金物 HD-B10 六角ボルト 2-M12 座金付きボルト M16W(*) 図はHD-Bタイプを示すが、以下のタイプを使用しても良い。 □ HD-B10（幅広ボルト） 2-M12 □ HD-N10（幅広釘） ZN90×10 □ S-HD10（細身ボルト） 2-M12 （*）アンカーボルト 1-M16 で基礎と緊結しても良い。	引寄せ金物 HD-B15 六角ボルト 3-M12 アンカーボルト 1-M16 図はHD-Bタイプを示すが、以下のタイプを使用しても良い。 □ HD-B15（幅広ボルト） 3-M12 □ HD-N15（幅広釘） ZN90×16 □ S-HD15（細身ボルト） 3-M12

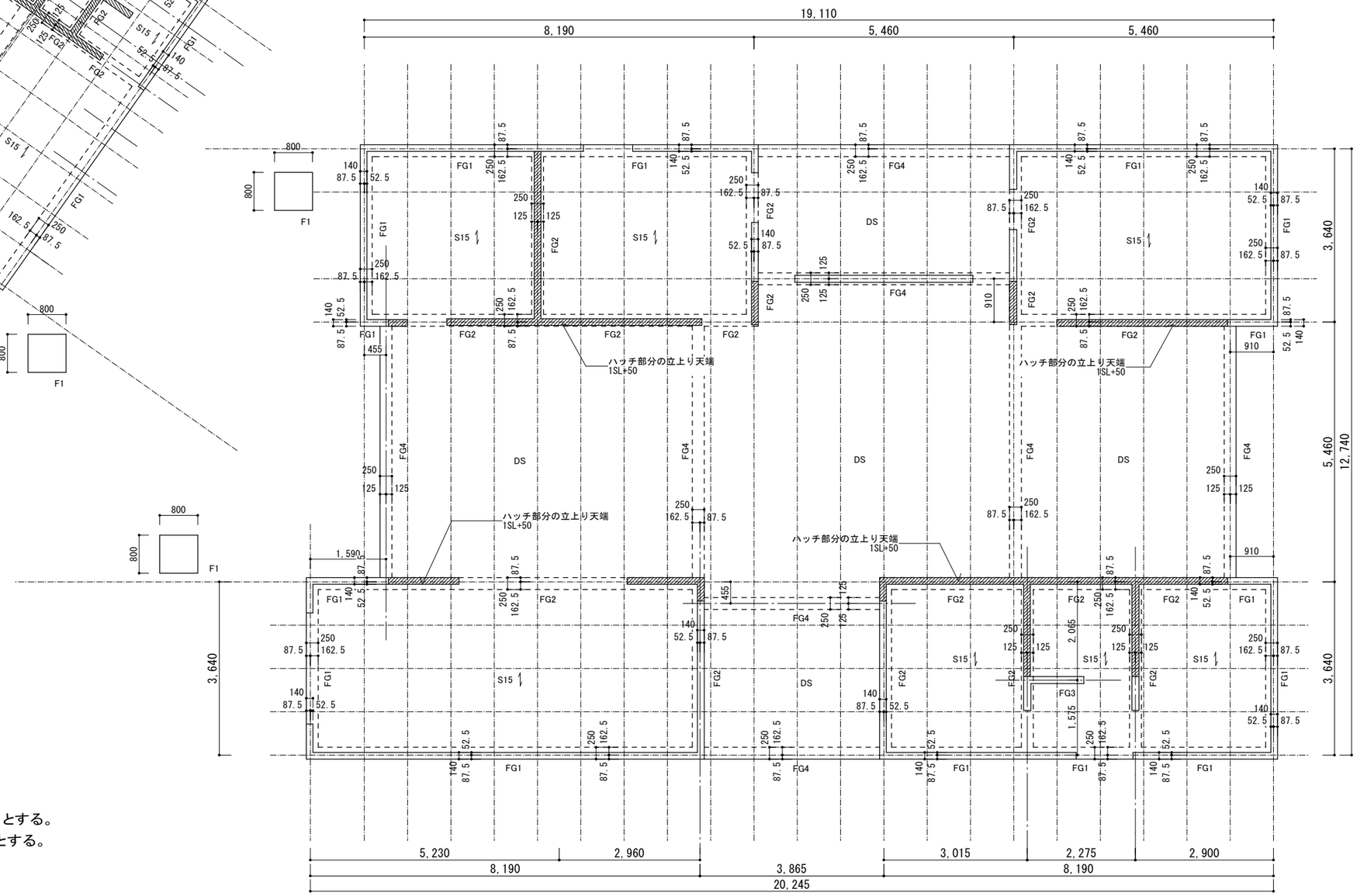
符号	ち	り	ぬ	る
耐力	20.0（kN）	25.0（kN）	30.0（kN）	40.0（kN）
名称	20kN 引寄せ金物	25kN 引寄せ金物	15kN 引寄せ金物 x 2	20kN 引寄せ金物 x 2
詳細	引寄せ金物 HD-B20 六角ボルト 4-M12 アンカーボルト 1-M16 図はHD-Bタイプを示すが、以下のタイプを使用しても良い。 □ HD-B20（幅広ボルト） 4-M12 □ HD-N20（幅広釘） ZN90×20 □ S-HD20（細身ボルト） 4-M12	引寄せ金物 HD-B25 六角ボルト 5-M12 アンカーボルト 1-M16 図はHD-Bタイプを示すが、以下のタイプを使用しても良い。 □ HD-B25（幅広ボルト） 5-M12 □ HD-N25（幅広釘） ZN90×26 □ S-HD25（細身ボルト） 5-M12	□ 引寄せ金物が正対する場合 接合具を共有するように、高さを揃える。 □ 引寄せ金物が直交する場合 接合具が干渉しないように、高さを 45mm ずらせる。	

構造担当 ： 合同会社建築食堂　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二　一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士　第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	木造仕様書(2)	-	25/10/01	S-04





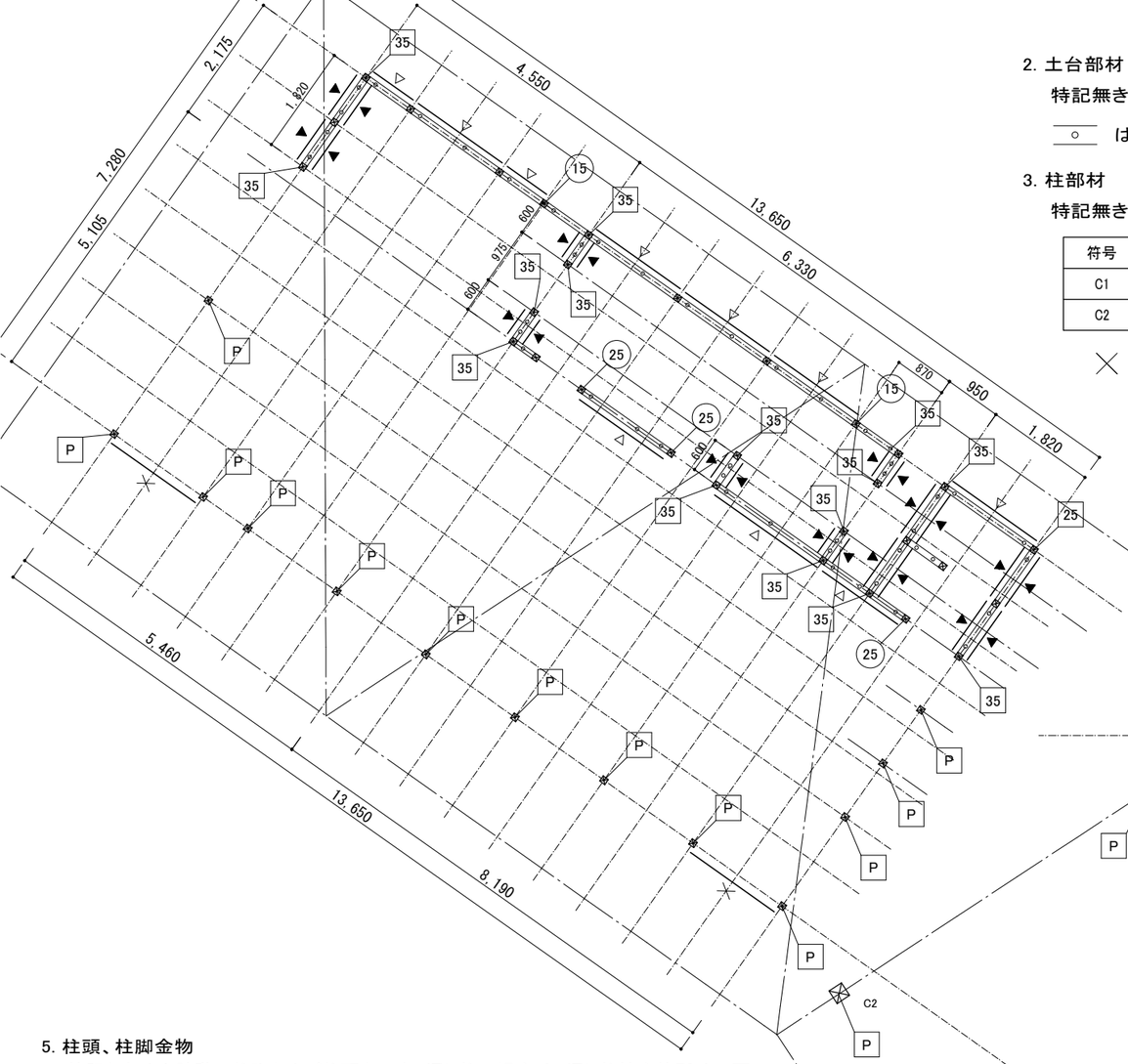
基礎　伏図

特記事項
- 特記なきスラブ天端は、設計GL+50 とする。
- 特記なき立上り天端は、1SL+250 とする。

構造担当 ： 合同会社建築食堂　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二　一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士　第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	基礎伏図	1/100	25/10/09	S-05



2. 土台部材

特記無き土台は、105x105 (無等級製材 ヒノキ)

○ はアンカーボルト M12を示す。継手がある場合はその両側にも設ける。

3. 柱部材

特記無き柱は C1 とする。

符号	断面、樹種、強度区分
C1	105 x 105 (無等級製材すぎ)
C2	150 x 150 (無等級製材くり)

╳ は下階の柱位置を示す。　　⊠ は通し柱を示す。

4. 壁部材

構造用合板耐力壁は全て大壁仕様とする。

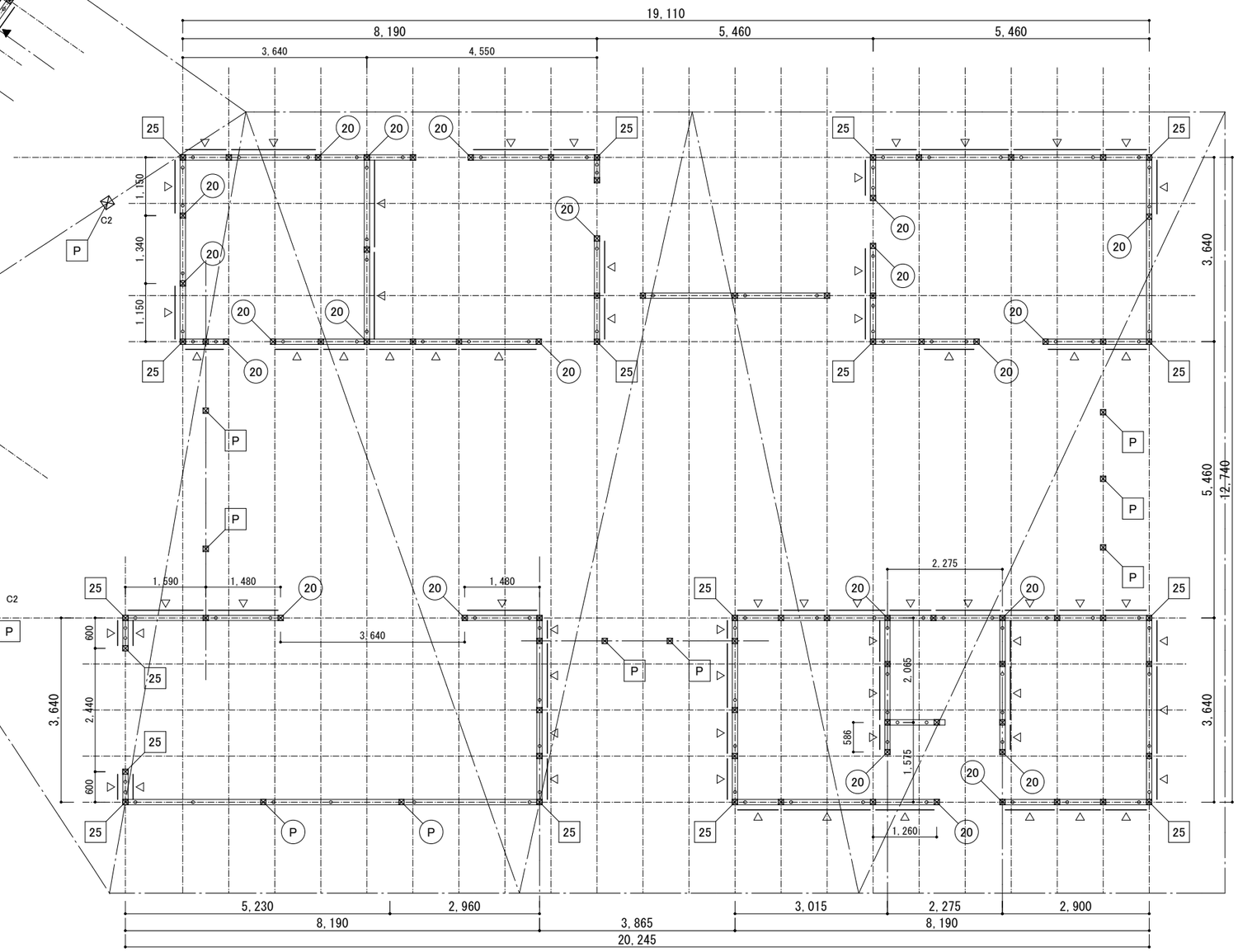
符号	仕様	壁倍率
△	構造用合板t12 大壁仕様 N50　外周@150, 中通り@200	2.5
▲	構造用合板t12 大壁仕様 N50　外周@75, 中通り@150	3.7
╳	コボットブレース	3.3

5. 柱頭、柱脚金物

特記なきは当該階の柱脚および柱頭を示す。通し柱の場合は、通し柱接合箇所は不要で柱頭もしくは柱脚のみでよい。

なしの場合も告示1460号(は)が必要になるため注意すること。

符号	引張力	告示記号	金物仕様
なし	5.1 kN	告示1460号 (は)	ライトコーナー , エーステンプレートS など
⑩	10 kN	告示1460号 (へ)	コーナー金物 10kN
⑮	15 kN	告示1460号 (と)	コーナー金物 15kN
⑳	20 kN	告示1460号 (ち)	コーナー金物 20kN
㉕	25 kN	告示1460号 (り)	グレートコーナー 25kN
20	20 kN	告示1460号 (ち)	柱脚:ビス止めホールダウンU20 柱頭:オメガコーナー20kN
25	25 kN	告示1460号 (り)	柱脚:ビス止めホールダウンU25 柱頭:グレートコーナー25kN
Ⓟ	10 kN	-	既製品ほぞパイプ + ドリフトピン (10kN相当)
35	35 kN	-	柱脚:ビス止めホールダウンU35 柱頭:偏芯座金付ボルト36
P	20 kN	-	柱脚:プレセッター柱脚金物一体型 柱頭:ドリフトピン金物工法(20kN相当)



1階　伏図

構造担当 : 合同会社建築食堂　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二　一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士 第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

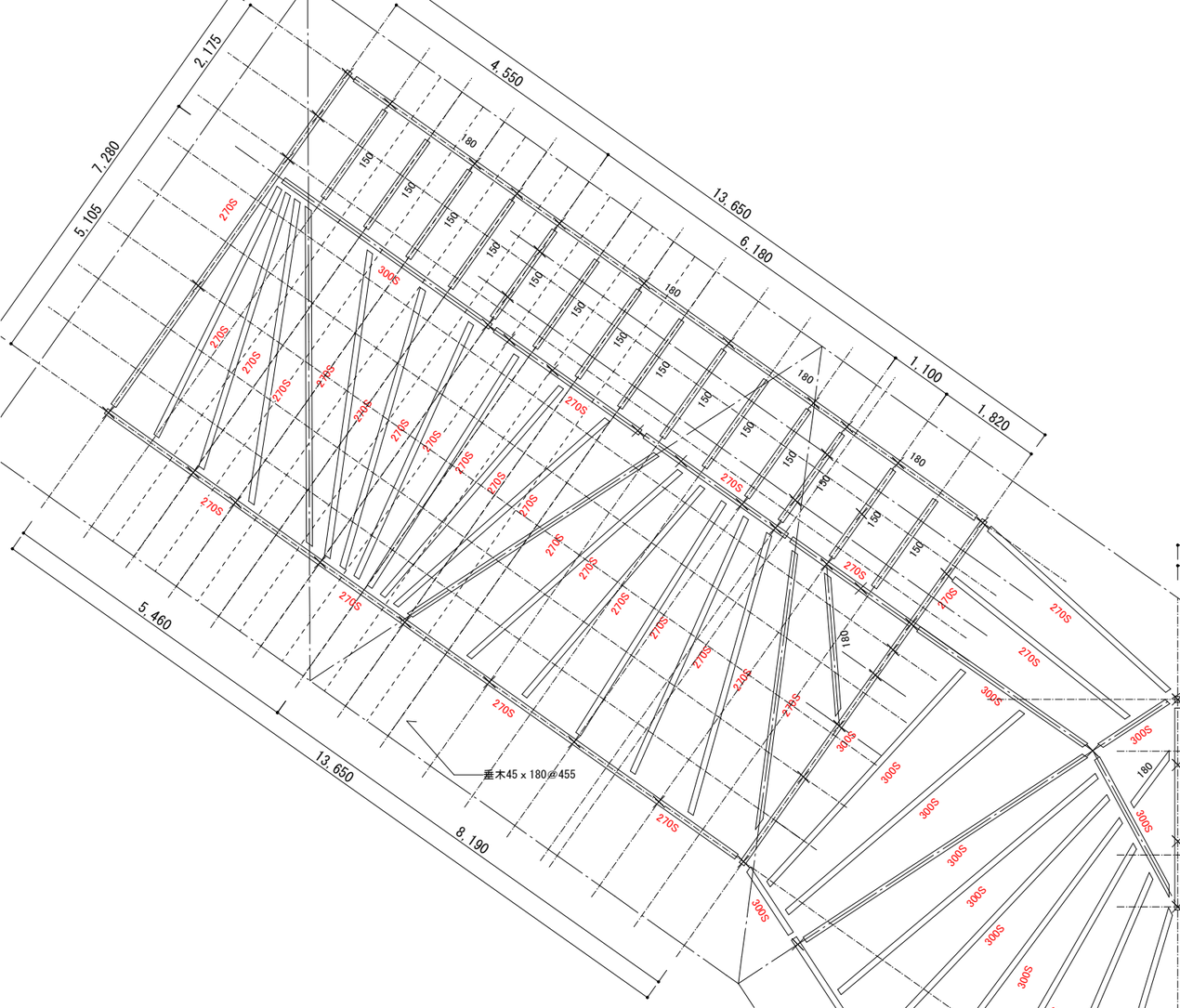
project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	1階伏図	1/100	25/10/09	S-06

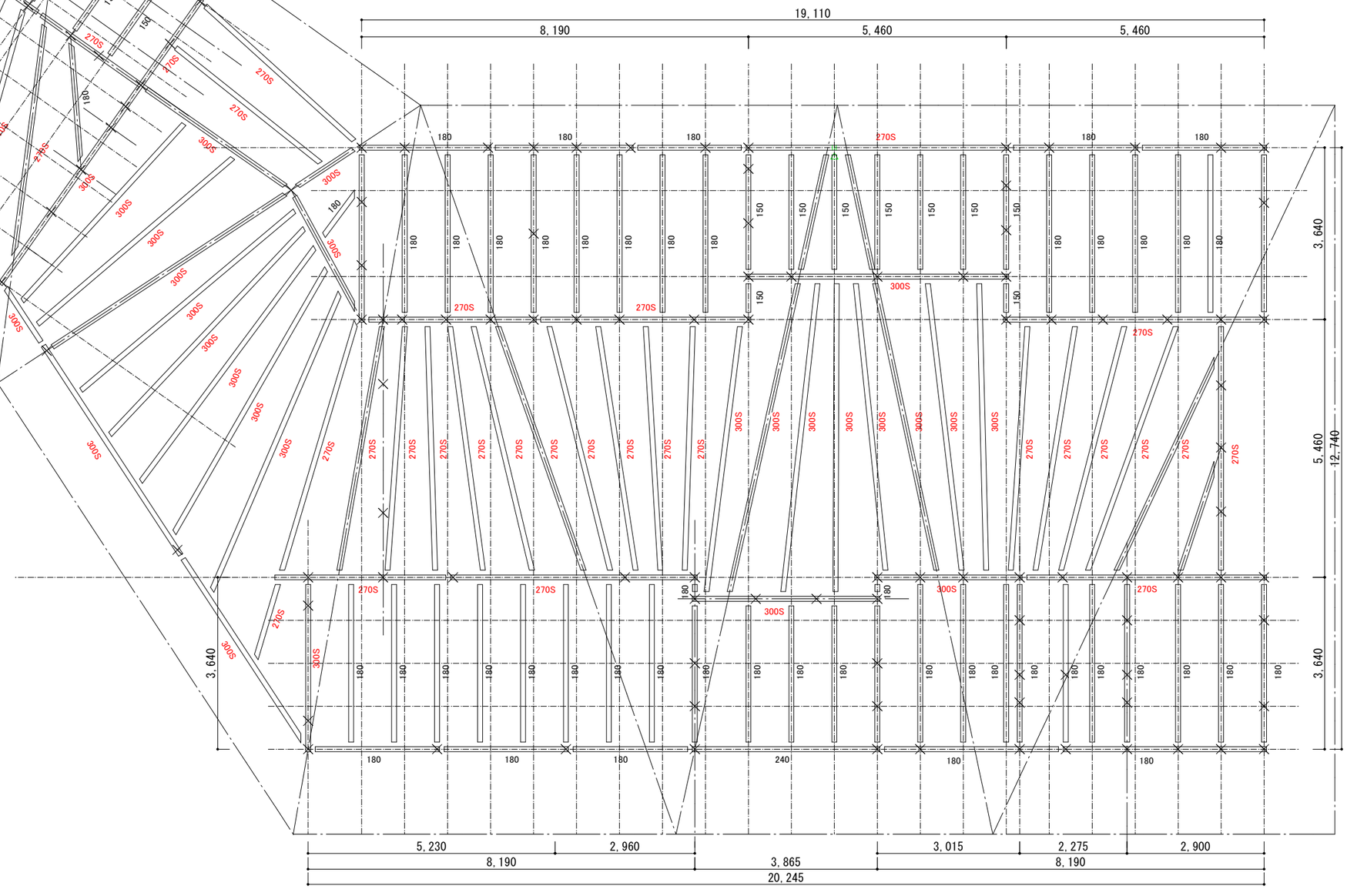
6. 梁部材
・特記なき梁、根太、束、母屋　すべて 無等級製材すぎ とする。
・梁末尾符号「S」が着く場合は、集成材E65-F220（スギ）とする。

7. 梁継ぎ手金物
・梁継手には、鎌継手 ＋ フィックステンプレートを用いる。
・特記なき梁端部にはビスどめ羽子板金物を用いる。
・梁せい270以上もしくは室内に露出する梁の端部にはドリフトピン梁受け金物を用いる。

8. 床、屋根構面

位置	仕様	単位長さ許容せん断耐力
屋根面	構造用合板t12，N50　釘川の字配置、外周および中通り@150 垂木45x180@455	1.37kN/m





屋根　伏図

構造担当 ： 合同会社建築食堂　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二　一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士　第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	屋根伏図	1/100	25/10/09	S-07

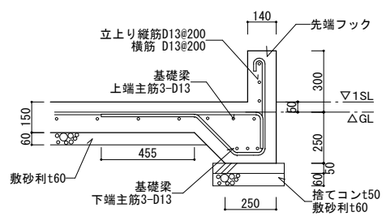
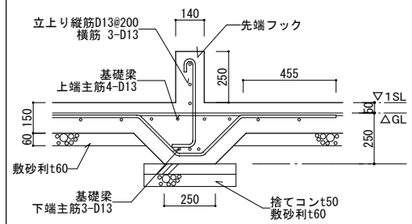
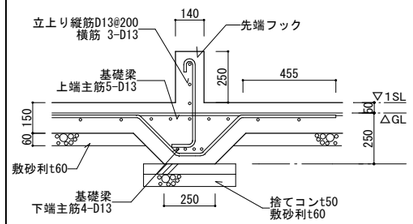
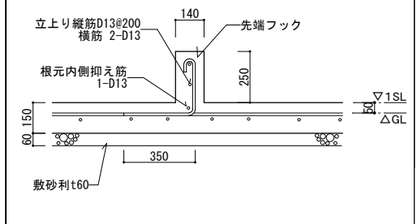
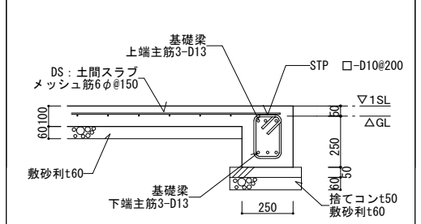
1.基礎、立上り、スラブ

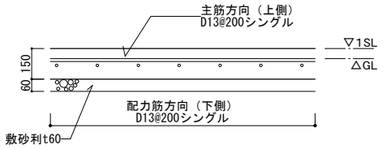
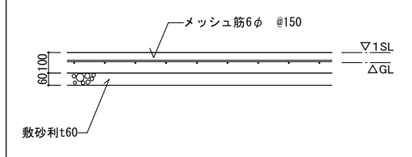
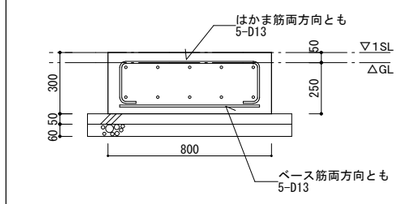
・コンクリート強度 Fc 21 N/mm2 ，スランプ18cm

・スリーブ開口は125Φ以上で、タテヨコ1-D13の開口補強筋を追加

・スリーブ間隔は原則、孔の中心間距離は平均径の3倍とする

・立上りの有無は伏図に示す通りとする

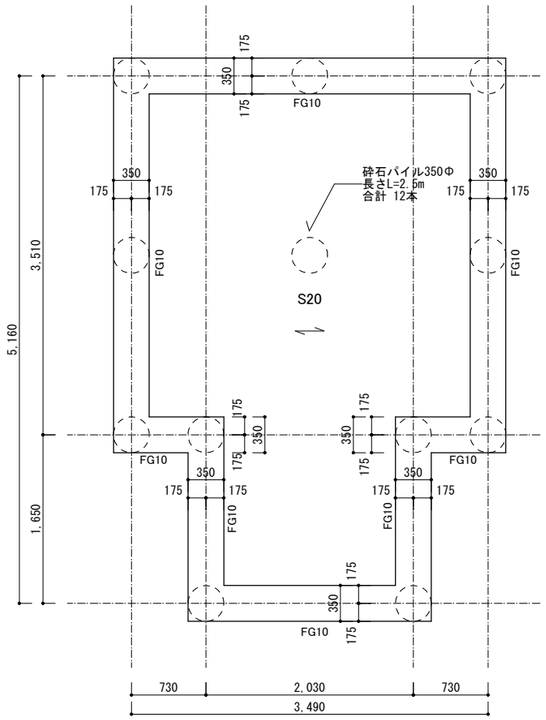
符号	FG1	FG2	FG2A	FG3	FG4
断 面					

符号	S15	DS(土間スラブ)	F1：800 x 800 x 300
断 面			

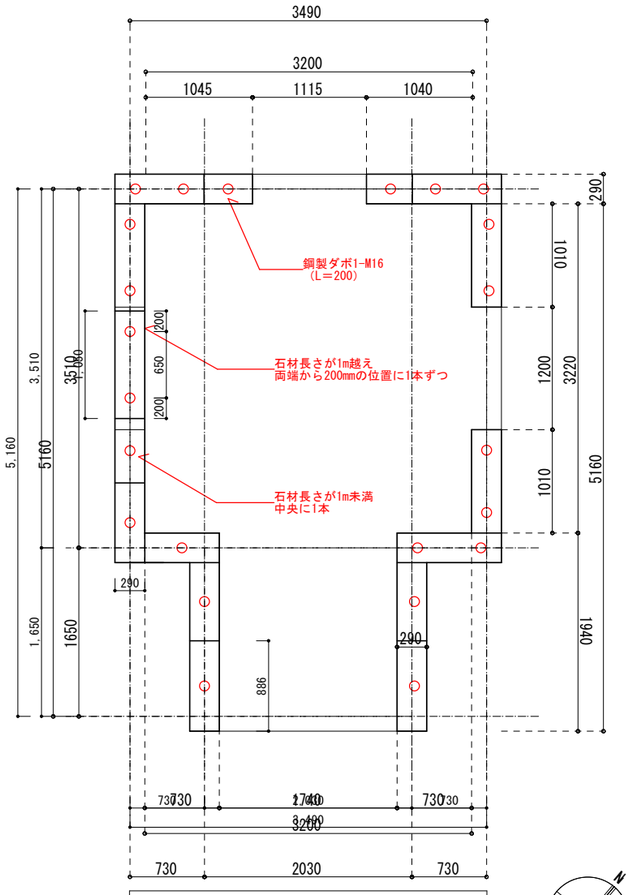
構造担当 ： 合同会社建築食堂 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2
一級建築士事務所 熊本県知事登録第3987号
白橋祐二 一級建築士 大臣登録 第374068号
構造設計一級建築士 第11551号

株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	RC断面リスト	1/30	25/10/08	S-08



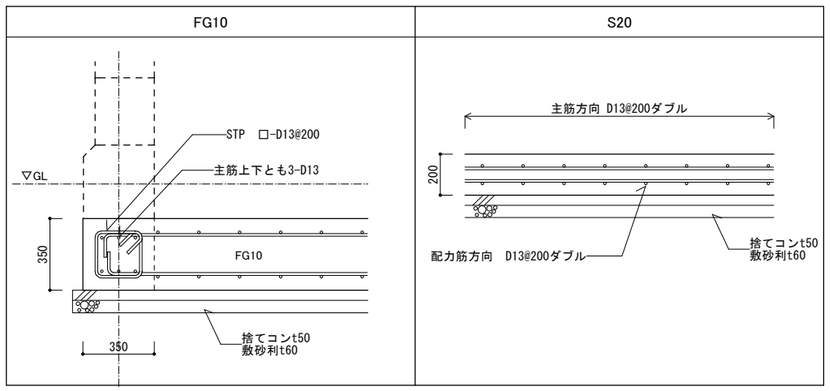
基礎 伏図



1階 平面図

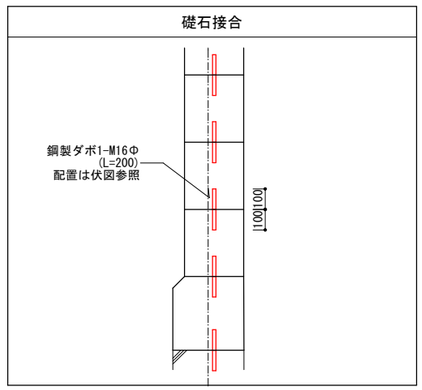
1.基礎、スラブ

・コンクリート強度 Fc 21 N/mm2 ，スランプ18cm

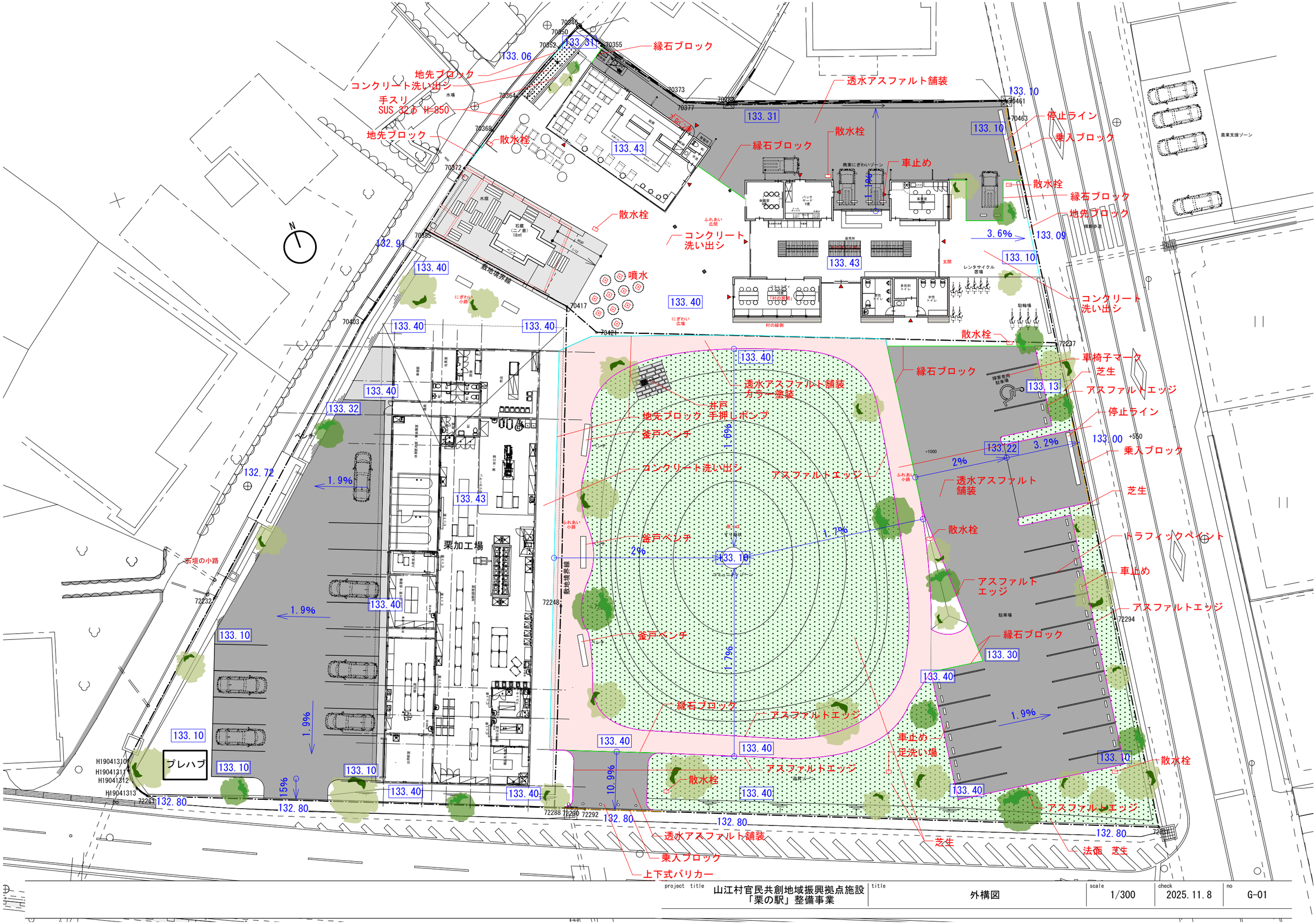


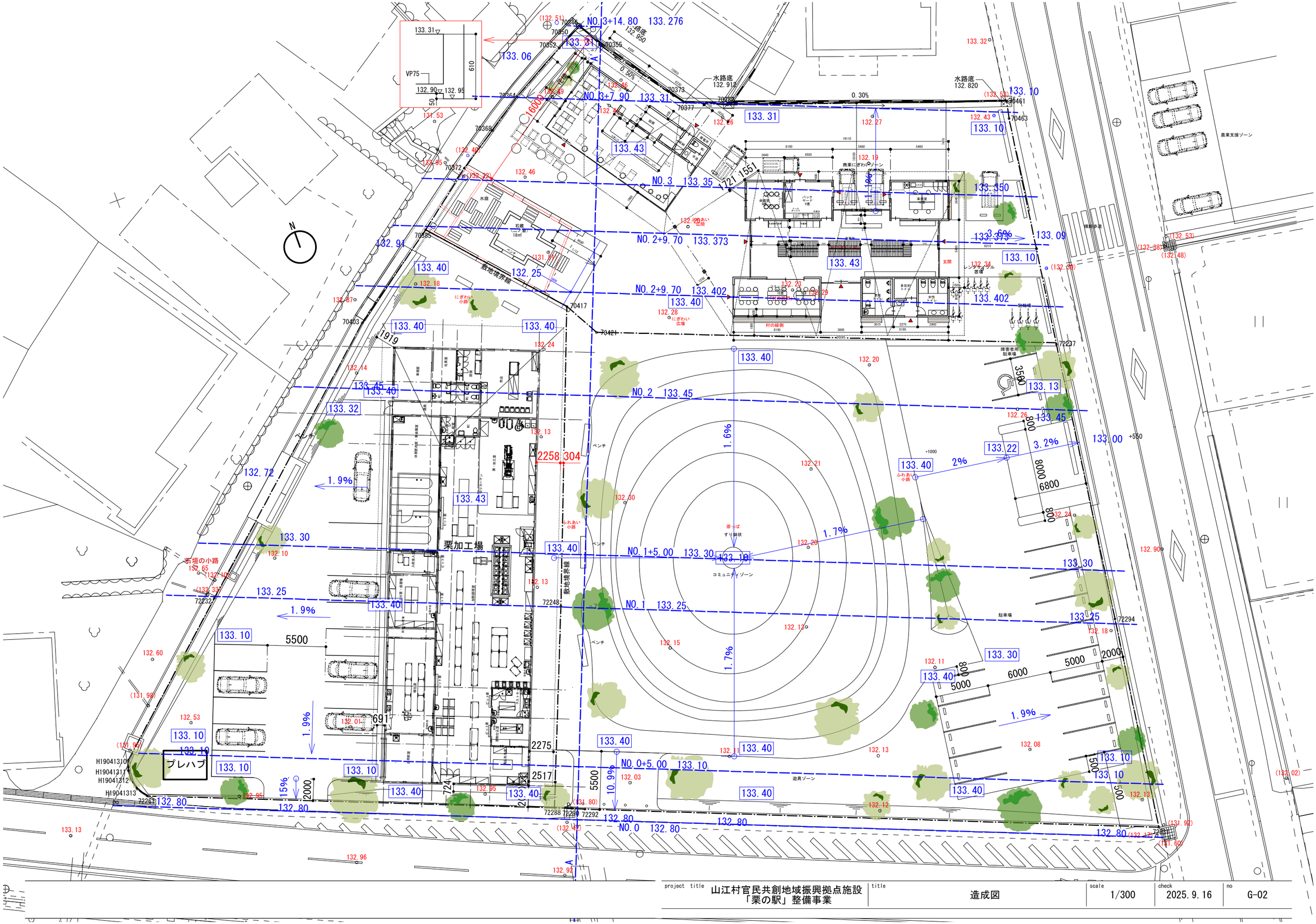
2.礎石接合方法

・下穴は18mm以下とする



project title	title	scale	check	no
山江村石蔵活用拠点施設設計業務	石蔵改修構造図	1/60	2025.09.26	S-09


縁石ブロック
地先ブロック
コンクリート洗い出シ
手スリ
SUS 32φ H=850
地先ブロック
散水栓
散水栓
コンクリート
洗い出シ
噴水
透水アスファルト舗装
散水栓
縁石ブロック
車止め
停止ライン
乗入ブロック
散水栓
縁石ブロック
地先ブロック
コンクリート
洗い出シ
散水栓
縁石ブロック
車椅子マーク
芝生
アスファルトエッジ
停止ライン
乗入ブロック
芝生
トラフィックペイント
車止め
アスファルトエッジ
縁石ブロック
散水栓
アスファルトエッジ
芝生
法面 芝生
透水アスファルト舗装
カラー塗装
井戸
手押しポンプ
地先ブロック
釜戸ベンチ
コンクリート洗い出シ
釜戸ベンチ
釜戸ベンチ
縁石ブロック
アスファルトエッジ
アスファルトエッジ
透水アスファルト舗装
散水栓
縁石ブロック
アスファルトエッジ
透水アスファルト舗装
乗入ブロック
上下式バリカー
車止め
足洗い場
散水栓
アスファルトエッジ
1.9%
1.9%
1.9%
15%
1.69%
1.7%
1.7%
10.9%
2%
2%
3.6%
3.2%
2%
1.9%
133.31
133.06
133.43
133.10
133.10
133.09
133.10
133.43
133.40
133.40
133.40



project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	造成図	1/300	2025.9.16	G-02

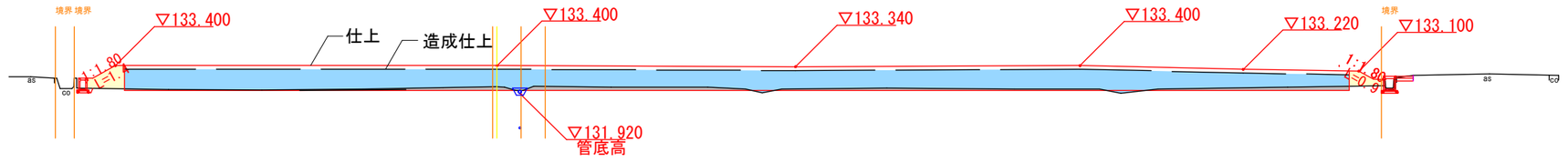
NO.2

D=15.000
GH=132.27
FH=133.400
131.920

NO.2

種別	数量	
掘削	6.8	
盛土	2.9	
路床盛土	71.2	
盛土法面整形	1.4	0.9

DL=130



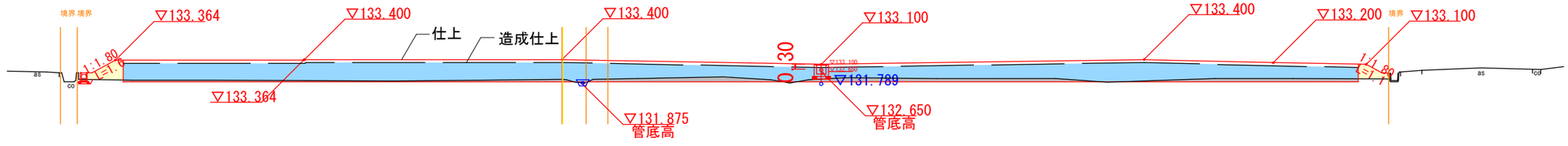
NO.1+5.00

D=5.000
GH=132.16
FH=133.400
131.875

NO.1+5.00

種別	数量	
掘削	10.4	
盛土	3.1	
路床盛土	82.1	
盛土法面整形	1.6	1.1

DL=130



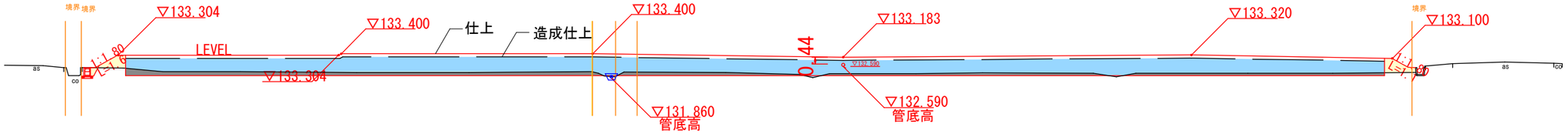
NO.1

D=15.000
GH=132.25
FH=133.400
131.860

NO.1

種別	数量	
掘削	14.2	
盛土	2.2	
路床盛土	87.0	
盛土法面整形	1.6	1.1

DL=130



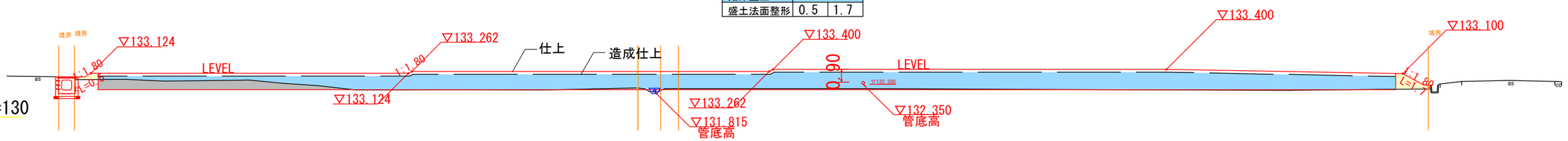
NO.0+5.00

D=5.000
GH=132.10
FH=133.262
131.815

NO.0+5.00

種別	数量	
掘削	12.2	
盛土	2.2	
路床盛土	102.1	
盛土法面整形	0.5	1.7

DL=130



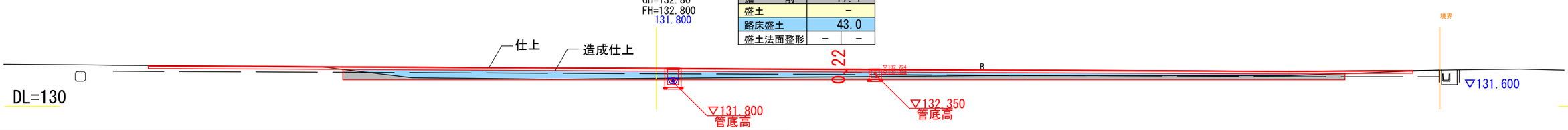
NO.0

D=0.000
GH=132.80
FH=132.800
131.800

NO.0

種別	数量	
掘削	17.4	
盛土	－	
路床盛土	43.0	
盛土法面整形	－	－

DL=130



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

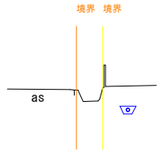
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	横断図－1	1/300	2025.9.11	G-03

NO.3+14.80

D=6.900
GH=133.18
FH=133.310
132.024

NO.3+14.80

種　別	数　量	
掘　削		
盛土		
路床盛土		
盛土法面整形		



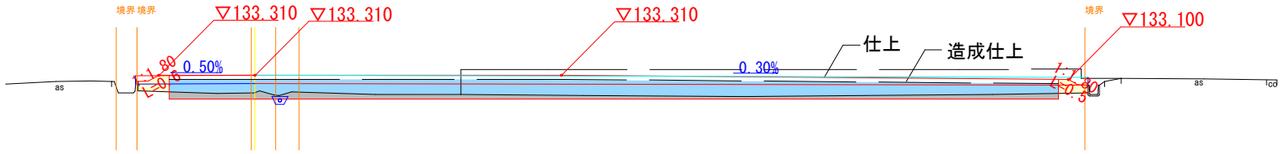
DL=130

NO.3+7.90

D=7.900
GH=132.47
FH=133.310
132.004

NO.3+7.90

種　別	数　量	
掘　削	9.0	
盛土	1.8	
路床盛土	39.3	
盛土法面整形	0.6	0.5



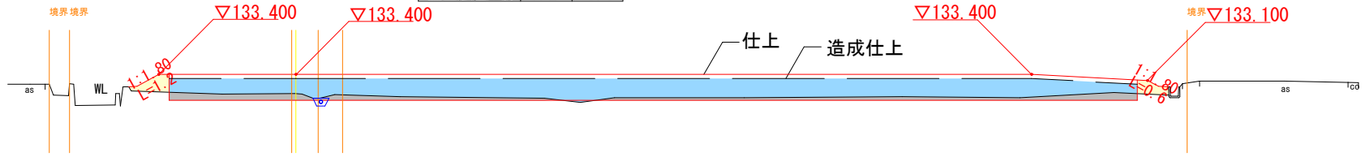
DL=130

NO.3

D=4.500
GH=132.46
FH=133.349
131.980

NO.3

種　別	数　量	
掘　削	9.2	
盛土	1.8	
路床盛土	48.5	
盛土法面整形	1.2	0.6



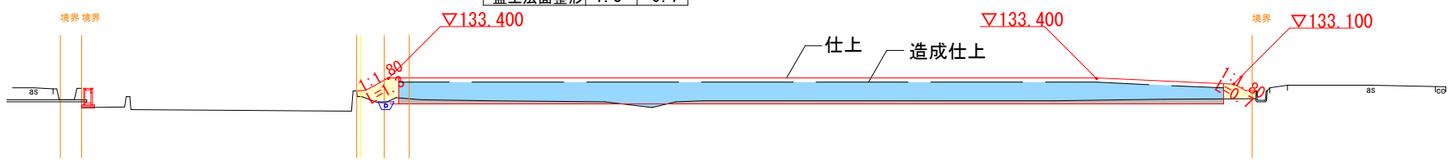
DL=130

NO.2+15.50

D=5.800
GH=132.48
FH=133.371
131.967

NO.2+15.5

種　別	数　量	
掘　削	7.0	
盛土	2.4	
路床盛土	42.6	
盛土法面整形	1.3	0.7



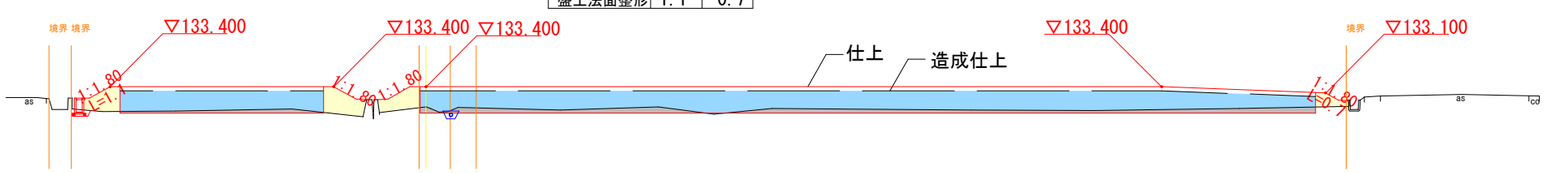
DL=130

NO.2+9.70

D=9.700
GH=132.40
FH=133.400
131.949

NO.2+9.70

種　別	数　量	
掘　削	10.6	
盛土	6.4	
路床盛土	59.0	
盛土法面整形	1.1	0.7

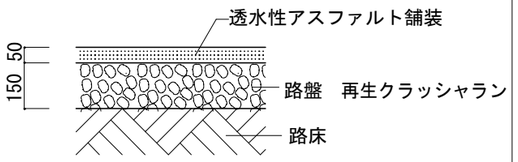


DL=130

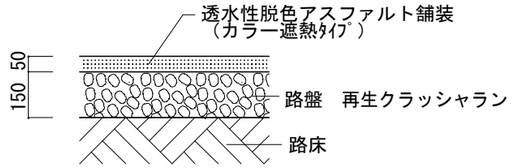
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	横断図-２	1/300	2025.9.11	G-04

アスファルト舗装詳細図 （駐車場） S=1:20

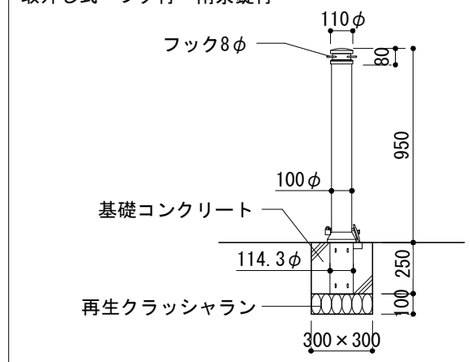


アスファルト舗装詳細図（施設歩道）S=1:20

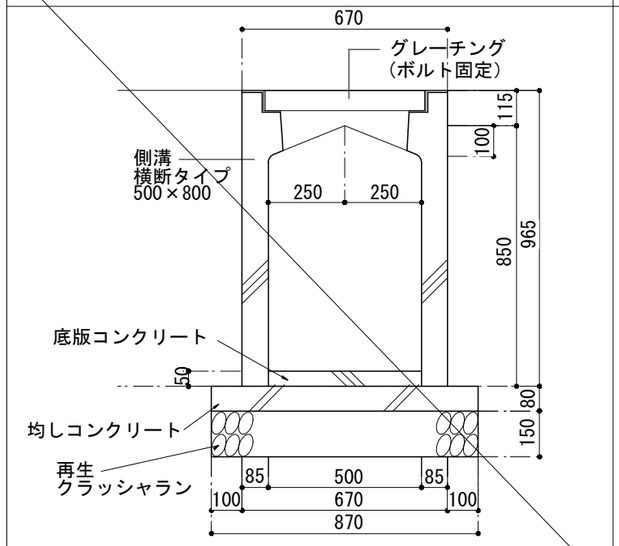


バリカー詳細図　S=1:30

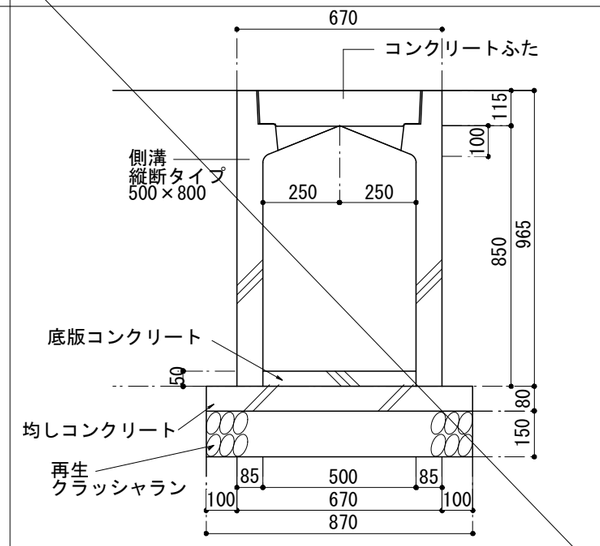
スペースガード（車止め）G5型　　4箇所
取外し式　フタ付・南京錠付



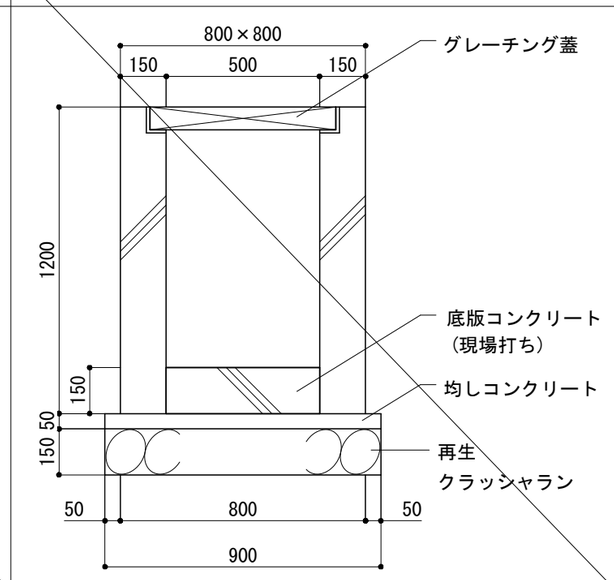
道路　側溝詳細図　S=1:20



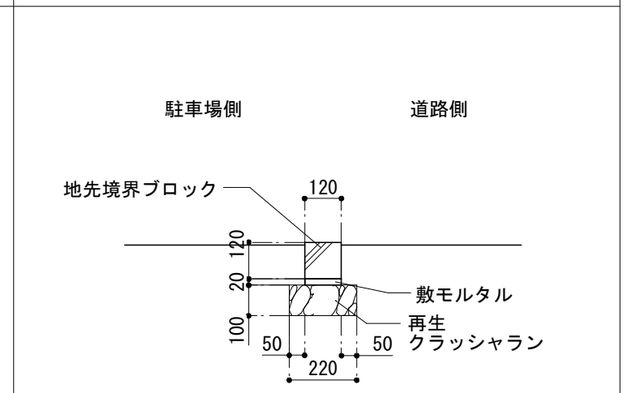
道路　側溝詳細図　S=1:20



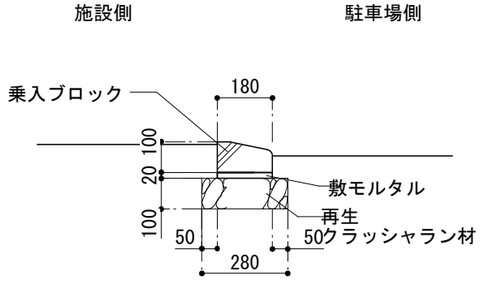
道路　グレーチング付集水枡　S=1:20



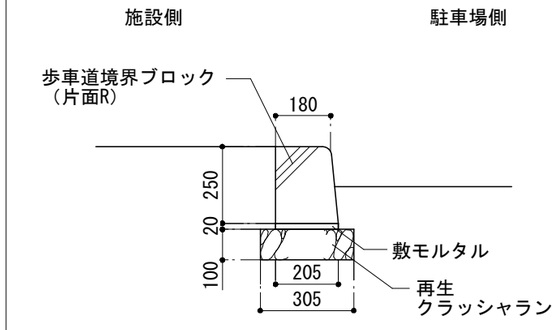
地先ブロック詳細図　S=1:20



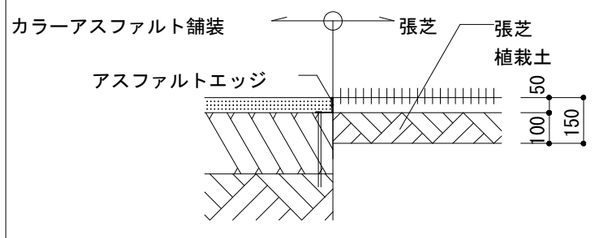
乗入ブロック詳細図　S=1:20



縁石ブロック詳細図　S=1:20

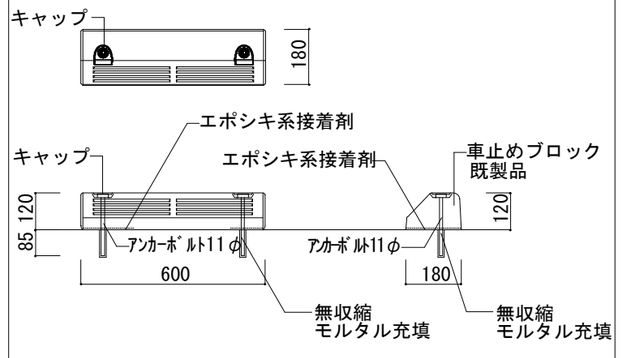


アスファルトエッジ　詳細図　1/30



ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ　車止め　S=1:20

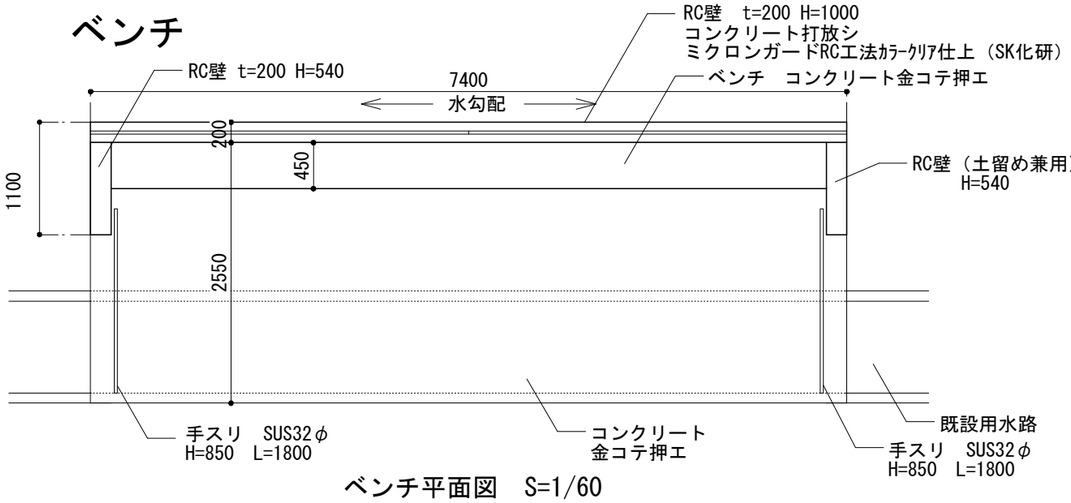
19×2箇所



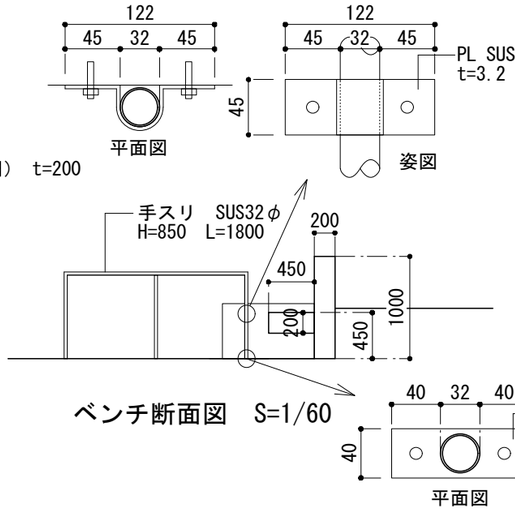
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	外構詳細図-１	1/20	2025.7.23	G-05

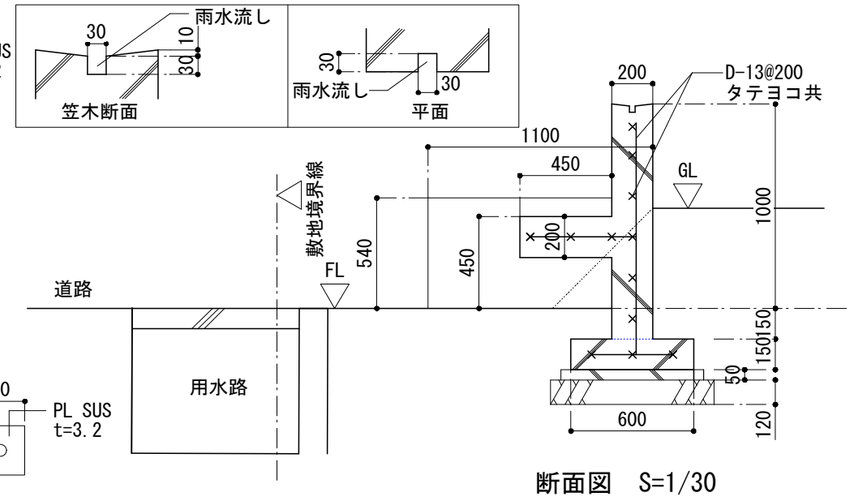
ベンチ



ベンチ平面図 S=1/60

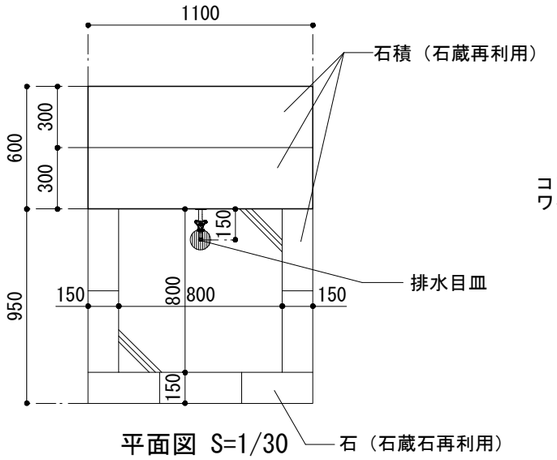


ベンチ断面図 S=1/60

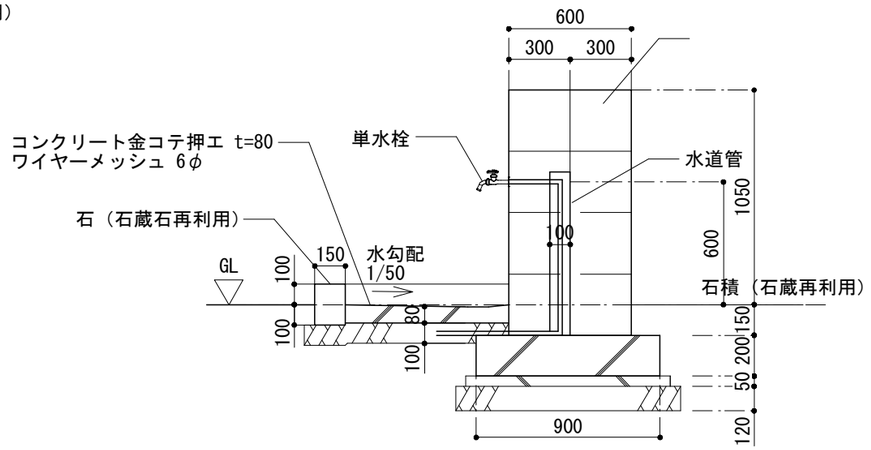


断面図 S=1/30

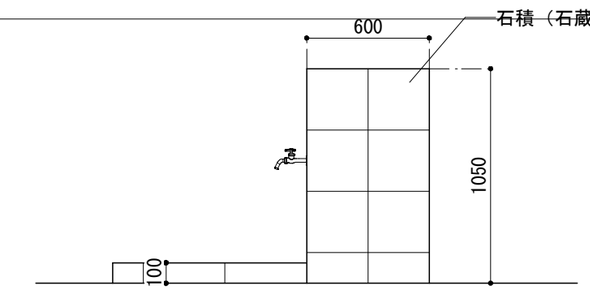
足洗い場



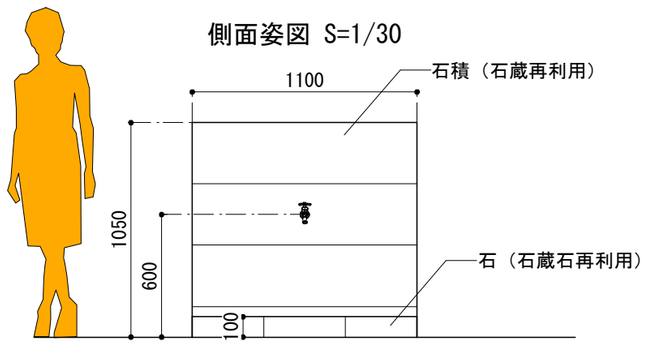
平面図 S=1/30



断面図 S=1/30

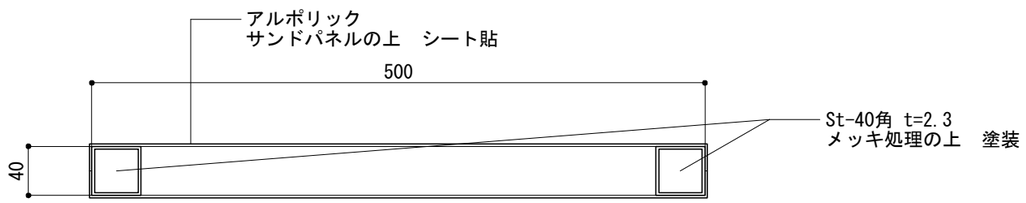


側面姿図 S=1/30

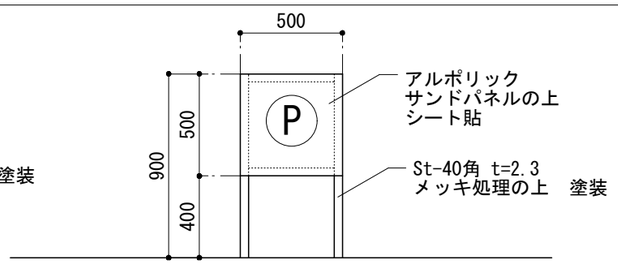


正面姿図 S=1/30

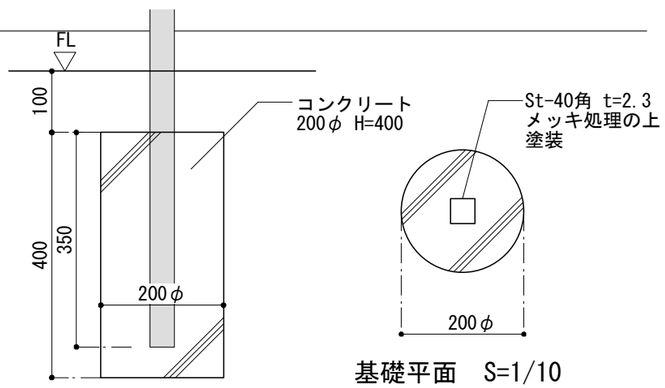
駐車場看板



平面図 S=1/5



正面姿図 S=1/30

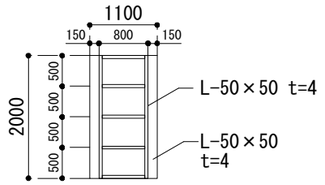


基礎平面 S=1/10

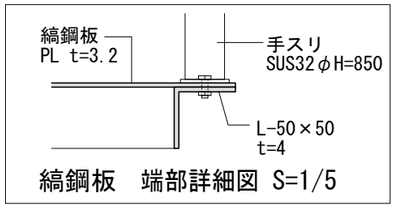
基礎断面 S=1/10

株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

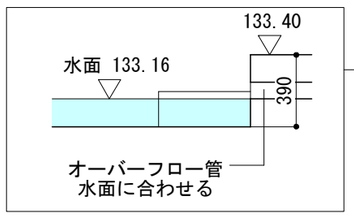
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	外構詳細図-２		2025.9.27	G-06

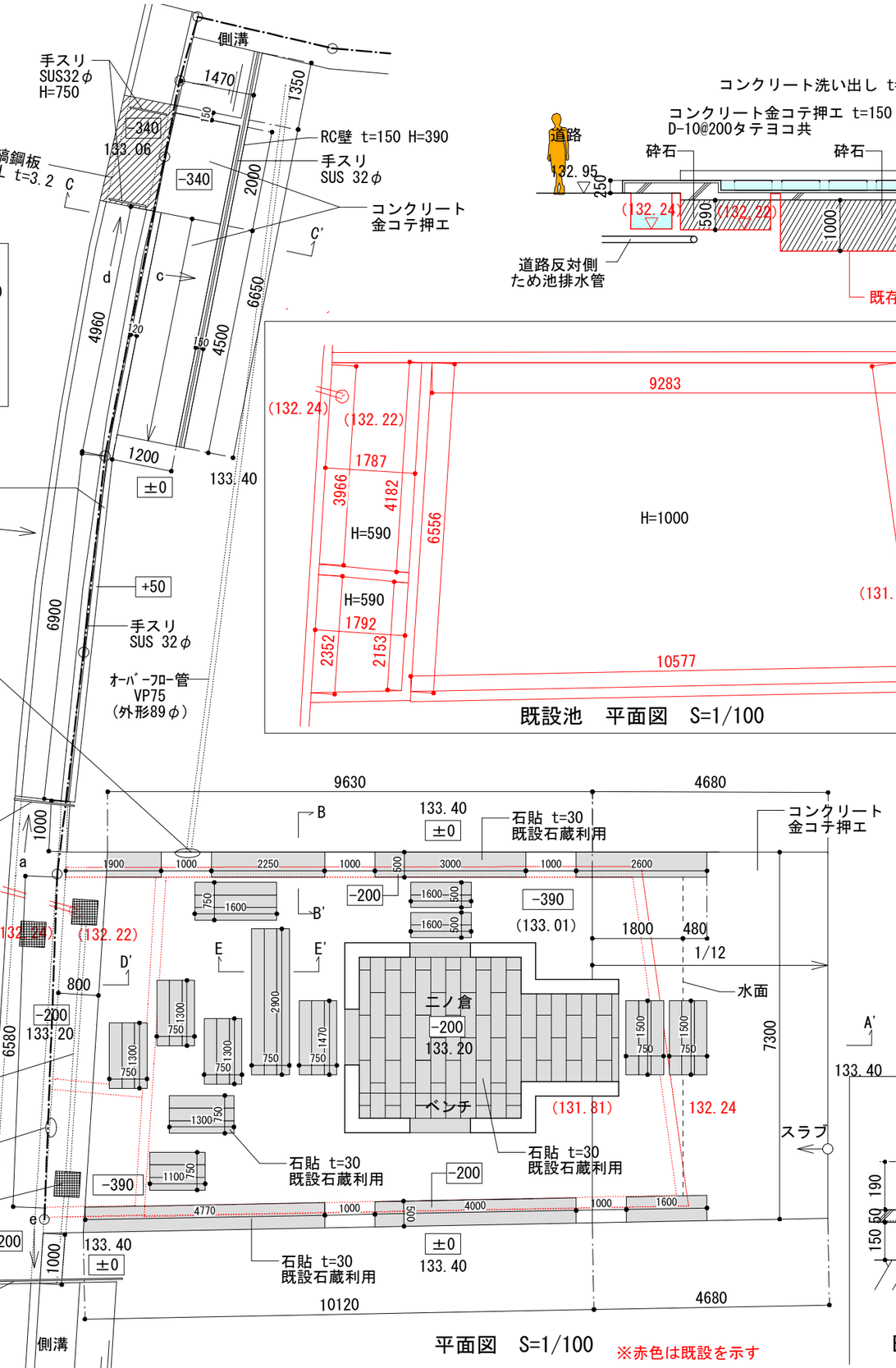


縞鋼板　裏側図

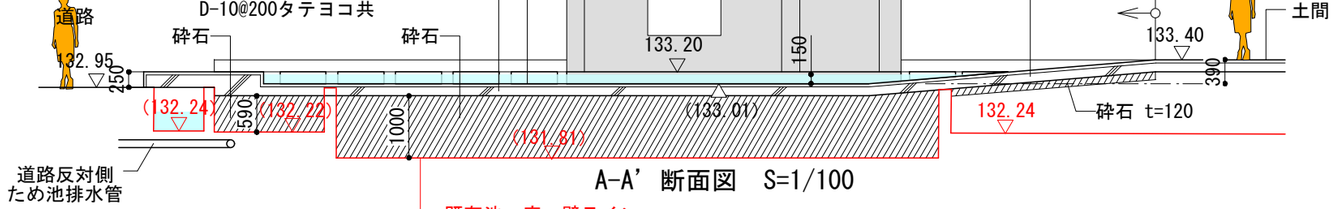


縞鋼板　端部詳細図 S=1/5

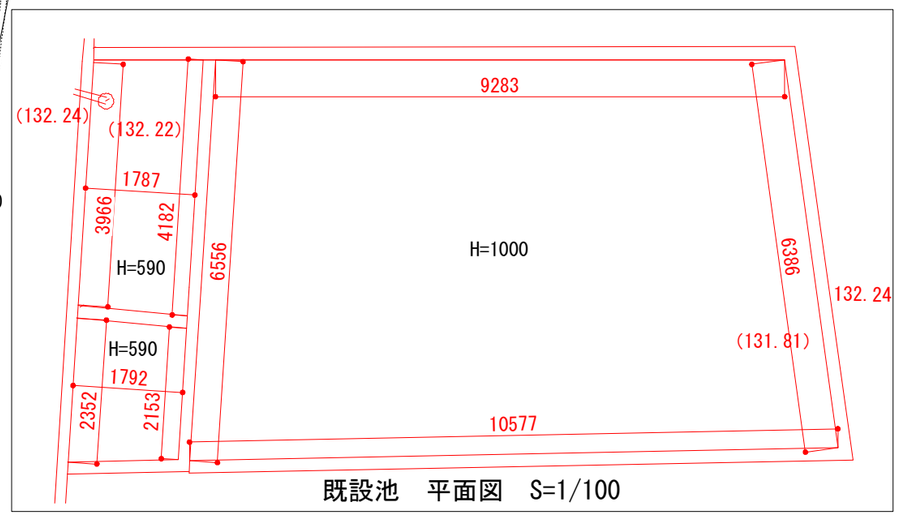




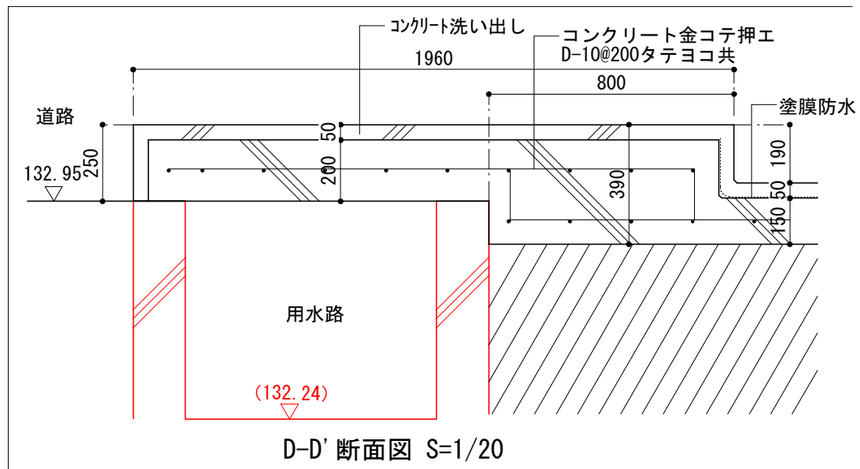
平面図　S=1/100　※赤色は既設を示す



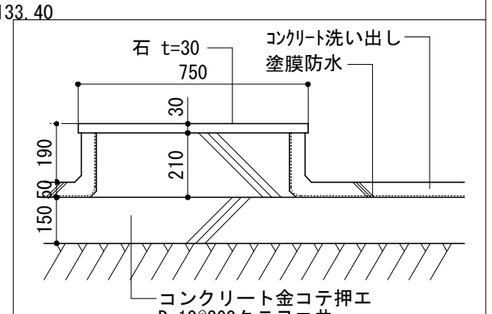
A-A'　断面図　S=1/100



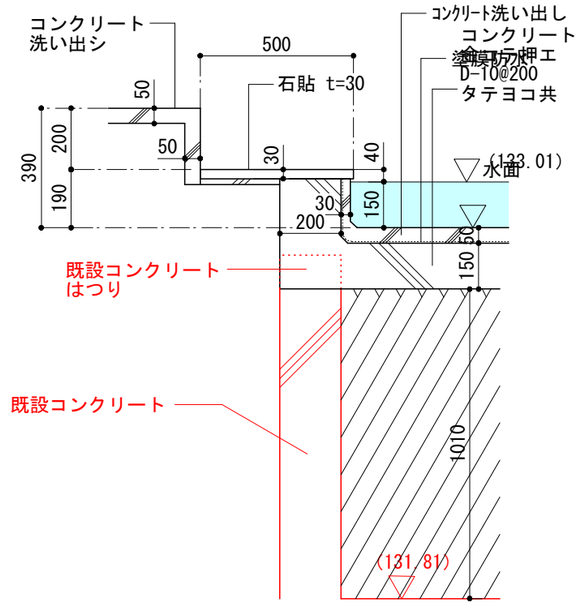
既設池　平面図　S=1/100



D-D'　断面図　S=1/20



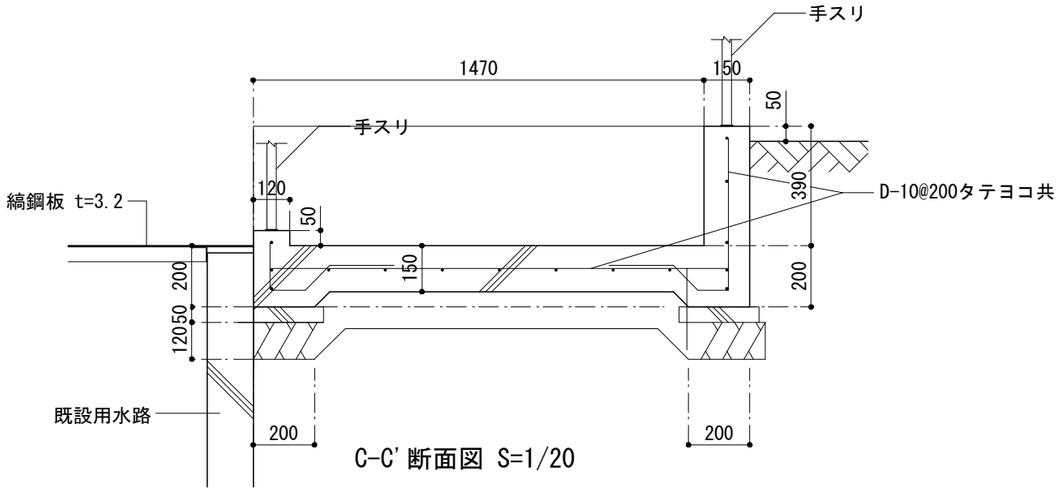
E-E'　飛び石断面図　S=1/20



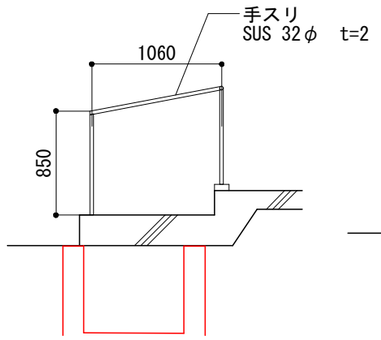
B-B'　階段断面図　S=1/20

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

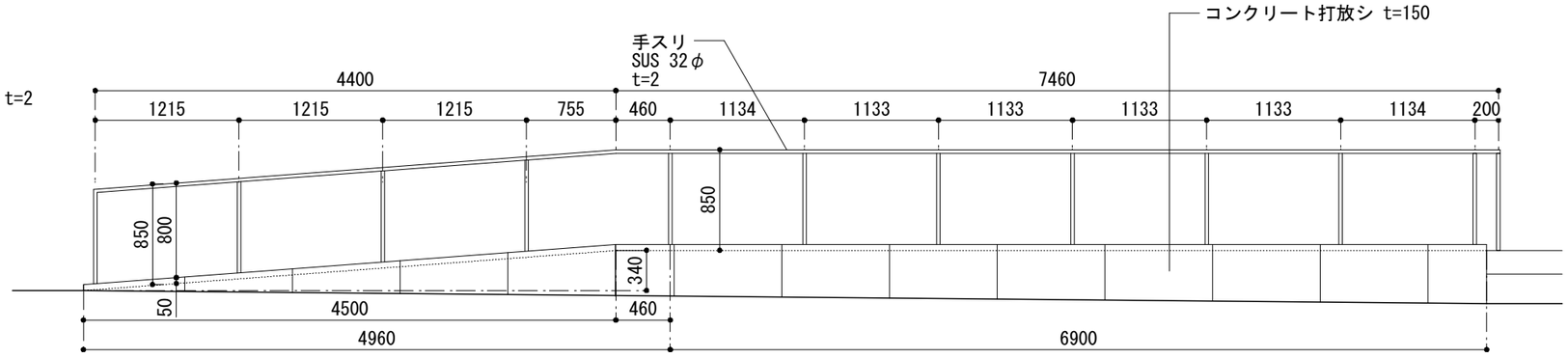
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	池廻り平面図　断面図　詳細図-1		2025.11.8	G-07



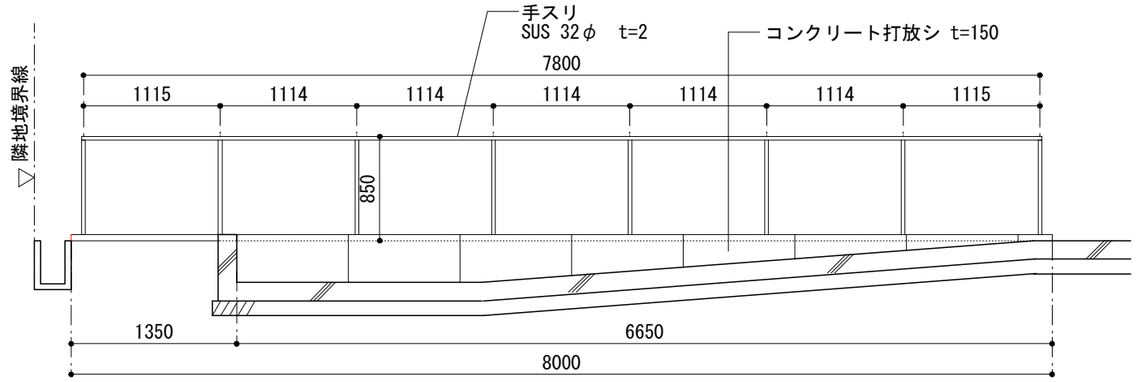
C-C'断面図 S=1/20



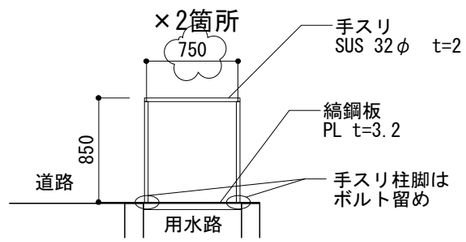
a 姿図 S=1/50



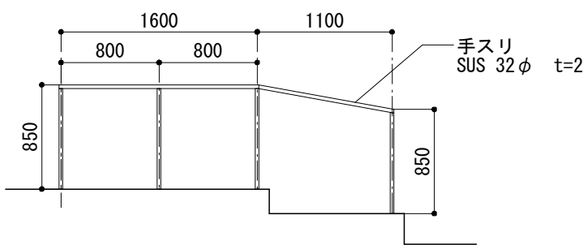
b 姿図 S=1/50



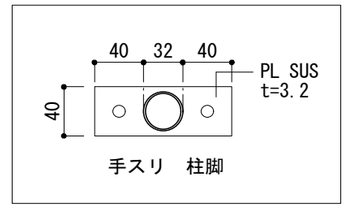
c 姿図 S=1/50



d 姿図 S=1/50



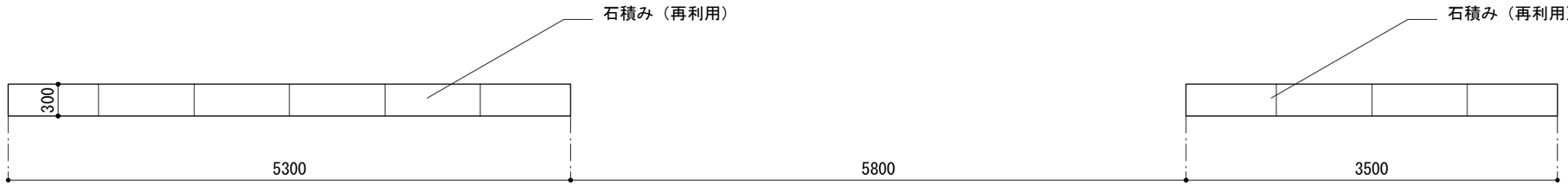
e 姿図 S=1/50



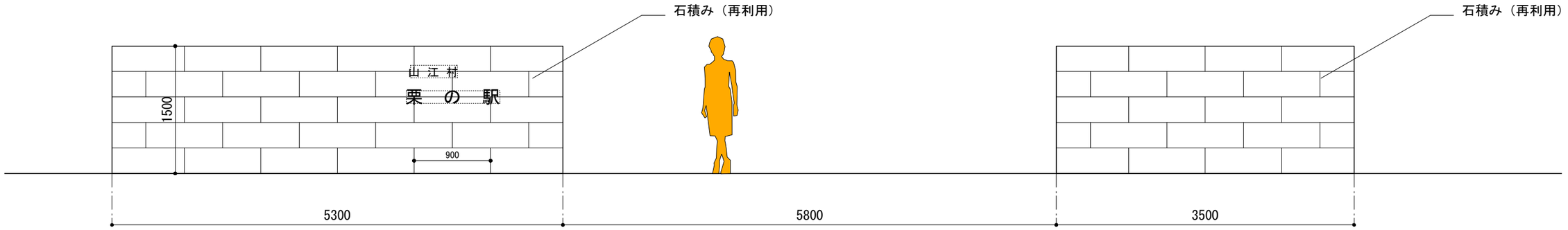
株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 TEL 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 登録第285008号 坂本達哉
株式会社 長野聖二建築設計處 〒860-0023 熊本県熊本市中央区河原町2 TEL 096-354-1007 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3731号 一級建築士 登録第294002号 長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	池廻り平面図 断面図 詳細図-2		2025.11.8	G-08

石積み塀

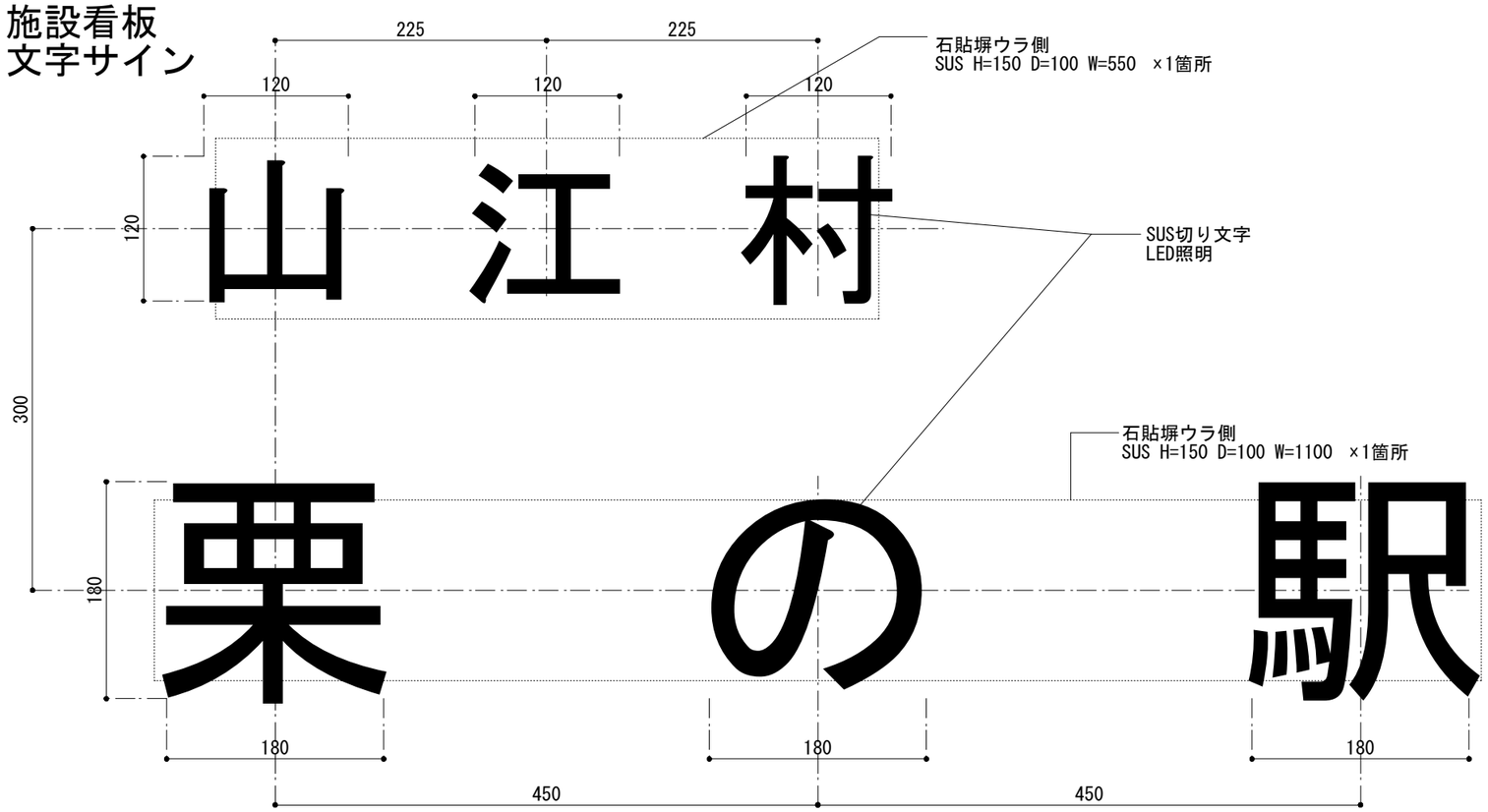


県道側　石積み塀平面図　S=1/50

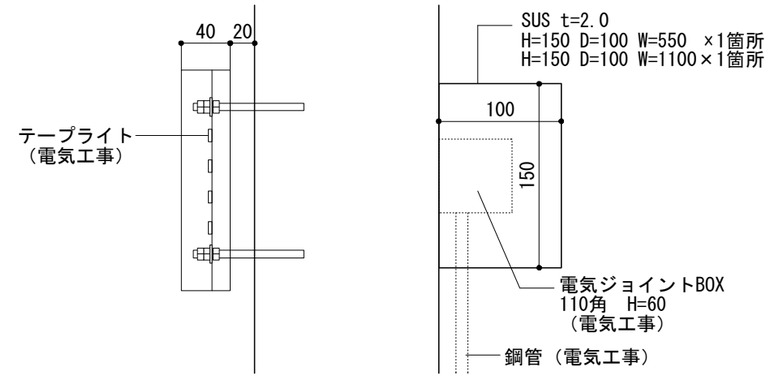


県道側　石積み塀姿図　S=1/50

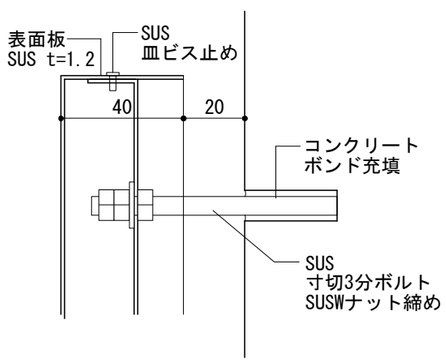
施設看板
文字サイン



文字詳細図　S=1/5



断面図　S=1/50

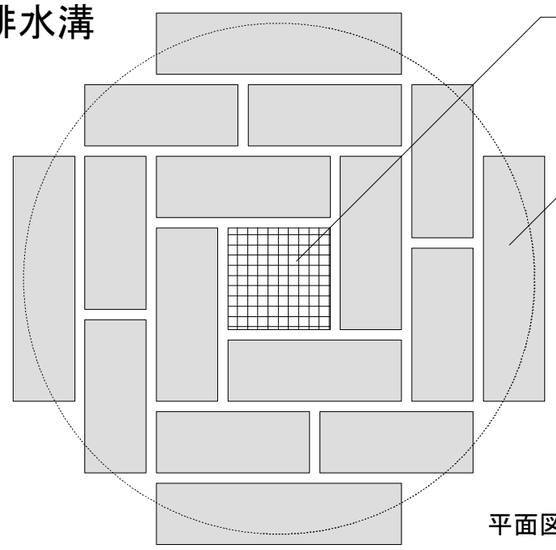


詳細図　S=1/2

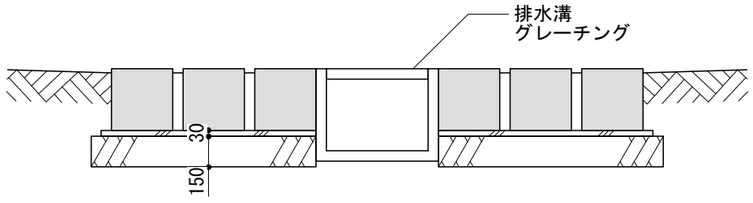
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	石積み塀図　施設看板文字サイン		2025.11.13	G-09

広場排水溝

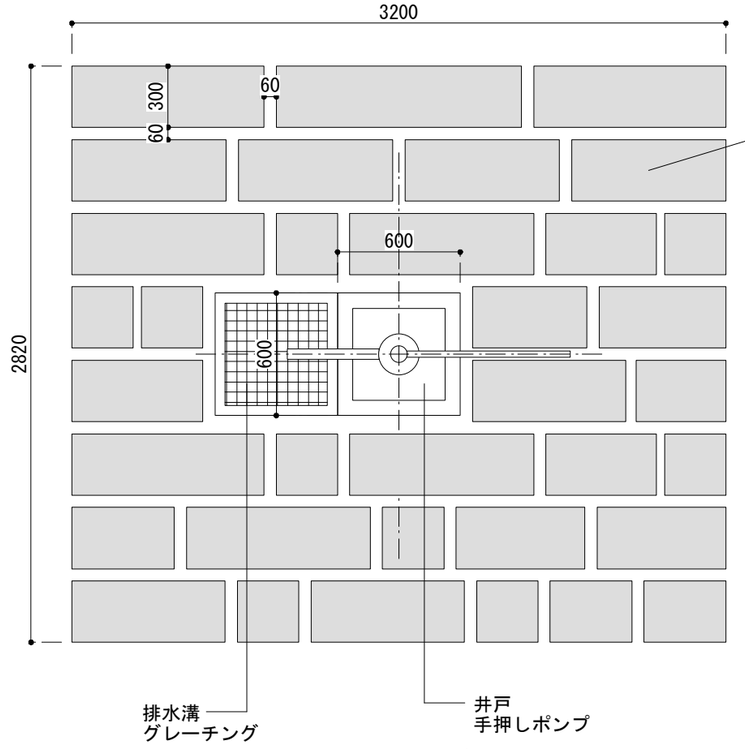


平面図　S=1/30

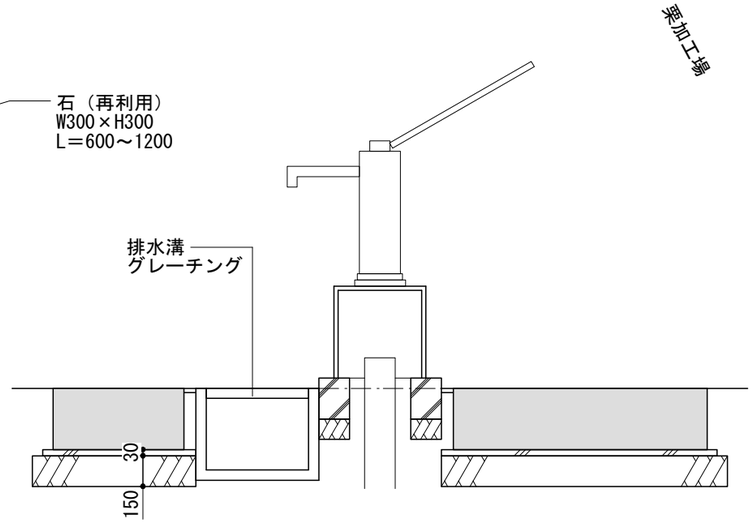


断面図　S=1/30

井戸

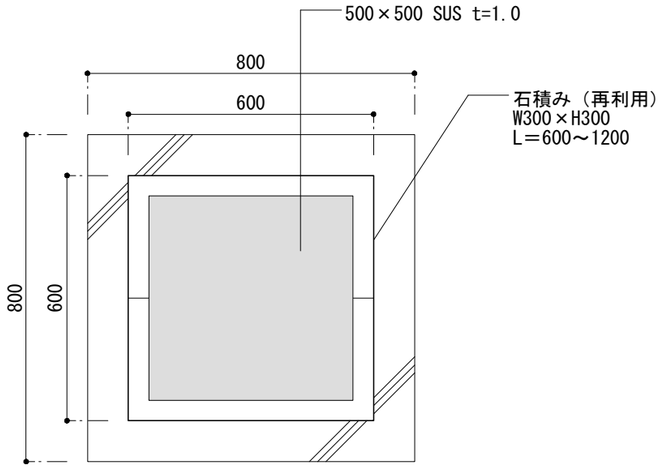


平面図　S=1/30

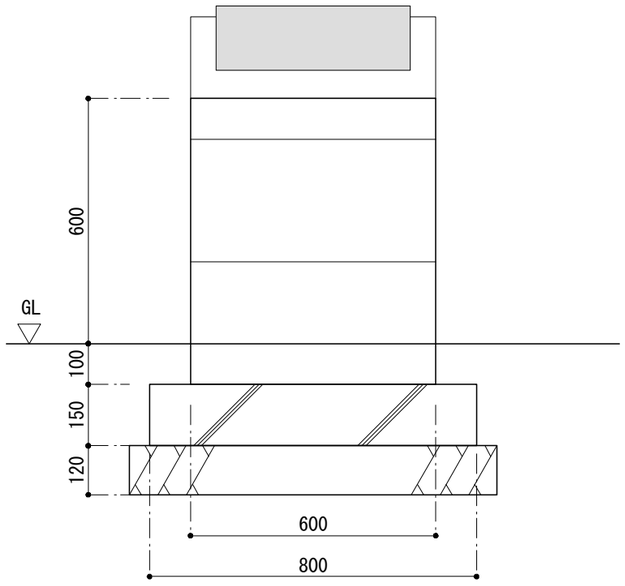


断面図　S=1/30

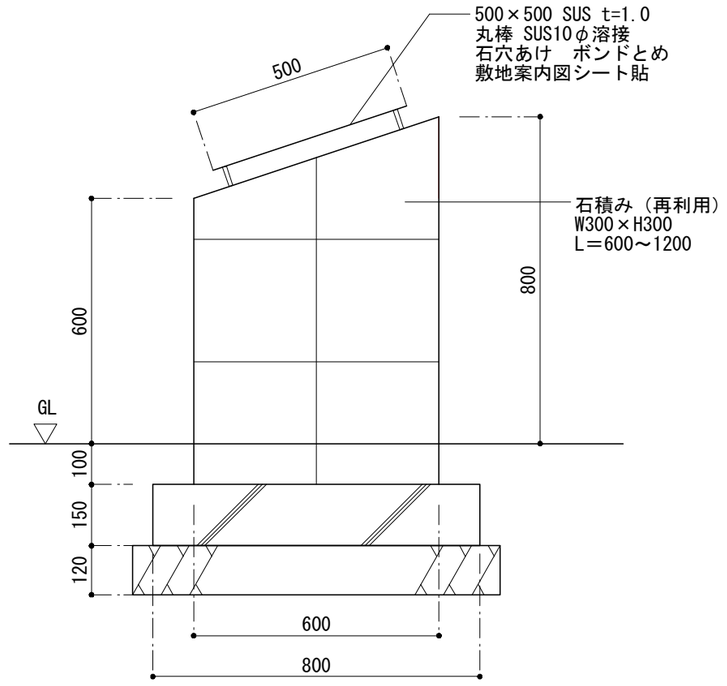
敷地案内サイン



平面図　S=1/15



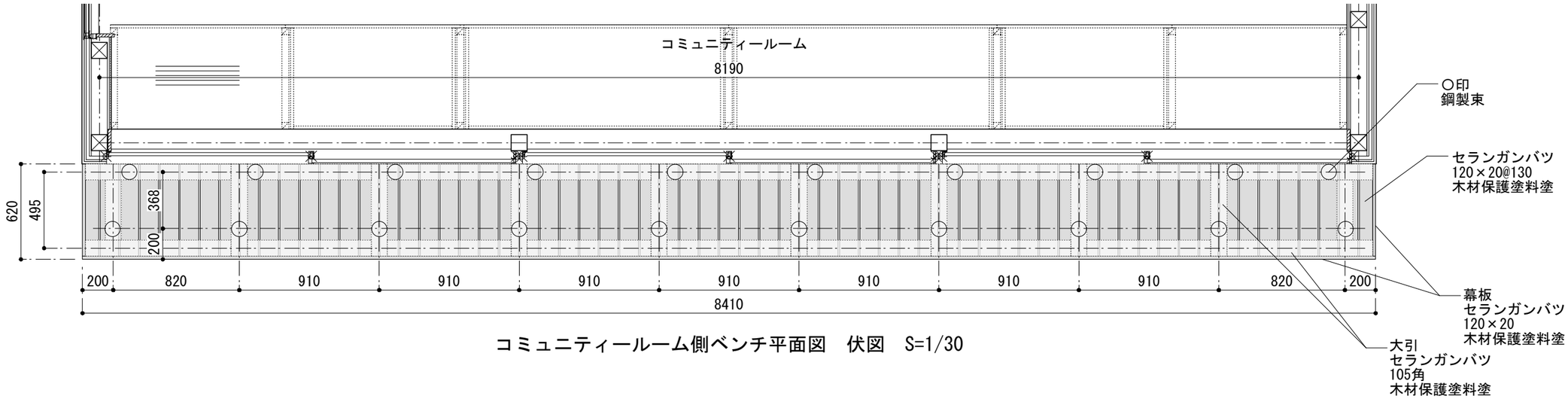
正面姿図　S=1/15



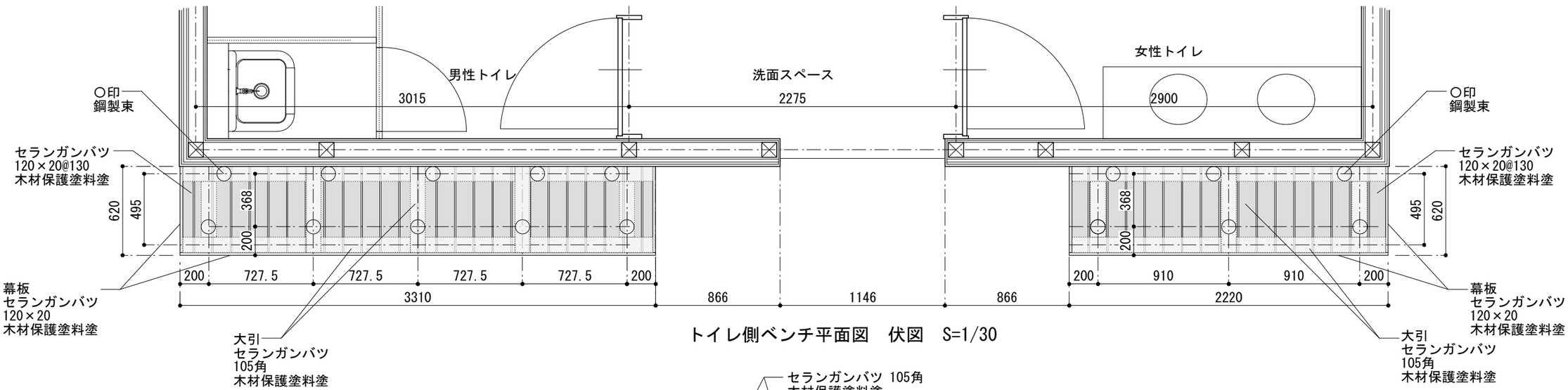
側面姿図　S=1/15

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

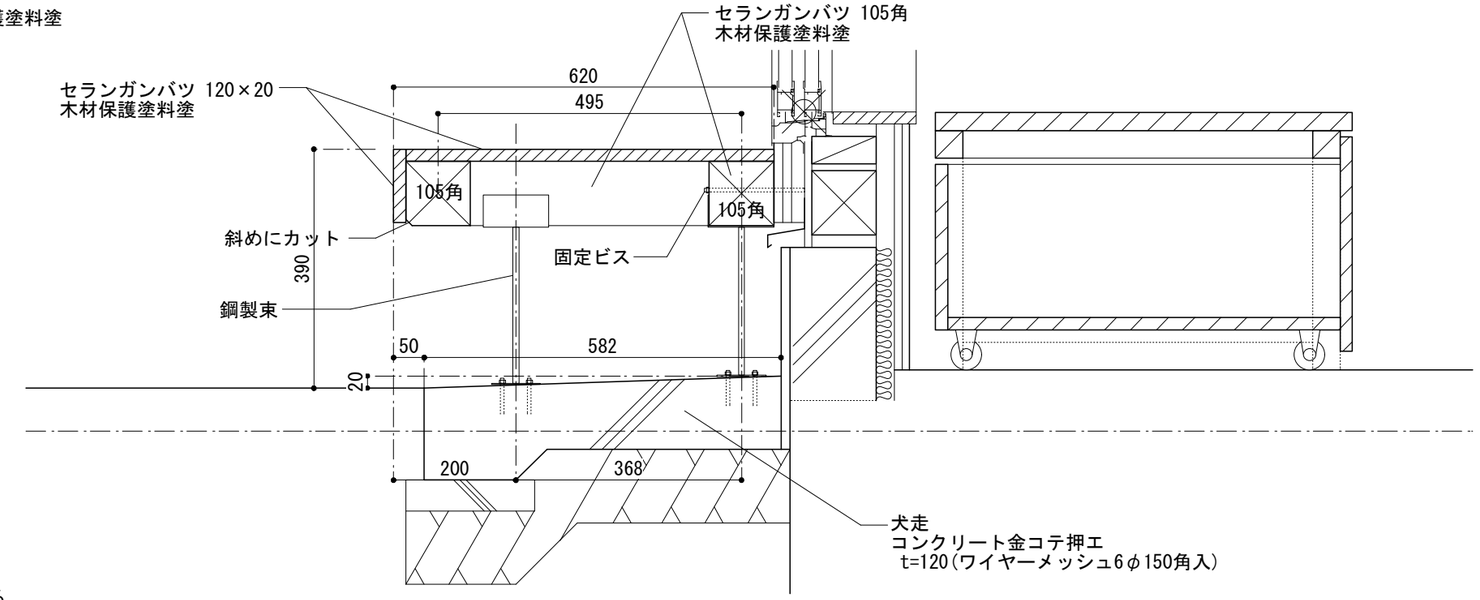
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	広場排水溝　敷地案内サイン		2025.11.6	G-10



コミュニティールーム側ベンチ平面図　伏図　S=1/30



トイレ側ベンチ平面図　伏図　S=1/30



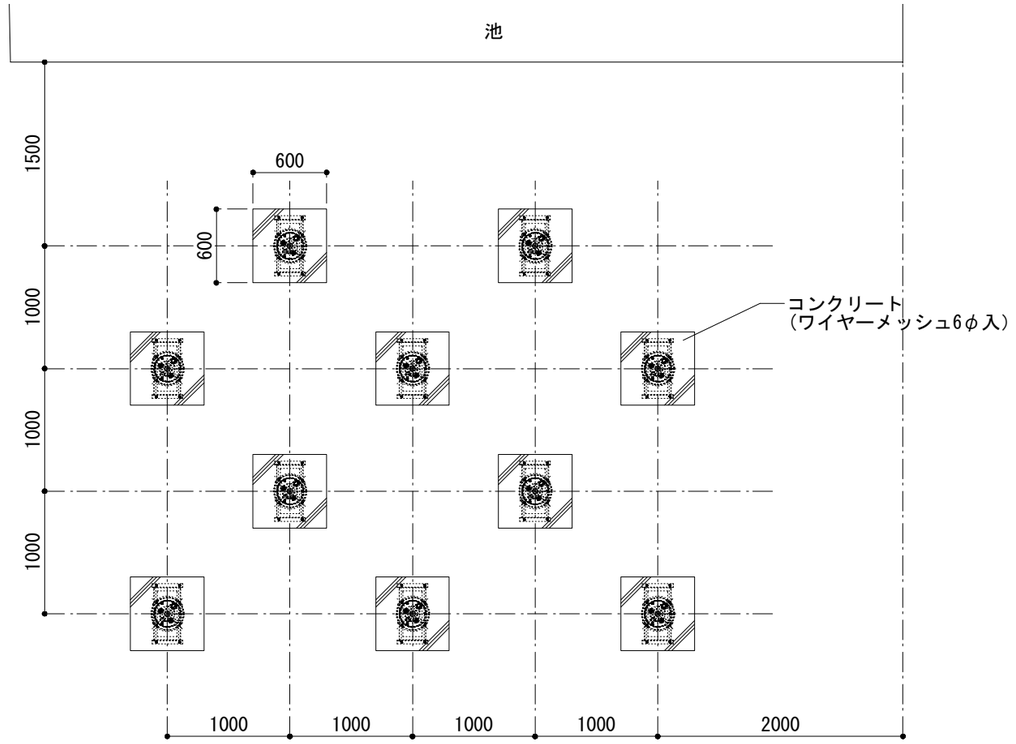
※木材保護塗料塗はキシラデコール同等品とする

断面図　S=1/10

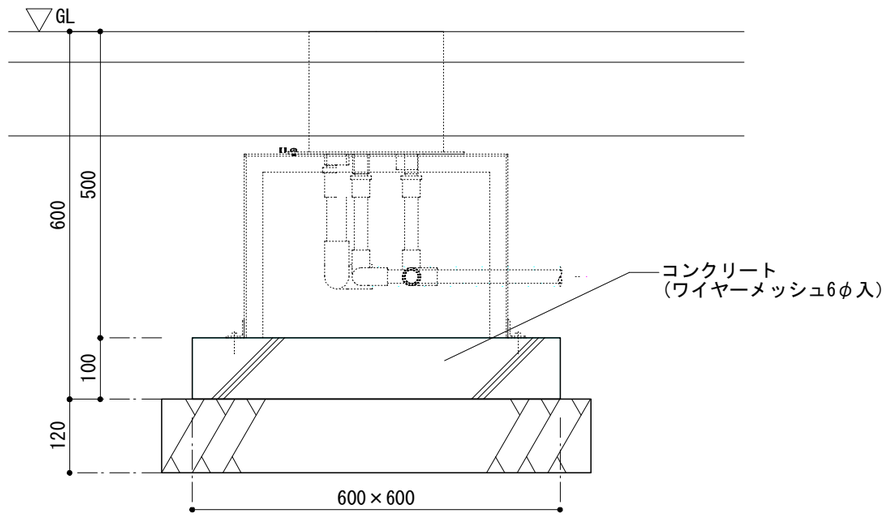
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	外部ベンチ図		2025.11.4	G-11

噴水基礎



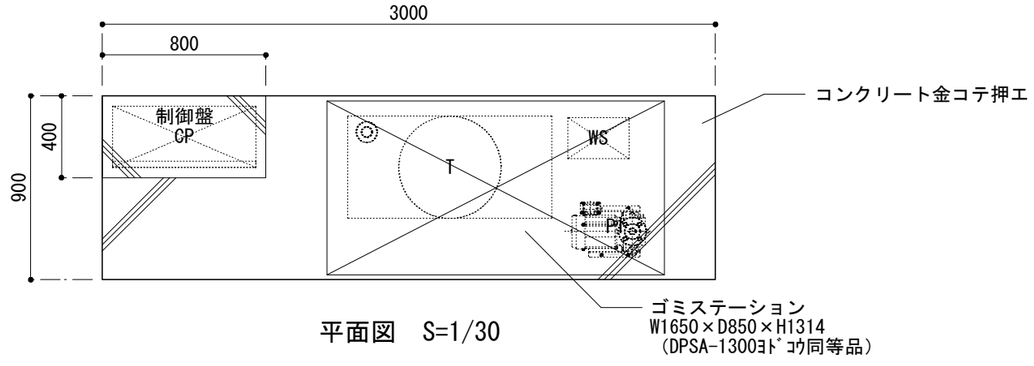
噴水平面図 S=1/50



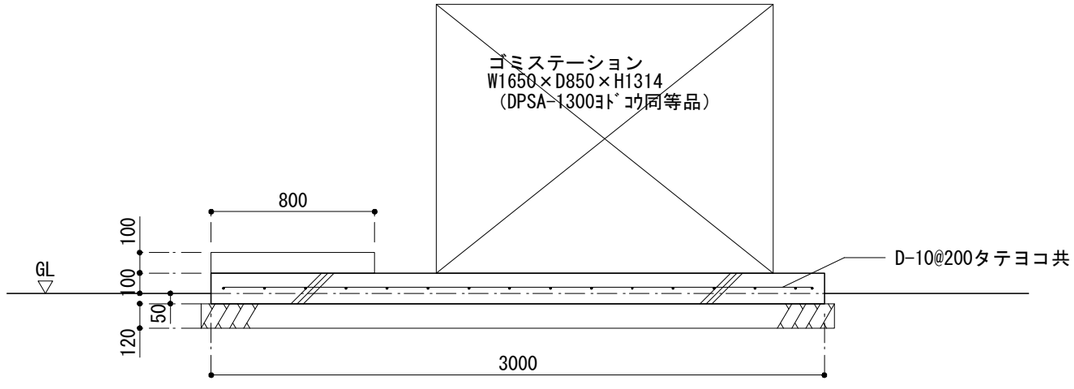
※コンクリート 21-18-20

断面図　S=1/10

噴水貯水タンク基礎　ゴミステーション



平面図　S=1/30



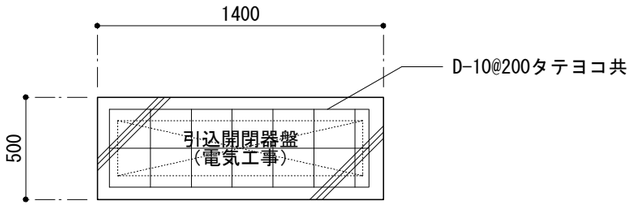
断面図　S=1/30

※コンクリート 21-18-20

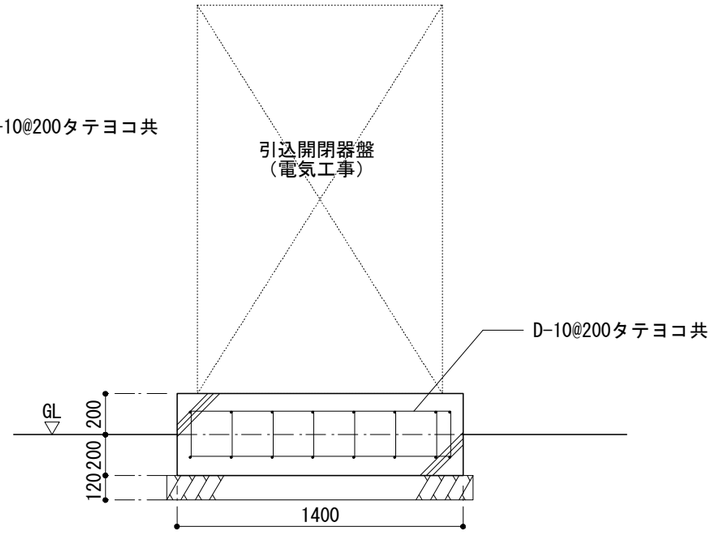
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	噴水図　噴水貯水タンク図		2025.11.7	G-12

引込開閉器盤　基礎図



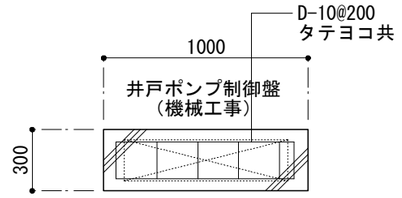
平面図　S=1/30



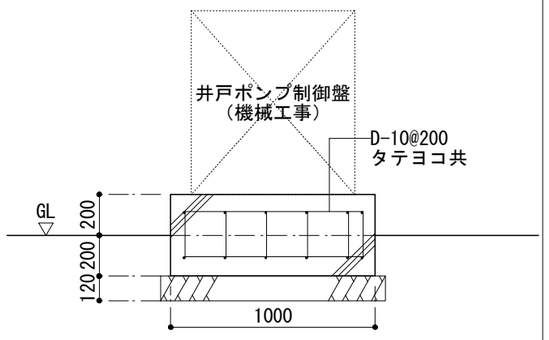
断面図　S=1/30

※コンクリート　25-18-20

井戸ポンプ制御盤　基礎図



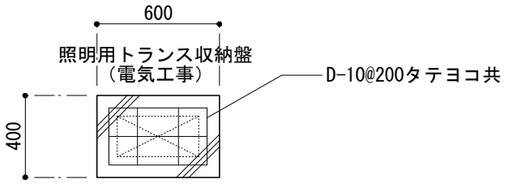
平面図　S=1/30



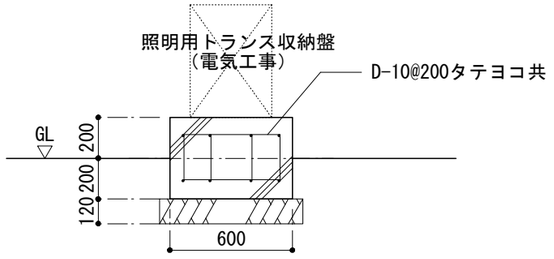
断面図　S=1/30

※コンクリート　25-18-20

水中照明用トランス収納盤　基礎図



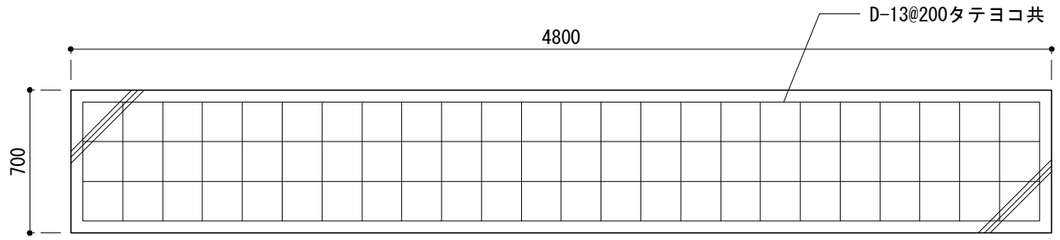
平面図　S=1/30



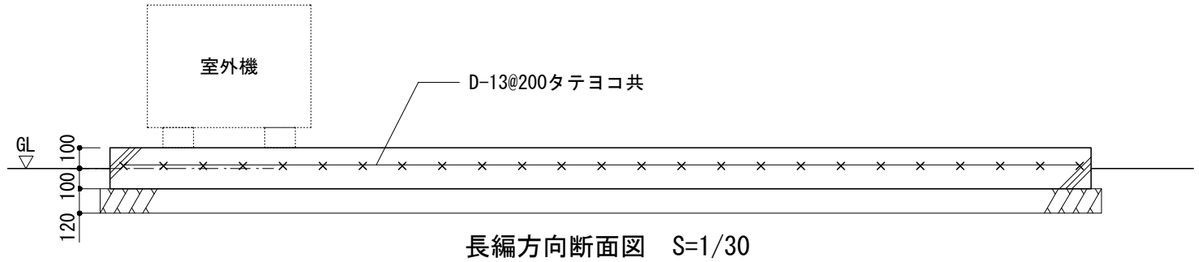
断面図　S=1/30

※コンクリート　25-18-20

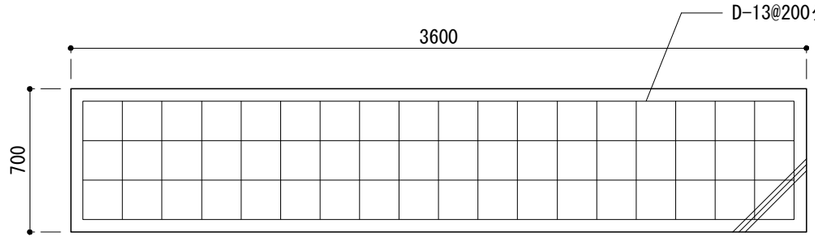
室外機基礎



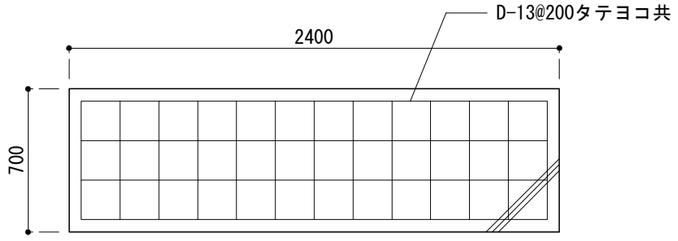
会議室北側　室外機基礎平面図　S=1/30



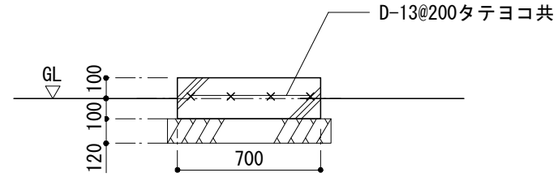
長編方向断面図　S=1/30



カフェ北側　室外機基礎平面図　S=1/30



事務所北側　室外機基礎平面図　S=1/30



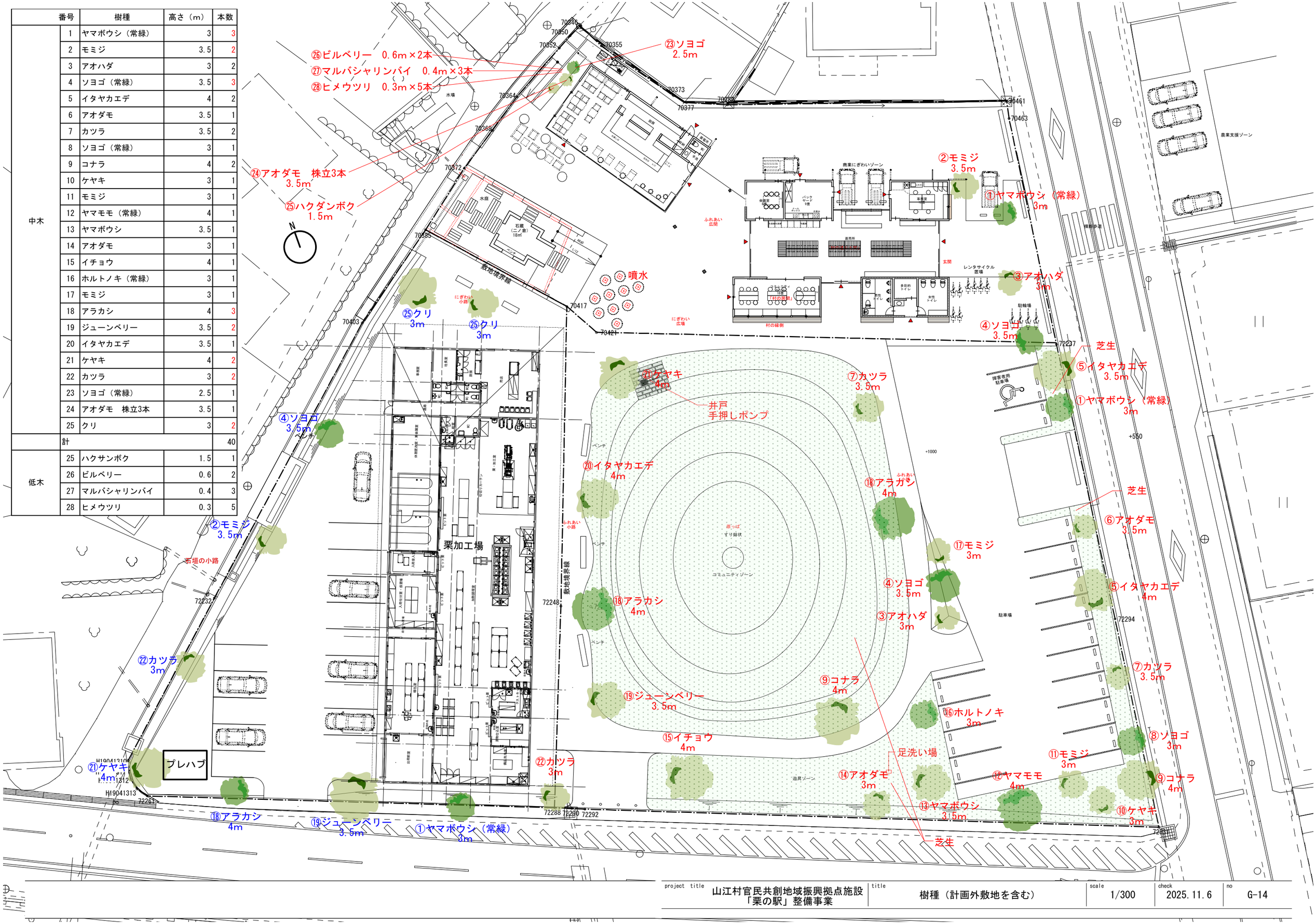
短辺方向断面図　S=1/30

※コンクリート　25-18-20

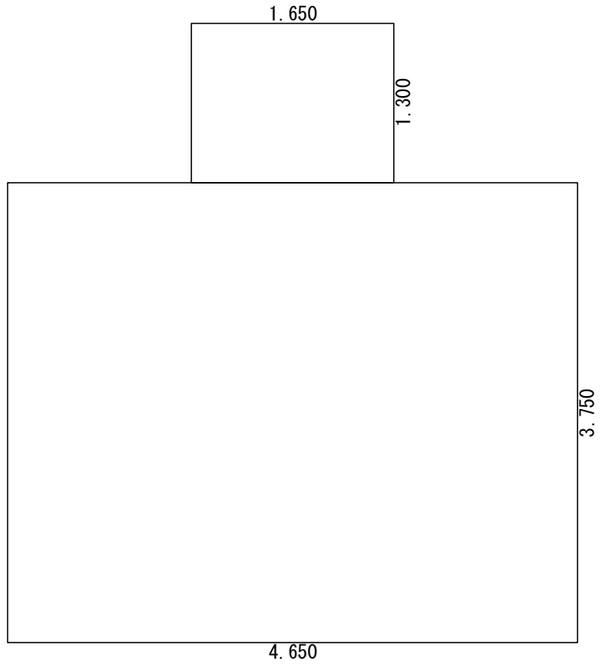
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	引込開閉器盤基礎基礎　井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ制御盤基礎	1/30	2025.11.22	G-13

	番号	樹種	高さ（m）	本数
中木	1	ヤマボウシ（常緑）	3	3
	2	モミジ	3.5	2
	3	アオハダ	3	2
	4	ソヨゴ（常緑）	3.5	3
	5	イタヤカエデ	4	2
	6	アオダモ	3.5	1
	7	カツラ	3.5	2
	8	ソヨゴ（常緑）	3	1
	9	コナラ	4	2
	10	ケヤキ	3	1
	11	モミジ	3	1
	12	ヤマモモ（常緑）	4	1
	13	ヤマボウシ	3.5	1
	14	アオダモ	3	1
	15	イチョウ	4	1
	16	ホルトノキ（常緑）	3	1
	17	モミジ	3	1
	18	アラカシ	4	3
	19	ジューンベリー	3.5	2
	20	イタヤカエデ	3.5	1
	21	ケヤキ	4	2
	22	カツラ	3	2
	23	ソヨゴ（常緑）	2.5	1
	24	アオダモ　株立3本	3.5	1
	25	クリ	3	2
	計			40
低木	25	ハクサンボク	1.5	1
	26	ビルベリー	0.6	2
	27	マルバシャリンバイ	0.4	3
	28	ヒメウツリ	0.3	5

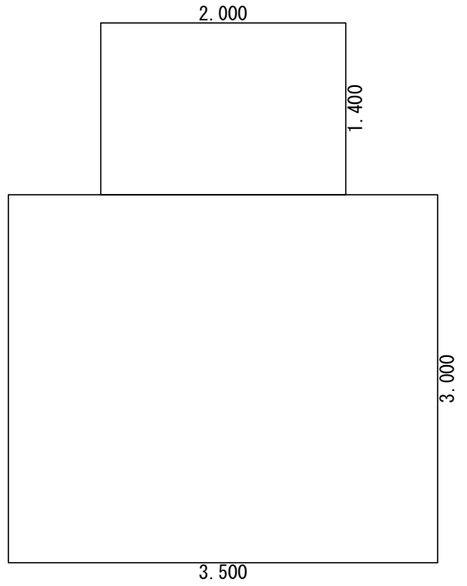


project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	樹種（計画外敷地を含む）	1/300	2025.11.6	G-14



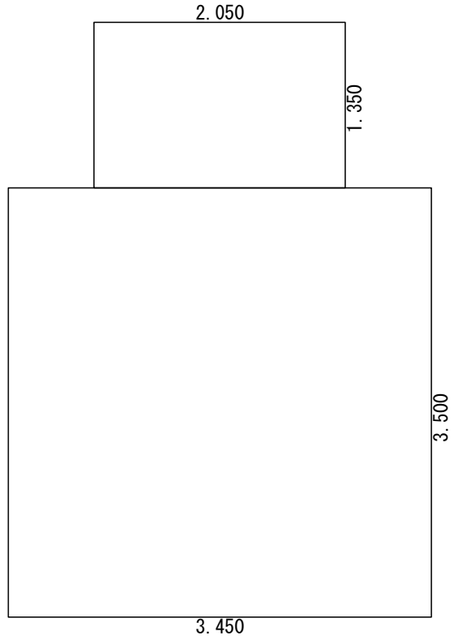
一ノ蔵

1.300×1.650＝	2.145000
3.750×4.650＝	17.437500
合計	19.582500
床面積	19.58㎡



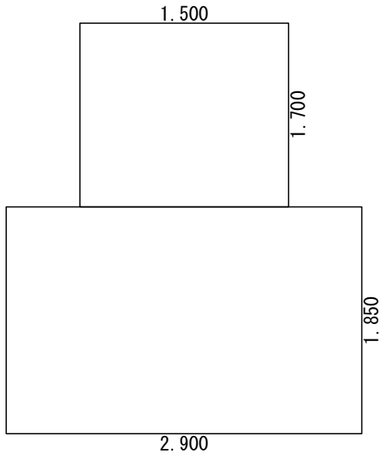
三ノ蔵

1.400×2.000＝	2.800000
3.000×3.500＝	10.500000
合計	13.300000
床面積	13.30㎡



二ノ蔵

1.350×2.050＝	2.767500
3.500×3.450＝	12.075000
合計	14.842500
床面積	14.84㎡



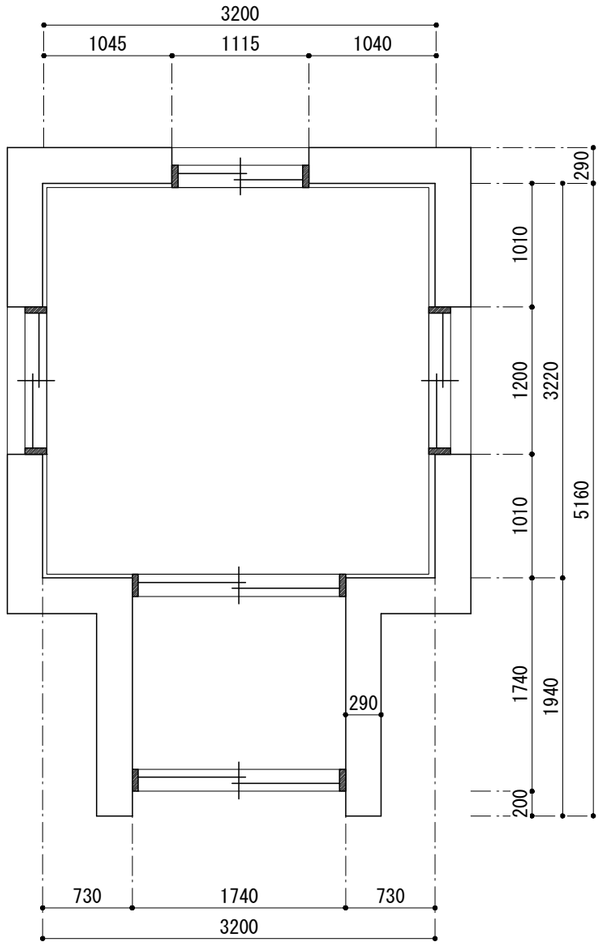
四ノ蔵

1.500×1.700＝	2.550000
1.850×2.900＝	5.365000
合計	7.915000
床面積	7.91㎡

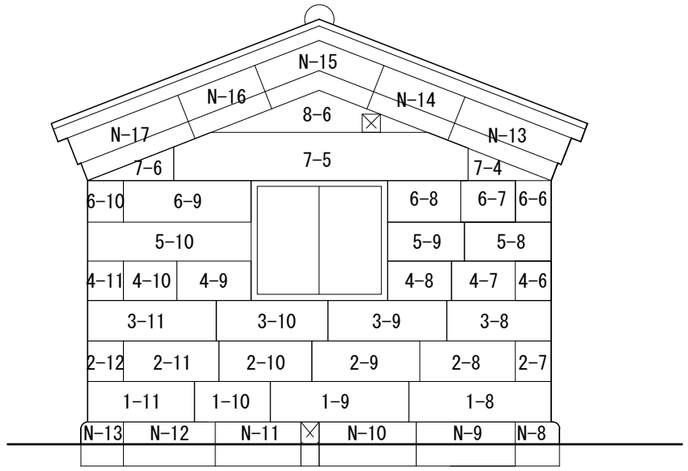
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	石蔵求積図	1/50	2025.5.26	I-01

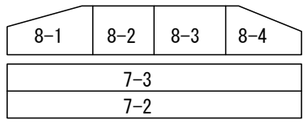
二ノ倉

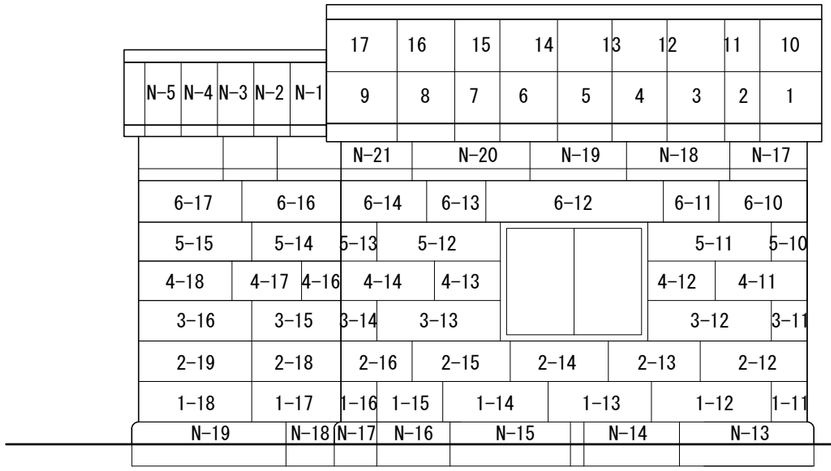


平面図

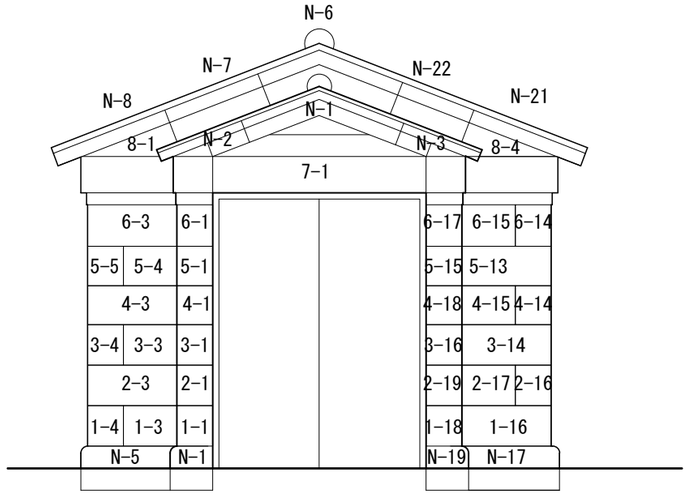


北側立面図

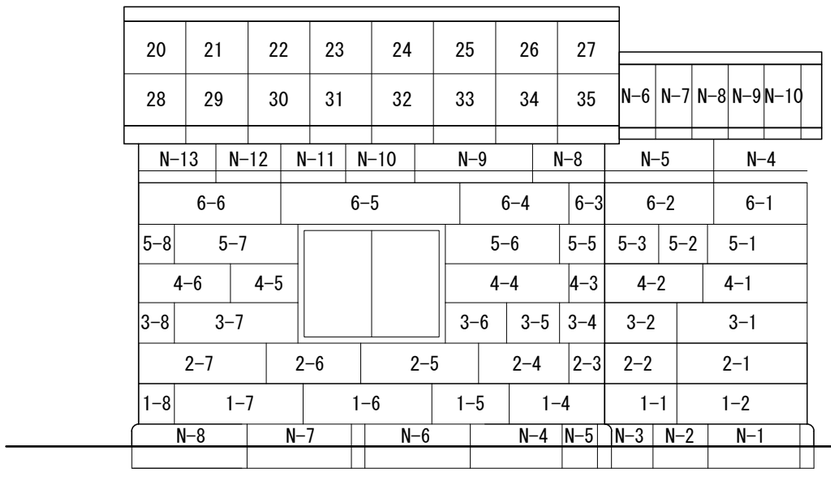




東側立面図



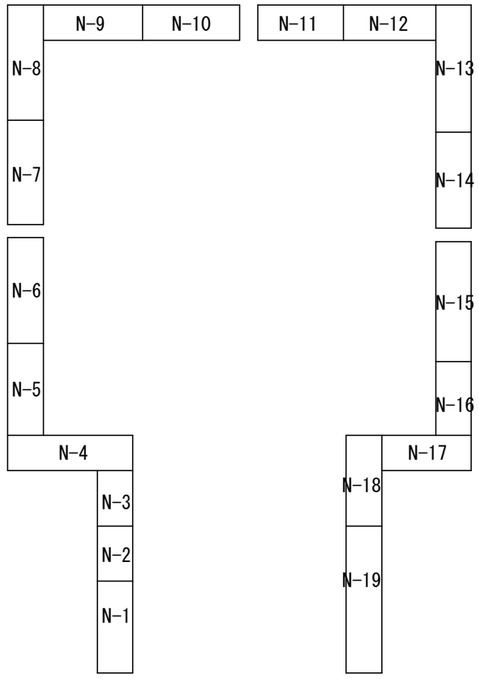
南側立面図



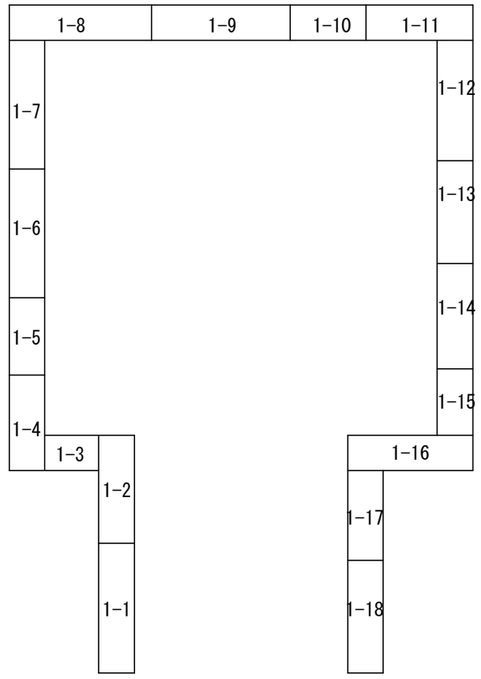
西側立面図

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

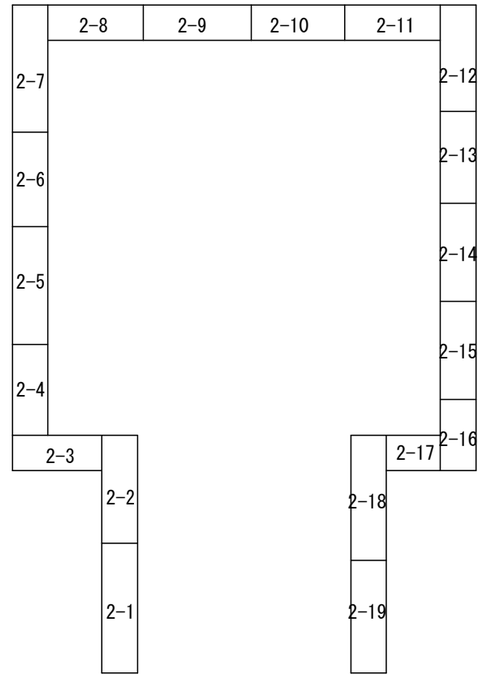
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	二ノ倉　石蔵解体図面－１	1/50	2025.5.26	I-02



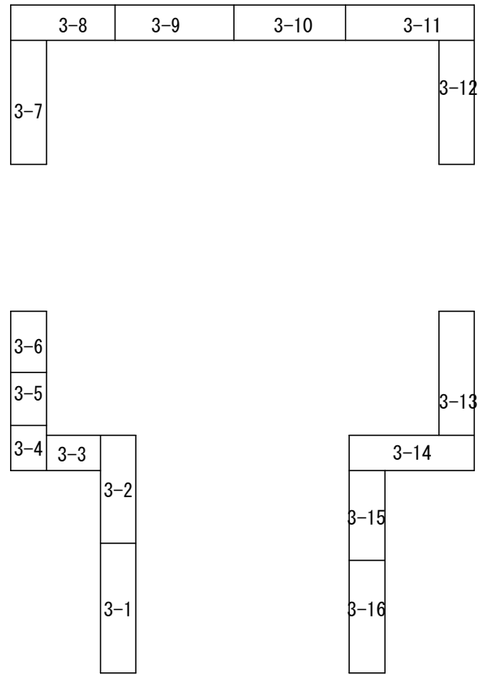
土台伏図



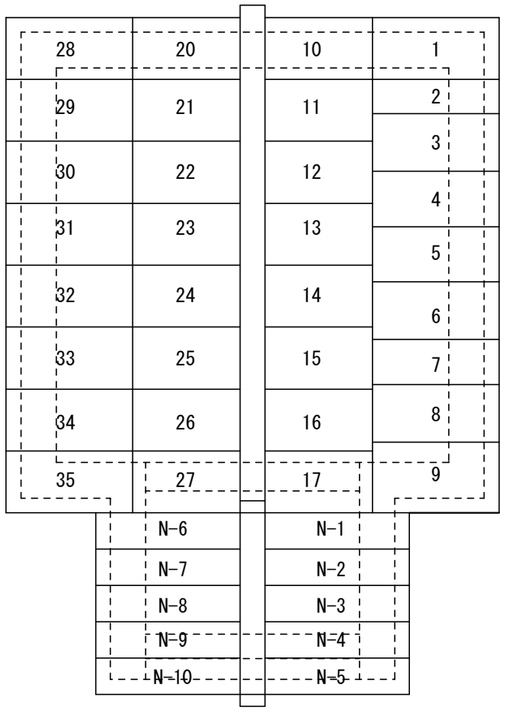
１段



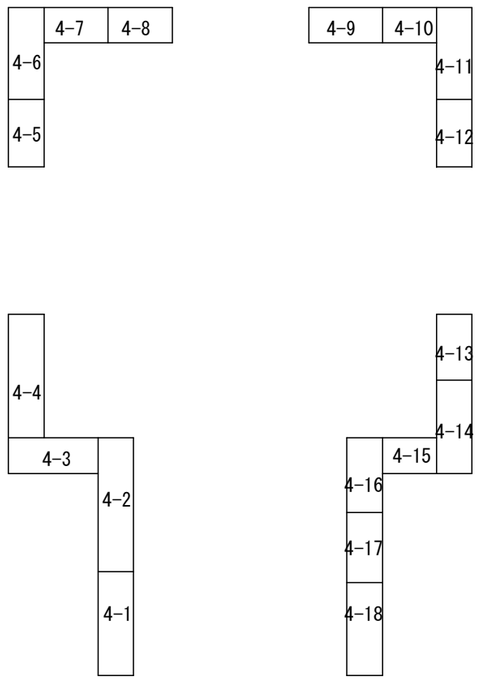
２段



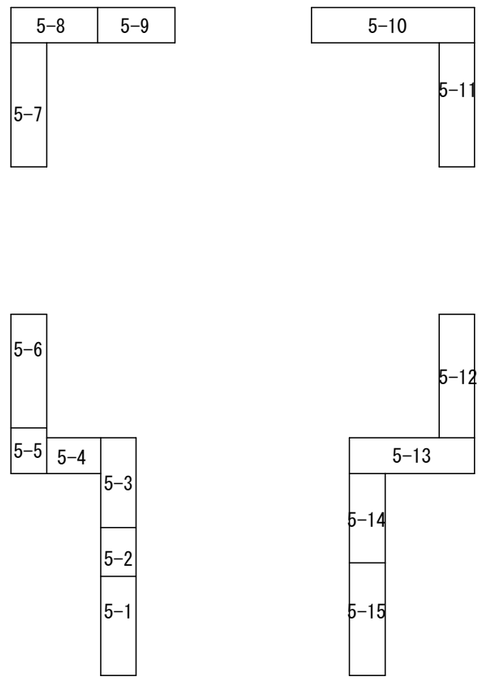
３段



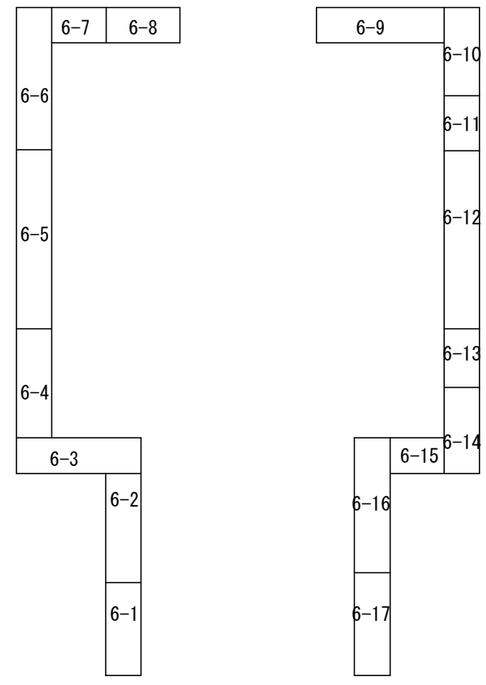
屋根伏図



４段



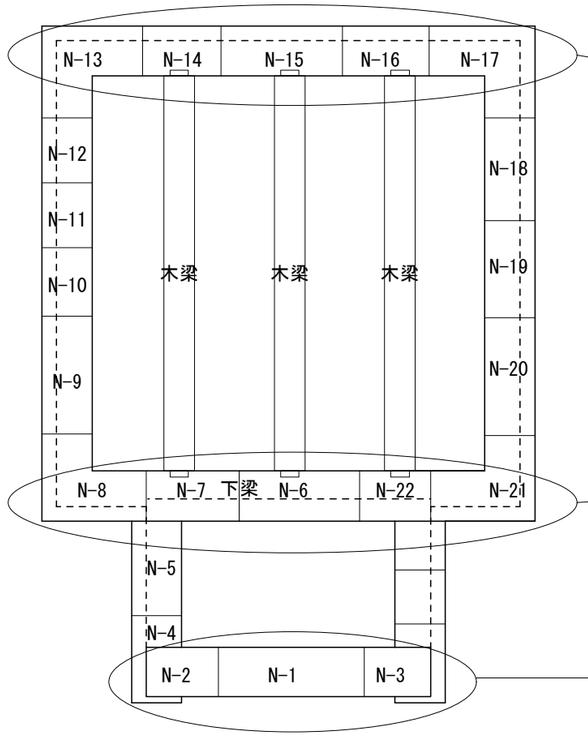
５段



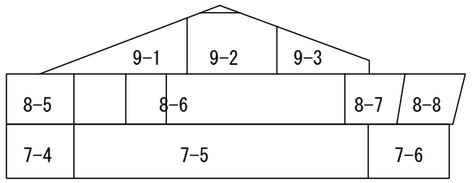
６段

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

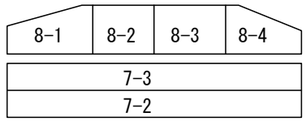
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	ニノ倉　石蔵解体図面-２	1/50	2025.5.26	I-03



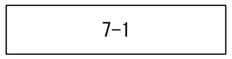
7段及び破風



後　通り



中　立上り通り



前　通り

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	ニノ倉　石蔵解体図面-３	1/50	2025.5.26	I-04

石蔵写真（一ノ蔵～四ノ蔵）

別添資料８

一ノ蔵



二ノ蔵



三ノ蔵



四ノ蔵



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	石蔵写真-１			I-05

石蔵写真（二ノ蔵）

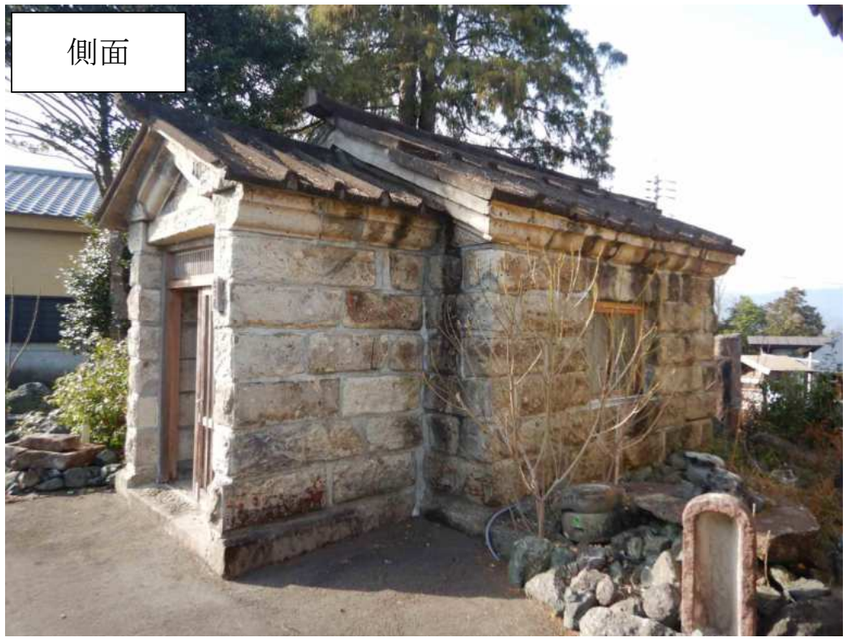
正面



背面



側面



側面



株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	石蔵写真-２（二ノ倉）			I-06

石蔵写真（選果場内保管状況）



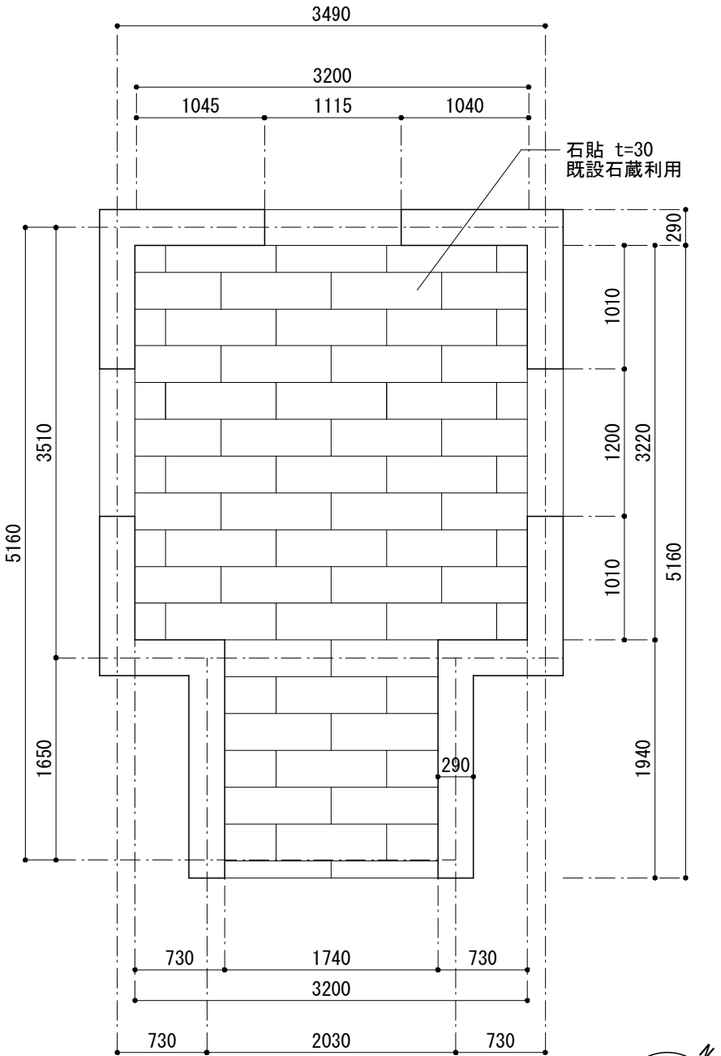




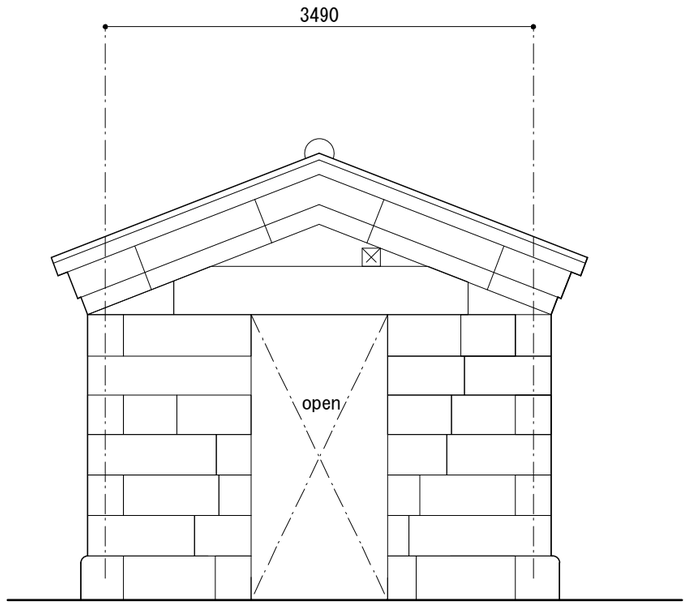


株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

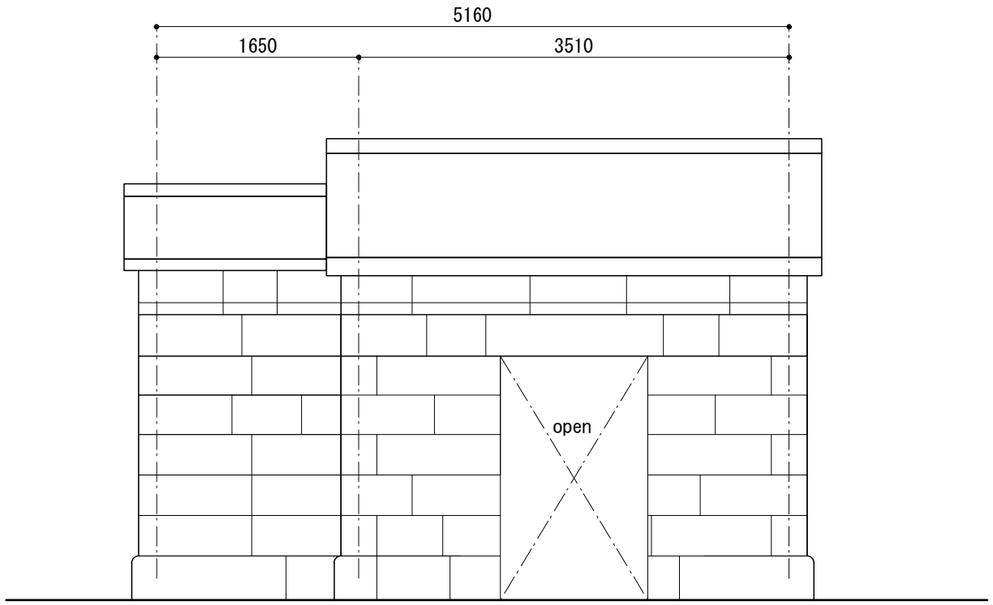
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	石蔵写真-３			I-07



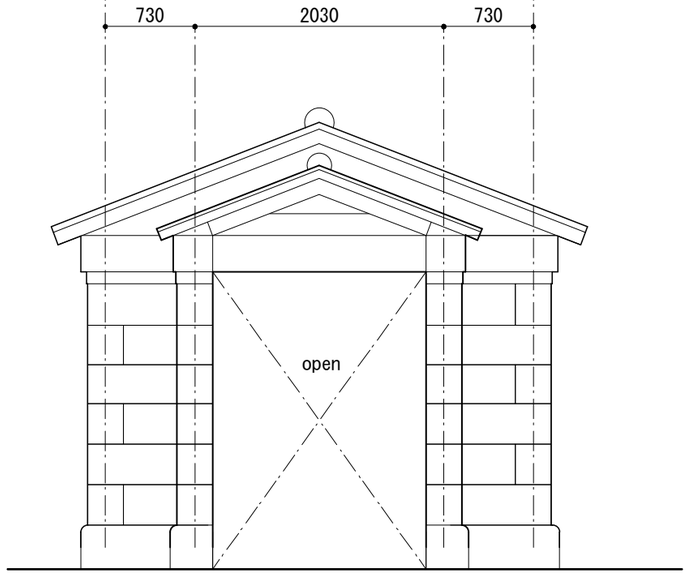
平面図



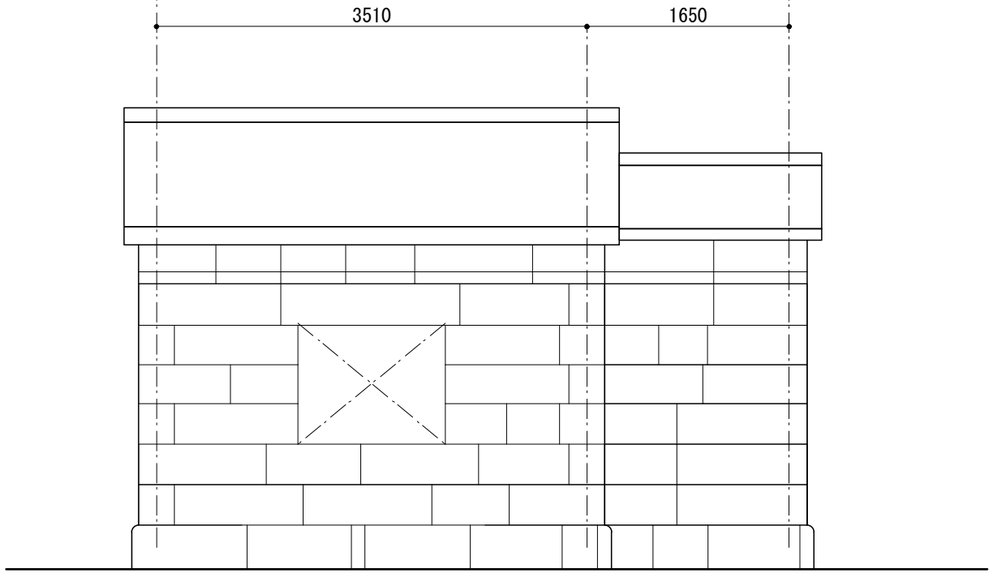
北側立面図



東側立面図



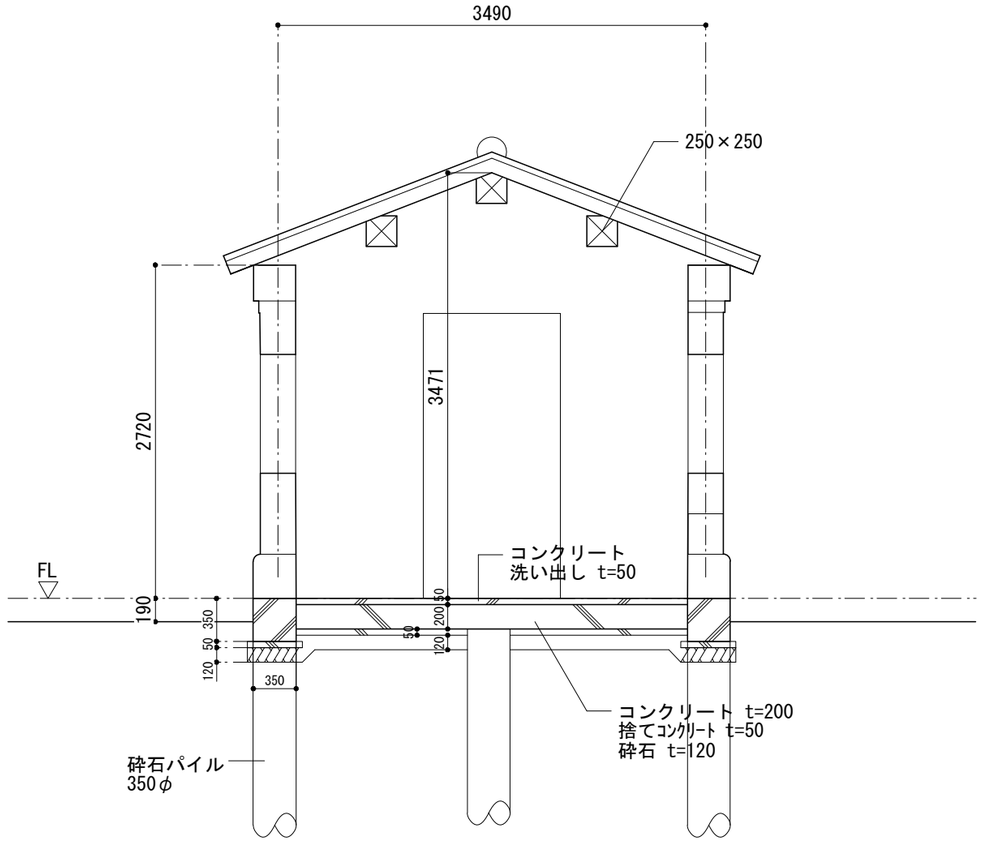
南側立面図



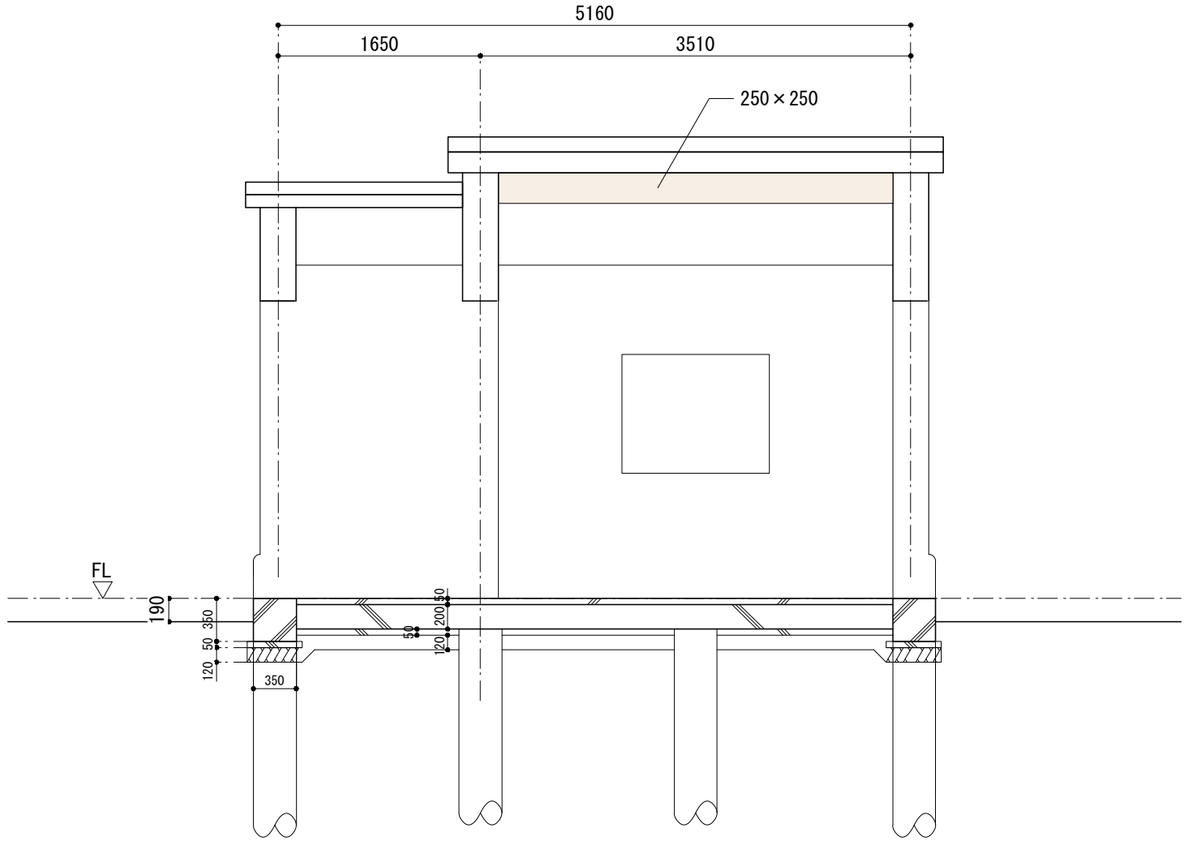
西側立面図

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	二ノ倉　石蔵改修図面-１	1/50	2025. 10. 7	I-08



X方向断面図



Y方向断面図

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　TEL 096-371-9322　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3771号　一級建築士　登録第285008号　坂本達哉
株式会社　長野聖二建築設計處　〒860-0023　熊本県熊本市中央区河原町2　TEL 096-354-1007　一級建築士事務所　熊本県知事登録第3731号　一級建築士　登録第294002号　長野聖二

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	ニノ倉　石蔵改修図面-２	1/50	2025.10.7	I-09

熊本県機械設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　工事名称　**山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業**

2　工事場所　**熊本県球磨郡山江村大字山田甲1384-1**　　地内

3　建物概要

	建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第１区分	備考
1	**直売所**	**木造**	**1**	**212.924**	**16項イ**	
2	**カフェ**	**木造**	**1**	**99.372**	**16項イ**	

※　建築基準法に基づき定められた風速　（V0）　（　　m/sec　）
※　建築基準法に基づき定められた積雪荷重　（　　）

※　地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ

4　工事項目　（電気設備工事）　○印を付したもの

	建物名 ／ 工事項目	1	2	3	4			屋外
1	電灯・コンセント設備							
2	幹線・動力設備							
3	電熱設備							
4	雷保護設備							
5	受変電設備							
6	電力貯蔵設備							
7	発電設備							
8	構内情報通信網設備							
9	電話・構内交換設備							
10	情報表示設備							
11	映像・音響設備							
12	拡声設備							
13	誘導支援設備							
14	呼出設備							
15	テレビ共同受信設備							
16	テレビ電波障害防除設備							
17	監視カメラ設備							
18	入退室管理設備							
19	自動火災報知設備							
20	自動閉鎖・非常警報設備							
21	中央監視制御設備							
22	防犯設備							
23	電気時計設備							
24	外灯設備							
25	構内配電線路							
26	構内弱電線路							
27	撤去工事							

5　工事項目　（機械設備工事）　○印を付したもの

	建物種別及び屋外 ／ 工事項目	1	2					屋外
1	空気調和設備	○	○					
2	換気設備	○	○					
3	排煙設備							
4	自動制御設備							
5	衛生器具設備	○	○					
6	給水設備	○	○					○
7	排水設備	○	○					○
8	給湯設備	○	○					
9	消火設備							
10	厨房設備		○					
11	ガス設備		○					
12	浄化槽設備							
13	昇降機設備							
14	撤去工事							

6　設備概要　（機械設備工事）
（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない　○印を付けたものが該当項目となる）

空気調和方式	・ダクト方式　（・中央　・各階ユニット　）　・ＦＣＵ方式 ・ＦＣＵ＋ダクト併用方式　○ パッケージ方式
主要熱源機器	・空気熱源ヒートポンプユニット　・吸収冷温水機　・吸収冷温水機ユニット ○ パッケージ型空気調和機　・マルチパッケージ型空気調和機　・ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機
換気設備	機械換気　（○ 有　・ 無　）
排煙設備	機械排煙　（・有　⊙ 無　）
自動制御設備	・電気式　・電子式　・デジタル式
給水設備	⊙ 水道直結方式　・高置タンク方式　（・上水　・井水　・中水　） ・ポンプ直送方式　（⊙ 上水　・井水　・中水　）　・増圧ポンプ方式
排水設備	建物内の汚水と雑排水　（⊙ 分流　・ 合流　） ポンプ排水　（・有　（・湧水　・雨水　・雑排水　・汚水　）⊙ 無　） 汚水放流先　（⊙ 公共下水道　・し尿浄化槽　） 雑排水放流先　（⊙ 公共下水道　・し尿浄化槽　）
消火設備	・屋内消火栓　（・１号　・２号　）　・屋外消火栓 ・連結送水　・連結散水　・泡消火　・スプリンクラー　・ハロゲン化物消火 ・二酸化炭素消火　・新ガス系消火　・フード等用簡易自動消火
ガス設備	・都市ガス　（供給業者名　　種別　　発熱量　　MJ/m ³ ） ・液化石油ガス

※注意事項
① 工事用資・機材、建設副産物等の過積載をしないこと。
② 過積載を行なっている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
③ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することの無いようにすること。
④ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。
⑤ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ同団体への加入者の使用の促進に努めること。
⑥ 下請け契約の相手方又は資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
⑦ ①から⑥の事項につき、下請け契約における受注者を指導すること。

Ⅱ　特記事項
1　本工事の契約は、図面及び仕様書に基づくものとし、添付の工事内訳書は参考とする。
2　図面及び仕様書に記載されている製造所及び商品名は、製品の程度を示すものであり参考とする。
3　契約締結後着工届を速やかに提出すること。現場代理人及び主任（監理）技術者通知書には、受注者に所属し、かつ、必要資格を有することが確認できる書類を添付すること。
4　建設業退職金共済制度の　「掛金収納書」　及び建設労災補償共済制度の　「加入証明書」　（写し）もしくは労働災害使用者賠償責任保険等加入を証する書類を契約後1月以内に提出すること。ただし、建設業退職金共済制度の「掛金収納書」提出の必要がない場合は、建設業退職金共済証紙交付辞退届を提出すること。
5　特記仕様書に記載されている監督員の承諾、監督員との協議等の要領については、工事監理要領に定めるところによる。
6　使用材料及び下請業者については、県産資材、県内企業及び誘致企業の採用に努めること。県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得ること。なお、県産資材、県内企業及び誘致企業とは、以下に該当するものをいう。
(1)　県産資材とは、県内で産出、生産又は製造されたものをいう。
(2)　県内企業とは、県内に主たる営業所を置く建設事業者をいう。
(3)　誘致企業とは、県内に誘致された企業をいう。
7　本工事は電子納品対象工事とする。
8　暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
なお、遵守していないことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処する。
①　不当介入を受けた場合は、毅然としてこれを拒否し、不当介入があった時点で速やかに管轄警察署へ通報し、捜査上必要な協力を行うこと。
②　警察に通報等を行った内容について書面により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

Ⅲ　工事仕様
1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」
「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）」、及び「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）」による。
なお、公共住宅建設にあっては、国土交通省住宅局住宅総合整備課監修「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版）」を併せて適用する。
2　項目は、番号の前に ○印 のけたものを適用する。
3　特記事項は、○印 のけたものを適用する。○印のけがない場合は、※印のけたものを適用する。○印と※印のけた場合は、両方を適用する。
4　形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。
5　各章の特記事項欄にある（　　）書きは新築工事標準仕様書の章・節・項番号である。
6　使用する材料、工法については県監督員と協議のうえ、変更することができる。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	○ 1 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 ○ 構内舗装・排水設計基準　（平成31年版）　同上 ・擁壁設計標準図　（平成12年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 公共建築改修工事標準仕様書　（建築・電気・機械設備工事編）　（令和4年版）　同上 ・公共建築木造工事標準仕様書　（令和4年版）　同上 ○ 公共建築設備工事標準図（電気・機械設備工事編）　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 ・建築物解体工事共通仕様書　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・鉄筋コンクリート工事標準図　（平成17年版）　熊本県建築士事務所協会発行 ・鉄骨工事標準図　（平成17年版）　熊本県建築士事務所協会発行 ・公共住宅改修工事共通仕様書（初版）　（初版）　公共住宅事業者等連絡協議会編集
	※ 2 電子納品に関する事項	（電子納品に関する基準） 電子納品に関する基準は、「熊本県電子納品運用ガイドライン※１」（以下、熊本県ガイドライン）による。 （電子納品） 電子納品とは、各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、熊本県ガイドラインに示すファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途、監督員と協議するものとする。 （電子データの貸与） 本工事では、設計図ＣＡＤデータを貸与する。（ＣＡＤデータの著作者は設計者） なお、貸与されたＣＡＤデータを当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。 （電子納品に要する経費） 電子化に要する費用は共通仮設費に含まれている。 ※１：熊本県ホームページの土木部ー土木技術管理課のデータを参照（ダウンロード可） 熊本県HP　https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_1840.html
	3 工事実績情報の登録（工事カルテ）	※ 要　（提出先：（一財）日本建設情報総合センター）　・ 不要　（1．1．4） 工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）
	※ 4 品質計画	※ 品質計画については、監督員の承諾を受けること。　（1．2．2）
	5 電気保安技術者	適用する　⊙ 適用しない　（1．3．3）
	※ 6 施工条件	※ 現場説明書による　・ 図示による　（1．3．5）
	○ 7 発生材の処理等	引渡しを要するもの　（　　）　（1．3．11） 引渡し場所　※ 構内　・（　　） 特別管理産業廃棄物　・種類（　　） 廃棄物の搬出方法等　分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行ったうえで、下記の場所に搬出することとし、「建設副産物の再生利用指針」の建設発生材処理フローにより適切に処理すること。 ①受入場所　※ 処分場（　　）　・ 自社処分 原則として再資源化施設とする ②仮置き等　必要な場合は、法律に違反しないように適切に処理すること。 現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの　（　　） 建設廃棄物処理実施計画書、建設廃棄物処理実績集計表及びﾏﾆﾌｪｽﾄ伝票の写しを等を提出すること。 建設副産物情報交換システムに登録し証明書を提出する。 登録に関する問い合わせ先：　（(一財)日本建設情報総合センター　内 建設副産物情報センター　TEL:(03)3505-0410　FAX:(03)3505-0520） 工事着工時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を提出し、工事完了時に再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。 自社処分　自社処分の場合で、処分が困難となった時は、監督員と協議すること。 ・建設リサイクル法　　竣工時に、再資源化等報告書を監督員に提出すること。 産業廃棄物税　本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税（熊本県産業廃棄物処理税）が課税されるので適正に処理すること。 ・本工事では、産業廃棄物の最終処分における熊本県産業廃棄物税相当額を見込んでいる。 型枠の端材、塗料の空缶等については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、元請業者の責任において適正に処理すること。 水銀含有物（蛍光管等）については電気設備工事特記仕様書（その２）「発生材の処理等」に基づき適正に処理すること。 フロンガス含有物（空調機器等）については機械設備工事特記仕様書（その２）「発生材の処理等」に基づき適正に処理すること。 石綿含有廃棄物については環境省「石綿含有廃棄物等処理マリュアル」に基づき適切に処理すること。
	8 再生資材活用	受注者は、熊本県グリーン購入推進方針に適合するリサイクル建設資材の活用に努めるものとする。 受注者は、ﾘｻｲｸﾙ建設資材を使用する場合、工事材料確認検査願い提出時に品質・性能に関する書類に加え、以下の書類を提出すること。 ・熊本県グリーン購入推進方針判断基準等適合報告書 ・有害物質の溶出・含有等に関する証明書 ・再生材料供給証明書 〔例外１〕 次の資材については、上記書類の提出を求めない。 ・コンクリート塊又はアスファルト・コンクリート塊のみを再生材料として使用した「再生加熱アスファルト混合物」及び「再生路盤材」 ・高炉セメント ・エコマーク認定製品 〔例外２〕 該当する項目に係る有害物質の溶出及び含有、アスベスト（石綿）の含有、水素イオンの溶出、硫化水素等の発生に関する検査を不要としている資材については、「有害物質の溶出・含有等に関する証明書」の提出は求めない。
	9 再生資材の利用	再生資材の利用又は現場内で流用をする場合は、土木部で定めた「建設副産物の再生利用指針」による。 対象資材　：　コンクリート塊、　アスファルトコンクリート塊、　建設発生木材
	○ 10 建設発生土の利用	建設発生土が発生し、又は建設発生土を利用する場合は、土木部で定めた「建設発生土の利用と処理指針」による。
	11 建設汚泥処理土の利用	建設汚泥を再生した建設汚泥処理土の利用は、土木部で定めた「建設汚泥の処理と建設汚泥処理土の利用指針」による。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	○ 12 技能士	適用工事種別　（　　）内は、適用作業　（1．5．2） ・鉄筋工事　１級鉄筋技能士 ・コンクリート工事　・１級左官技能士　・１級型枠施工技能士　・１級コンクリート圧送施工技能士 ・鉄骨工事　１級とび技能士 ・ブロック及びALCパネル工事　１級ブロック建築技能士 ・防水工事　１級防水施工技能士　（　　作業） ・石工事　１級石材施工技能士 ・タイル工事　１級タイル張り技能士 ・木工事　１級建築大工技能士 ・屋根及びとい工事　１級建築板金技能士（内外装板金作業） ・金属工事　・１級内装仕上げ施工技能士（鋼製下地工事作業）　・建築板金（内外装板金作業） ・左官工事　１級左官技能士 ・建具工事　・１級サッシ施工技能士　・１級ガラス施工技能士 ・塗装工事　１級塗装技能士　（　　作業） ・内装工事　１級内装仕上げ施工技能士　（　　作業） １級表装技能士　（　　作業） ・植栽工事　１級造園技能士 ○ 設備工事　・1級配管技能士　・1級冷凍空気調和機器施工技能士 ○1級熱絶縁施工技能士　・１級建築板金技能士（ダクト板金作業） 技能士は、資格を証明する資料を監督員に提出すること。
	13 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	14 建設工事使用機械等	※ 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 ※ 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。 ※ 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。
	15 設計ＧＬ	※ 図示による。　・現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による。
	16 既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。
	17 他工事との取合い	施工範囲　別表－１　による。 施工図　設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。
	18 建築材料 設備機器等	ホルムアルデヒド放散量 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。 ※ Ｆ☆☆☆　・（　　）
	19 化学物質の濃度測定	・行う。　・行わない。　（1．5．9） 厚生労働省が定める化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象室名　：（　　） 測定法　・アクティブ型　・パッシブ型　・その他
	※ 20 工事写真等	撮影箇所及び撮影方法は、「熊本県建築工事写真撮影要領」による。 着工前、工事中、竣工時及び完成写真用写真の撮影は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下記業者の撮影とする。 ・ 監督員の承諾を受けた写真専門業者　※ 監督員の承諾を受けた撮影者
	※ 21 完成図	貸与した原図（電子データを含む）に変更内容を加筆訂正し、下記のものを添えて監督員に提出すること。　（1．7．1　1．7．2） また、施設引渡し品がある場合、その受領書（写）を監督員に提出すること。 工事完成図　（２つ折製本（Ａ４）１部、２つ折製本（原図）１部、Ａ４版折込製本（原図）１部） 試験成績表、保証書、取扱説明書等 電子データについては、熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品を行うこと。
	※ 22 施工図	熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品するものとする。 当該建築物の取得する施工図等の著作権に係わる使用権は、当該建築物に限り発注者に移譲する。
	○ 23 保全に関する資料	※ 提出する。　・提出しない。　（1．7．1　1．7．3） 提出部数　※ ２部　・（　　）部
	※ 24 保険等	熊本県公共工事請負契約約款第５０条第１項により、次の保険等（その他これに準ずるものを含む）に付さなければならない。 (1)　保険の種別　・火災保険又は建設工事保険 ※ 組立保険　（請負業者損害賠償責任担保特約付き） (2)　保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）（損害賠償等特約を含む） (3)　保険の加入期間　※ 工事着手後（原則とする）速やかに加入し、工期末より３０日間以上 ・その他（　　） (4)　保険金額　※ 原則として請負金額に相当する金額 ・その他（　　）
	※ 25 安全施工実施対策	※ 建築工事安全施工技術指針にしたがい、工事の安全確保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監督員へ提出すること。
	○ 26 官公庁への諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特記ある事項は別途とする。　（1．1．3）
	27 石綿（アスベスト）	工事開始前に労働基準監督署と自治体（自治体への報告は大気汚染防止法に基づくもの）に対して、本工事に関係する石綿の有無について事前調査結果の報告を行うこと。 事前調査結果の報告については、石綿事前調査結果報告システム（https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp）を用いても良い。 また、石綿の有無の事前調査の対象箇所については、県監督員と協議のうえ決定すること。
2 仮設工事	1 既存部分の養生	養生方法　※ ビニールシート等による。　・（　　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※ 行わない。　・行う　（図示による） 既存家具等の養生　・ビニールシート等による。　・（　　）
	○ 2 監督員事務所	・設ける　※ 設けない　（2．3．1） 面積規模　（　　）㎡程度　備品については、監督員の指示による。
	○ 3 工事用水	構内既存の施設　※ 利用できる（※有償　・無償）　・利用できない
	4 工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
	5 外部足場	※枠組本足場　・その他（　　）
	6 手すり先行足場	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第０４２４００１号平成２１年４月２４日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。
3 土工事	○ 1 埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※ Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　（3．2．3）（表3．2．1）
	○ 2 建設発生土の処理	※ 構外指示の場所　（3．2．5） 受け入れ場所　（　　） 受け入れ場所での処置　（　・敷きならし　※ たい積　） 搬出距離　（　　）km 上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する ・構内指示の場所　（　・敷きならし　・たい積　）

R5.3.17改定

熊本県機械設備工事特記仕様書	山　江　村	建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事登録　第3771号 株式会社坂本達哉建築設計事務所	工事名称　山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
		設計者氏名	一級建築士　大臣登録　第285008号　坂本達哉	図面名称　機械設備工事特記仕様書　（その１）　図面番号　M-01

章		項　　目	特　記　事　項
4 共通事項	○ 1	機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする
	○ 2	機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による　(1.1.4.5)　(1.1.4.6)
	○ 3	容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は原則として表示された数値以上とすること (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の容量とすること
	4	耐震施工	機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 (独立行政法人建築研究所監修　2014年版)」による (1) 設計用水平地震力　機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) [kN] に、次に示す設計用標準震度を乗じたものとする 局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度 (Ｋｓ)

設置場所	耐震安全の分類 ・特定の施設				○一般の施設				※地域係数 Z=1.0 としている ※該当する施設に○をつけること ※ 下記に示すものは、重要機器、重要水槽とする (　　)
	重要 (耐震クラスS)		一般 (耐震クラスA)		重要 (耐震クラスA)		一般 (耐震クラスB)		
	機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽	
上層階、最上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6	
1階及び地下階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6	

※ 上層階の定義は次による　　注) : ( ) 書きの数値は防振機器とする

建物階数	上層階	建物階数	上層階
2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階
7～9階建	上層2階	13階建	上層4階

※ 天井から吊る空調室内機、全熱交換器等は振れ止めを施すこと
※ 形鋼振止め支持をする横走り管の末端部に形鋼振止めを施すこと
(2) 設計用鉛直地震力　　設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする

○	5	建物導入部の変位吸収	・図示による　※ 標準図　施工4、5　(・(a)・(b)※(c)　　) による　(○ 給水・ガス・消火・　　)
	6	建物ＥＸＰＪの変位吸収	・図示による　※ 標準図　施工7　(・(a)・(b)※ (スリークッション)) による　(・給水・ガス・消火・　　) (2.2.4.1)
○	7	総合試運転調整	※ 各機器の個別運転後に下記の総合試運転調整を行い、測定報告書を提出する　改修工事では影響のある範囲で行う　(2.1.3.3) ○ 風量調整　・水量調整　○ 室内気流及び室内外空気の温湿度の測定　・騒音の測定　・飲料水の水質測定　(　　箇所) ・雑用水の水質測定　(　　箇所)
○	8	配管工事	

	管種	保温材	保温外装 (屋内露出)	保温外装 (屋外露出)	(隠蔽)
冷温水	・SGP (白)　・STPG370　・SUS304　・	・G　・R　・P	合成樹脂カバー1	※ガルバ・SUS	アルミガラスクロス
冷却水	・SGP (白)　・SGP-VA　・SUS304　・	—	—	—	—
蒸気	・SGP (黒)　・STPG370　・SUS304　・	・G　・R	合成樹脂カバー1	※ガルバ・SUS	アルミガラスクロス
高温水	・SGP (黒)　・STPG370　・SUS304　・	・G　・R	合成樹脂カバー1	※ガルバ・SUS	アルミガラスクロス
油	・SGP (黒)	—			
冷媒	○ 断熱材被覆銅管 (JIM0009) ﾌﾝﾀﾞﾙ　・ペア	—	合成樹脂カバー1	※ガルバ・SUS	アルミガラスクロス
給水 (屋内)	・SGP-VA　⊙SGP-VB　・SUS304　⊙HI-VP	⊙G　・R　⊙P	合成樹脂カバー1	—	着色アルミガラスクロス
(屋外)	⊙ HI-VP　⊙SGP-VD　・SUS304　・ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管	・G　・R　⊙P	—	・ガルバ・SUS	—
	—	—	—	—	—
給湯	・SGP-HVA　・SUS304　・外面被覆銅管	・G　・R	合成樹脂カバー1	・ガルバ・SUS	着色アルミガラスクロス
消火	・SGP(白)　・STPG370　・消火用ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管	—		塗装	
排水 (屋内)	⊙ VP　・HF-VP　・耐火二層管　・	⊙G　・R　・P	合成樹脂カバー1	—	アルミガラスクロス
(屋外)	○ VP　・VU　・REP-VU　・RS-VU　・	・G　・R　・P	—	—	—
通気	・VP　・VU　・RF-VP　・	・G　・R　・P	合成樹脂カバー1	—	アルミガラスクロス
ガス	・SGP(白)　・ﾀﾞｸﾀｲﾙﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管　・ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ被覆銅管	—	—	—	—

注 GIはグラスウール、RIはロックウール、PIはポリスチレンフォーム　　注 都市ガスは引渡し事業者の供給規定による
注 SUS管接合は　(圧縮プレス式)　とする　(2.2.1.2)、(2.2.4.1)～(2.3.1.6)
注 使用する管種、保温材、保温外装については県監督員と協議のうえ、変更することができる。

	9	エア抜弁	※ 手動　(1) 水用　弁箱 (・青銅製　・SUS製　) フロート (・SUS製　・合成樹脂製　) (2.2.2.5) ・自動　(2) 蒸気用　弁箱 (・青銅製　・鋳鉄製　) ベローズ (・青銅製　・SUS製　)
	10	絶縁継手	※ 異種管の接合要領は図示が無い場合は、標準図 (施工3) による　(2.2.2.12)
	11	ボールタップ	※ ステンレス製　・銅板ろう付け　・樹脂製　(2.2.2.20)
	12	水栓柱	・合成樹脂製　※ ステンレス製　・アルミニウム合金製　(2.2.2.23)
	13	スリーブ	※ 水密を要する部分 (つば付き鋼管製)　(2.2.2.27)
○	14	支持金物	屋外機器及び屋外、ピット内配管に使用する支持金物　※ SUS製　・溶融亜鉛めっき　(2.2.6.3) 屋外機器のアンカーボルト　※ キャップ (樹脂製) を取付ける　・取付けない 振動を伴う機器の固定金具のナットはダブルナットとする
○	15	地中埋設表示用テープ	排水管を除き、地中埋設配管にはアルミテープ (ダブル) またはポリエチレンテープ (ダブル) を敷設すること　(2.2.7.1)
○	16	はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾋﾞｯﾄｺｱｰによる
○	17	塗装	塗装を屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆とする　(2.3.2.1) 仕上げの色合いは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出し、承諾を得る 右記範囲内の裸の亜鉛鉄板、配管 (亜鉛ﾒｯｷおよびこれらの) 、吊りﾎﾞﾙﾄは塗装なしとする　・機械室　・電気室　・(　　)
	18	配管溶接部の非破壊検査	・浸透探傷検査 (PT) 又は磁粉探傷検査 (MT)　・放射線透過検査 (RT)　(2.2.5.17.12)
	19	ステンレス鋼管施工上の注意	(1) コンクリート壁・床への埋め込み、スリーブ貫通部及びその他躯体との絶縁箇所には、プラスチックテープを 1/2 重ね1回巻きを施すこと (2) 保温のアルミ、ネット、巻き線、菊座等が直接接触しないよう施工すること (3) 地中埋設部は、管と土壌に接触させないように施工すること (4) 地中埋設から地上あるいはピット等に至る管の場合等、異種管接合の際には絶縁フランジを設けること (5) ステンレス管に使用する６０Ａ以上の弁はステンレス弁とすること、または電気絶縁を施すこと　(2.2.5.7)
	20	壁貫通	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探査を行う。　・レントゲン撮影　・金属探知機
	21	あと施工アンカー	○ あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ○ 施工者資格　(・第1種あと施工アンカー施工士　○ 第2種あと施工アンカー施工士　) ※ 試験　※ 自主検査　(監督員と協議による) ・加力検査　(・非破壊試験　　か所　・破壊試験　　か所)
○	22	機器取り付け高さ	※ スイッチ類　・一般　床上～中心　約1100mm　・屋外　床上～中心　約1500mm　・空調リモコン　1100mm～1500mm
	23	砂利地業及び舗装	※ 砂利地業については再生材を利用すること。また、ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装については再生密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物を使用すること。
5 空気調和設備	○ 1	温湿度調整目標	

	外気条件		室内 (調整目標値)					
			一般系統					
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
夏季	35.7 ℃	68.8 %	26 ℃	50 %	℃	%	℃	%
冬季	-0.3 ℃	73.1 %	22 ℃	40 %	℃	%	℃	%

	○ 2	冷暖房の能力	空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ形空気調和機の温湿度条件はＪＩＳ条件による
	○ 3	成績係数	※ 機器表による。ただし、各メーカーのトップランナーを採用すること。
	4	ばい煙濃度計	・設ける (電源は、付属制御盤の２次側より取り出すものとし、配管配線とも本工事に含む)　・設けない　(3.1.1.3)
	5	ばいじん量測定口	・設ける　・設けない　(3.1.1.2)
	6	煙道	・鋼板製　(・３．２mm　・４．５mm　(・屋内　・屋外　)　(3.1.1.2) ・ステンレス鋼板製　(　　) mm　(・屋内　・屋外　)
	7	ダクト工法	・低圧ダクト　・コーナーボルト　(・共板フランジ　・スライドオンフランジ　) 工法　(3.1.14.1) ～ (3.1.14.4) ・アングルフランジ工法 ・スパイラルダクト ・高速ダクト (　　)
	8	風量測定口	下記の箇所に測定口を取り付けること ・図示した位置　・送風機吐出側ダクト又は吸込側ダクト　・外気取入ダクト　・空調機出口チャンバーの分岐ダクト　(3.2.2.6.5)
	9	チャンバー等	(1) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーには、排水管を設け、最寄りに排水すること　(3.1.14.4) (2) シーリングディフューザー形吹出口には、下記の接続チャンバーを設けること (a) ネック径がΦ200以下のもの　400×400×250H　(b) ネック径がΦ200をこえるもの　500×500×300H (3) プリーズライン形吹出口には、下記の接続チャンバーを設けること (a) シングル形　200×(Ｌ＋100)×300H　(b) ダブル形　250×(Ｌ＋100)×300H
	10	防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	標準仕様書のよるほか、下記による　(3.1.15.8)　(3.1.15.9) (1) 操作方法　同時通電式又は電動式　(ＤＣ２４Ｖ　０．７Ａ以下) (2) 復帰方法　・遠隔式　・手元式
	11	弁類	ＪＩＳの呼び圧力５Ｋとする　ただし、特記部分はＪＩＳの呼び圧力１０Ｋとする
	12	防振継手	・合成ゴム製　・ベローズ形ステンレス製　(2.2.2.8)
	13	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	・合成ゴム製　・ベローズ形ステンレス製　(2.2.2.9)
	14	伸縮管継手	・スリーブ形　・ベローズ形ステンレス製　(2.2.2.7)
	15	温度計	取付部は下記による　温度計は円形指示計 (バイメタル式Φ１００) とする　(2.2.3.2) ・熱源機器の冷温水管 (送り、返り) 及び冷却水管 (送り、返り)　(3.1.14.12) ・ボイラーの温水管 (返り) ・空気調和機の冷温水管 (送り、返り) 及び三方弁装置後の冷温水管 (送り、返り) ・熱交換器の温水管 (送り、返り) ・冷温水ヘッダー (送り) 及び冷温水ヘッダーの各送り管 ・空気調和機 (パッケージ形を含む) のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンバー
	16	圧力計	取付部は下記による ・熱源機器の冷温水管 (送り、返り) 及び冷却水管 (送り、返り)・空気調和機の冷温水管 (送り、返り)　(2.2.3.1) ・熱交換器の温水管 (送り、返り)　・冷温水ヘッダー (送り、返り)
	17	瞬間流量計及び測定タッピング (32mmビト一管流量計用)	(1) 熱源機器の冷温水管 (送り又は返り)　・瞬間流量計　・タッピング　(2.2.3.8) (2) 熱源機器の冷却水管 (送り又は返り)　・瞬間流量計　・タッピング (3) ボイラーは熱交換器の温水管 (送り又は返り)　・瞬間流量計　・タッピング (4) 空気調和機の冷温水管 (送り又は返り)　・瞬間流量計　・タッピング (5) 冷温水ヘッダーの各送り管　・瞬間流量計　・タッピング
	18	油面制御装置	制御盤には下記の端子を設けること。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする　(2.2.3.5) ・給油ポンプ制御　・満油警報　・連隔警報　・電磁弁制御　・返油ポンプ制御　・減油警報
	19	消音内貼り	(1) 施工する場所は、図示したダクト及びチャンバー類とする (2) 内貼りチャンバー類の寸法表示は、外寸寸法とする
	20	ファンコイルユニット	調整弁　・流量調整弁　・定流量弁　(3.1.7.3)
	21	保温	(1) 機器の保温材　・　(2.3.1.4) (2) ダクトの保温材　・
	22	予備品	・ファンコイルユニットの付属品　フィルターは各型番台数の1/2以上 ・自動巻取形エアフィルター用フィルター　各１巻 ・折込形エアフィルター、プレフィルター　(アルミ枠付)　各1/2
	○ 23	発生材の処理	※ フロンガスについては、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律、家電リサイクル法等を遵守し、適切に処理すること
6 換気設備	○ 1	ダクト	※ 低圧ダクト　・コーナーボルト　(・共板フランジ　・スライドオンフランジ)　工法　(3.2.2.1) ・アングルフランジ工法 ⊙ スパイラルダクト　⊙ 塩化ビニル管 ・高圧ダクト (　　)
	2	排気フード	排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、　(3.1.14.6) 材質は下記による ・ステンレス鋼板 (補強共)　・ フード開いは、上記フードと同材質とすること フードの内部周囲のといには、黄銅製コックスはプラグを取り付けること
	3	ダクトの保温	・有 (空調室のOAダクト、全熱交換機ダクト　)　・無　(2.3.1.4)
	4	他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する (1) 風量測定口　(2) チャンバー等　(3) 防煙ダンパー　(4) 消音内貼り　(5) ダクトの吊り及び支持
7 排煙設備	1	ダクト	・亜鉛鉄板　・鋼板 (厚１．６mm以上)　(3.2.2.5)
	2	排煙口の形式	・天井取付　(・スリット形　・スイング形) ・壁取付　(・スリット形　・スイング形)
	3	排煙口開放装置	・手動及び遠隔操作の可能なもの　・手動　(3.1.15.5)
	4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 2016年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる
8 自動制御設備	1	中央監視制御	・有 (※ 本工事　・別途 電気設備工事　)　・無
	2	電線管	・電線管　・ＰＦ等 (隠ぺい)　(4.1.5.1)
	3	屋内キャビネット	・鋼板 (厚1.6mm以上)　・ステンレス鋼板　(厚1.2mm以上)　(4.1.3.3)
9 衛生設備器具	○ 1	一般事項	機器及び仕様は機器表による　衛生陶器の色は監督員の指示による　機器据付に伴う補強はメーカー仕様による 据付位置の詳細については、総合図 (建築・電気・機械) を作成のうえ、監督員との協議による
	○ 2	小便器用節水装置	個別感知フラッシュ方式　(⊙ 小便器一体型　・小便器分離型　(・埋込み　・露出)　)　(5.1.1.2)
	○ 3	大便器	・Ｉ形　⊙ Ⅱ形　・洗浄弁式　⊙ タンク式　(5.1.1.2)　(5.1.1.3)
	○ 4	大便器便座	・普通便座　⊙ 暖房便座　※ノント開閉　(5.1.1.13) 暖房便座を設置する場合の、付加機能は次による ・温水洗浄機能　(水道直結給水方式とする　加熱方式 (・貯湯式　・瞬間式))　・温風乾燥機能　・擬音装置　・発電式ﾄｲﾚﾝ
	5	大便器洗浄弁	・電気開閉式　(・センサー式　・タッチスイッチ式)　・手動式　(5.1.1.8)
	○ 6	水栓	・一般水栓　※ 節水型水栓　(5.1.1.6)
	7	自動水洗	※ 機器表による　自動水洗の電源供給方法　(※ AC100V　・電池式　・発電式)　(5.1.1.7) ・手動スイッチ
	8	擬音装置	※ 機器表による　擬音装置の電源供給方法　(※ AC100V　・電池式)
10 給水設備	○ 1	量水器	(1) 親メーター　(⊙ 貸与品　・買い取り)　(※ 直読式　・遠隔表示式) (2) 子メーター　(・貸与品　・買い取り)　(※ 直読式　・遠隔表示式)
	2	量水器桝	(1) 親メーター用　(・水道事業者の指定品　・標準図)　(5.1.8.4) (2) 子メーター用　(・水道事業者の指定品　・標準図)
	○ 3	弁類	(1) 水道直結部分　※ ＪＩＳの呼び圧力10Ｋ　(2.2.2.1) (2) その他の部分はＪＩＳの呼び圧力５Ｋとする　ただし、特記部分はＪＩＳの呼び圧力10Ｋとする
	○ 4	引込納付金等	・要　(・本工事　※ 別途)　・不要
	5	緊急遮断弁	・有 (・機械式　・電気式)　・無　(2.2.2.22)
	6	試験	中水を利用する場合の通水試験は、雑用水系統に着色水を使用して誤接続がないか確認すること　(2.2.9.3)
11 排水設備	1	放流納付金等	・要　(・本工事　※ 別途)　・不要
	○ 2	洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管の寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする
	3	満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける
	○ 4	試験	排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に通水試験を行うこと　(2.2.9.4)
12 給湯設備	1	弁類	ＪＩＳの呼び圧力５Ｋとする　(2.2.2.1) ただし、特記部分はＪＩＳの呼び圧力１０Ｋとする
	2	その他	貯湯式給湯器のオーバーフローはステンレス管にて最寄りの流しに間接排水すること
13 消火設備	1	屋内消火栓箱	屋内消火栓箱の仕様は以下による　(5.1.5.2.2) ・HB-1A　・HB-1B　・HB-1AT　・HB-1BT　・HB-2A　・HB-2B　・HB-4A　・HB-4B
	2	屋外消火栓箱	・鋼板 (１．６mm)　・ステンレス鋼板 (１．５mm)　(5.1.5.4.2) 屋外消火栓箱の仕様は以下による ・HB-20　・HB-21
14 厨房設備	1	機器の寸法及び据付	概略寸法とする　※ 標準図　施工74　(5.1.6.1)
	2	加熱方法	・都市ガス　⊙ 液化石油ガス　⊙ 電気　(5.1.6.1)
	3	安全装置	・立ち消え安全装置　・加熱防止装置　・空焚き防止機能　・自動消火装置　・過圧防止装置
	4	転倒防止	図示によるほか次の機器に転倒防止措置を施すこと　(・　　)　(5.2.2.6)
15 ガス設備	1	先てん容器	・別途工事　(⊙ ５０ｋｇ×4　本　・　ｋｇ×　本) ・本工事　(・５０ｋｇ×　本　・　ｋｇ×　本)
	2	集合装置	標準図　施工72による　本立て
	3	転倒防止等	標準図　施工73　(⊙ (a)　・(b)) による。また、容器用固定具は鋼製、溶融亜鉛メッキ仕上げとし、鎖はステンレス製とする　(6.3.2.1.4)
	4	ガスメーター	(1) 親メーター　(⊙ 貸与品　・買い取り)　(・実測式　・パルス式)　※LPG用保安機能付マイコンメーター (2) 子メーター　(・貸与品　・買い取り)　(・実測式　・パルス式)　※LPG用保安機能付マイコンメーター　(6.2.1.3)　(6.1.3.4)
	5	引込負担金等	・要　(・本工事　※ 別途　)　・不要
16 浄化槽設備	○ 1	処理能力	処理対象人員　180　人 処理水量　31　m³/日 流入BOD　200　ｍｇ/L
	2	型式	・ユニット形　・現場施工形　(8.1.1.1)
	○ 3	放流水質性能	BOD　10　ｍｇ/L以下　除去率　95　%以上　(8.1.1.1)
	○ 4	水質表の提出	一定期間経過後、放流水質性能等を記入した水質表を提出すること　(8.1.1.1)
	○ 5	施工票	※ 処理能力、放流水質、処理方式、施工年月日等を記入したSUS製又は銅板製のものを設ける

工事区分

別表－１の記入上の注意
該当箇所は　●　(黒塗り)　とし該当しない工事内容及び区分欄は斜線消去すること

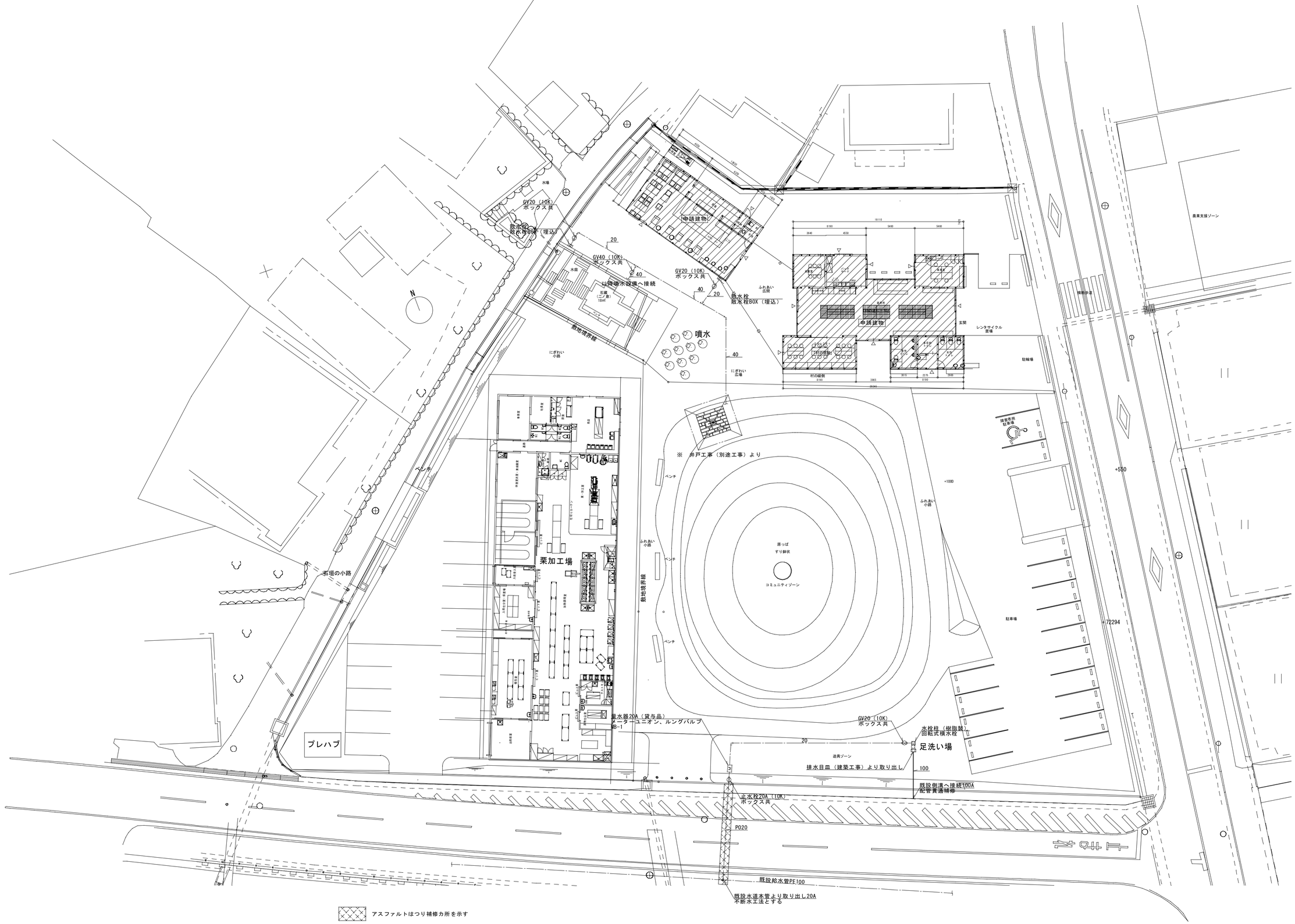
別表－１　　他工事との工事区分表

工事内容				建築工事	電気設備工事	機械設備工事	別途工事
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		○		
			屋外	●	○		
			屋上	●			
		自家発電機の基礎 (アンカーボルトを除く)		●			
		テレビアンテナ基礎 (　〃　)		●			
		避雷針の基礎 (　〃　)		●			
	機械関係	屋内設備 (架台、アンカーボルトを除く)					
		屋上設備 (　〃　)					
		屋外設備 (　〃　)		●		●	
	架台、アンカーボルト					●	
	特記した基礎				●	●	
開口部	梁、床、壁貫通スリーブ	補強を要するもの			●	●	
		補強を要しないもの					
	梁、床、壁貫通部型枠	補強を要するもの		○	●	●	
		補強を要しないもの		○	●	●	
	軽量鉄骨下地、壁、	補強を要するもの		○	●		
	天井ボード類の切込	補強を要しないもの (ｱﾙﾐｻｯｼﾞ･ｶﾞﾗｽは除く)		○	●		
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの		○			
		補強を要しないもの		○			
	上記開口部の補強			●			
	上記開口部の墨出し			●			
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)				●	●	
	フリーアクセスフロア用配線器具				○	○	
点検口	床、壁、天井			●			
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む			○			
湯沸室のフード				○			
換気扇の取付枠					○	●	
流し台	排水トラップ共			●			
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤		自家発用		○		
	タンク基礎		空調用			○	
床下水槽のマンホールふた				●			
屋外排水管	雨水			●			
	汚水、雑排水					●	
雨水立管　(たてどい)				●			
トイレ手すり						●	
化粧鏡						●	
はめ込形洗面器用カウンター　(前板共)				○		●	
ガスボンベ転倒防止用の鎖							
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ			○			
	防火扉レリーズ				○		
	電極棒				●	○	
	配線ピット及びふた			○			
	機器などへの接続　(１次側)			●			
	機器付属の制御盤以降の２次側の配線配管　(接地共)				●	○	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線				●		
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線				●		
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線				●		
	天井吊り形ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの渡り配管　(接地共)				●		
	天井吊り形ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの渡り配線					●	
	天井吊り形ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチ					●	
	天井吊り形ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックス				●		
	個別パッケージの室内機、　室外機の渡り配線　(接地共)					●	
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線				○		
	小便器用節水装置の制御盤以降の２次側の配管配線					○	
ガス漏れ検知器					○		
電気錠	電気錠及び通電金具			○	(○)		
	ＴＥＮキー及び制御盤			(○)	○		
エレベーター出入口三方枠　(金属製)				○	(○)		
エレベーター出入口三方枠　(石製)				○	(○)		
シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン							
システム天井	ボード・Ｔバー			○			
	照明ライン設備プレート				○		
	空調ライン設備プレート					○	

R5.3.17 版

熊本県機械設備工事特記仕様書	山江村	建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事登録　第3771号 株式会社坂本達哉建築設計事務所
		設計者氏名	一級建築士　大臣登録　第285008号　坂本達哉

工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
図面名称	機械設備工事特記仕様書 (その２)
図面番号	M-02



project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	配置図	A3:1/400 A1:1/200	2025.6.19	M-03

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

衛 生 器 具 表

※下記表の型番は参考型番とする。

器具名称	仕様型番 TOTO	合計	直売所					カフェ				屋外
			男性トイレ	多目的トイレ	女性トイレ	事務室		WC	洗面	厨房		
洋風大便器 フラッシュタンク式 温水洗浄便座、紙巻器	CFS498BC TCF5534AU　YH702 他付属品一式	6	2		3			1				
小便器	壁掛式低リップ、自動洗浄（AC100V）	UFS900R 他付属品一式	3	3								
掃除用流し	バック付き掃除用流し 壁給水、床排水	SK22A　T23AEQ20C 他付属品一式	1	1								
洗面カウンター 洗面器共	D500、L900、1穴、2方エプロン 450×600程度　電気温水器 自動サーモ水栓（AC100V）、自動水石鹸供給栓	MK50 他付属品一式	1	1								
洗面カウンター 洗面器共	D500、L1800、2穴、2方エプロン 450×600程度　電気温水器 自動サーモ水栓（AC100V）、自動水石鹸供給栓	MK50 他付属品一式	1			1						
洗面カウンター 洗面器共	D500、L925、1穴、1方エプロン 450×600程度　電気温水器 自動サーモ水栓（AC100V）、自動水石鹸供給栓	MK50 他付属品一式	1						1			
化粧鏡	耐食鏡 450×600程度	YM4560F 他付属品一式	4	1		2			1			
手摺り	L型（700×700）	T112CL9 他付属品一式	5	2		2		1				
手摺り	小便器用	T112CU22 他付属品一式	1	1								
ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	折り畳み式	YKA41R 他付属品一式	1		1							
ハンドドライヤー	ヒーター内蔵（AC100V）	TYC420W 他付属品一式	3	1		1			1			
トイレパック	壁掛け大便器、温水洗浄暖房便座 L型手すり、跳ね上げ式手すり、紙巻き器 洗面器（自動水栓）、手洗い器（自動水栓）	UADBK31B　TCF5841AUPR　YM6090A TYC320W　YKH22 他付属品一式	1		1							
ミニキッチン	混合水栓、トラップ共 W1200*D500	KM-1208UL、KM-1208SSOAWL （Housetec） 他付属品一式	1				1					

機器明細表

番号	機器名	仕様	数量	備考
GH	給湯器	ガス瞬間湯沸器　屋外壁掛型 給湯能力　26.200 kcal/h（16号相当）　1φ100V 付属品　配管カバー　リモコン（温度設定付）　リモコンコード　20BV　15SC	2	カフェ×2台
EH	給湯器（給湯用）	貯湯式電気湯沸器　流し中設置型 貯湯量　12L　1φ200V　出湯温度　40℃～60℃ 付属品　逆止弁　20A　膨張水排水装置　消費電力　1.5kw	1	（事務室）直売所
GT	グリストラップ	グリース阻集器（パイプ式）　HGS-NX70PD相当品 許容流入容量：70.0L/min　標準阻集グリース量：23.2Kg 付属品　一式	1	屋外（カフェ）

汚水桝リスト

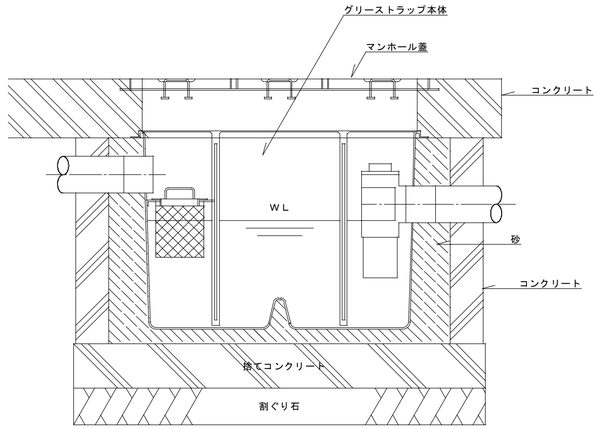
記号	種類	規格	蓋	管底	備考
①	小口径桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　330	
②	小口径桝	100-150　(S)	塩ビ蓋	GL-　440	
③	小口径桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　450	
④	小口径桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　470	
⑤	小口径桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　530	
⑥	小口径桝	100-150　(S)	塩ビ蓋	GL-　600	
⑦	小口径桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　670	
⑧	小口径桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　720	
⑨	小口径桝	100-150　(S)	塩ビ蓋	GL-　760	
⑩	小口径桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　360	
⑪	小口径桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　380	
⑫	小口径桝	100-150　(L)	防護蓋	GL-　430	
⑬	小口径桝	100-150　(Y)	防護蓋	GL-　450	
⑭	小口径桝	100-150　(Y)	防護蓋	GL-　470	
⑮	小口径桝	100-150　(S)	防護蓋	GL-　530	

※ 規格・管底は参考値。地盤高さにて決定する。

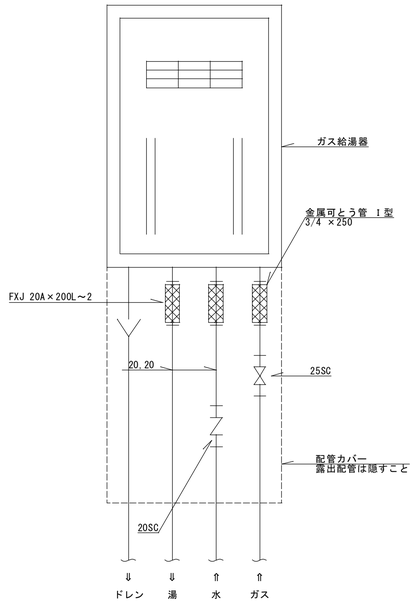
雨水桝リスト

記号	種類	規格	蓋	管底	備考
①	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　330	
②	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　400	
③	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　490	
④	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　520	
⑤	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　620	
⑥	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　670	
⑦	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　330	
⑧	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　340	
⑨	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　310	
⑩	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　320	
⑪	小口径雨水桝	100-150　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　380	
⑫	小口径雨水桝	100-150　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　440	
⑬	小口径雨水桝	100-150　(L)	鋳鉄防護蓋	GL-　450	
⑭	小口径雨水桝	150-200　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　480	
⑮	小口径雨水桝	150-200　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　510	
⑯	小口径雨水桝	150-200　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　570	
⑰	小口径雨水桝	150-200　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　630	
⑱	小口径雨水桝	150-200　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　670	
⑲	小口径雨水桝	150-200　(Y)	鋳鉄防護蓋	GL-　690	
⑳	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　310	
㉑	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　310	
㉒	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　350	
㉓	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　390	
㉔	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　400	
㉕	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　410	
㉖	小口径雨水桝	100-150　(L)	塩ビ蓋	GL-　450	
㉗	小口径雨水桝	100-150　(Y)	塩ビ蓋	GL-　540	

※ 規格・管底は参考値。地盤高さにて決定する。



グリストラップ据付要領図　N・S



給湯器据付要領図　N・S

project title: 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
title: 衛生器具・桝リスト
scale: N・S
check: 2025.6.19
no: M-04

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

N

19650
M-07 詳細図参照
6330
4550
2000
210
2145
花壇
1600
1820
100
厨房
車電池
MC
手洗
洗桝

石蔵

ふれあい
広間

にぎわい
小路

にぎわい
広場

ふれあい
小路

障害者用
駐車場

19110
8190
5460
5460
3640
4550
M-06 詳細図参照
以降M-06 詳細図参照
会議室
バック
ヤード
事務室
12畳
3640
直売所
「村の逸品」出荷
玄関
コミュニティ
ルーム
「村の景観」
男性
トイレ
多目的
トイレ
女性
トイレ
3640
村の緑側
8190
3865
3015
2275
8190
2900
20245

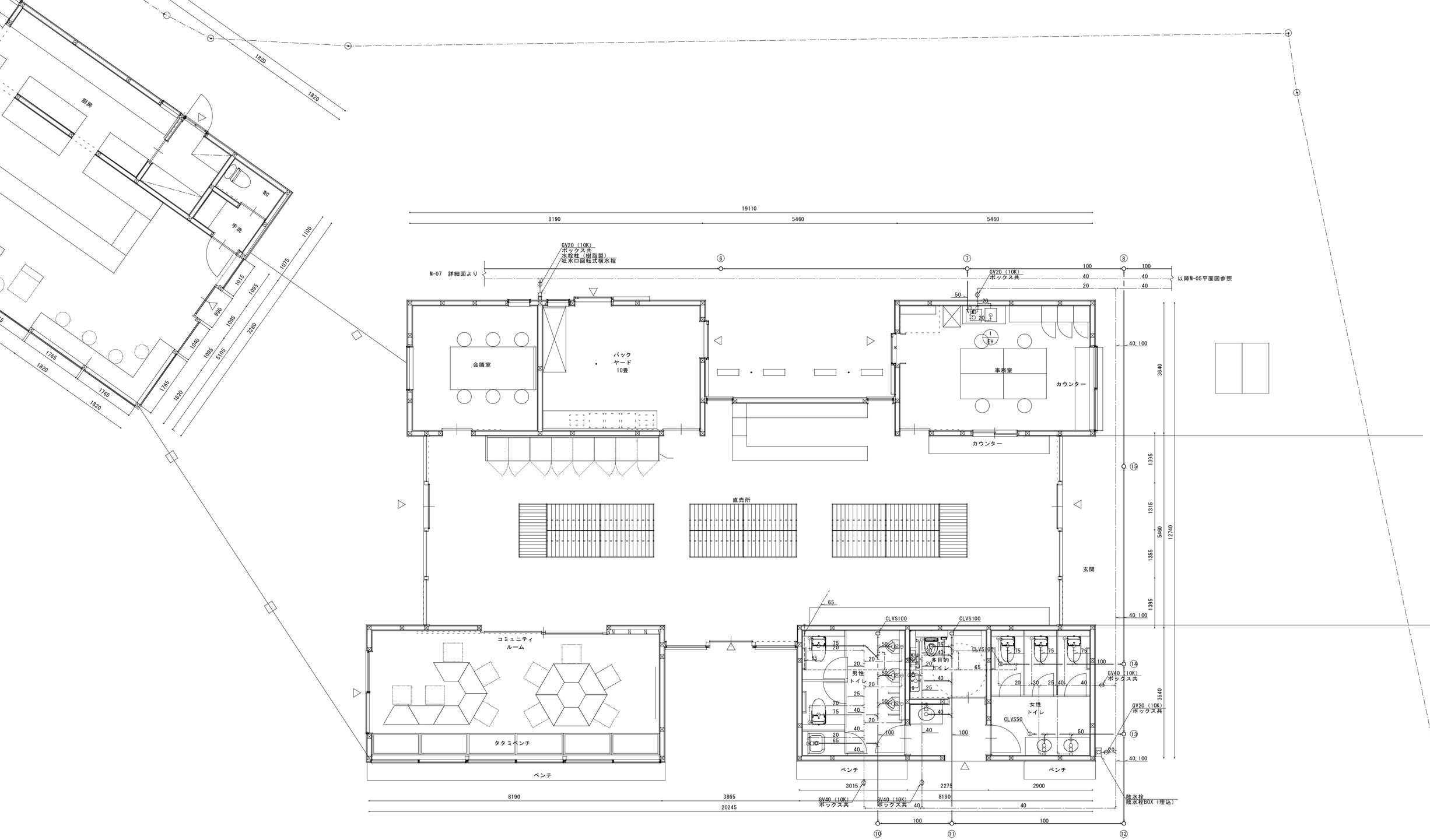
公共桝（別途工事）へ接続100A
既設下水道本管より取り出し150A
別途工事
100
40
40
150
出水栓50A（10K）
ボックス共
既設給水管100Aより取り出し50A
不断水工法とする
止水栓40A（10K）×2カ所
ボックス共
量水器40A（貸与品）×2カ所
メーターユニオン、リングバルブ
MB-1

事務室
社長室
厨房
売店
WC
WC
WC
通路
休憩更衣室・来会議室
前室
WC
ピット
栗・加工室
仕切りカーテン
ふれあい
小路

アスファルトはつり補修カ所を示す

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 給排水衛生設備平面図	scale A3:1/200 A1:1/100	check 2025.6.19	no M-05

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



project title
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

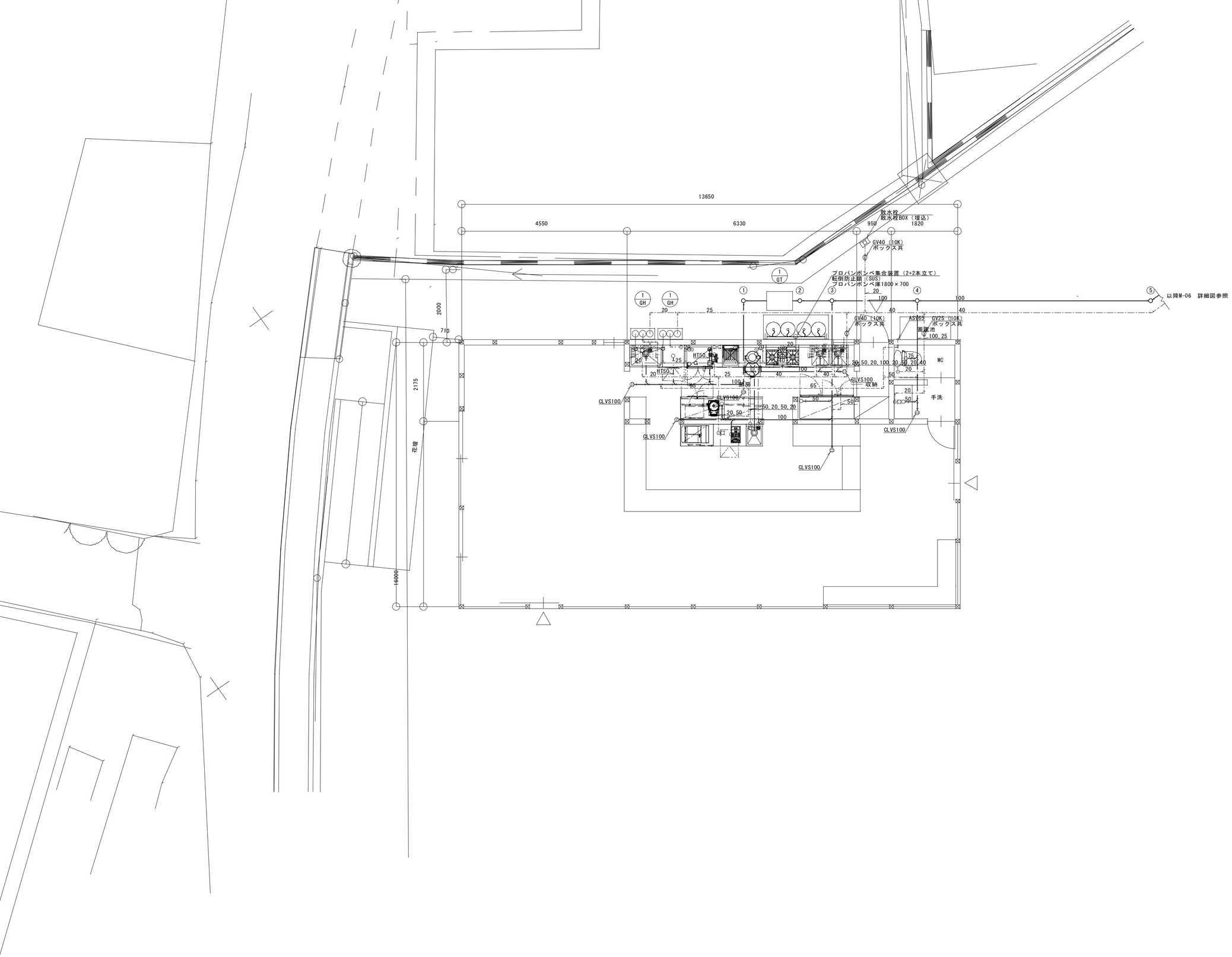
title
給排水設備平面詳細図（直売所）

scale A3：1/100 A1：1/50

check 2025.6.19

no M-06

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 給排水設備平面詳細図（カフェ）	scale A3:1/100 A1:1/50	check 2025.6.19	no M-07

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

別途品	品番	名称	規格仕様	外形寸法（m／m）			数量	給排水				ガス（LPガス）		電気（kW）			蒸気			フード	備考
				間口	奥行	高さ		給水（A）	給湯（A）	排水（A）	ピット	口径（A）	消費量（kW）	単相100V	単相200V	三相200V	給気（A）	排気（A）	消費量（kg/h）		
	1	欠番																			
	2	冷凍冷蔵庫	HRF-150BFT3-6D	1500	650	1910	1			40						0.643					定格内容積972L（冷蔵室589L 冷凍室383L）
	3	台付二槽シンク		1350	600	850	1	15×2	15×2	40×2											
	4	パイプ棚		1100	350	1段	1														壁下地補強要［建築工事］
	5	炊飯台車付作業台		810	600	850	1														ストッパー付スライドレール
○	6	ガス炊飯器	RR-300CF （別途品）	492	423	426	1					φ9.5ゴム	5.54							○	内釜フッ素付 炊飯能力：2～6L
	7	ガステーブル	XY-960T-C	900	600	250	1					20	32.60							G	
	8	コンロ置台		900	600	600	1														下部台下戸棚
	9	ガスフライヤー	CF4-GA18L（特）	450	600	850	1					15	8.60							G	油量16L ※高さ850mm仕様
	10	ガススチームコンベクションオーブン	CSXM-1G5	700	590	865	1	15		40（耐熱100℃）		15	12.60	0.065						G	ホテルパン2/3 5段
	11	スチコン置台		（1160）	600	850	1														下部台下戸棚　天板補強・設備用開口要 ※現寸合わせ
	12	台下戸棚		（1050）	600	850	1														※現寸合わせ
	13	吊戸棚		（1050）	400	600	1														※現寸合わせ　壁下地補強要［建築工事］
	14	テーブル形冷蔵庫	RT-12GSNJ-ML（特）	1200	600	850	1			40				0.218							定格内容積245L ※高さ850mm仕様
	15	吊戸棚		1200	400	950	1														壁下地補強要［建築工事］　下部上棚付
	16	一槽シンク		450	600	850	1	15	15	40											
	17	作業台		（900）	600	850	1														※現寸合わせ
○	18	全自動コーヒーメーカー	ECAM44660BH （別途品）	260	460	360	2							1.450							ミルクあり・無し各1台
	19	欠番																			
	20	キューブアイスメーカー	IM-35M-2	500	450	800	1	15		40				0.210							貯氷量 約18kg
	21	テーブル形冷蔵ショーケース	RTS-9GSND（特）	900	600	850	1							0.139							冷却内容積208L 定格内容積183L　※高さ850mm仕様
	22	一槽シンク		900	600	850	1	15	15	40											
	23	食器洗浄機	AU70-E05	600	600	850	1		15（給湯50℃）	40（耐熱80℃）						6.000					給湯条件：50℃以上
○	24	電子レンジ	NE-921GV （別途品）	510	360	306	1								1.570						
	25	パイプ棚		750	350	2段	1														壁下地補強要［建築工事］
○	26	かき氷スライサー	HB600A （別途品）	349	447	888	1							0.185							
○	27	ソフトサーバー	CI-7548AE （別途品）	480	804	908	1									2.600					
○	28	電子ジャー	JHA-A54P （別途品）	435	358	315	1							0.078							保温容量3升（5.4L）
	29	高湿ディスプレイショーケース	HKD-4B1				1														
		設備容量合計											59.34	3.795	1.570	9.243			0.0		

注）設備容量の数値は各1台当たりを示す。　注）付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

project title
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

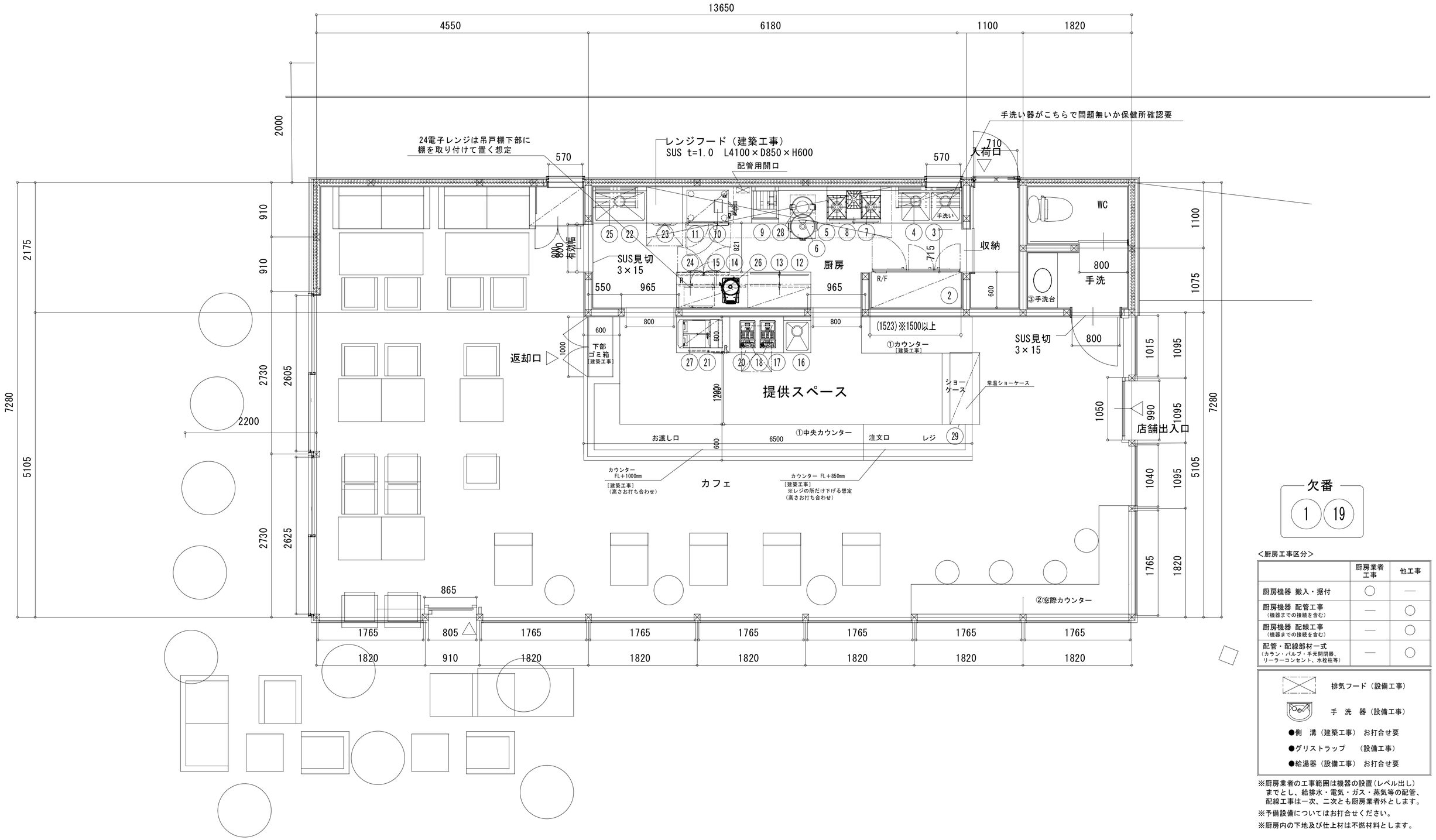
title
厨房機器リスト

scale N・S

check 2025.6.19

no M-08

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



欠番

1 19

＜厨房工事区分＞

	厨房業者工事	他工事
厨房機器 搬入・据付	○	—
厨房機器 配管工事（機器までの接続を含む）	—	○
厨房機器 配線工事（機器までの接続を含む）	—	○
配管・配線部材一式（カラン・バルブ・手元開閉器、リーラーコンセント、水栓柱等）	—	○

排気フード（設備工事）

手 洗 器（設備工事）

●側 溝（建築工事） お打合せ要

●グリストラップ （設備工事）

●給湯器（設備工事） お打合せ要

※厨房業者の工事範囲は機器の設置（レベル出し）までとし、給排水・電気・ガス・蒸気等の配管、配線工事は一次、二次とも厨房業者外とします。

※予備設備についてはお打合せください。

※厨房内の下地及び仕上材は不燃材料とします。

project title
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

title
厨房器具配置図

scale A3:1/60 A1:1/30

check 2025.6.19

no M-09

株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 tel/fax 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

冷暖房機器明細表

記号	機器名称	仕様	電気容量（参考） φ	V	kw	A	圧縮機 kw	台数	設置場所
1 PAC	空冷ヒートポンプ式 56型ハウジングエアコン	形式　ビルトイン型　ツイン　MBZ-2822AS-IN×2、MXZ-5621AS相当品	1	200	冷房 1.57	8.40	1.50	1	コミュニティールーム
		冷房能力 5.6 kw 暖房能力 6.2 Kw			暖房 1.36	7.30			
		付属品　ワイヤードリモコン			最大 1.80	15.0			
2 PAC	空冷ヒートポンプ式 112型パッケージエアコン	形式　天井埋埋込型　シングル　PEZ-ZRMP112D5相当品	3	200	冷房 2.70	8.50	2.10	2	直売所×2台
		冷房能力 10.0 kw 暖房能力 11.2 Kw			暖房 2.55	7.90			
		付属品　ワイヤードリモコン、吸込口ユニット、吹き出し口ユニット			最大 4.36	21.0			
3 PAC	空冷ヒートポンプ式 25型ハウジングエアコン	形式　壁埋込型　シングル　MTZ-2522AS相当品	1	200	冷房 0.63	3.43	0.65	1	会議室
		冷房能力 2.5 kw 暖房能力 3.4 Kw			暖房 0.87	4.36			
		付属品　ワイヤレスリモコン、据付枠、前面グリル			最大 1.94	15.0			
4 PAC	空冷ヒートポンプ式 28型ルームエアコン	形式　壁掛け型　シングル　MSZ-ZXV2825-W相当品	1	100	冷房 0.58	6.17	0.75	1	バックヤード
		冷房能力 2.8 kw 暖房能力 3.6 Kw			暖房 0.71	7.17			
		付属品　ワイヤレスリモコン			最大 1.89	20.0			
5 PAC	空冷ヒートポンプ式 36型ルームエアコン	形式　壁掛け型　シングル　MSZ-ZXV3625-W相当品	1	100	冷房 0.82	8.70	0.95	1	事務室
		冷房能力 3.6 kw 暖房能力 4.2 Kw			暖房 0.91	9.19			
		付属品　ワイヤレスリモコン			最大 1.89	20.0			
6 PAC	空冷ヒートポンプ式 80型パッケージエアコン	形式　天井埋埋込型　シングル　PEZ-ZRMP80D5相当品	3	200	冷房 1.97	6.10	1.60	2	カフェ×2台
		冷房能力 7.1 kw 暖房能力 8.0 Kw			暖房 2.07	6.40			
		付属品　ワイヤードリモコン、吸込口ユニット、吹き出し口ユニット			最大 3.41	14.8			
7 PAC	空冷ヒートポンプ式 63型パッケージエアコン	形式　厨房用天吊り型　シングル　PCZ-ZRMP80H5相当品	3	200	冷房 2.10	6.60	1.60	1	厨房
		冷房能力 7.1 kw 暖房能力 8.0 Kw			暖房 2.25	7.00			
		付属品　ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ			最大 3.30	14.1			

※　基礎（200H）と合わせて1500mmを超える室外機には転倒防止措置を施すこと
※　電気容量は参考値とする
※　パッケージエアコンの能力はJIS　B　8616に規定された定格条件による
※　ルームエアコンの能力はJIS　C　9612に規定された定格条件による

冷媒配管口径表（参考）			
番号	液管	ガス管	渡り配線（メーカー標準）
①	6.35 φ	9.52 φ	EM-EEF2.0mm²-3C
②	6.35 φ	12.7 φ	EM-EEF2.0mm²-3C
③	9.52 φ	15.88 φ	EM-EEF2.0mm²-3C

project title
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

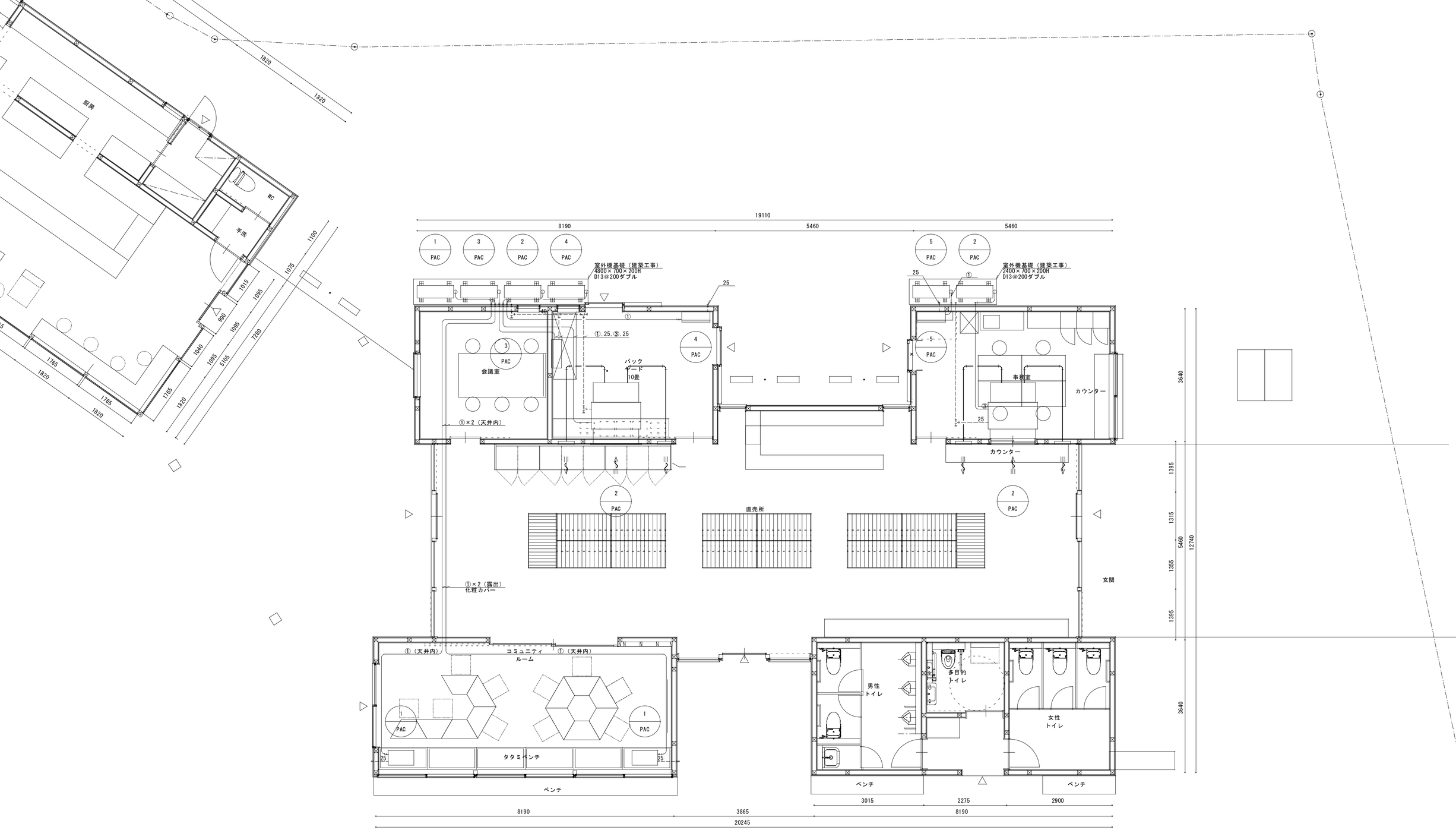
title
冷暖房機器リスト

scale
N・S

check
2025.6.19

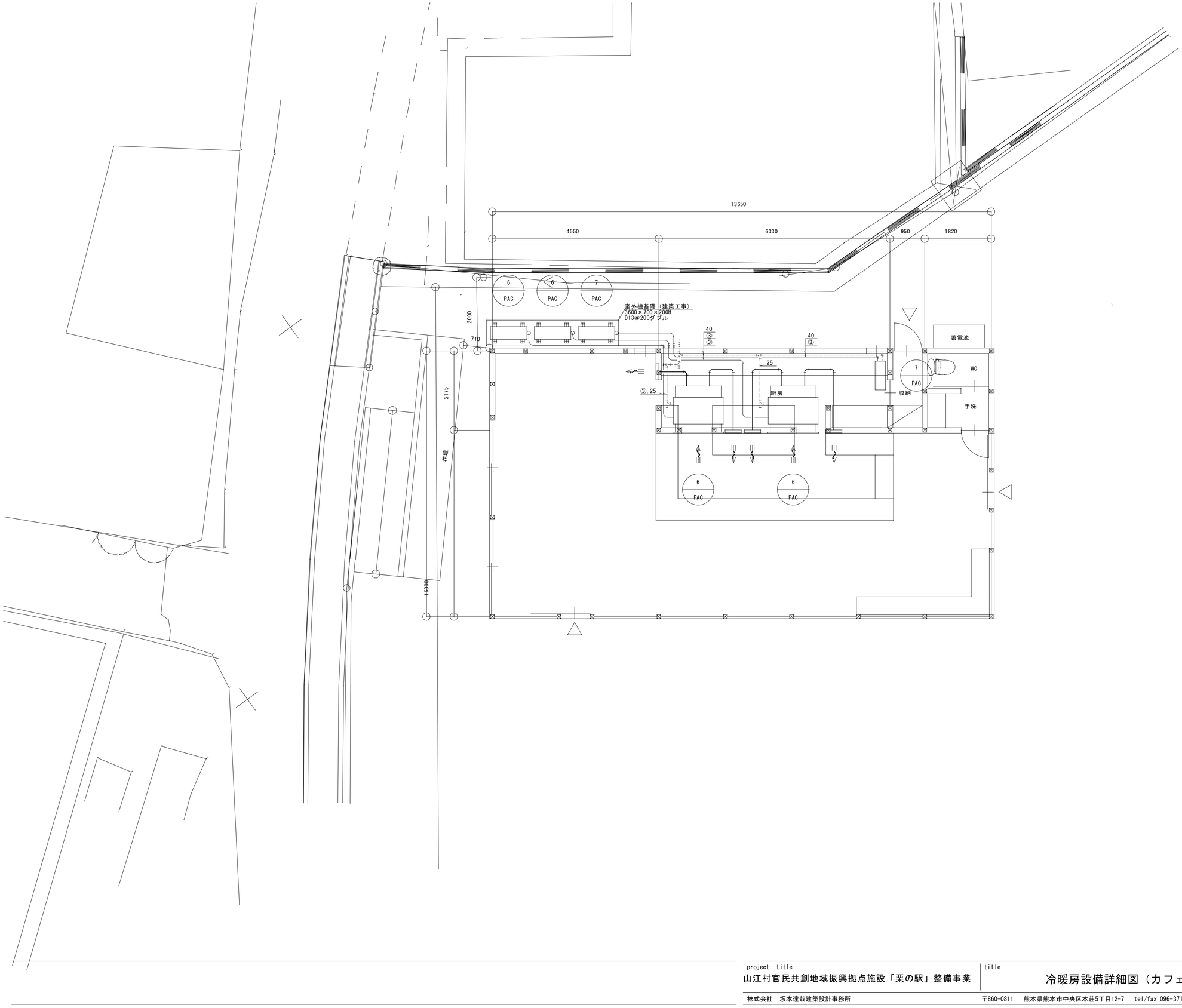
no
M-10

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



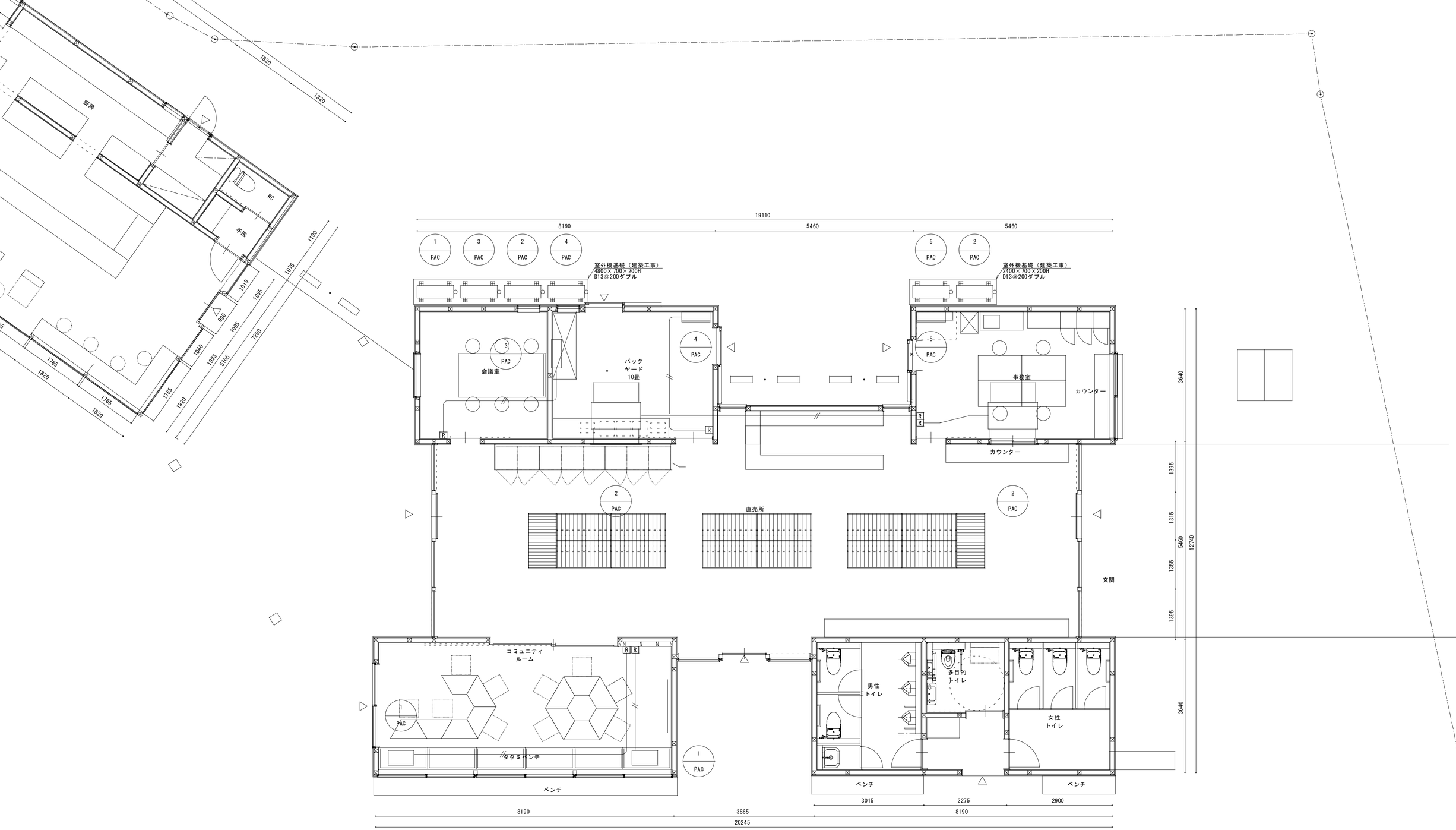
project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 冷暖房設備平面詳細図（直売所）	scale A3：1/100 A1：1/50	check 2025.6.19	no M-11

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 冷暖房設備詳細図（カフェ）	scale A3:1/100 A1:1/50	check 2025.6.19	no M-12

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



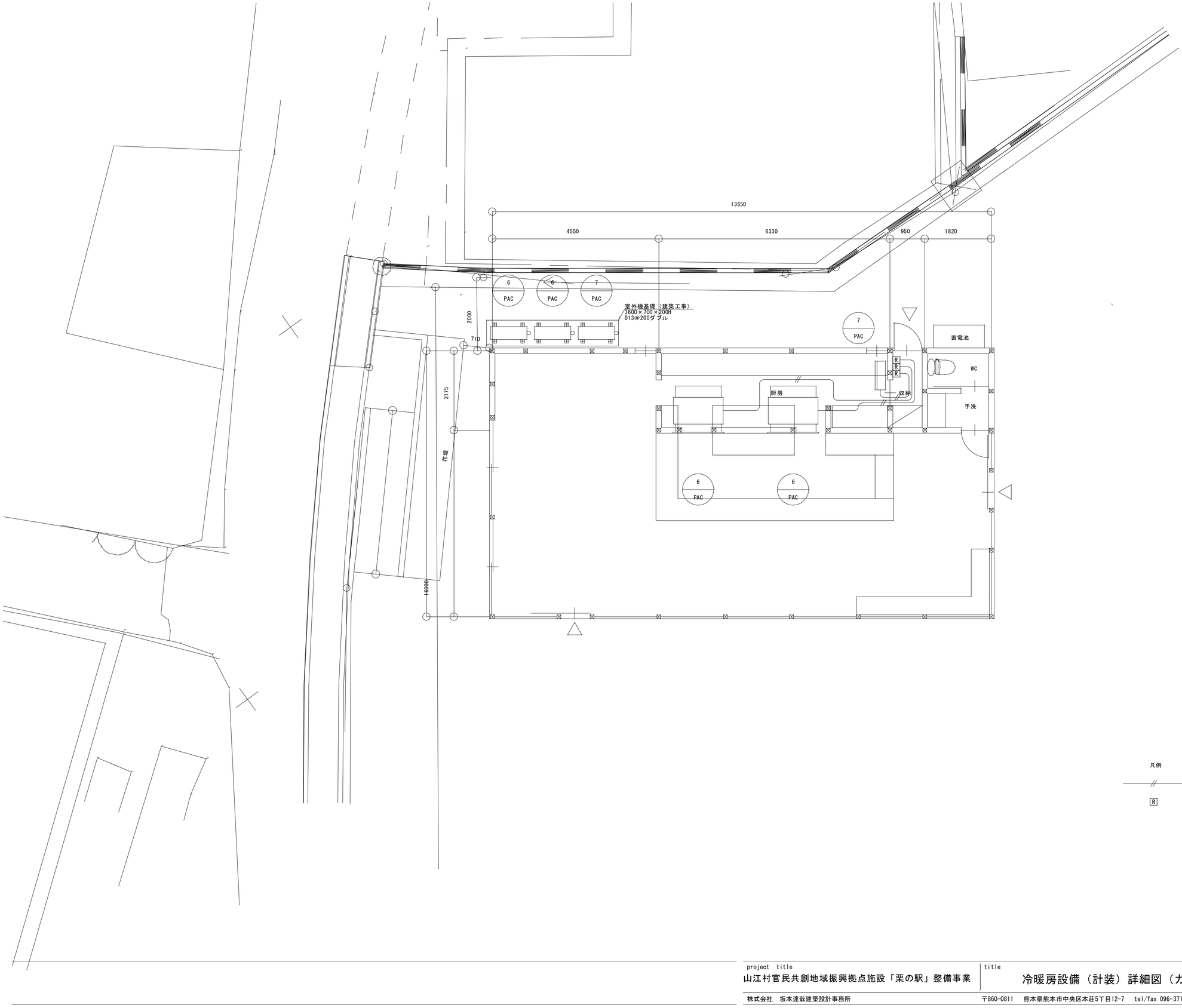
凡例

EM-CEES1.25-2C（冷媒管共巻き。単独露出部は第一種金属線びA型にて保護）

R　空調リモコン（メーカー標準）

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 冷暖房設備（計装）平面詳細図（直売所）	scale A3：1/100 A1：1/50	check 2025.6.19	no M-13

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



凡例

EM-CEES1.25-2C（冷媒管共巻き。単独露出部は第一種金属線びA型にて保護）

R　空調リモコン（メーカー標準）

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 冷暖房設備（計装）詳細図（カフェ）	scale A3:1/100 A1:1/50	check 2025.6.19	no M-14

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

【新設】換気機器明細表

記号	機器名称	仕　様	電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 w	電気容量 A	台数	設置場所
1 EF	有圧換気扇（OF-1と連動）	形　式　有圧換気扇400φ・（参考品番：EWDC-40ESA） 羽根径　400　φ　設計風量　3688　m3/h以上（4350m3/h） 付属品　ウェザーカバー（SUS製・防虫網付き・指定色塗装）	1	100	400	5.4	1	厨房
2 EF	標準換気扇	形　式　標準換気扇250φ・（参考品番：EX25SC4） 羽根径　250　φ　設計風量　780　m3/h以上（860m3/h）　24時間換気：98m3/h以上（445m3/h） 付属品　ウェザーカバー（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），24hスイッチ（電気設備へ支給）	1	100	38		1	カフェ
3 EF	天井換気扇	形　式　ダクト用換気扇 天井埋込形・（参考品番：VD-20ZAVC7） 羽根径　150　φ　設計風量　264　m3/h以上（380m3/h）　15 Pa 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装）	1	100	16.5		2	男性トイレ、女性トイレ
4 EF	ストレートシロッコファン	形　式　ストレートシロッコファン・（参考品番：BFS80SUDC） 羽根径　200　φ　設計風量　780　m3/h以上（800m3/h）　60 Pa　24時間換気：97.3 m3/h以上（320m3/h）27　Pa 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），24hスイッチ（電気設備へ支給）	1	100	18		1	直売所
5 EF	天井換気扇	形　式　ダクト用換気扇 天井埋込形・（参考品番：VD-15ZVC7） 羽根径　100　φ　設計風量　180　m3/h以上（200m3/h）　60 Pa　24時間換気：15m3/h以上（85m3/h）　27　Pa 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），24hスイッチ（電気設備へ支給）	1	100	19.5		1	会議室
6 EF	天井換気扇	形　式　ダクト用換気扇 天井埋込形・（参考品番：VD-13ZAVC7） 羽根径　100　φ　設計風量　113　m3/h以上（120m3/h）　15 Pa 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装）	1	100	4.2		1	多目的トイレ
7 EF	標準換気扇	形　式　標準換気扇200φ・（参考品番：EX-20SC4-RK） 羽根径　200　φ　設計風量　300 m3/h以上（585m3/h）　24時間換気：30.4 m3/h以上（250m3/h） 付属品　ウェザーカバー（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），24hスイッチ（電気設備へ支給）	1	100	23.5		1	コミュニティールーム
8 EF	パイプ用ファン	形　式　パイプ用ファン・（参考品番：V-12PALD8） 羽根径　150　φ　設計風量　120　m3/h以上（131m3/h）　24時間換気：14.3 m3/h以上（90m3/h） 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），24hスイッチ（電気設備へ支給）	1	100	3.3		2	事務室、厨房
9 EF	パイプ用ファン	形　式　パイプ用ファン・（参考品番：V-08PPXD8） 羽根径　100　φ　設計風量　48　m3/h以上（120m3/h） 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装）	1	100	3.3		2	バックヤード、WC
1 OF	有圧換気扇（EF-1と連動）	形　式　有圧換気扇400φ・（参考品番：EWDC-40ESA） 羽根径　400　φ　設計風量　3688　m3/h以上（4350m3/h） 付属品　ウェザーカバー（SUS製・防虫網付き・指定色塗装）	1	100	365	5.1	1	厨房
1 OA	給気グリル（天井）	形　式　インテリアグリル（天井取付），風量調整機能付，フィルター付 ダクト径　150　φ 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），インテリア格子パネル					1	会議室
2 OA	給気グリル（壁）	形　式　インテリアグリル（壁取付），風量調整機能付，フィルター付 ダクト径　150　φ 付属品　深型フード（SUS製・防虫網付き・指定色塗装），インテリア格子パネル					5	直売所、コミュニティールーム、事務室 カフェ、厨房

※　カバー付24時間換気スイッチ（強弱付）は電気設備へ支給とする。
※　天井換気扇及び給気グリルは開口補強を行うこと。

※ ※　24時間換気機器を示す

project title
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

title
換気機器明細表

scale N・S

check 2025.6.19

no M-15

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

厨房
WC
手洗
1820
1820
1100
1075
1015
1095
990
1095
1095
1040
1095
5105
7280
1765
1820
1765
1820
1765
1820
19110
8190
5460
5460
会議室
バック・ヤード
10畳
事務室
カウンター
カウンター
直売所
玄関
コミュニティルーム
タタミベンチ
ベンチ
男性トイレ
多目的トイレ
女性トイレ
ベンチ
ベンチ
3640
1395
1315
5460
12740
1355
1395
3640
9 EF
8 EF
1 OA
2 OA
5 EF
2 OA
2 OA
4 EF
3 EF
7 EF
6 EF
3 EF
150
150
100
200
150
100
150

Ⓐ
吸い込み口
VHS-400×300
V=800m³/h
BOX 500×700×400H
25m/m GW+消音内貼

※ 24時間換気機器を示す

※ 給気ダクト（全数）および排気ダクトの外壁より1m以内は保温を行うこと

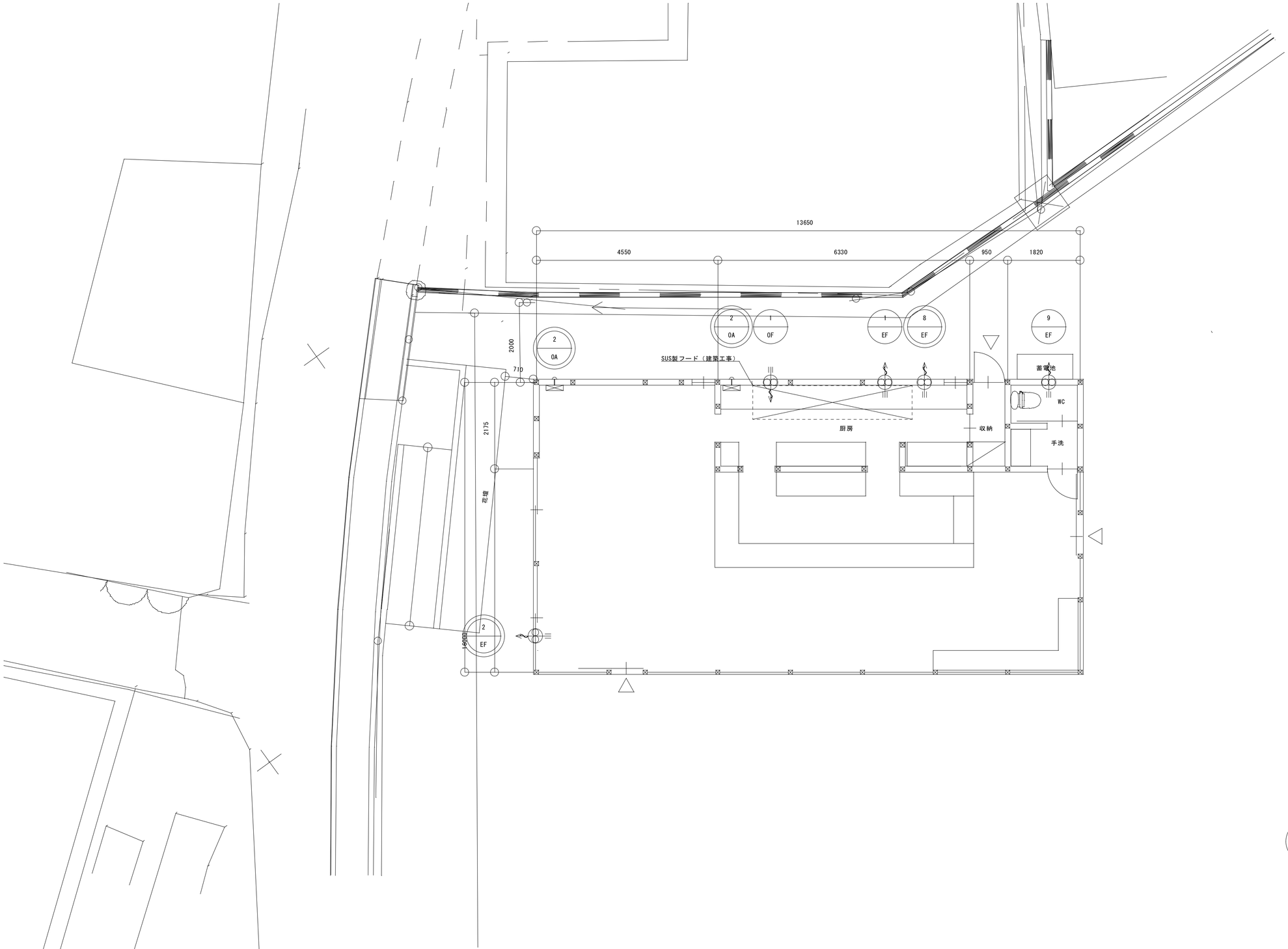
8190
3865
20245
3015
2275
2900
8190

project title
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

title
換気設備平面図（直売所）

scale A3:1/100 A1:1/50
check 2025.6.19
no M-16

株式会社 坂本達哉建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 tel/fax 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



※ 24時間換気機器を示す

※ 給気ダクト（全数）および排気ダクトの外壁より1m以内は保温を行うこと

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 換気設備平面図（カフェ）	scale A3:1/100 A1:1/50	check 2025.6.19	no M-17

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

水場
水庭
石蔵
（二ノ倉）
18㎡
ベンチ
敷地境界線
にぎわい
小路
噴水
にぎわい
広場
ふれあい
広間
側溝へ接続
配管貫通縮小
横断歩道
ベンチ
ベンチ
ベンチ
ふれあい
小路
原っぱ
すり鉢状
ふれあい
小路
栗加工場
事務室
社長室
厨房
売店
通路
休憩更衣室・来会議室
前室
栗・加工室
仕切りカーテン
ピット裏
障害者用
駐車場
N
+1000
+550
◆ 建築工事（別途）より取り出し
19110
8190
5460
5460
7470
3640
4550
会議室
バック
ヤード
事務室
直売所
「村の居間」
コミュニティ
ルーム
玄関
レンタサイクル
置場
駐輪場
男性
トイレ
多目的
トイレ
女性
トイレ
村の縁側
8190
20245
3865
3015
2275
2900
4550
13650
6330
1820
7980
4475
前庭
収納
手洗
WC
ベンチ
噴水

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title 雨水設備平面図	scale A3:1/200 A1:1/100	check 2025.6.19
			no M-18

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

熊本県電気設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事名称　山江村石蔵活用拠点施設設計

2 工事場所　熊本県球磨郡山江村大字山田甲１３８４－１　　地内

3 建物概要

	建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第１区分	備考
1	直売所	木造	１階	212,924	16項（イ）	
2	カフェ	木造	１階	99,372	16項（イ）	
3						
4						

※ 建築基準法に基づき定められた風速　(V0)　（　　m/sec　）
※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重　（　　）

※ 地表面粗度区分　Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ　Ⅳ

4 工事項目　（電気設備工事）○印を付したもの

	建物名 / 工事項目	1	2	3	4			屋外
1	電灯 ・ コンセント設備	○	○					
2	幹線 ・ 動力設備	○	○					○
3	電熱設備							
4	雷保護設備							
5	受変電設備							
6	電力貯蔵設備							
7	発電設備							
8	構内情報通信網設備	○	○					
9	電話・構内交換設備							
10	情報表示設備							
11	映像・音響設備							
12	拡声設備							
13	誘導支援設備	○	○					
14	呼出設備	○						
15	テレビ共同受信設備（CATV）	○						
16	テレビ電波障害防除設備							
17	監視カメラ設備	○	○					
18	入退室管理設備							
19	自動火災報知設備	○	○					
20	自動閉鎖・非常警報設備							
21	中央監視制御設備							
22	防犯設備							
23	電気時計設備							
24	外灯設備	○						○
25	構内配電線路							
26	構内弱電線路							
27	撤去工事							

5 工事項目　（機械設備工事）○印を付したもの

	建物種別及び屋外 / 工事項目	1	2	3	4			屋外
1	空気調和設備							
2	換気設備							
3	排煙設備							
4	自動制御設備							
5	衛生器具設備							
6	給水設備							
7	排水設備							
8	給湯設備							
9	消火設備							
10	厨房設備							
11	ガス設備							
12	浄化槽設備							
13	昇降機設備							
14	撤去工事							

6 設備概要　（機械設備工事）
（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない　○印を付けたものが該当項目となる）

空気調和方式	ダクト方式（　中央　各階ユニット）　ＦＣＵ方式 ＦＣＵ＋ダクト併用方式　パッケージ方式
主要熱源機器	空気熱源ヒートポンプユニット　吸収冷温水機　吸収冷温水機ユニット パッケージ型空気調和機　マルチパッケージ型空気調和機　ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機
換気設備	機械換気　（　有　無　）
排煙設備	機械排煙　（　有　無　）
自動制御設備	電気式　電子式　デジタル式
給水設備	水道直結方式　高置タンク方式（　上水　井水　中水　） ポンプ直送方式　（　上水　井水　中水　）　増圧ポンプ方式
排水設備	建物内の汚水と雑排水（　分流　合流　） ポンプ排水　（　有　（　湧水　雨水　雑排水　汚水　）　無　） 汚水放流先　（　公共下水道　し尿浄化槽） 雑排水放流先（　公共下水道　し尿浄化槽）
消火設備	屋内消火栓　（　１号　２号　）　屋外消火栓 連結送水　連結散水　泡消火　スプリンクラー　ハロゲン化物消火 二酸化炭素消火　新ガス系消火　フード等用簡易自動消火
ガス設備	都市ガス　（供給業者名　種別　発熱量　MJ/m3　） 液化石油ガス

※注意事項
① 工事用資・機材、建設副産物等の過積載をしないこと。
② 過積載を行なっている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
③ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することの無いようにすること。
④ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。
⑤ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ同団体への加入者の使用の促進に努めること。
⑥ 下請け契約の相手方又は資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
⑦ ①から⑥の事項につき、下請け契約における受注者を指導すること。

Ⅱ 特記事項

1 本工事の契約は、図面及び仕様書に基づくものとし、添付の工事内訳書は参考とする。
2 図面及び仕様書に記載されている製造所及び商品名は、製品の程度を示すものの参考とする。
3 契約締結後着工届を速やかに提出すること。現場代理人及び主任（監理）技術者通知書には、受注者に所属し、かつ、必要資格を有することが確認できる書類を添付すること。
4 建設業退職金共済制度の　「掛金収納書」　及び建設労災補償共済制度の　「加入証明書」　（写し）もしくは労働災害使用者賠償責任保険等加入を証する書類を契約後1月以内に提出すること。なお、建設業退職金共済制度の「掛金収納書」提出の必要がない場合は、建設業退職金共済証紙交付辞退届を提出すること。
5 特記仕様書に記載されている監督員の承諾、監督員との協議等の要領については、工事監理要領に定めるところによる。
6 使用材料及び下請業者については、県産資材、県内企業及び誘致企業の採用に努めること。県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得ること。なお、県産資材、県内企業及び誘致企業とは、以下に該当するものをいう。
(1) 県産資材とは、県内で産出、生産又は製造されたものをいう。
(2) 県内企業とは、県内に主たる営業所を置く建設事業者をいう。
(3) 誘致企業とは、県内に誘致された企業をいう。
7 本工事は電子納品対象工事とする。
8 暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
なお、遵守していないことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処する。
① 不当介入を受けた場合は、毅然としてこれを拒否し、不当介入があった時点で速やかに管轄警察署へ通報し、捜査上必要な協力を行うこと。
② 警察に通報等を行った内容について書面により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

Ⅲ 工事仕様

1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」
「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）」、及び「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）」による。
なお、公共住宅建設にあっては、国土交通省住宅局住宅総合整備課監修「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版）」を併せて適用する。
2 項目は、番号の前に ○印 の付いたものを適用する。
3 特記事項は、○印 の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。
5 各章の特記事項欄にある（　　）書きは新篇工事標準仕様書の章・節・項番号である。
6 使用する材料、工法については県監督員と協議のうえ、変更することができる。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	1 適用基準等	・建築工事標準詳細図　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 ・構内舗装 ・ 排水設計基準及び参考資料　（平成31年版）　同上 ・擁壁設計標準図　（平成12年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・公共建築改修工事標準仕様書　（建築・電気・機械設備工事編）　（令和4年版）　同上 ・公共建築木造工事標準仕様書　（令和4年版）　同上 ⊙公共建築設備工事標準図（電気・機械設備工事編）　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 ・建築物解体工事共通仕様書　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・鉄筋コンクリート工事標準図　（平成17年版）　熊本県建築士事務所協会発行 ・鉄骨工事標準図　（平成17年版）　熊本県建築士事務所協会発行 ・公共住宅改修工事共通仕様書（初版）　（初版）　公共住宅事業者等連絡協議会編集
	※ 2 電子納品に関する事項	（電子納品に関する基準） 電子納品に関する基準は、「熊本県電子納品運用ガイドライン※１」（以下、熊本県ガイドライン）による。 （電子納品） 電子納品とは、各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、熊本県ガイドラインに示すファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途、監督員と協議するものとする。 （電子データの貸与） 本工事では、設計図ＣＡＤデータを貸与する。（ＣＡＤデータの著作者は設計者） なお、貸与されたＣＡＤデータを当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。 （電子納品に要する経費） 電子化に要する費用は共通仮設費に含まれている。 ※１：熊本県ホームページの土木部－土木技術管理課のデータを参照（ダウンロード可） 熊本県HP　https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_1840.html
	3 工事実績情報の登録（工事カルテ）	※ 要　（提出先：（一財）日本建設情報総合センター）　・ 不要　（1．1．4） 工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）
	※ 4 品質計画	※ 品質計画については、監督員の承諾を受けること。　（1．2．2）
	◯ 5 電気保安技術者	・ 適用する　⊙適用しない　（1．3．3）
	※ 6 施工条件	※ 現場説明書による　・ 図示による　（1．3．5）
	7 発生材の処理等	引渡しを要するもの　（　）　（1．3．11） 引渡し場所　※ 構内　・（　） 特別管理産業廃棄物　・ 種類　（　） 廃棄物の搬出方法等　分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行ったうえで、下記の場所に搬出することとし、「建設副産物の再生利用指針」 の建設発生材処理フローにより適切に処理すること。 ①受入場所　※ 処分場　（　）　・ 自社処分 原則として再資源化施設とする ②仮置き等　必要な場合は、法律に違反しないように適切に処理すること。 現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの　（　） 建設廃棄物処理実施計画書、建設廃棄物処理実績集計表及びﾏﾆﾌｪｽﾄ伝票の写し等を提出すること。 建設副産物情報交換システムに登録し証明書を提出する。 登録に関する問い合わせ先：　（(一財)日本建設情報総合センター　内 建設副産物情報センター　TEL:(03)3505-0410　FAX:(03)3505-0520） 工事着工時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を提出し、工事完了時に再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。 自社処分　自社処分の場合で、処分が困難となった時は、監督員と協議すること。 ・ 建設リサイクル法　　竣工時に、再資源化等報告書を監督員に提出すること。 産業廃棄物税　本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税（熊本県産業廃棄物処理税）が課税されるので適正に処理すること。 ・ 本工事では、産業廃棄物の最終処分における熊本県産業廃棄物税相当額を見込んでいる。
		型枠の端材、塗料の空缶等については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、元請業者の責任において適正に処理すること。 水銀含有物（蛍光管等）については電気設備工事特記仕様書（その２）「発生材の処理等」に基づき適正に処理すること。 フロンガス含有物（空調機器等）については機械設備工事特記仕様書（その２）「発生材の処理等」に基づき適正に処理すること。 石綿含有廃棄物については環境省「石綿含有廃棄物等処理マニュアル」に基づき適切に処理すること。
	8 再生資材活用	受注者は、熊本県グリーン購入推進方針に適合するリサイクル建設資材の活用に努めるものとする。 受注者は、ﾘｻｲｸﾙ建設資材を使用する場合、工事材料確認検査願い提出時に品質・性能に関する書類に加え、以下の書類を提出すること。 ・熊本県グリーン購入推進方針判断基準等適合報告書 ・有害物質の溶出・含有等に関する証明書 ・再生材料供給証明書 〔例外１〕 次の資材については、上記書類の提出を求めない。 ・コンクリート塊又はアスファルト・コンクリート塊のみを再生材料として使用した「再生加熱アスファルト混合物」及び「再生路盤材」 ・高炉セメント ・エコマーク認定製品 〔例外２〕 該当する項目に係る有害物質の溶出及び含有、アスベスト（石綿）の含有、水素イオンの溶出、硫化水素等の発生に関する検査を不要としている資材については、「有害物質の溶出・含有等に関する証明書」 の提出は求めない。
	9 再生資材の利用	再生資材の利用又は現場内で流用をする場合は、土木部で定めた「建設副産物の再生利用指針」による。 対象資材　：　コンクリート塊、　アスファルトコンクリート塊、　建設発生木材
	◯ 10 建設発生土の利用	建設発生土が発生し、又は建設発生土を利用する場合は、土木部で定めた「建設発生土の利用と処理指針」による。
	11 建設汚泥処理土の利用	建設汚泥を再生した建設汚泥処理土の利用は、土木部で定めた「建設汚泥の処理と建設汚泥処理土の利用指針」による。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	12 技能士	適用工事種別　（　）内は、適用作業　（1．5．2） 鉄筋工事　１級鉄筋施工技能士 コンクリート工事　・１級左官技能士　・１級型枠施工技能士　・１級コンクリート圧送施工技能士 鉄骨工事　１級とび技能士 ブロック及びALCパネル工事　１級ブロック建築技能士 防水工事　１級防水施工技能士　（　作業） 石工事　１級石材施工技能士 タイル工事　１級タイル張り技能士 木工事　１級建築大工技能士 屋根及びとい工事　１級建築板金技能士（内外装板金作業） 金属工事　・１級内装仕上げ施工技能士（鋼製下地工事作業）　・建築板金（内外装板金作業） 左官工事　１級左官技能士 建具工事　・１級サッシ施工技能士　・１級ガラス施工技能士 塗装工事　１級塗装技能士　（　作業） 内装工事　１級内装仕上げ施工技能士　（　作業） １級表装技能士　（　作業） 植栽工事　１級造園技能士 設備工事　・１級配管技能士　・１級冷凍空気調和機器施工技能士 ・１級熱絶縁施工技能士　・１級建築板金技能士（ダクト板金作業） 技能士は、資格を証明する資料を監督員に提出すること。
	13 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	14 建設工事使用機械等	※ 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 ※ 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。 ※ 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。
	15 設計ＧＬ	※ 図示による。　・ 現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による。
	16 既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。
	17 他工事との取合い	施工範囲　別表－１　による。 施工図　設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。
	18 建築材料 設備機器等	ホルムアルデヒド放散量 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。 ※ Ｆ☆☆☆☆　・（　）
	19 化学物質の濃度測定	・ 行う。　・ 行わない。　（1．5．9） 厚生労働省が定める化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象室名　：（　） 測定法　・ アクティブ型　・ パッシブ型　・ その他
	※ 20 工事写真等	撮影箇所及び撮影方法は、「熊本県建築工事写真撮影要領」による。 着工前、工事中、竣工時及び完成写真用写真の撮影は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下記業者の撮影とする。 ・ 監督員の承諾を受けた写真専門業者　※ 監督員の承諾を受けた撮影者
	※ 21 完成図	貸与した原図（電子データを含む）に変更内容を加筆訂正し、下記のものを添えて監督員に提出すること。　（1．7．1　1．7．2） また、施設引渡し品がある場合、その受領書（写）を監督員に提出すること。 工事完成図　（２つ折製本（Ａ４）１部、２つ折製本（原図）１部、Ａ４版折込製本（原図）１部） 試験成績表、保証書、取扱説明書等 電子データについては、熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品を行うこと。
	※ 22 施工図	熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品するものとする。 当該建築物の取得する施工図等の著作権に係わる使用権は、当該建築物に限り発注者に移譲する。
	◯ 23 保全に関する資料	※ 提出する。　・ 提出しない。　（1．7．1　1．7．3） 提出部数　※ ２部　・（　）部
	※ 24 保険等	熊本県公共工事請負契約約款第５０条第１項により、次の保険等（その他これに準ずるものを含む）に付さなければならない。 （1）　保険の種別　・ 火災保険又は建設工事保険 ※ 組立保険　（請負業者損害賠償責任担保特約付き） （2）　保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）（損害賠償等特約を含む） （3）　保険の加入期間　※ 工事着手後（原則とする）速やかに加入し、工期末より３０日間以上 ・ その他　（　） （4）　保険金額　※ 原則として請負金額に相当する金額 ・ その他　（　）
	※ 25 安全施工実施対策	※ 建築工事安全施工技術指針にしたがい、工事の安全確保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監督員へ提出すること。
	26 官公庁への諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特記ある事項は別途とする。　（1．1．3）
	27 石綿（アスベスト）	工事開始前に労働基準監督署と自治体（自治体への報告は大気汚染防止法に基づくもの）に対して、本工事に関係する石綿の有無について事前調査結果の報告を行うこと。 事前調査結果の報告については、石綿事前調査結果報告システム（https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp）を用いても良い。 また、石綿の有無の事前調査の対象箇所については、県監督員と協議のうえ決定すること。
2 仮設工事	1 既存部分の養生	養生方法　※ ビニールシート等による。　・（　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※ 行わない。　・ 行う　（図示による） 既存家具等の養生　・ ビニールシート等による。　・（　）
	◯ 2 監督員事務所	・ 設ける　※ 設けない 面積規模　（　）㎡程度　備品については、監督員の指示による。　（2．3．1）
	3 工事用水	構内既存の施設　※ ・ 利用できる(※有償　・無償)　・ 利用できない
	◯ 4 工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる(※有償　・無償)　※ 利用できない
	5 外部足場	※枠組本足場　・ その他（　）
	6 手すり先行足場	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第０４２４００１号平成２１年４月２４日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。
3 土工事	◯ 1 埋戻し及び盛土	種別　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　（3．2．3）（表3．2．1）
	◯ 2 建設発生土の処理	※ 構外指示の場所　（3．2．5） 受け入れ場所　（　） 受け入れ場所での処置　（ ⊙敷きならし　※ たい積 ） 搬出距離　（　）km 上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する 構内指示の場所　（ ・ 敷きならし　・ たい積 ）

R５．３．１７改定

熊本県電気設備工事特記仕様書		建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事　登録番号　3771号 株式会社坂本達哉建築設計事務所	工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業
		設計者氏名	一級建築士　大臣登録　第285008号　坂本達哉	図面名称	電気設備工事特記仕様書　（その１）
				図面番号	E-01

章	項目	特記事項
4 特記事項	○1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする。
	○2 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による。
	○3 関連法規等	電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者（ＮＴＴ等）の内規を厳守して完全に施工すること。
	○4 容量などの表示	（１）機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は原則として表示された数値以上とする （２）消費電力は原則として表示された数値以下の電力とする
	5 耐震施工	（１）機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人建築研究所監修 2014年版）」による ① 設計用水平地震力 機器の重量［ｋＮ］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、下表による。　※地域係数 Z=1.0 としている 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ）　※ 該当する施設に○をつけること

設置場所	耐震安全の分類							
	・特定の施設（耐震クラスS）				・一般の施設（耐震クラスA）			
	機器類	電気配線（金属管等）	ケーブルラック	発電設備配管等	機器類	電気配線（金属管等）	ケーブルラック	発電設備配管等
上層階、屋上及び塔屋	２．０	12m以内ごとにSA種耐震支持	6m以内ごとにSA種耐震支持	SA種耐震支持	１．５	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種又はB種耐震支持	A種耐震支持
中間階	１．５	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種耐震支持	SA種耐震支持	１．０	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	8m以内ごとにA種又はB種耐震支持	A種耐震支持
１階及び地下階	１．０	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種耐震支持	A種耐震支持	０．６	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	A種又はB種耐震支持

※ 上層階の定義は次による

建物階数	上層階	建物階数	上層階
２～６階建	最上階	１０～１２階建	上層３階
７～９階建	上層２階	１３階建	上層４階

② 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする
③ 軽量機器等の耐震施工
重量１ｋＮ以下の軽量な機器の耐震支持については、本指針に準拠あるいは同等な設計用地震力に耐える方法で設計・施工されることを推奨する。ただし、耐震支持の詳細は、軽量であることを考慮し、支持される上面スラブ、壁、床など）が地震によって生じる力に十分耐えるように検討されている必要がある

（２）建物への配線引込部について地盤変位の想定沈下量は、
（　0.2m以下　　0.6m以下　　1.0m以下　）とする

	○6 配管工事	（１）特に指示なき電線管はねじなし電線管を使用し、ＰＦ管は一重管とすること。 （２）一区間の恒長が３０ｍを越える場合及び施工に必要な場合は、特に図示してなくとも中継ボックスを設けること （３）予備配管には、１．６ｍ／ｍ以上のビニール被覆鉄線を入線すること
	○7 構内及び構外舗装	構内では、路盤材料は再生クラッシャランを用い、アスファルト舗装は再生密粒度アスファルト混合物を利用すること 構外では、　表層路盤　（※ 再生アスファルト　新７０％再３０％　再１００％ ） 基層路盤　（※ 再生アスファルト　新７０％再３０％　再１００％ ） 上層路盤　（※ 再生粒調砕石　再生クラッシャラン ） 下層路盤　（　再生粒調砕石　※ 再生クラッシャラン ）を利用すること
	○8 標識シート等	全ての地中埋設配管には ＧＬ－３００ の位置に標識シート等を２倍長以上重ね合せて敷設し、高圧ケーブル、低圧ケーブル及び弱電ケーブル等には、種別及び行先を表示すること
	○9 屋外の支持金物等	（１）屋外の支持金物、ボルト及びナット類は、溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZ35以上）又はステンレス製とする （２）ナットの固定には、ダブルナット又は抜け止め対策を行う
	○10 配管塗装	（１）指定箇所の露出配管、露出ボックス類の塗装は、素地ごしらえのうえ、監督員の指定する色にて、ＯＰ２回塗りとする （２）指定場所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする （３）湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること （４）図面に特記なき場合は、溶融亜鉛めっき仕上げではＪＩＳ Ｈ 8641で規定するHDZ35以上とすること （５）仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと
	○11 配分電盤及び操作盤	（１）配分電盤及び操作盤（以下、盤という）は、監督員の指定する色（既製品を除く）にて焼付け塗装すること （２）電灯分電盤については中枠及び開戸式内扉を設けるものとし、盤内配線の主幹と分岐開閉器間は銅帯とすること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない （３）盤には、二重天井の場合、監督員の指示する大きさの予備配管を２本以上天井内まで立上げ、エンドカバー又はブッシングを設けること （４）銘板には製造者及び請負者の連絡先を入れること （５）積算電力量計について、特記なき場合は検定付とすること （６）ドア裏面の充電部が露出する部分は原則感電防止の処置を施すこと （７）屋内設置の外面積厚は、（　30μm以上　゛!40μm以上　90μm以上　゛!)゛!とする 屋外設置の外面積厚は、（　60μm以上　゛!90μm以上　゛!120μm以上゛!)゛!とする
	○12 端子盤及び保安器箱	塗装及び予備配管は、「特記事項１１の配分電盤及び操作盤」と同様とする
	○13 ボックス等	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、金属製とする
	○14 配線器具等	（１）フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする （２）公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付きとする （３）特記無きスイッチはワイドハンドルスイッチとする
	○15 幹線ケーブル	主要な幹線ケーブルは、プルボックス、ハンドホール等内で、円回し等により余長を確保すること なお、この際はケーブルを緊縛してはならない
	○16 表示等	（１）プレートの表示 器具を実装しないものについては、下記の要領で用途を明示すること （電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ﾍﾟｰｼﾞｬｰ、ｲﾝﾀｰﾎﾝ、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等） （２）幹線の表示 強電、弱電の幹線引出口、引込口、プルボックス内及びハンドホール内の必要な箇所には、行先、回路種別及びケーブルサイズ等を明示した表示札、プレート等を設けること （３）プルボックス及びハンドホールの表示 プルボックスの表面に用途表示を行うこと ハンドホールの蓋には熊本県章を表示し、用途別に「高圧」「電気」「弱電」「電話」等と表示すること。

4 特記事項	17 接地工事	（１）接地埋設標は黄銅板製の刻記式とし、Ａ種接地工事（柱上高圧機器を除く）、受電設備等のＢ種接地工事、その他図面に特記する接地工事に設けること （２）接地極の材料は、下表による。（枚数及び本数は最低の値とする。）

接地極の種類		記号	接地極の材料	
			銅板	接地棒
電力	共同	$E_{A,B,D}$	１枚	２本
	Ａ種接地工事	E_A		６本
	柱上高圧機器	E_{Bp}		２本
	Ｂ種接地工事	E_B		２本
	Ｃ種接地工事	E_C		６本
	Ｄ種接地工事	E_D		１本
通信情報	構内交換機　陽極	E_1	１枚	２本
	〃　本配線盤の保安装置	E_{1p}	１枚	２本
	保安用（　１０Ω以下）	E_{A1}		６本
	保安用（１００Ω以下）	E_{B1}		１本
	拡声用増幅器（１００Ω以下）	E_{D1}		１本
雷保護	避雷設備	E_L	１枚	２本
	低圧避雷器（　１０Ω以下）	E_{LL}		６本
他	測定補助用	E_O		１本

接地極銅板　：１．５ｔ×９００□
接地棒　：１４φ×１，５００Ｌ（一般用）
：１０φ×１，０００Ｌ（外灯）
：１０φ×１，０００Ｌ（測定補助用）　２ヶ所

	○18 照明器具の接地	ＬＥＤ照明器具の金属製部分には、Ｄ種接地工事を施すこと ただし、二重絶縁構造のもの、使用電圧が直流300Ｖ以下又は対地電圧が交流150Ｖ以下のＬＥＤ照明器具を乾燥した場所に施設する場合は、接地工事を省略することができる 接地線は原則として緑色の ＩＥ １．６ｍｍ 以上とし金属配管の場合は配管を利用してもよい
	19 避雷器	・ 低圧用ＳＰＤの性能は（・ クラスⅠ（性能は図示による）・クラスⅡ ）とする ・ 通信用ＳＰＤの性能は（・ Ｃ２　・ Ｄ１（性能は図示による）・ 図示による ）とする
	○20 ＬＥＤ制御装置	図面に特記なき場合は、一般形（ＬＮ）、初期照度補正形（ＬＪ）、連続調光形（ＬＸ）とすること
	○21 外灯設備	（１）図面に特記なき場合は、鋼管ポールは、溶融亜鉛メッキを施し、素地ごしらえの後、指定色２回塗りとすること （２）ポール内等に配線用遮断器（引外し装置無）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を設けること
	○22 照度測定	測定箇所　・ 学校環境衛生基準による。　⊙ 監督員の指示による。
	23 キュービクル型受変電設備	（１）変圧器の２次側には最大需要電流計（電子式）を設けること （２）変圧器の２次側と配線用遮断器の１次側間は銅帯とすること （３）幹線と配線用遮断器を接続するための端子台を設けること （４）充電部の保護用として、取っ手を付けたアクリルパネルを隙間なく設けること （５）変圧器は原則として、熊本県グリーン購入推進方針適合品とする （６）高圧充電部の近くには高圧危険表示をすること （７）変圧器の仕様は（・ 標準仕様　・ 準標準仕様 ）とする （８）変圧器は防振ゴム付きとする （９）屋内設置の外面積厚は、（・ 30μm以上　・ 40μm以上　・ 90μm以上 ）とする 屋外設置の外面積厚は、（・ 60μm以上　・ 90μm以上　・ 120μm以上 ）とする （１０）変圧器の温度管理は、(・ダイヤル温度計　・不可逆性の感熱表示ラベル等)とする
	24 発電設備	潤滑油系統のプライミング方法は、（・定期的プライミング　・始動時プライミング）とする
	○25 通信・情報設備	ケーブルは監督員の指定する色を用い、露出部分（端末接続部分を除く）を保護すること ＵＴＰケーブルを除き、配線完了後、絶縁抵抗試験を行うこと ＵＴＰケーブルは、配線完了後、フロア配線盤から通信アウトレットの区間で、伝送品質測定を行うこと 光ファイバケーブルは、配線完了後、伝送損失測定を行い、システムを構成する機器の許容伝送損失値以下であること
	26 インターホン設備	卓上型機器への接続は、原則としてコネクターによる。 また、ケーブルはインターホン用絶縁耐燃性ｽﾞﾘｯﾄﾁｭﾝｼｰｽｶｰﾌﾟﾙを用いること
	27 音響設備	音響装置は動作試験の他に次の測定を行うこと ・インピーダンス　・残響時間　・伝送周波数特性　・音圧分布
	28 ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備	（１）アンテナは、素子数 20以上とする。 （２）受信調査は、地上波放送局分とし、監督員に報告すること
	29 電気時計設備	子時計の配線接続には２極コネクターを用いること
	30 消火ポンプ起動	特記なき場合は、発信機連動方式とする。 その場合、発信機表面に「消火栓連動」等の文字を併記すること
	31 壁貫通	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探査を行う。 ・ レントゲン撮影　・ 金属探知機
	32 あと施工アンカー	・ あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ・ 施工者資格　（・ 第1種あと施工アンカー施工士　・ 第2種あと施工アンカー施工士 ） ※ 試験　※ 自主検査（全数） ・ 加力検査（・ 非破壊試験　　か所　・ 破壊試験　　か所 ）
	33 改修工事	改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認・測定等を着工前に行い、監督員に報告すること ・ 既設機器の動作確認 ・ 照度測定　範囲　（※ 居室　※ 教室　・指定する場所　（　　）） ・ 絶縁測定　（・ 幹線　・ 分岐回路　・ 弱電ケーブル ） ・ 接地抵抗測定　・ 導通試験
	34 発生材の処理等	・水銀含有物（蛍光管、水銀ランプ）の処理は次のとおり行うこと。 (1) 破砕施設にて破砕し、破砕したガラス、ガラスに塗布された蛍光塗料、蛍光管等に封入された水銀その他資源化可能なものを分離し、回収することができる設備を有する廃棄物処理業者と契約すること。 (2) 工事請負者は廃棄物処理事業者との処理委託契約書の写しを県に提出すること。 (3) 廃棄物処理業者は回収した資源化可能なものは、可能な限りリサイクルするものとする。 (4) 蛍光管等を破砕する際には、封入されたガス状水銀及び金属水銀が環境中に飛散しないよう、破砕施設に吸引装置を設けガス状水銀等を吸引すること。　また、吸引したガス状水銀は活性炭等に吸着させ環境中に放出しないようにすること。なお、この方法によらない場合は、この方法と同等または同等以上の方法で処理を行うこと。 (5) 再資源化に関しては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）」及び関係法令を遵守すること。 (6) 廃蛍光管等の保管・収集運搬用容器については、保管及び運搬中に蛍光管が割れガス状水銀等が環境中に飛散しないよう適切なものを使用すること。 ・イオン化式感知器は、梱包箱の外部の見えやすい位置に「放射性・L型輸送物相当」と明記し、製造元に連絡の上送付する。

4 特記事項

機器の取付高さ
機器取付高さは下表を原則とする　（ただし、総括監督員、主任監督員の指示により変更することがある）

名称		測点	取付高 (mm)
取引用計器		地上　～　中心	約１，８００　～　約２，０００
引込開閉器		床上　～　中心	約１，８００　～　約２，２００
分電盤		床上　～　中心	約１，５００　～　約２，１００
ブラケット	洗面器	鏡上	約　１００
	階段踊場	床上　～　中心	約２，０００　～　約２，５００
スイッチ	屋外	床上　～　中心	約１，５００
	一般	床上　～　中心	～　約１，１００
	住宅	床上　～　中心	約１，１００
コンセント	一般	床上　～　中心	約　４００　～
	台上	台上　～　中心	約　２００
	土間	床上　～　中心	約　８００
	畳	床上　～　中心	約　４００
手元開閉器		床上　～　中心	約１，５００
壁掛型制御盤		床上　～　中心	約１，５００
消火栓表示灯		床上　～　中心	約２，０００　～　２，５００
端子盤		床上　～　下端	約　７００　～
保安器ボックス		床上　～　下端	約２，０００
電話位置ボックス壁、テレビ端子		コンセントに準じる	
受信機、副受信機（壁掛型）		床上　～　操作部	約　８００　～　１，４００
分布型感知器		床上　～　中心	約１，７００
発信機		床上　～　操作部	約　８００　～　１，４００
表示灯		床上　～　中心	約１，９００
ベル		床上　～　中心	約２，３００
感知器試験機		床上　～　中心	約１，５００
呼出ブザー		床上　～　中心	約１，５００
トイレ呼出ボタン		床上　～　中心	約　４００、８００
押ボタン	屋外	床上　～　中心	約１，５００
	屋内	床上　～　中心	約１，３００
インターホン（壁掛）		床上　～　中心	約１，１００
子時計		床上　～　中心	約２，３００
警報盤		床上　～　中心	約１，３００
壁掛音量調節器		床上　～　中心	約１，１００
スピーカー		床上　～　中心	約２，３００
表示器		床上　～　中心	約２，３００

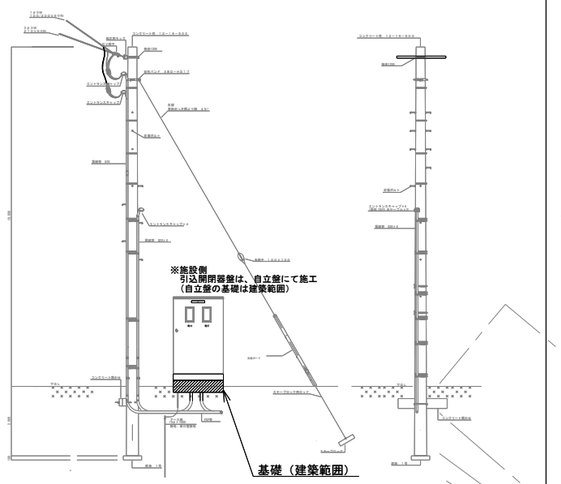
工事区分
別表－１の記入上の注意　　該当箇所は　●（黒塗り）　とし該当しない工事内容及び区分欄は斜線消去すること
別表－１　他工事との工事区分表

工事内容				建築工事	電気設備工事	機械設備工事	別途工事
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		○		
			屋外		○		
			屋上	○			
		自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）		○			
		テレビアンテナ基礎（　〃　）					
		避雷針の基礎（　〃　）					
	機械関係	屋内設備　（架台、アンカーボルトを除く）				○	
		屋上設備（　〃　）		○			
		屋外設備（　〃　）				○	
	架台、アンカーボルト					○	
	特記した基礎			○			
開口部	梁、床、壁、貫通スリーブ	補強を要するもの			○	○	
		補強を要しないもの			○	○	
	梁、床、壁、貫通部型枠	補強を要するもの		○			
		補強を要しないもの		○			
	軽量鉄骨下地、壁天井ボード類の切	補強を要するもの		○			
		補強を要しないもの（アウトレットﾎﾞｯｸｽは除く）		○			
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの		○			
		補強を要しないもの		○			
	上記開口部の補強			○			
	上記開口部の墨出し				○	○	
	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）				○	○	
	フリーアクセスフロア用配線器具			○			
点検口	床、壁、天井			○			
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む			○			
湯沸室のフード				○			
換気扇の取付枠							
流し台	排水トラップ共			○			
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤		自家発用				
	タンク基礎		空調用			○	
床下水槽のマンホールふた				○			
屋外排水管	雨水			○			
	汚水、雑排水					○	
雨水立管（たてどい）				○			
トイレ手すり						○	
化粧かがみ						○	
はめ込形洗面器用カウンター（前板共）				○			
ガスボンベ転倒防止用の鎖						○	
電気・配管・配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ			○			
	防火扉レリーズ						
	電極棒					○	
	配線ピット及びふた			○			
	機器などへの接続（１次側）				○		
	機器付属の制御盤以降の２次側の配線配管（接地共）					○	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線				○		
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線						
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線						
	天井吊り形ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	付属操作スイッチとの渡り配管（接地共）					
		付属操作スイッチとの渡り配線				○	
		付属操作スイッチ				○	
		付属操作スイッチの埋込ボックス					
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）					○	
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線						
	小便器用節水装置の制御盤以降の２次側の配管配線					○	
ガス漏れ検知器							
電気錠	電気錠及び通電金具			○			
	ＴＥＮキー及び制御盤			(○)			
エレベーター出入口三方枠（金属製）				○			
エレベーター出入口三方枠（石製）				○			
シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン				○			
システム天井	ボード・Ｔバー			○			
	照明ライン設備プレート						
	空調ライン設備プレート					○	

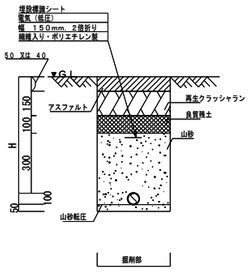
Ｒ５．３．１７改定

熊本県電気設備工事特記仕様書	^!熊本県土木部建築住宅局○○課	建築士事務所名	一級建築士事務所　熊本県知事　登録番号　3771号 株式会社坂本達哉建築設計事務所	工事名称	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業
		設計者氏名	一級建築士　大臣登録　第285008号　坂本達哉	図面名称	電気設備工事特記仕様書（その２）
				図面番号	E-02

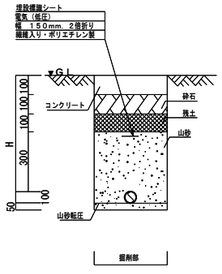
低圧引込柱施工要領



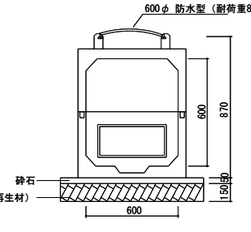
敷地内埋設配管施工要領図（アスファルト）



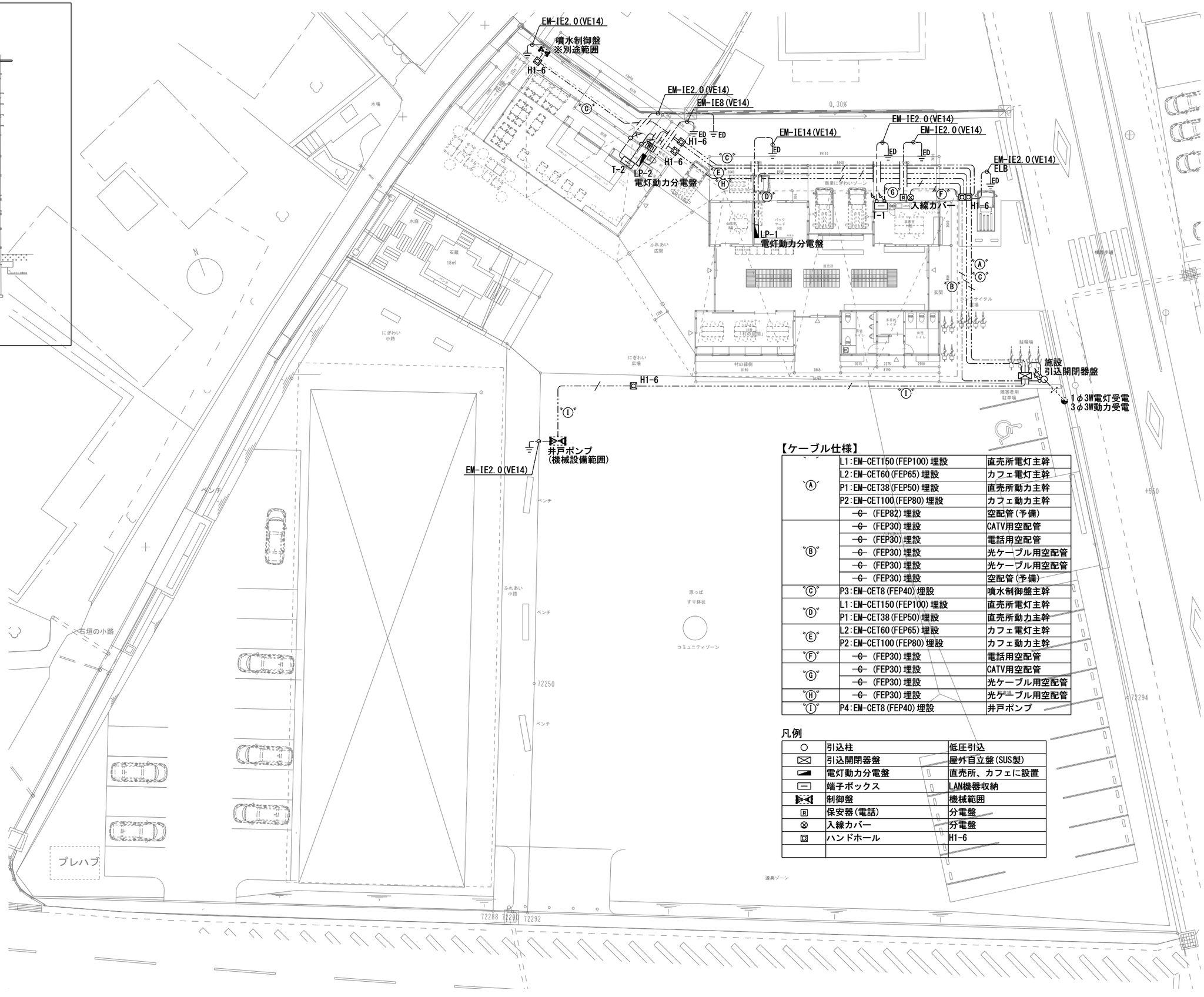
敷地内埋設配管施工要領図（コンクリート）



ハンドホール(H1-6)



H1-6参考姿図(600×600×600)



【ケーブル仕様】

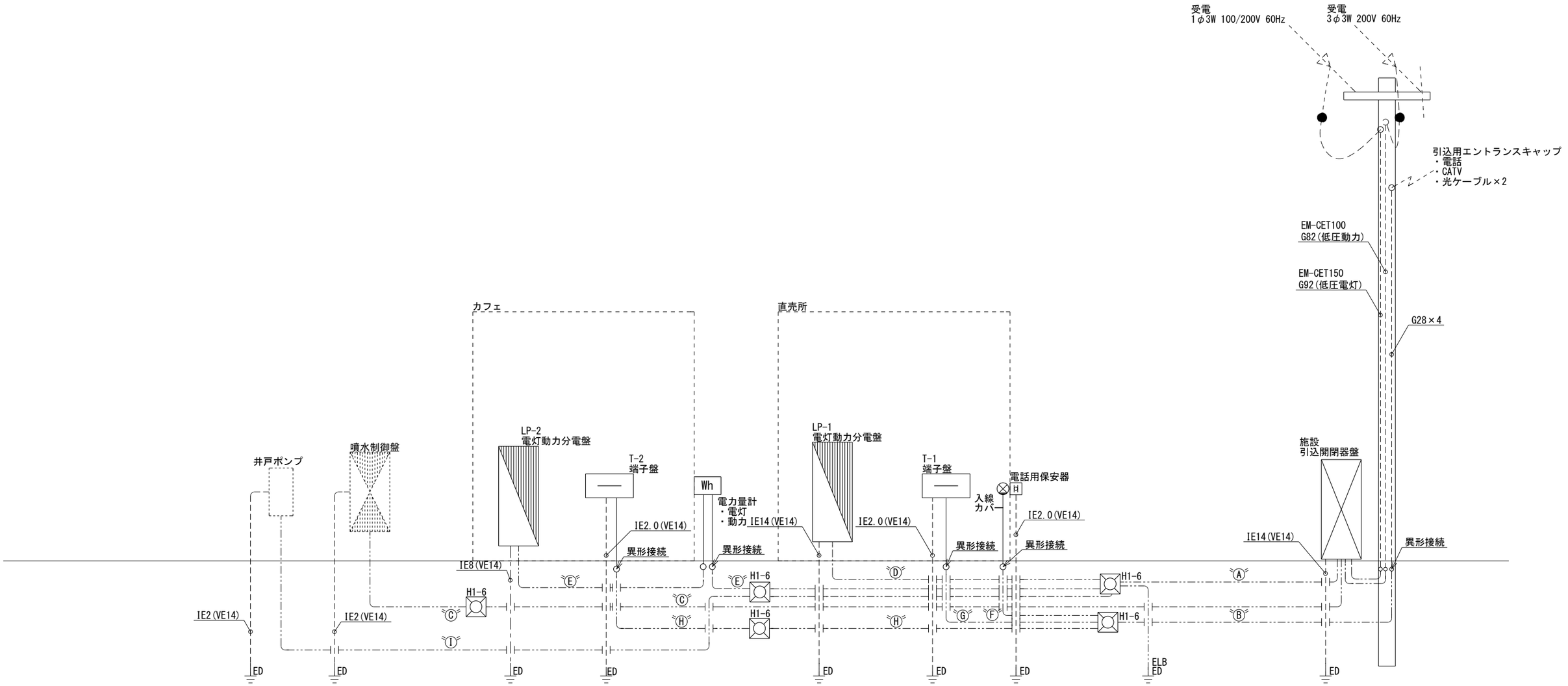
Ⓐ	L1:EM-CET150(FEP100)埋設	直売所電灯主幹
	L2:EM-CET60(FEP65)埋設	カフェ電灯主幹
	P1:EM-CET38(FEP50)埋設	直売所動力主幹
	P2:EM-CET100(FEP80)埋設	カフェ動力主幹
	~~C~~ (FEP82)埋設	空配管(予備)
Ⓑ	~~C~~ (FEP30)埋設	CATV用空配管
	~~C~~ (FEP30)埋設	電話用空配管
	~~C~~ (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
	~~C~~ (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
	~~C~~ (FEP30)埋設	空配管(予備)
Ⓒ	P3:EM-CET8(FEP40)埋設	噴水制御盤主幹
Ⓓ	L1:EM-CET150(FEP100)埋設	直売所電灯主幹
	P1:EM-CET38(FEP50)埋設	直売所動力主幹
Ⓔ	L2:EM-CET60(FEP65)埋設	カフェ電灯主幹
	P2:EM-CET100(FEP80)埋設	カフェ動力主幹
Ⓕ	~~C~~ (FEP30)埋設	電話用空配管
Ⓖ	~~C~~ (FEP30)埋設	CATV用空配管
	~~C~~ (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
Ⓗ	~~C~~ (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
Ⓘ	P4:EM-CET8(FEP40)埋設	井戸ポンプ

凡例

○	引込柱	低圧引込
⊠	引込開閉器盤	屋外自立盤(SUS製)
▬	電灯動力分電盤	直売所、カフェに設置
▭	端子ボックス	LAN機器収納
⊠	制御盤	機械範囲
H	保安器(電話)	分電盤
⊗	入線カバー	分電盤
▣	ハンドホール	H1-6

project title: 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title: 配置図	scale: 1/300	check: 2025.08.30	no: E-03

株式会社 坂本建築建築設計事務所　〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本建樹 大臣登録 第285008号



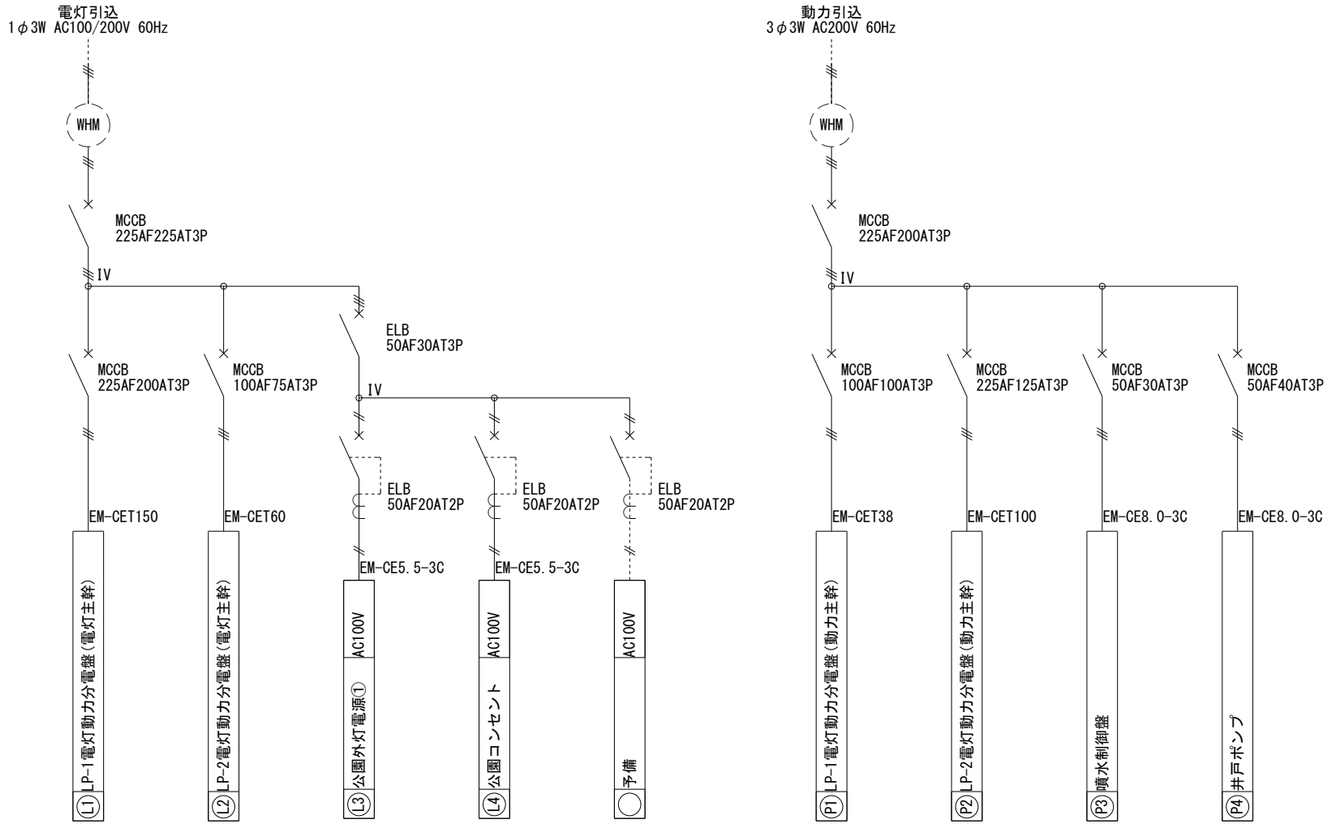
【ケーブル仕様】

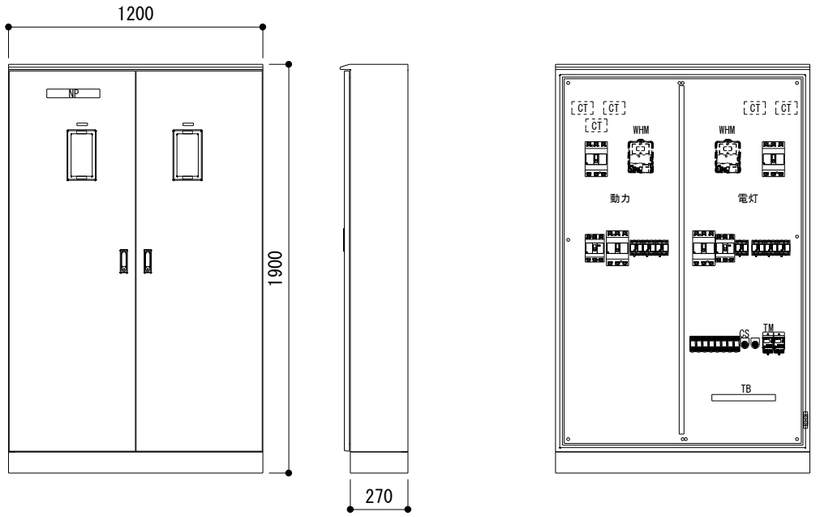
Ⓐ	L1:EM-CET150(FEP100)埋設	直売所電灯主幹
	L2:EM-CET60(FEP65)埋設	カフェ電灯主幹
	P1:EM-CET38(FEP50)埋設	直売所動力主幹
	P2:EM-CET100(FEP80)埋設	カフェ動力主幹
	—G— (FEP82)埋設	空配管(予備)
Ⓑ	—G— (FEP30)埋設	CATV用空配管
	—G— (FEP30)埋設	電話用空配管
	—G— (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
	—G— (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
	—G— (FEP30)埋設	空配管(予備)
Ⓒ	P3:EM-CE8-3C(FEP40)埋設	噴水制御盤主幹
Ⓓ	L1:EM-CET150(FEP100)埋設	直売所電灯主幹
	P1:EM-CET38(FEP50)埋設	直売所動力主幹
Ⓔ	L2:EM-CET60(FEP65)埋設	カフェ電灯主幹
	P2:EM-CET100(FEP80)埋設	カフェ動力主幹
Ⓕ	—G— (FEP30)埋設	電話用空配管
Ⓖ	—G— (FEP30)埋設	CATV用空配管
	—G— (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
Ⓗ	—G— (FEP30)埋設	光ケーブル用空配管
Ⓘ	P4:EM-CE8.0-3C(FEP40)埋設	井戸ポンプ

project title: 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
title: 電灯動力幹線系統図
scale: N.S
check: 2025.08.30
no: E-04

株式会社 坂本遠藤建築設計事務所 〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 tel/fax 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 坂本遠藤 大臣登録 第285008号

【　施設側　】





引込開閉器盤 外形図（参考値）

※屋外自立密閉型(SUS製)
電灯・動力を区分の為　セパレータを取付
外灯ON/OFF制御の為、切替SW、24hﾀｲﾏ
リレーを設置(2回路分)

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	引込開閉器盤結線図	N.S	2025.08.30	E-05

株式会社　坂本遠鼓建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遠鼓 大臣登録 第285008号

電灯動力分電盤単線結線図(電灯)

盤名称	主回路結線図	電圧 相	電圧 電圧	分岐番号	RRY 1P	RRY 2P	負荷名称	1Φ負荷容量(VA) 電灯	1Φ負荷容量(VA) ｺﾝｾﾝﾄ	1Φ負荷容量(VA) 空調	1Φ負荷容量(VA) その他	分岐 MCB	分岐 ELB	分岐 AF/AT	備考
LP-1 鋼板製自立型 800W×2000H															
		単	100	火報			火災受信機,火災通報装置				300	○		2P 50/20	
		単	100	誘			誘導灯	50				○		2P 50/20	
		単	100	非			非常照明	100				○		2P 50/20	
		単	100	101			事務所・バックヤード・会議室 コミュニティルーム照明	800				○		2P 50/20	
		単	100	102			村の通り土間照明	1600				○		2P 50/20	
		単	100	103			男性トイレ・ 女性トイレ・ 多目的トイレ照明	300				○		2P 50/20	
		単	100	104			ふれあい広場・屋外照明	150					○	2P 50/20	
		単	100	105			予備	(100)					○	2P 50/20	
		単	100	106			予備	(100)					○	2P 50/20	
		単	100	301			事務所コンセント①(床)		1200			○		2P 50/20	
		単	100	302			事務所コンセント②(壁面)		600			○		2P 50/20	
		単	200	303			事務所 温水器		2000			○		2P 50/20	
		単	100	304			事務所 コピー機		1500			○		2P 50/20	複合コピー機
		単	100	305			事務所 呼出表示器・ネットワーク機器				200	○		2P 50/20	トイレ呼出表示・端子盤内コンセント
		単	100	306			事務所 冷蔵庫		200			○		2P 50/20	
		単	100	307			バックヤードコンセント		1200			○		2P 50/20	
		単	100	308			会議室コンセント		400			○		2P 50/20	
		単	100	309			会議室 TV電源		200			○		2P 50/20	
		単	100	310			コミュニティルームコンセント		400			○		2P 50/20	
		単	100	311			コミュニティルーム TV電源		800			○		2P 50/20	
		単	100	312			直売所カウンタコンセント		600			○		**2P 50/20**	
		単	100	313			直売所コンセント①(壁)		400			○		2P 50/20	
		単	100	314			直売所コンセント②(壁)		400			○		2P 50/20	
		単	100	315			自動ドア電源①		500				○	2P 50/20	
		単	100	316			自動ドア電源②		500				○	2P 50/20	
		単	100	317			自動ドア電源③		500				○	**2P 50/20**	
		単	100	318			予備		(500)				○	2P 50/20	
		単	100	319			予備		(500)				○	2P 50/20	
		単	100	320			玄米保冷庫		210				○	2P 50/20	
		単	100	321			直売所ショーケース①		400				○	2P 50/20	
		単	100	322			直売所ショーケース②		100				○	2P 50/20	
		単	100	323			直売所ショーケース③		100				○	2P 50/20	
		単	100	324			直売所カウンタショーケース		1000				○	2P 50/20	
		単	100	325			直売所コンセント③(床)		900				○	2P 50/20	
		単	100	326			トイレ自動水栓電源		50				○	2P 50/20	
		単	100	327			男性トイレ大便器①②		800				○	2P 50/20	
		単	100	328			多目的トイレ・女性トイレ大便器①		800				○	2P 50/20	
		単	100	329			女性トイレ大便器②③		800				○	2P 50/20	
		単	100	330			男性ハンドドライヤ		1050				○	2P 50/20	
		単	100	331			女性ハンドドライヤ		1050				○	2P 50/20	
		単	100	332			多目的ハンドドライヤ		1050				○	2P 50/20	
		単	100	333			屋外コンセント①		200				○	2P 50/20	
		単	100	334			屋外コンセント②		400				○	2P 50/20	
		単	100	335			屋外コンセント③		400				○	2P 50/20	
		単	100	336			水中照明電源		100				○	2P 50/20	
		単	200	401			空調機 (PAC-3)			1710			○	2P 50/20	Max:15.0A
		単	100	402			空調機 (PAC-4)			1890			○	2P 50/20	Max:20.0A
		単	100	403			空調機 (PAC-5)			1890			○	2P 50/20	Max:20.0A
		単	100	404			予備			(1800)			○	2P 50/20	
							Total	3200	21810	7290	500				
										(10935)					
◎ ED															
◎ ELB															

※( ) 内は予備確保容量

注) 回路種別は下記とする。

- (10n) 1Φ2W 100V電灯回路
- (20n) 1Φ2W 200V電灯回路
- (30n) 1Φ2W 100Vコンセント回路
- (40n) 1Φ2W 100Vコンセント回路(空調機)
- (40n) 1Φ2W 200Vコンセント回路(空調機・IHコンロ)

電灯動力分電盤単線結線図(動力)

盤名称	主回路結線図	主回路方式	回路番号	負荷名称	容量(Kw)	分岐 MCB	分岐 ELB	分岐 P数 AF/AT	SEQ番号	連動	制御盤 発停	制御盤 表示 状態	制御盤 表示 故障	制御盤 表示 満水	制御盤 表示 減水	監視盤 発停	監視盤 表示 状態	監視盤 表示 故障	監視盤 表示 満水	監視盤 表示 減水	備考
LP-1																					
AC200V 3Φ3W 引込開閉器盤より (P1) CVT60°	MCCB3P 100/100 (21.7KW)	1	A	空調機 (PAC-1)	2.34		○	3P 50/20	①												Max:10.2A
		1	B	空調機 (PAC-2)	4.36		○	3P 50/30	①												Max:21.0A
		1	C	空調機 (PAC-3)	4.36		○	3P 50/30	①												Max:21.0A
		1	D	ショーケース1200W	0.395		○	3P 50/20	①												
		1	E	ショーケース1800W	1.345		○	3P 50/20	①												
		1	F	ショーケース1800W	1.345		○	3P 50/20	①												
		1	G	予備	(2.0)		○	3P 50/20	①												
				Total	16.145																
					(21.675)																
◎ ED																					
◎ ELB																					

主回路①	主回路②	主回路③	主回路④	主回路⑤	主回路⑥
CB	CB 52 1E	CB 2	CB RRy	CB R.Tr 100/24V	R-MCB

注記)

- ELBの感度電流は、対象機器類の推奨感度電流値または、漏れ電流を製造業者に確認の上、選定すること。
- 対象機器類の納入仕様書などに推奨感動電流値又は、漏れ電流値を記載すること。

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	電灯動力分電盤結線図 1	N.S	2025.08.30	E-06

株式会社 坂本達盤建築設計事務所　〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7 tel/fax 096-371-9322 一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号 一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

電灯動力分電盤単線結線図(電灯)

盤名称	主回路結線図	電圧 相	電圧 電圧	分岐番号	RRY 1P	RRY 2P	負荷名称	1Φ負荷容量(VA) 電灯	1Φ負荷容量(VA) ｺﾝｾﾝﾄ	1Φ負荷容量(VA) 空調	1Φ負荷容量(VA) その他	分岐 MCB	分岐 ELB	分岐 AF/AT	備考
LP-2 鋼板製自立型 800W×2000H															
AC100/200V 1Φ3W 引込開閉器盤より L1 CVT60°	MCB3P 100/75 (13.54KVA)	単	100	誘			誘導灯	50				○		2P 50/20	
		単	100	非			非常照明	100				○		2P 50/20	
		単	100	101			厨房・トイレ・カフェ①照明	1600				○		2P 50/20	
		単	100	102			カフェ②照明	450				○		2P 50/20	
		単	100	103			屋外灯	80					○	2P 50/20	
		単	100	104			予備	(100)				○		2P 50/20	
		単	100	301			収納コンセント		300			○		2P 50/20	
		単	100	302			カフェコンセント①(壁)		600			○		2P 50/20	
		単	100	303			カフェコンセント②(カウンタ)		400			○		2P 50/20	
		単	100	304			カフェコンセント③(客席カウンタ)		600			○		2P 50/20	
		単	100	305			自動ドア電源①		500				○	2P 50/20	
		単	100	306			自動ドア電源②		500				○	2P 50/20	
		単	100	307			ショーケース電源		200				○	2P 50/20	
		単	100	308			カフェコーヒーマシン①		1500				○	2P 50/20	
		単	100	309			カフェコーヒーマシン②		1500				○	2P 50/20	
		単	100	310			アイスメーカ・テーブル型ショーケース		400				○	2P 50/20	
		単	100	311			テーブル型冷蔵庫・かき氷スライサ		450				○	2P 50/20	
		単	100	312			電子ジャー		100				○	2P 50/20	
		単	100	313			カフェコンセント④（床）		600				○	2P 50/20	
		単	100	314			カフェトイレ大便器		400				○	2P 50/20	
		単	100	315			カフェ屋外コンセント		400				○	**2P 50/20**	
		単	100	316			ガス給湯機 2台		100				○	2P 50/20	
		単	100	317			予備		(500)				○	**2P 50/20**	
		単	100	318			予備		(500)				○	2P 50/20	
		単	200	401			電子レンジ		1600				○	2P 50/20	
		単	200	402			空調機器(PAC-7)用ドレンアップ		10				○	2P 50/20	
							Total	2380	11160						
◎ ED															
◎ ELB															

※（ ）内は予備確保容量

注）回路種別は下記とする。

- (10n) 1Φ2W 100V電灯回路
- (20n) 1Φ2W 200V電灯回路
- (30n) 1Φ2W 100Vコンセント回路
- (40n) 1Φ2W 100Vコンセント回路(空調機)
- ((40n)) 1Φ2W 200Vコンセント回路(空調機・IHコンロ)

電灯動力分電盤単線結線図(動力)

盤名称	主回路結線図	主回路方式	回路番号	負荷名称	容量(Kw)	分岐 MCB	分岐 ELB	分岐 P数 AF/AT	SEQ番号	連動	制御盤 発停	制御盤 表示 状態	制御盤 表示 故障	制御盤 表示 満水	制御盤 表示 減水	監視盤 発停	監視盤 表示 状態	監視盤 表示 故障	監視盤 表示 満水	監視盤 表示 減水	備考
LP-1																					
AC200V 3Φ3W 引込開閉器盤より P1 CVT100°	MCCB3P 225/125 (26.4KW)	1	A	空調機 (PAC-6)	3.41		○	3P 50/20	①												Max:14.8A
		1	B	空調機 (PAC-6)	3.41		○	3P 50/20	①												Max:14.8A
		1	C	空調機 (PAC-7)	3.3		○	3P 50/20	①												Max:14.1A
		1	D	ソフトサーバー	2.6		○	3P 50/20	①												
		1	E	食器洗浄機	6.0		○	3P 50/20	①												
		1	F																		
		1	G																		
		1	H	冷凍冷蔵庫	0.643		○	3P 50/20	①												
		1	H	予備	(2.0)		○	3P 50/20	①												
				Total	21.363																
					(26.423)																
◎ ED																					
◎ ELB																					

主回路①	主回路②	主回路③	主回路④	主回路⑤	主回路⑥
CB	CB 52 1E	CB 2	CB RRy	CB R.Tr 100/24V	R-MCB

注記）

- ELBの感度電流は、対象機器類の推奨感度電流値または、漏れ電流を製造業者に確認の上、選定すること。
- 対象機器類の納入仕様書などに推奨感動電流値又は、漏れ電流値を記載すること。

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	電灯動力分電盤結線図2	N.S	2025.08.30	E-07

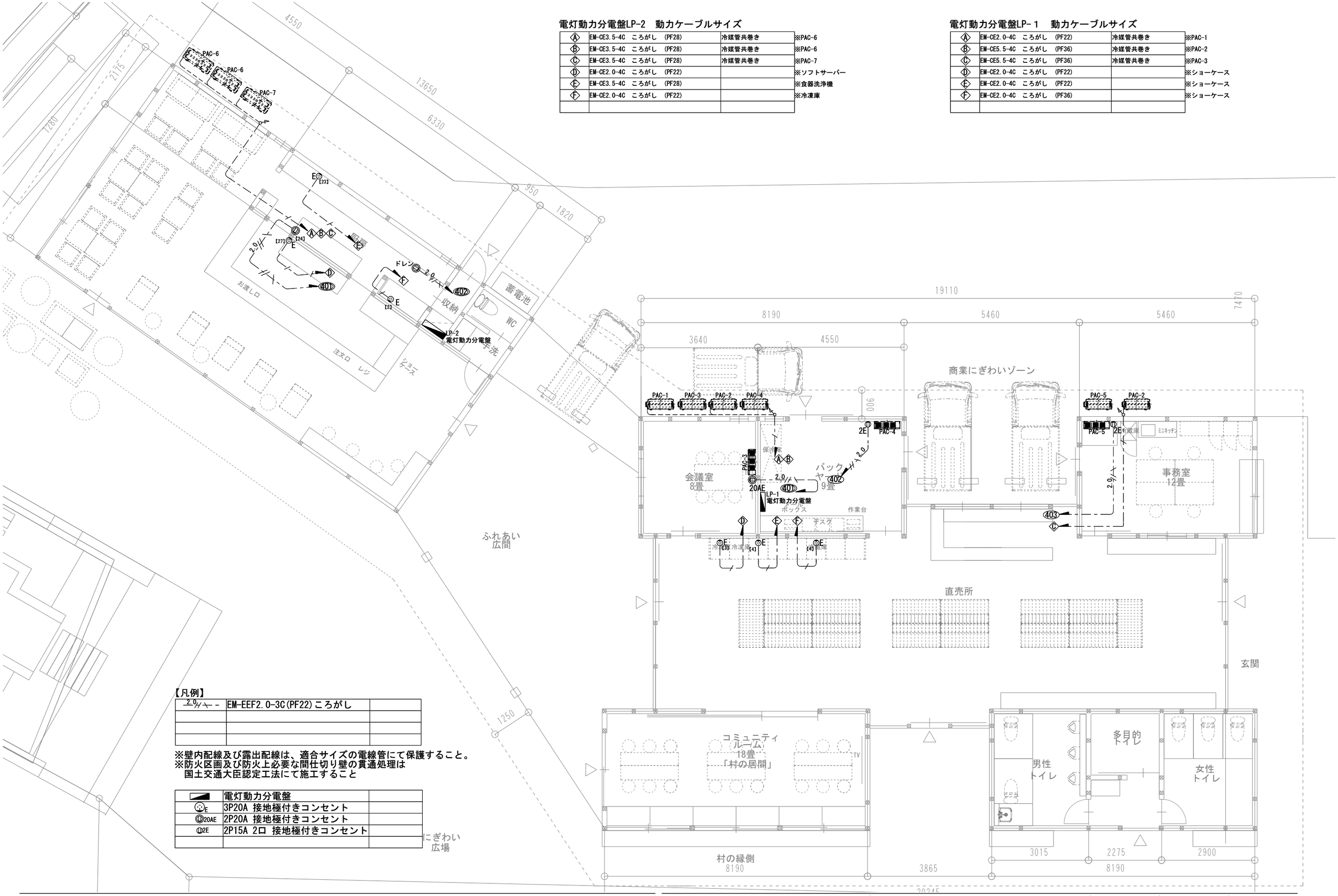
株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

電灯動力分電盤LP-2　動力ケーブルサイズ

Ⓐ	EM-CE3.5-4C　ころがし　(PF28)	冷媒管共巻き	※PAC-6
Ⓑ	EM-CE3.5-4C　ころがし　(PF28)	冷媒管共巻き	※PAC-6
Ⓒ	EM-CE3.5-4C　ころがし　(PF28)	冷媒管共巻き	※PAC-7
Ⓓ	EM-CE2.0-4C　ころがし　(PF22)		※ソフトサーバー
Ⓔ	EM-CE3.5-4C　ころがし　(PF28)		※食器洗浄機
Ⓕ	EM-CE2.0-4C　ころがし　(PF22)		※冷凍庫

電灯動力分電盤LP-１　動力ケーブルサイズ

Ⓐ	EM-CE2.0-4C　ころがし　(PF22)	冷媒管共巻き	※PAC-1
Ⓑ	EM-CE5.5-4C　ころがし　(PF36)	冷媒管共巻き	※PAC-2
Ⓒ	EM-CE5.5-4C　ころがし　(PF36)	冷媒管共巻き	※PAC-3
Ⓓ	EM-CE2.0-4C　ころがし　(PF22)		※ショーケース
Ⓔ	EM-CE2.0-4C　ころがし　(PF22)		※ショーケース
Ⓕ	EM-CE2.0-4C　ころがし　(PF36)		※ショーケース



【凡例】

2.0	EM-EEF2.0-3C(PF22)ころがし	

※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
　国土交通大臣認定工法にて施工すること

	電灯動力分電盤	
E	3P20A 接地極付きコンセント	
20AE	2P20A 接地極付きコンセント	
2E	2P15A 2口 接地極付きコンセント	

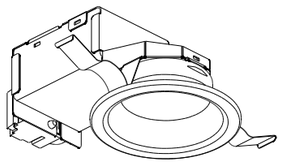
project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	空調設備・動力電源　平面図	scale 1/100 / check 2025.08.30 / no E-08

株式会社　坂本建設建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

山江村石蔵活用拠点施設

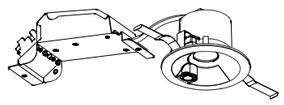
D1	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ DDL-6224YW	
	LED 6.8W 2700K 60°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ75 H=80mm



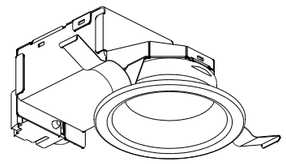
D2	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ DDL-5700YW	
	LED 7.8W 2700K 50°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ75 H=100mm



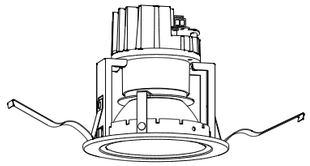
D3	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ DDL-6222YW	
	LED 4.6W 2700K 60°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ75 H=80mm



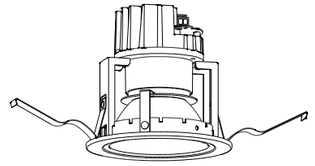
D4	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93507NWB	
	LED 24.8W 4000K 50°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=107mm



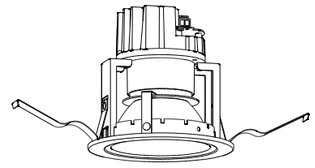
D5	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93506NWB	
	LED 13.8W 4000K 50°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=107mm



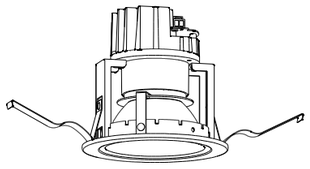
D6	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93506YWB	
	LED 13.8W 3000K 50°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=107mm



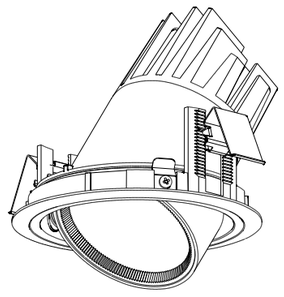
D7	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93506AWB	
	LED 13.8W 3500K 50°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=107mm



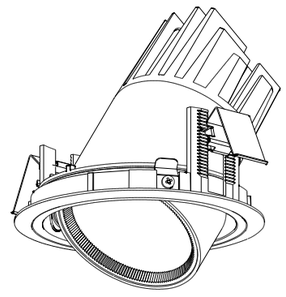
U1	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93634YWM	
	LED 2000ｸﾗｽ 24.5W-28W 3000K 17°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=113mm
専用電源:LZA-90815E 非調光



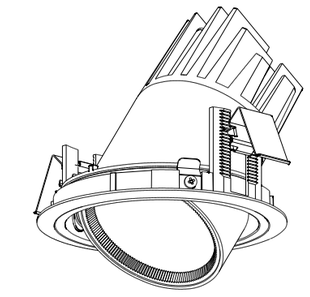
U2	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93634YWB	
	LED 2000ｸﾗｽ 24.5W-28W 3000K 45°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=113mm
専用電源:LZA-90815E 非調光



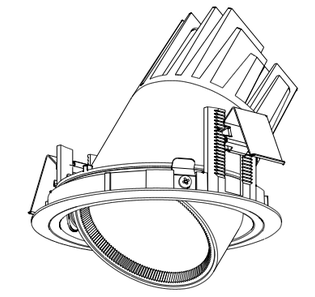
U3	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93632YWM	
	LED 1200ｸﾗｽ 13.9W-16.8W 3000K 17°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=120mm
専用電源:LZA-91115E 非調光



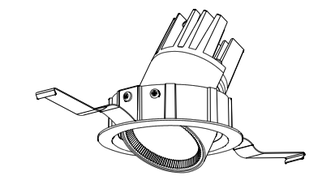
U4	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93632YWB	
	LED 1200ｸﾗｽ 13.9W-16.8W 3000K 45°	
	備考：	

非調光　　埋込必要寸法:φ100 H=120mm
専用電源:LZA-91115E 非調光



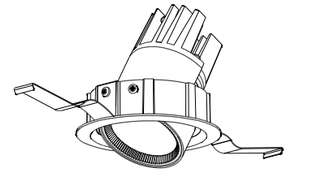
U7	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93629YWB	
	LED 800ｸﾗｽ 10.1W-12.8W 3000K 45°	
	備考：	

位相　　埋込必要寸法:φ75 H=85mm
専用電源:LZA-92810 位相



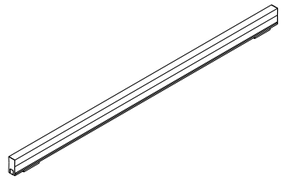
U8	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ LZD-93629YWM	
	LED 800ｸﾗｽ 10.1W-12.8W 3000K 18°	
	備考：	

位相　　埋込必要寸法:φ75 H=85mm
専用電源:LZA-92810 位相



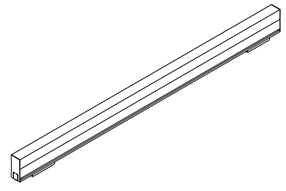
L1	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ DBL-5594NWG	
	LED 18W 4000K 80° -60°	
	備考：	

逆位相／位相



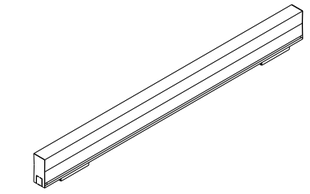
L2	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ DBL-5592YWG	
	LED 11W 3000K 80° -60°	
	備考：	

逆位相／位相



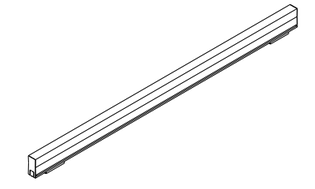
L3	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ DBL-5591YWG	
	LED 7.5W 3000K 80° -60°	
	備考：	

逆位相／位相



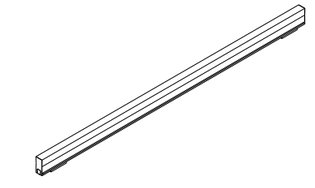
L4	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ DBL-5593YWG	
	LED 14.5W 3000K 80° -60°	
	備考：	

逆位相／位相



L5	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ DBL-5594YWG	
	LED 18W 3000K 80° -60°	
	備考：	

逆位相／位相

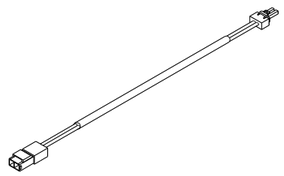
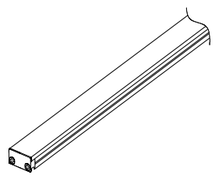
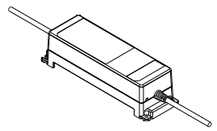
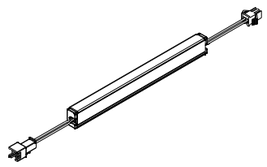
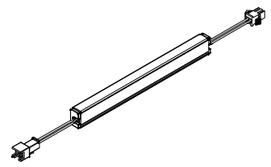
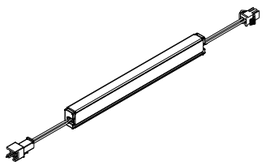


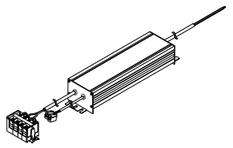
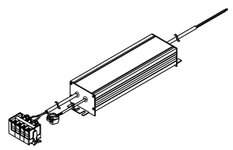
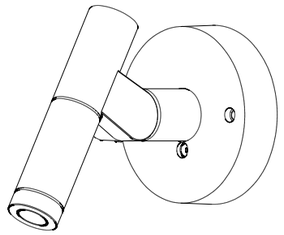
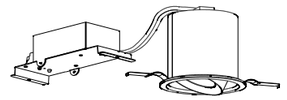
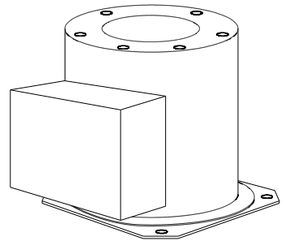
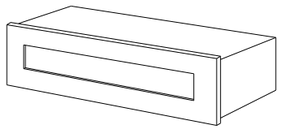
DAIKO LIGHTING PLAN 2025.07.30
04160

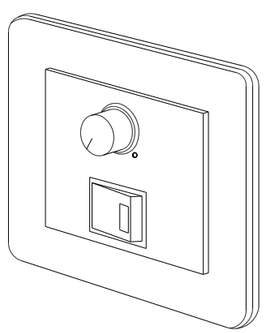
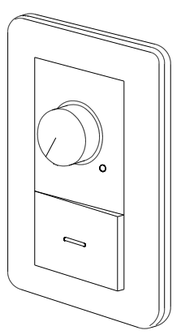
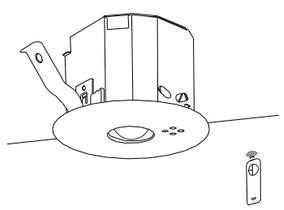
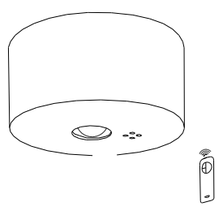
project title: 山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title: 照明設備姿図（１）	scale: N.S	check: 2025.08.30	no: E-09

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

山江村石蔵活用拠点施設

Lb	LED 延長ｹｰﾌﾞﾙ DP-42021	LL1308	LEDテープライト LRMUS-T1308W-L30-DF-I-8C	LL1a	電源 LPSOL-145-24-ND-I	LL588	LEDラインライト FGG-588-L30-KCR	LL2155	LEDラインライト FGG-2155-L30-KCR	LL2375	LEDラインライト FGG-23755-L30-KCR
			LED11.1W 3000K				LED9W 3000K		LED33.5W 3000K		LED37W 3000K
	備考：		備考：Luci/電源別置/部材要確認		備考：FKK		備考：FKK/電源別置/部材要確認		備考：FKK/電源別置/部材要確認		備考：FKK/電源別置/部材要確認
-											

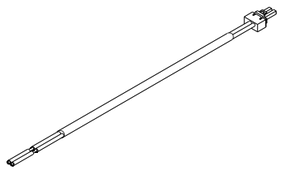
LLb	電源 OT150/100-200/24-G3-T	LLc	電源 OT30/100-200/24-G3-T	WS1	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ LLS-7144LUW	WU1	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ DDL-5536YWG	GL	LED地中埋込 LLG-7067XU	WF1	LED足元灯 LLF-7072LU
					LED5.7W 2700K 40°		LED 13.4W 2700K 50°		LZA-92765 LED DECO-S50C 5.7W (E11) 2700K 18°		LED7.5W 2700K
	備考：FKK		備考：FKK		備考：		備考：		備考：		備考：
				非調光		逆位相／位相 埋込必要寸法:φ100 H=99mm		- 埋込必要寸法:H=130mm		非調光 埋込必要寸法:250×60 H=145	

LC1	LED 800 調光器 LZA-92794	LC2	LED 調光器 300 LZA-90306E	a13	非常灯(埋込型)	b13	非常灯(露出型)	c1	B級・BL形 避難口誘導灯片面型		
	備考：		備考：		備考：		備考：		備考：		
埋込必要寸法:□85×75 H=50mm		- 埋込必要寸法:51×71 H=30mm		 公共型番：K1-LRS11-2		 公共型番：K1-LSS11-2		 公共型番：SH1-FBF20-BL			

山江村石蔵活用拠点施設

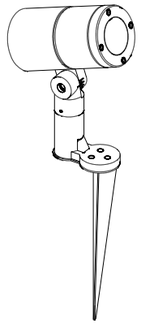
La	LED 電源接続ｹｰﾌﾞﾙ DP-42020	
	備考：	

-



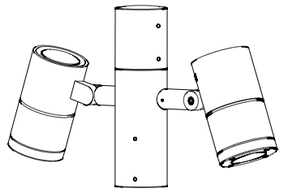
WSP1	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ LLS-7092LUM	
	LED6.1W 2700K 14°	
	備考：	

非調光



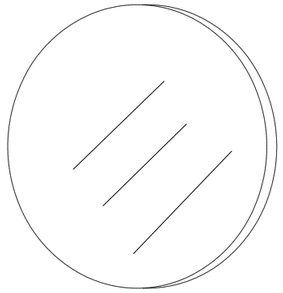
WPL2	LEDﾎﾟｰﾙ(灯具) LLP-7116LUM 別注ﾎﾟｰﾙ4000mm	
	LED76W 2700K	
	備考：2灯用/別注ﾎﾟｰﾙ4000mm仕様	

非調光



WPL2	LED ﾌﾗｯﾄﾞﾚﾝｽﾞ LZA-90635 LED ﾌﾗｯﾄﾞﾚﾝｽﾞ	
	備考：2灯用/別注ﾎﾟｰﾙ4000mm仕様	

-

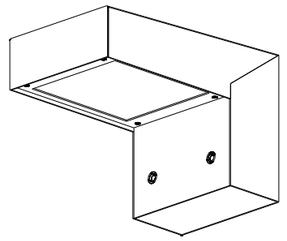


WPL2	埋込固定用ﾎﾟｰﾙ(H=3000mm) LLA-7041U 埋込固定用ﾎﾟｰﾙ(H=3000mm)	
	備考：2灯用/別注ﾎﾟｰﾙ4000mm仕様	

-　埋込必要寸法:H=600mm

WPL3	LEDﾎﾟｰﾙ(灯具) LLP-7168YU	
	LED14.6W 3000K	
	備考：	

非調光



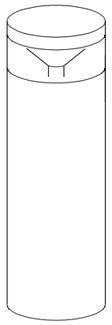
WPL3	H=3000mm 埋込固定用ﾎﾟｰﾙ LLA-7169U	
	備考：	

-



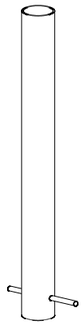
WPL4	LEDﾎﾟｰﾙ(灯具) LLP-7019LUE	
	LED8W 2700K	
	備考：	

非調光

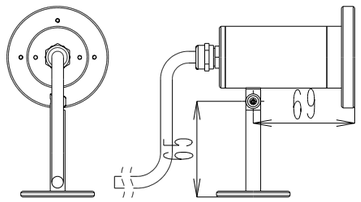


WPL4	埋込固定用ﾎﾟｰﾙ(H=730mm) LLA-7011U	
	備考：	

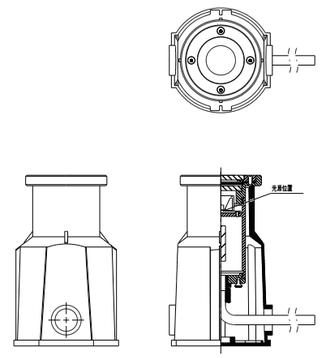
-　埋込必要寸法:H=300mm



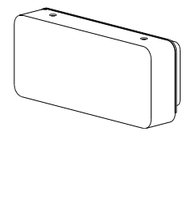
WSL1	ウォーターアップライト	



WPS2	ウォーターグランドライト	



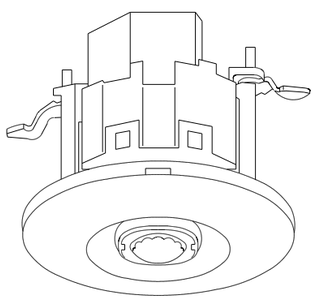
JB(W)	ジャンクションボックス　スリム　壁面用	



24Vタイマートランスよりの電源を
各照明器具に対して個別に分岐
する。（専用コネクタ）

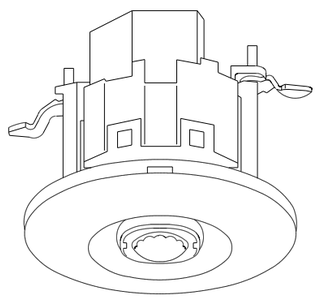
S	人感センサー(親機) DP-41303	
	備考：	

-　埋込必要寸法:φ70 H=70mm

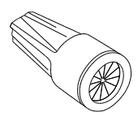


S1	人感センサー(子機)DP-41304	
	備考：	

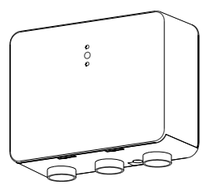
-　埋込必要寸法:φ70 H=70mm



ガーデンスケープ用ドライコーン



Tr(W)	24Vタイマートランス	



24Vタイマートランス電源は
収納ボックス内に設置

project title: 山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title: 照明設備姿図（３）	scale: N.S	check: 2025.08.30	no: E-11

株式会社　坂本建設建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

花壇
WF1×2

カフェ
U8×24
U7×12
LC1×1
LC2×1

カウンタ
U3×13
LL2375×1
LL2155×3
LL588×2
LLb×2
LLc×1

厨房
D7×3

収納
D7×1

トイレ
D2×2
L2×1
La×1

屋外
WS1×11

会議室
D6×3
L1×8
La×1
Lb×3

バックヤード
D5×4

商業にぎわいゾーン
WU1×3

事務室
D4×6

村の通り土間
U1×17
U2×9
U3×15
U4×9
LL1308×15
LL1a×3

ふれあい広間
GL×5

コミュニティールーム
U2×6
U4×4

男性トイレ
D1×5
D3×1
L2×2
L3×1
La×1
S×1
S1×1

多目的トイレ
D1×2
S×1

トイレ踏込み
D1×2
S×1

女性トイレ
D1×5
L4×1
L5×1
La×1
S×1
S1×2

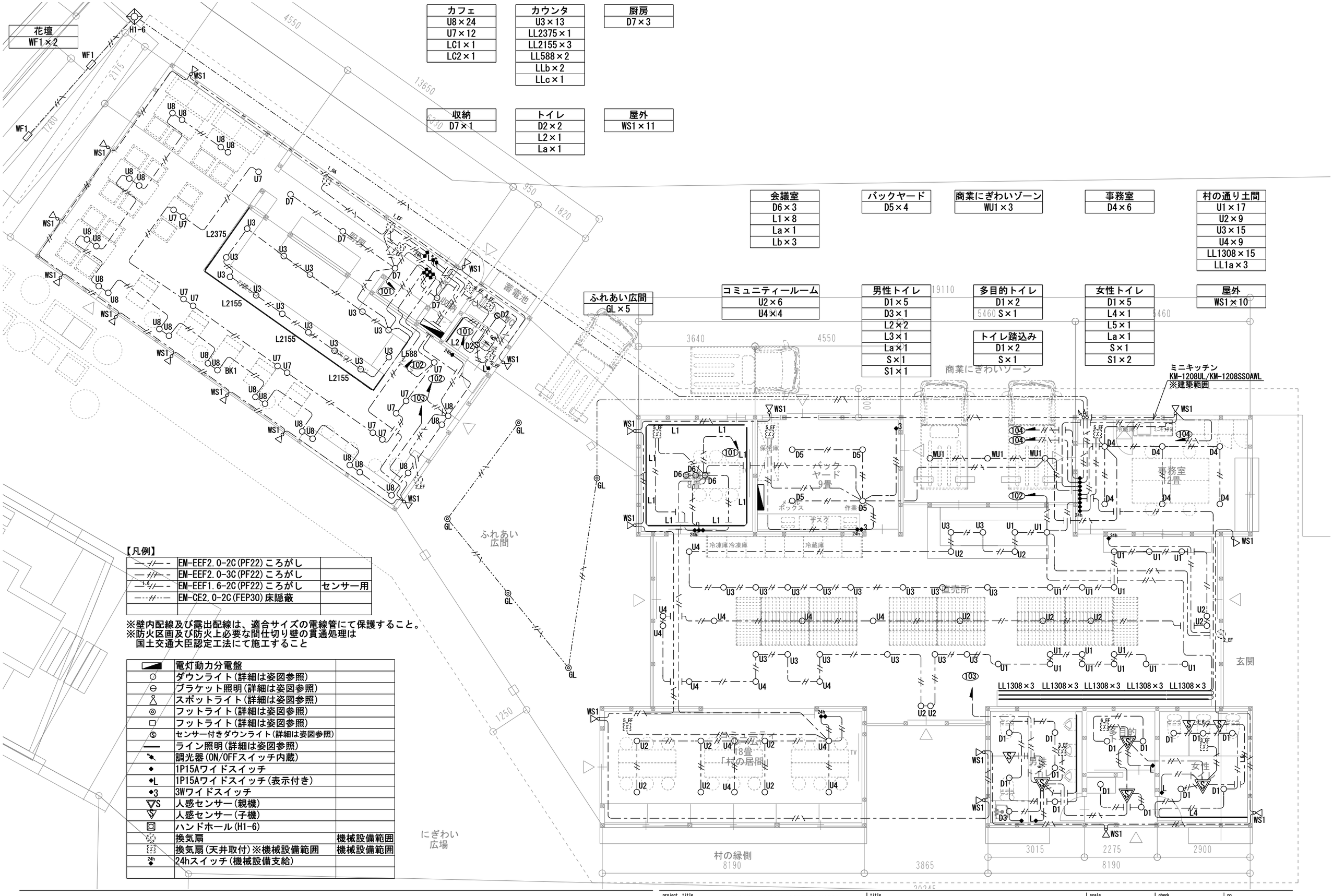
屋外
WS1×10

【凡例】

―//――	EM-EEF2.0-2C(PF22)ころがし	
―//――	EM-EEF2.0-3C(PF22)ころがし	
―1.6//――	EM-EEF1.6-2C(PF22)ころがし	センサー用
―・―//―・―	EM-CE2.0-2C(FEP30)床隠蔽	

※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
国土交通大臣認定工法にて施工すること

	電灯動力分電盤	
∅	ダウンライト(詳細は姿図参照)	
⊖	ブラケット照明(詳細は姿図参照)	
△	スポットライト(詳細は姿図参照)	
◎	フットライト(詳細は姿図参照)	
□	フットライト(詳細は姿図参照)	
Ⓢ	センサー付きダウンライト(詳細は姿図参照)	
―	ライン照明(詳細は姿図参照)	
◥	調光器(ON/OFFスイッチ内蔵)	
◆	1P15Aワイドスイッチ	
◆L	1P15Aワイドスイッチ(表示付き)	
◆3	3Wワイドスイッチ	
▽S	人感センサー(親機)	
▽	人感センサー(子機)	
▣	ハンドホール(H1-6)	
	換気扇	機械設備範囲
	換気扇(天井取付)※機械設備範囲	機械設備範囲
24h◆	24hスイッチ(機械設備支給)	



project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	電灯設備　平面図	1/100	2025.08.30	E-12

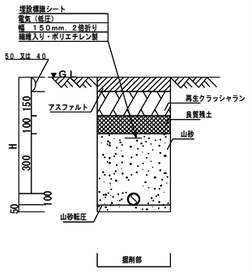
株式会社　坂本遺鼓建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遺鼓 大臣登録 第285008号

【凡例】

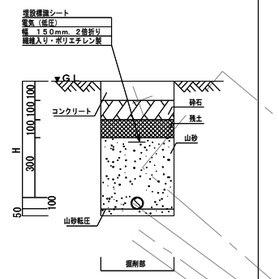
▬	電灯動力分電盤	
⊠	引込開閉器盤	
⊙	ポール照明(詳細は姿図参照)	
◎	屋外灯(詳細は姿図参照)	
◇	スポットライト(詳細は姿図参照)	
⊡	ハンドホール	
◆L	1P15Aワイドスイッチ(表示付き)	
◒	引込柱	

5.5	EM-CE5.5-3C(FEP30)地中埋設	
2.0	EM-CE2.0C(FEP30)地中埋設	
2.0	EM-CE2.0-3C(PF22)ころがし	

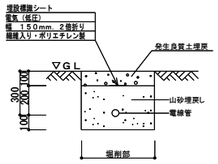
敷地内埋設配管施工要領図（アスファルト）



敷地内埋設配管施工要領図（コンクリート）

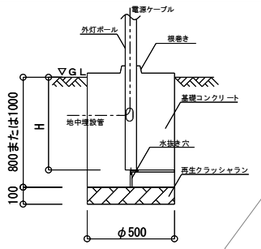


敷地内埋設配管施工要領図（公園内）



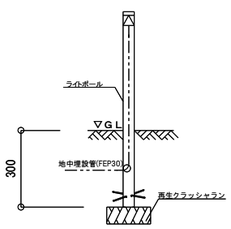
※車両等の通行がないため 掘削深さを300㎜とする。

外灯ポール　基礎施工要領(WPL2,WPL3)



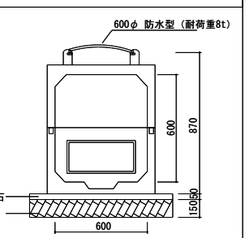
※Hは、高さ3000㎜で600㎜、
高さ4000で800㎜以上とする。

屋外ポールライト(WPL4)

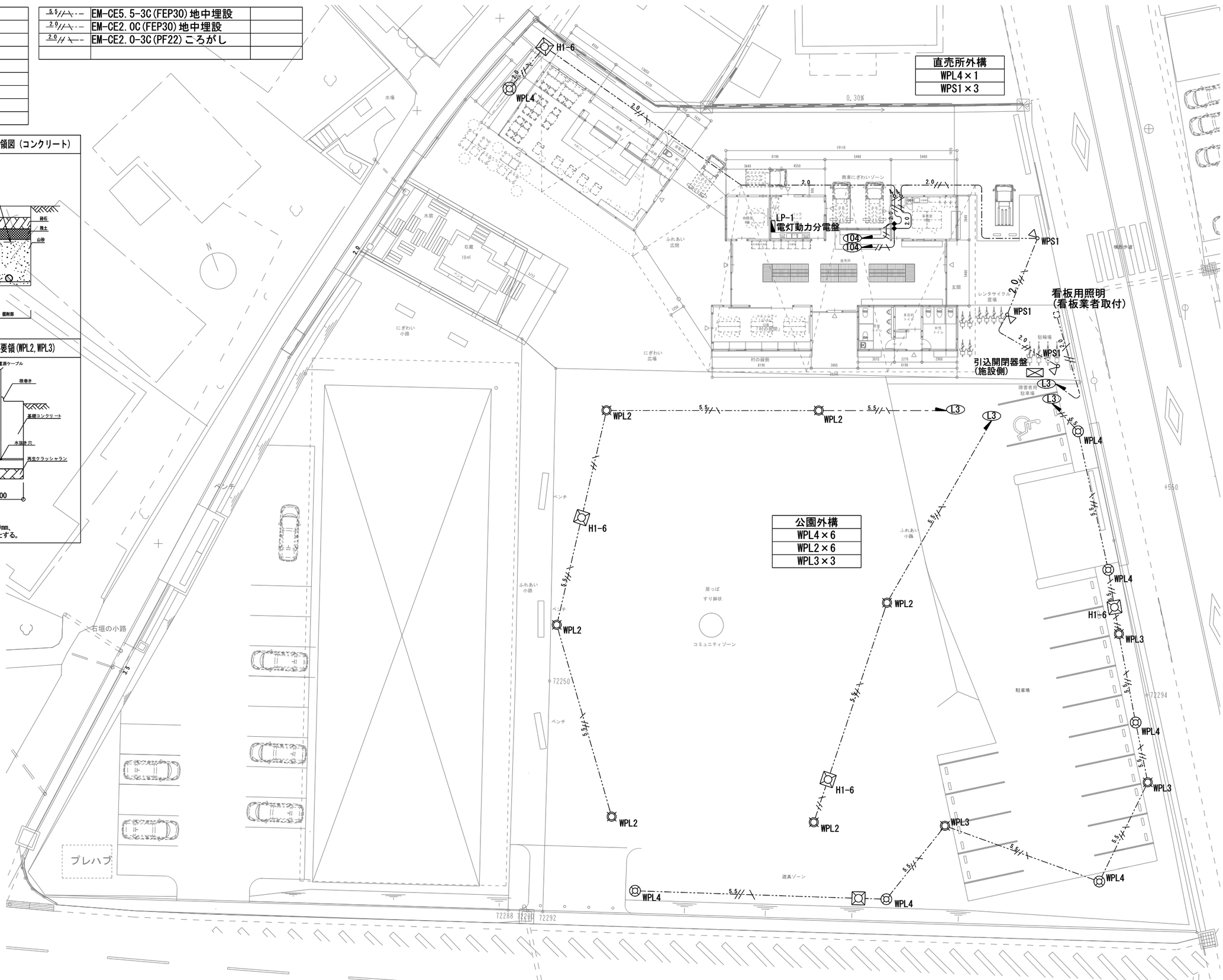


※参考:DAIKO LLA-7011U

ハンドホール(H1-6)

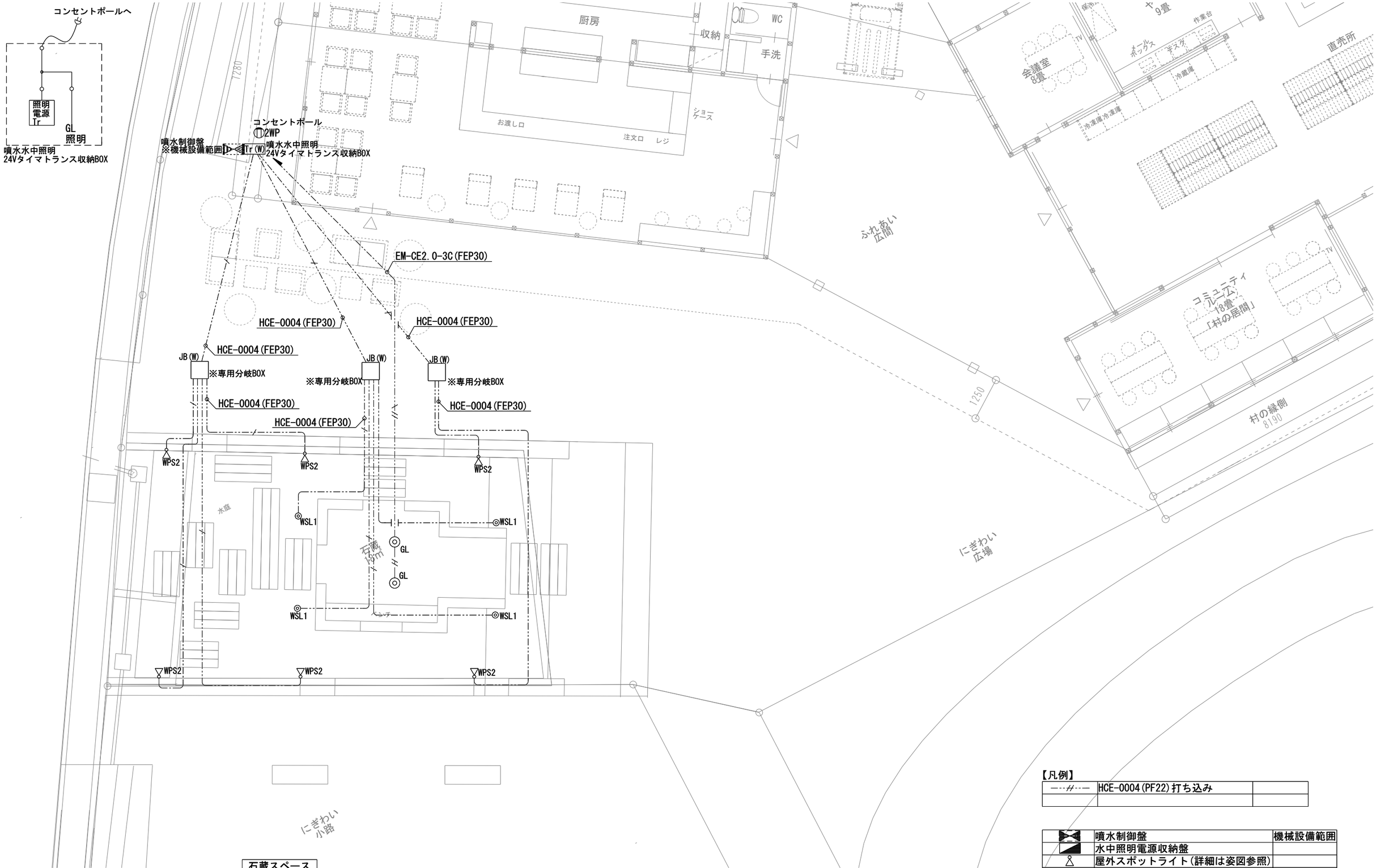


H1-6参考姿図(600×600×600)



project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	電灯設備　外構平面図	scale	1/300
check	2025.08.30	no	E-13		

株式会社　坂本建築建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本建哉 大臣登録 第285008号



石蔵スペース
WPS2×6
WSL1×4
GL×2

【凡例】

―--//--―	HCE-0004(PF22)打ち込み	

	噴水制御盤	機械設備範囲
	水中照明電源収納盤	
	屋外スポットライト(詳細は姿図参照)	
◎	フットライト(詳細は姿図参照)	
◎	水中ライト(詳細は姿図参照)	
□JB	ジャンクションボックス(防水)	

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	電灯設備　石蔵スペース　平面図	1/100	2025.08.30	E-14

株式会社　坂本達哉建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

カフェ
a13×3
c1×2

ふれあい広場
a13×1

直売所
a13×3
c1×3

4550
13650
6330
2175
1280
950
1820
8190
3640
4550
13110
5460
5460
7470
900
厨房
お渡し口
注文口
レジ
ショーケース
収納
蓄電池
WC
手洗
LP-2
電灯動力分電盤
非
誘
a13
c1
LP-1
電灯動力分電盤
保冷庫
会議室
8畳
TV
バック
ヤード
9畳
スツール
ボックス
作業台
テスク
冷凍庫
冷凍庫
冷蔵庫
ミニキッチン
事務室
12畳
商業にぎわいゾーン
ふれあい
広間
非常灯照光範囲2lx
直売所
MMA
玄関
コミュニティ
ルーム
18畳
「村の居間」
多目的
トイレ
男性
トイレ
女性
トイレ
村の縁側
8190
3865
3015
2275
2900
8190
1250
にぎわい
広場

【凡例】

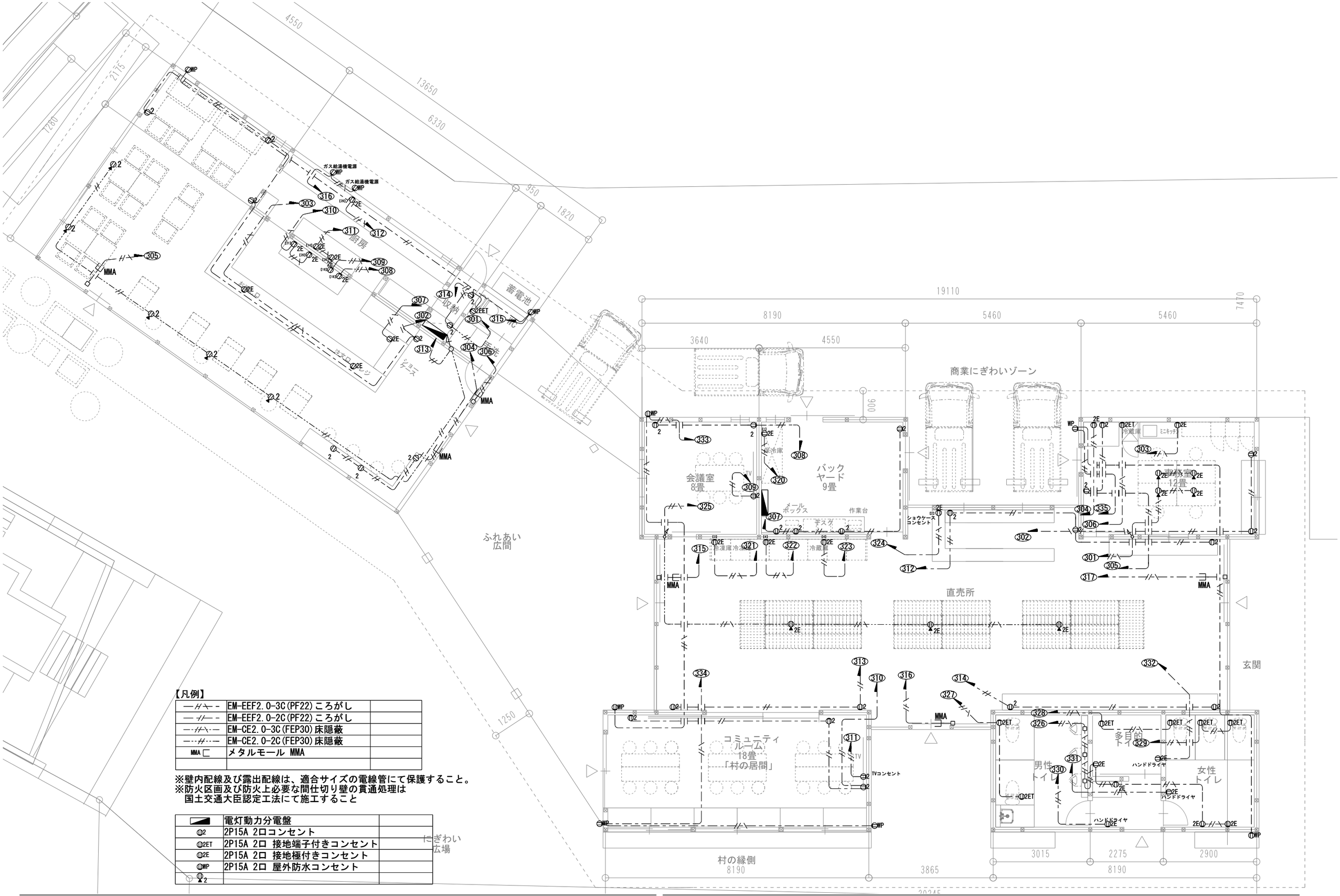
―//―-	EM-EEF2.0-2C(PF22)ころがし	
MMA	メタルモール(MMA)	

※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
国土交通大臣認定工法にて施工すること

	電灯動力分電盤	
●	非常灯(詳細は姿図参照)	
	誘導灯(詳細は姿図参照)	

project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	非常灯・誘導灯設備　平面図	1/100	2025.08.30	E-15

株式会社　坂本建築建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号



【凡例】

—//\- -	EM-EEF2.0-3C(PF22)ころがし	
—·//—- -	EM-EEF2.0-2C(PF22)ころがし	
—··//\··—	EM-CE2.0-3C(FEP30)床隠蔽	
—··//·--—	EM-CE2.0-2C(FEP30)床隠蔽	
MMA	メタルモール MMA	

※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
国土交通大臣認定工法にて施工すること

	電灯動力分電盤	
2	2P15A 2口コンセント	
2ET	2P15A 2口 接地端子付きコンセント	
2E	2P15A 2口 接地極付きコンセント	
WP	2P15A 2口 屋外防水コンセント	
2		

project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	コンセント設備　平面図	scale	1/100
check	2025.08.30	no	E-16		

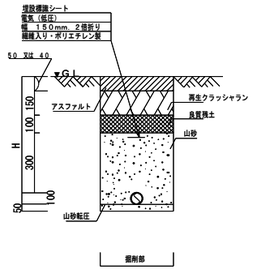
株式会社　坂本遺鼓建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遺鼓 大臣登録 第285008号

【凡例】

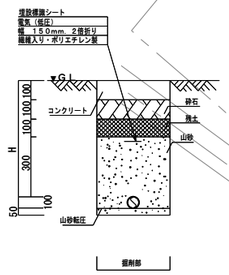
2.0	EM-CE2.0C(FEP30)地中埋設	
5.5	EM-CE5.5C(FEP30)地中埋設	

	電灯動力分電盤	
	引込開閉器盤	
2E WP	屋外コンセント(防雨)	
	ハンドホール(H1-6)	
	引込柱	

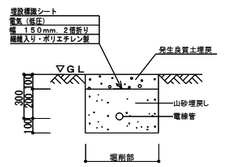
敷地内埋設配管施工要領図（アスファルト）



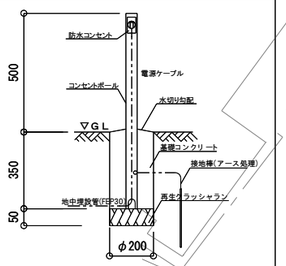
敷地内埋設配管施工要領図（コンクリート）



敷地内埋設配管施工要領図（公園内）



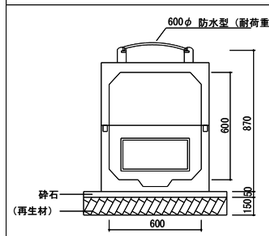
屋外コンセントポール　基礎施工要領



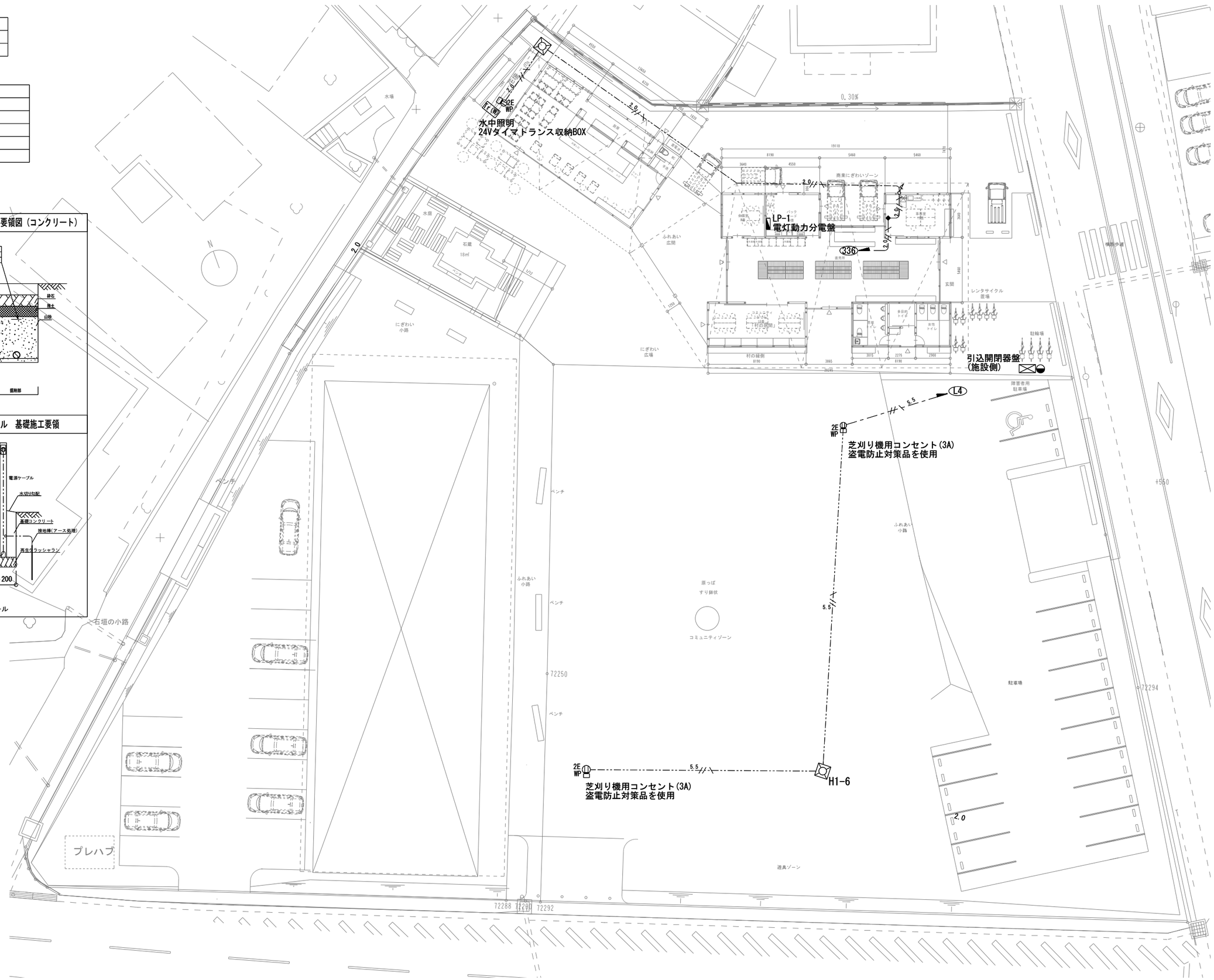
※車両等の通行がないため 掘削深さを300mmとする。

※参考：パナソニック Dポール

ハンドホール(H1-6)



H1-6参考姿図(600×600×600)



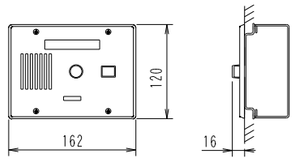
project title	title	scale	check	no
山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	コンセント設備　外構平面図	1/300	2025.08.30	E-17

株式会社　坂本道敏建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本道敏 大臣登録 第285008号

【トイレ呼出設備姿図】

NC トイレ呼出表示器(1窓・壁埋込型)

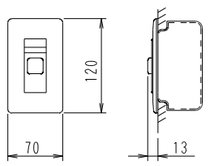
CN-1A3d/A



電源電圧	ＤＣ１２Ｖ（電源アダプターから供給）
形　状	壁埋込型（ＪＩＳ３個用スイッチボックス）
材　質	ステンレス
窓　数	１窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

復旧ボタン

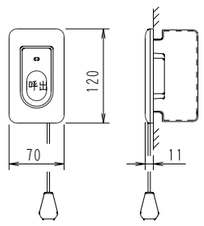
NBR-2A-C



形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	樹脂
備　考	非防水形

N 呼出ボタン(引き紐付き)

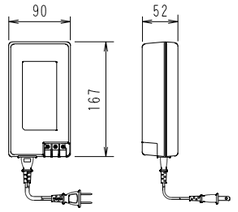
NBR-7HWA



形　状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂
備　考	引きひも式、押ボタン式両用

電源アダプタ

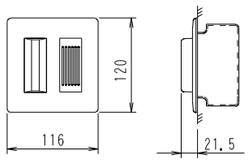
PS-1225A



電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	75VA
出力電圧	DC12V
出力電流	2.5A
形　状	据置・壁取付（専用金具）両用
材　質	難燃性樹脂

ブザー付き廊下灯

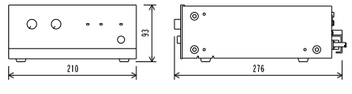
NBR-7HWA



形　状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)
材　質	プレート：自己消火性樹脂 ランプカバー：ポリカーボネート
備　考	ブザー付

AMP BGMアンプ

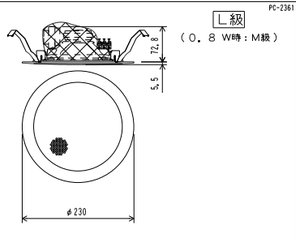
BG-M130



電源	AC100Ｖ 50/60Ｈz
定格出力	30Ｗ
入力	マイク/ライン（切換）、BGM、予備
スピーカー出力	330Ω/4~16Ω
周波数特性	100Ｈz~20ｋHz
仕上	パネル：樹脂　黒
その他	トーンコントロール、ミュート機能

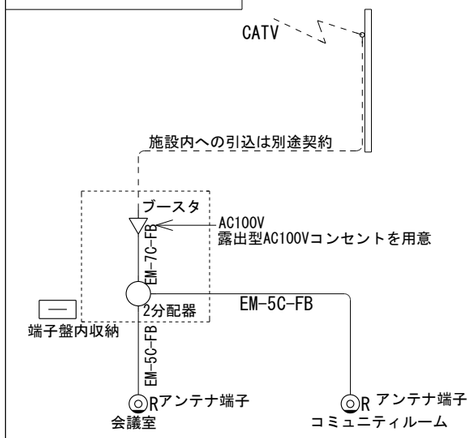
天井埋込型スピーカ

PC-2361

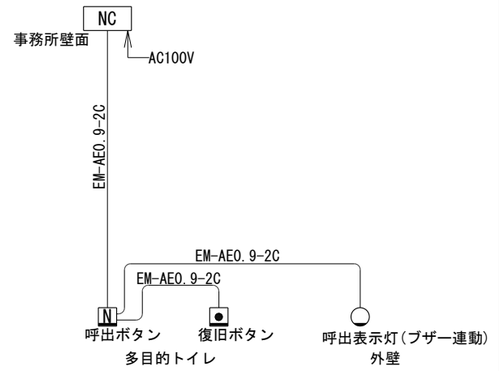


定格入力	6Ｗ(1.7kΩ)，3Ｗ(3.3kΩ)， 1.5Ｗ(6.7kΩ)．0.8Ｗ(13kΩ)．
	6Ｗ(8Ω)
出力音圧レベル	93ｄB（1Ｗ，1ｍ）
周波数特性	45Ｈz-20ｋHz（ピーク-20ｄB時）
スピーカー	16ｃｍダブルコーン型
仕上	枠、ネット：鋼板　ホワイト

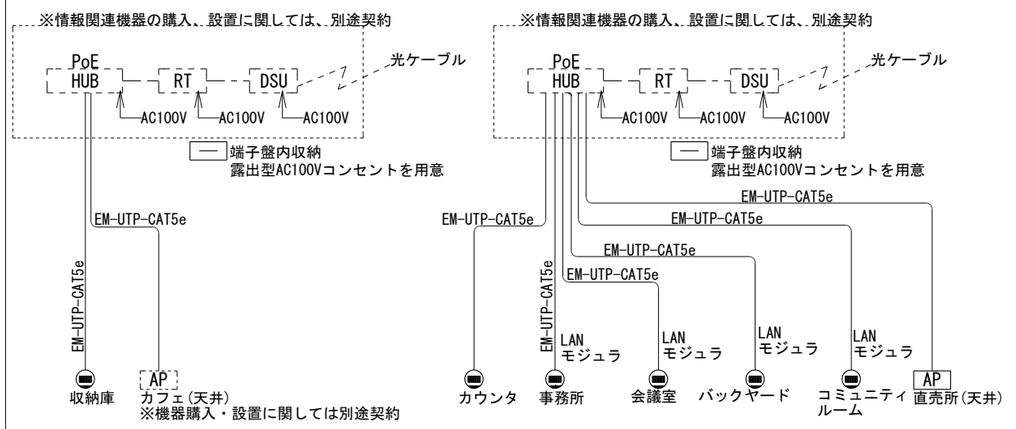
ケーブルテレビ共聴系統図



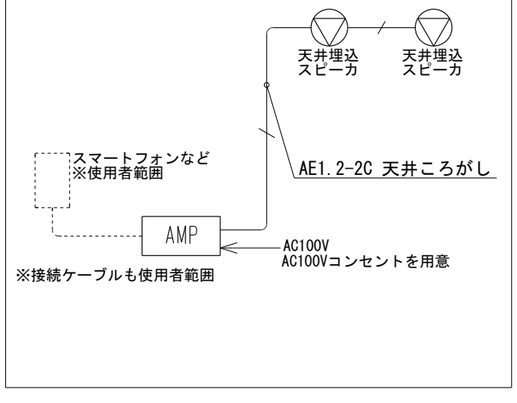
トイレ呼出系統図



情報機器系統図



音響設備(カフェ)



project title: 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title: 弱電設備姿図・系統図	scale: N.S	check: 2025.08.30	no: E-18

株式会社　坂本建設建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本達哉 大臣登録 第285008号

T-2端子盤(情報機器収納BOX)
・PoEHUB
・光成端箱
・ルータ
・DSU
などを収納(機器の手配は、別途契約)

T-1端子盤(情報機器収納BOX)
・PoEHUB
・光成端箱
・ルータ
・DSU
・ブースター(CATV)
・2分配器
・機器の手配は、別途契約
・他業者の機器設置スペース等を
十分な打ち合わせを行うこと

電話線の引込は別途契約(空配管を用意のみ)

AP 機器は別途契約
取付高さ3m以内

【凡例】

TEL	EM-EBT0.4-2P(PF16)隠ぺい	
TV	EM-5C-FB(PF16)ころがし	
LAN	EM-UTP0.5-4P(CAT5e)(PF16)ころがし	
AE	EM-AE0.9−2C(PF16)ころがし	
SP	EM-AE1.2−2C(PF16)ころがし	

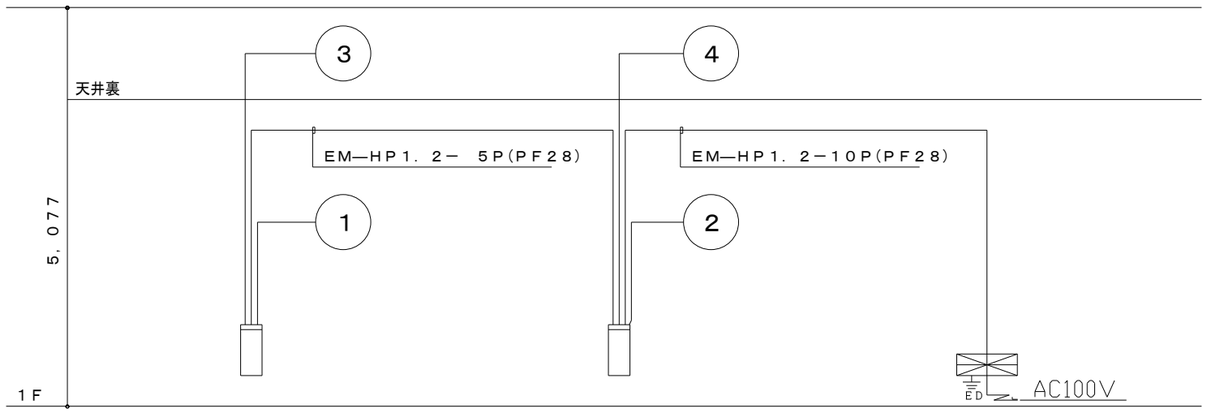
※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
国土交通大臣認定工法にて施工すること

	機器収納盤	
	端子盤	
	TV機器収納ボックス	
H	保安器	
FD	接地棒	
LAN	LANモジュラー端子	
TV	TVアンテナ端子	
TEL	電話モジュラー端子	
NC	トイレ呼出表示器(1窓)	
N	トイレ呼出スイッチ(引き紐付き)	
	トイレ呼出復旧スイッチ	
	トイレ呼出表示灯	
AMP	BGMアンプ	
	天井埋込スピーカ	

WiFi範囲

project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	弱電設備　平面図	scale 1/100 / check 2025.08.30 / no E-19

株式会社　坂本道敏建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本道敏 大臣登録 第285008号



設　備　幹　線　系　統　図

凡　例

記　号	名　　称	記　　事
	火　災　受　信　盤	Ｐ型１級　　１０回線　壁掛型　特記参照
	機　器　収　容　箱	埋込型　縦型　　Ⓟ Ⓑ 収容
Ⓟ	発　信　機	Ｐ型１級　　フラット型表示灯付
Ⓑ	地　区　音　響　装　置	ＤＣ２４Ｖ　８ｍＡ
S	光電式スポット型感知器	２種
	差動式スポット型感知器	２種
W	差動式スポット型感知器	２種　防水型
	定温式スポット型感知器	特種　６０℃　防水型
	定温式スポット型感知器	１種　７０℃　防水型
	終　端　抵　抗	１０Ｋ
———	配　管　配　線	天井いんぺい
——-——	配　管　配　線	ケーブル線
- - - - - - -	配　管　配　線	露出
	配　管　配　線	立上り、引下げ、素通し
——・——	警 戒 区 域 境 界 線	
NO	警　戒　区　域　番　号	Ｎｏ．１　～　４

特　記

１）火災受信盤の仕様は下記の通り。
　お客様の声で誕生したＰ型受信機：「Ｖｏｉｃｅ＿Ｐ」
　仕様コンセプト：「わかりやすい」「施工しやすい」「点検しやすい」「設計しやすい」受信機
　・主音響　　－音声案内機能付
　・音声ガイダンス機能　　－各種ナビゲーションを行う音声操作手順ガイダンス機能搭載
　・カラーユニバーサルデザイン　－色弱者対応・高齢者対応（ＣＵＤＯ認定品）
　・履歴機能　　－７セグメント表示（最大1,200件）
　　ＵＳＢメモリーで履歴をＰＣ確認可能
　・中継器電源標準搭載　　－遠隔試験機能付感知器最大１６個接続可能（専用中継器１台）、
　　無線式感知器最大１６個（専用中継器２台）接続可能
　・保守・施工モード搭載　　－地区音響短時間鳴動機能
　　地区音響遠隔制御機能（回線毎）
　　施工支援機能（発報信号無線機送信機能　※専用治具使用時）
　　加熱・煙熱試験を現地１名で対応（省力化）可能
　・その他機能　　－マルチスイッチ４点搭載（マルチ移報、移報停止、ノンロックスイッチ）
　　諸表示入力４点搭載
　　一括連動移報停止スイッチ搭載
　　終端抵抗回線別切替機能搭載（１０ｋΩ／２０ｋΩ）
　　ＰＣデータ設定プログラム機能搭載
　・回線内訳

自火報	４Ｌ
予　備	６Ｌ
合　計	１０Ｌ

２）地区警報は一斉鳴動方式とする。

３）図中、点線の機器は天井裏に設置とする。

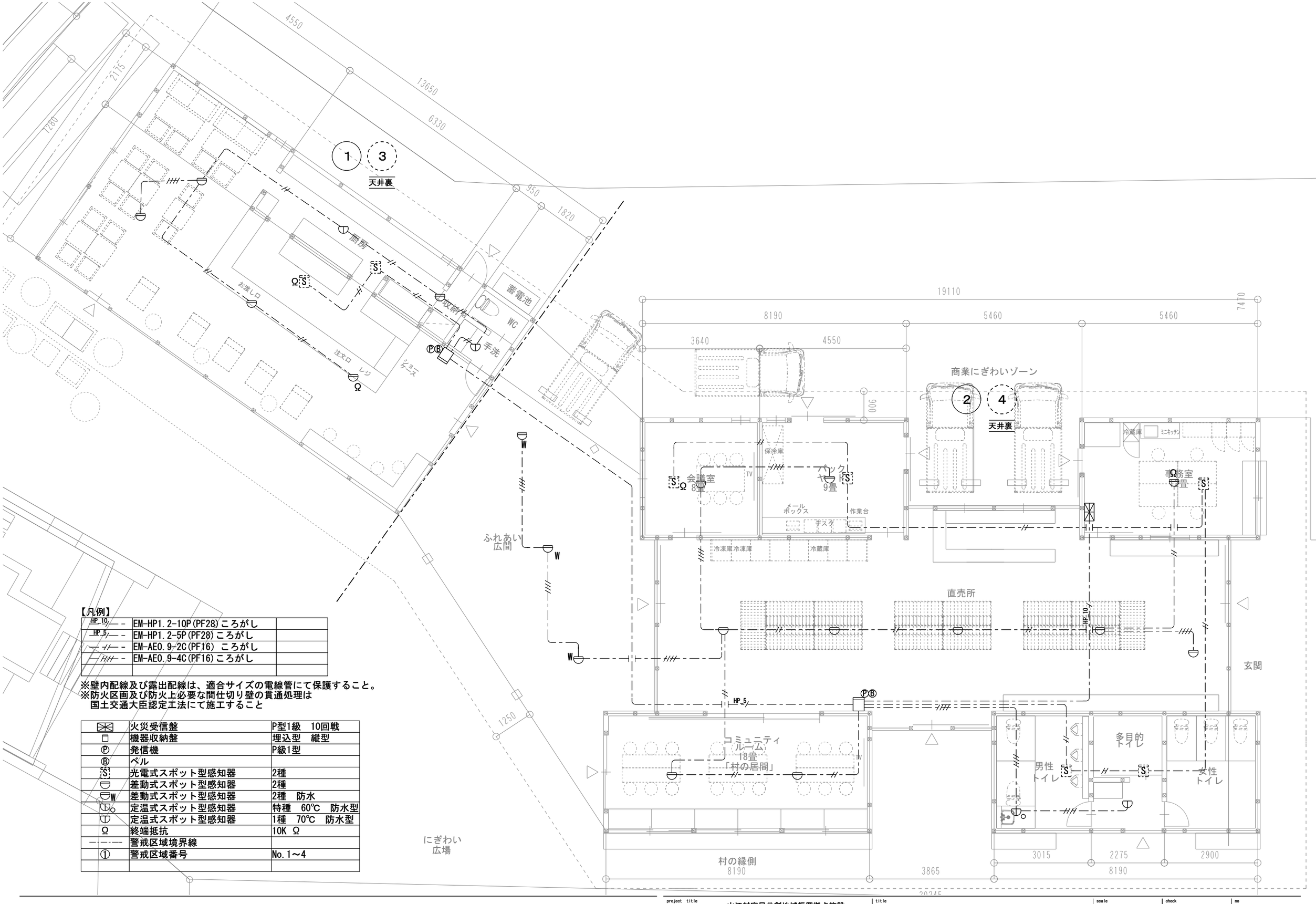
４）感知器取付け用吊り金具および金具取付工事までは別途電気工事とする。

５）特記なき配管配線は下記の通りとする。

——//-—— ＥＭ－ＡＥ　０．９－　２Ｃ	——//—— ＥＭ－ＡＥ　０．９－　２Ｃ（ＰＦ１６）
	——//—— ＥＭ－ＡＥ　０．９－　２Ｃ（ＰＦ１６）
——///-—— ＥＭ－ＡＥ　０．９－　４Ｃ	——///—— ＥＭ－ＡＥ　０．９－　４Ｃ（ＰＦ１６）
	——///—— ＥＭ－ＡＥ　０．９－　４Ｃ（ＰＦ１６）

project title　山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業
title　自動火災報知設備　系統図
scale　N.S
check　2025.08.30
no　E-20

株式会社　坂本遠藤建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遠藤 大臣登録 第285008号



【凡例】

HP 10	EM-HP1.2-10P(PF28)ころがし	
HP 5	EM-HP1.2-5P(PF28)ころがし	
	EM-AE0.9-2C(PF16) ころがし	
	EM-AE0.9-4C(PF16)ころがし	

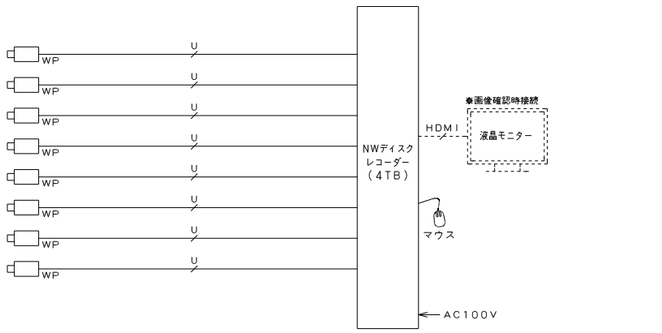
※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
国土交通大臣認定工法にて施工すること

⊠	火災受信盤	P型1級　10回戦
□	機器収納盤	埋込型　縦型
Ⓟ	発信機	P級1型
Ⓑ	ベル	
S	光電式スポット型感知器	2種
▽	差動式スポット型感知器	2種
▽W	差動式スポット型感知器	2種　防水
◁▷	定温式スポット型感知器	特種　60℃　防水型
▽	定温式スポット型感知器	1種　70℃　防水型
Ω	終端抵抗	10K Ω
―・―・―	警戒区域境界線	
①	警戒区域番号	No.1～4

project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	自動火災報知設備　平面図	scale 1/100 / check 2025.08.30 / no E-21

株式会社　坂本遺骸建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遺骸 大臣登録 第285008号

ＩＴＶ設備　システム図

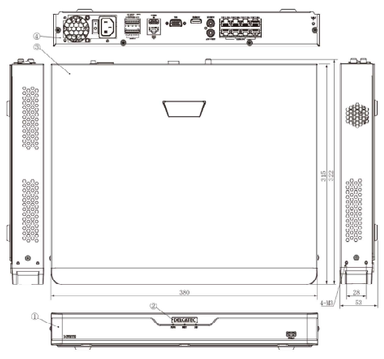


U　EM−ＵＴＰケーブル
HDMI　ＨＤＭＩケーブル

録画時間計算例

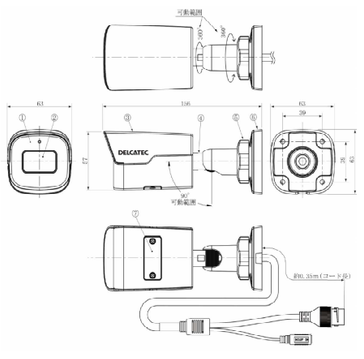
カメラ台数	圧縮方式	ＨＤＤ容量	冗長化	解像度	画質	１日当録画時間	録画保存日数
５台	Ｈ．２６５	４ＴＢ	なし	２Ｋ	200万画素	２４時間連続	約1か月

ＮＷディスクレコーダー（４ＴＢ）



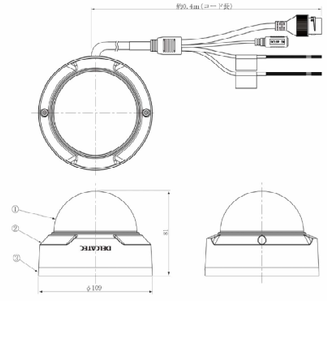
電源・消費電力	AC100V　14GW(PoE給電あり)
質　量	約３．４ｋｇ
カメラ接続台数・ＨＤＤ	８台・４ＴＢ（４ＴＢ×１）
録画圧縮方式	Ｈ．２６５、Ｈ．２６４、JPEG
入出力	モニター端子：HDMI×1、VGA×1
	USB2.0×1、USB2.0×1
	カメラポート：RJ45[PoE10/100 Mbps]×8
モニター端子　最大解像度	HDMI：3840×2160、1280×1024 画面分割 1-9
特長（機能）	ＰｏＥ給電機能

WP　屋外２ＭＰ カメラ



センサー	1/2.8インチ、CMOS
レンズ[mm]	4.00@F1.6
インターフェース	RJ45(10/100Mbps)
信号方式	IP
画素数	最大200万画素(1920×1080)
画角（°）	水平：約87、垂直：約46
シャッター（秒）	自動/手動、1～1/100,000
最低被写体照度（Lux）	カラー：0.001（F1.6、AGC　ON）赤外線照明ON時：0
ノイズ除去	2D/3D DNR
IR照明/照射距離	自動/最大40m
消費電力	最大6W

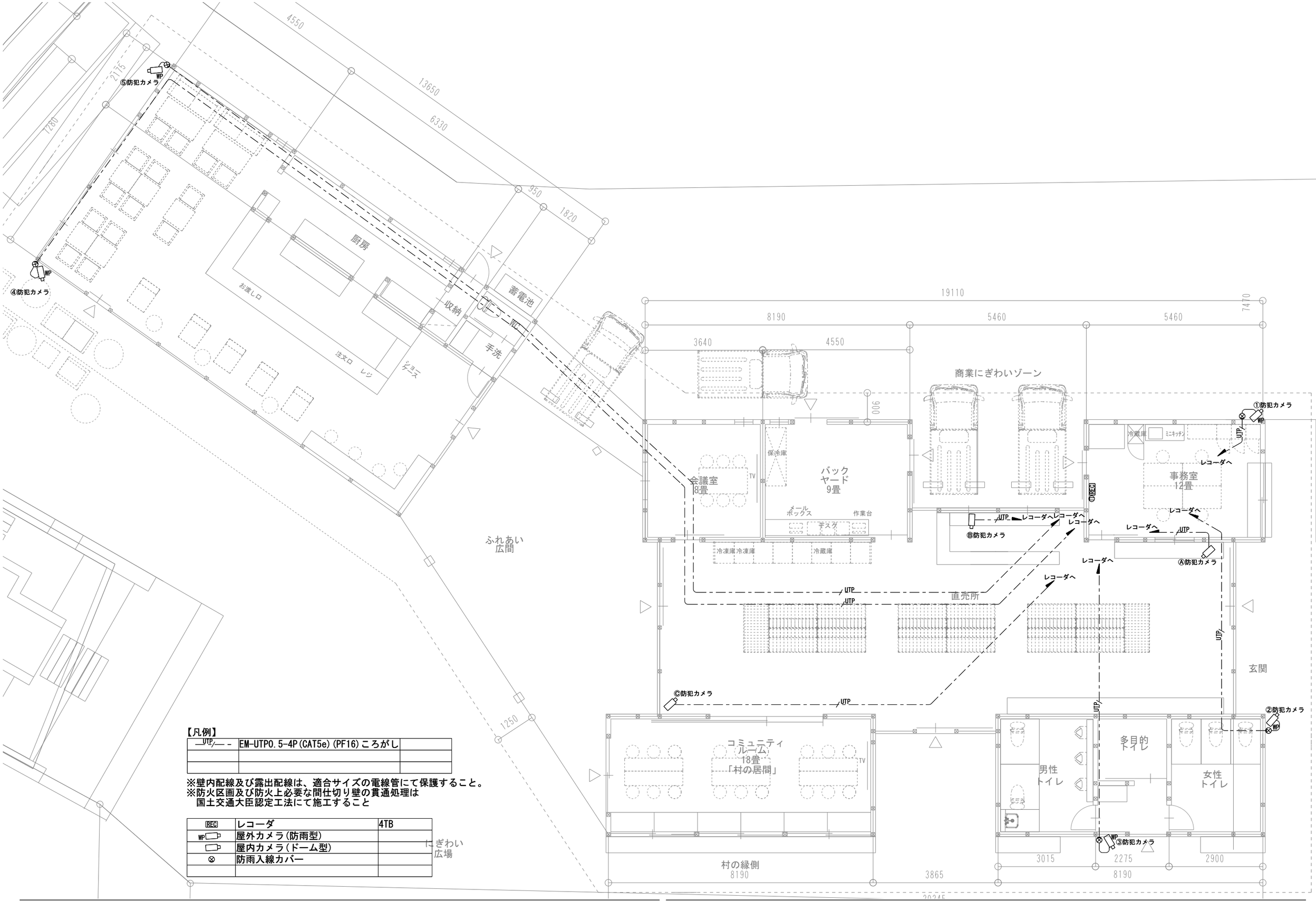
屋内ドームカメラ



センサー	1/2.8インチ、CMOS
レンズ[mm]	2.8@F1.6
インターフェース	RJ45(10/100Mbps)
信号方式	IP
画素数	最大200万画素(1920×1080)
画角（°）	水平：約106、垂直：約57
シャッター（秒）	自動/手動、1～1/100,000
最低被写体照度（Lux）	カラー：0.001（F1.6、AGC　ON）赤外線照明ON時：0
ノイズ除去	2D/3D DNR
IR照明/照射距離	自動/最大30m
消費電力	最大5W

project title	山江村官民共創地域振興拠点施設 「栗の駅」整備事業	title	ITV設備　系統図	scale	N.S	check	2025.09.30	no	E-22

株式会社　坂本遠藤建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遠藤 大臣登録 第285008号



【凡例】

UTP	EM-UTP0.5-4P(CAT5e)(PF16)ころがし	

※壁内配線及び露出配線は、適合サイズの電線管にて保護すること。
※防火区画及び防火上必要な間仕切り壁の貫通処理は
国土交通大臣認定工法にて施工すること

REC	レコーダ	4TB
WP	屋外カメラ(防雨型)	
	屋内カメラ(ドーム型)	
⊗	防雨入線カバー	

project title 山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業	title ITV設備　平面図	scale 1/100	check 2025.09.30	no E-23

株式会社　坂本遺鼓建築設計事務所　〒860-0811　熊本県熊本市中央区本荘5丁目12-7　tel/fax 096-371-9322　一級建築士事務所 熊本県知事登録第3771号　一級建築士 坂本遺鼓 大臣登録 第285008号